Service Pack for ProLiantリリースノート, v2021.05.1

BIOS - システムROM
BIOS（ログインが必要）- システムROM
ドライバー - チップセット
ドライバー - Lights-Outマネジメント
ドライバー - ネットワーク
ドライバー - ストレージ
ドライバー - ストレージコントローラー
ドライバー - ストレージ ファイバーチャネルおよびファイバーチャネルオーバーイーサネット
ドライバー - システム
ドライバー - システムマネジメント
ドライバー - ビデオ
ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ
ファームウェア - Lights-Outマネジメント
ファームウェア - ネットワーク
ファームウェア - NVDIMM
ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク
ファームウェア - パワーマネジメント
ファームウェア - SASストレージ ディスク
ファームウェア - SATAストレージ ディスク
ファームウェア - ストレージコントローラー
ファームウェア - ストレージ ファイバーチャネル
ファームウェア - システム
ファームウェア (ライセンスが必要) - ストレージコントローラー
ソフトウェア - Lights-Outマネジメント
ソフトウェア - マネジメント
ソフトウェア - ネットワーク
ソフトウェア - ストレージコントローラー
ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル
ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネルHBA
ソフトウェア - システムマネジメント

BIOS - システムROM

先頭

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9(P89)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p89-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9システムROM - P89

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9(P89)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046145.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9システムROM - P89

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョ

ンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19) サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u19-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9(I36)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-i36-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9システムROM - I36

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているよう

に、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant BL660c Gen9(I38)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-i38-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL660c Gen9システムROM - I38

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL120 Gen9(P86)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p86-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL120 Gen9システムROM - P86

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9(U20)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u20-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9システムROM - U20

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL20 Gen9 (U22)サーバー

バージョン: 2.90_11-27-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u22-2.90_2020_11_27-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

2.90_11-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_11-27-2020

以前のリビジョン:

2.88_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL560 Gen9(P85)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p85-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen9システムROM - P85

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u17-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9システムROM - U17

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000016(CPUID 306F4)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8764 として文書化された BIOS プラットフォームコードアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000016(CPUID 306F4)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8764 として文書化された BIOS プラットフォームコードアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9(U15)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u15-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL60 Gen9/ProLiant DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 2.66_07-19-2019 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u26-2.66_2019_07_19-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant Thin Micro TM200システムROM - U26

リリースバージョン:

2.66_07-19-2019

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.66_07-19-2019

以前のリビジョン:

2.62_02-20-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)sightingの修正を含む最新のシステムROMへのアップデート後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、インテルXeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)sightingの修正を含む最新のシステムROMへのアップデート後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、インテルXeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML110 Gen9(P99)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p99-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9システムROM - P99

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML150 Gen9(P95)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p95-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML150 Gen9システムROM - P95

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆

弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML30 Gen9 (U23)サーバー

バージョン: 2.90_11-27-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u23-2.90_2020_11_27-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

2.90_11-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_11-27-2020

以前のリビジョン:

2.88_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant ML350 Gen9(P92)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-p92-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen9システムROM - P92

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9(U14)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u14-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9システムROM - U14

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9(U13)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u13-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL230a/250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆

弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL260a Gen9/XL2x260w (U24)サーバー

バージョン: 1.60_01-22-2018 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u24-1.60_2018_01_22-2.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 1.60(B)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.60と同等です。ファームウェアをバージョン1.60にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

このリビジョンのシステムROMにはインテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれており、オペレーティングシステムのアップデートとの組み合わせで、サイドチャネル解析の脆弱性のバリアント2(Spectreとも呼ばれます)を緩和します。このシステムROMに含まれているマイクロコードのリビジョンでは、Spectreバリアント2の緩和策の一部であった以前のインテルマイクロコードに影響を及ぼしていた、リブート頻度の増加および予測不能なシステム動作の問題はありません。追加情報については、インテルのSecurity Exploit Newsroom(https://newsroom.intel.com/press-kits/security-exploits-intel-products/)から入手できます。

提供名:

HPE ProLiant XL260a Gen9/XL2x260wシステムROM - U24

リリースバージョン:

1.60_01-22-2018

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.60_01-22-2018

以前のリビジョン:

1.50_09-25-2017

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

インテルプロセッサーのマイクロコードを最新バージョンにアップデート。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

Ver. 1.60(B)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.60と同等です。ファームウェアをバージョン1.60にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンBにアップグレードする必要はありません。

このリビジョンのシステムROMにはインテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれており、オペレーティングシステムのアップデートとの組み合わせで、サイドチャネル解析の脆弱性のバリアント2(Spectreとも呼ばれます)を緩和します。このシステムROMに含まれているマイクロコードのリビジョンでは、Spectreバリアント2の緩和策の一部であった以前のインテルマイクロコードに影響を及ぼしていた、リブート頻度の増加および予測不能なシステム動作の問題はありません。追加情報については、インテルのSecurity Exploit Newsroom('https://newsroom.intel.com/press-kits/security-exploits-intel-products/)から入手できます。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

インテルプロセッサーのマイクロコードを最新バージョンにアップデート。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant XL270d (U25) アクセラレータトレイ

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u25-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL270dアクセラレータトレイシステムROM - U25

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL450 Gen9(U21)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u21-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL450 Gen9システムROM - U21

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL730f/XL740f/XL750f Gen9(U18)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-system-u18-2.80_2020_10_16-1.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL730f/XL740f/XL750f Gen9システムROM - U18

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP047161.compsig; CP047161.zip

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)でアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)でアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 (I36) サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP047170.compsig; CP047170.zip

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.80_10-16-2020へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9システムROM - I36

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.80_10-16-2020へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆

弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant BL660c Gen9(I38)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP047172.compsig; CP047172.zip

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.80_10-16-2020へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL660c Gen9システムROM - I38

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョ

ンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。以前のコンポーネントのRevision がROMシステムから2.80_10-16-2020へアップグレードするために使用されていた場合は、Revision Bにアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL120 Gen9(P86)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**

ファイル名: CP046142.compsig; CP046142.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL120 Gen9システムROM - P86

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5およびESXi 6.0、6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9 (U20) サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046155.compsig; CP046155.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9システムROM - U20

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant DL20 Gen9 (U22)サーバー

バージョン: 2.90_11-27-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046428.compsig; CP046428.zip

重要な注意!

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

2.90_11-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_11-27-2020

以前のリビジョン:

2.88_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.5、ESXi 6.0 およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi6.7の最小iLOバージョンは、10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL380 Gen9/DL360 Gen9(P89)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP047163.compsig; CP047163.zip

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)でアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL360/DL380 Gen9システムROM - P89

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5およびESXi 6.0、6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)でアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL560 Gen9(P85)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP047162.compsig; CP047162.zip

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)でアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen9システムROM - P85

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)でアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP047164.compsig; CP047164.zip

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)でアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9システムROM - U17

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000016(CPUID 306F4)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8764 として文書化された BIOS プラットフォームコードアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、 およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)でアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000016(CPUID 306F4)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8764 として文書化された BIOS プラットフォームコードアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9(U15)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046170.compsig; CP046170.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL60 Gen9/ProLiant DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5およびESXi 6.0、6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 2.66_07-19-2019 **(推奨)**
ファイル名: CP040773.compsig; CP040773.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant Thin Micro TM200システムROM - U26

リリースバージョン:

2.66_07-19-2019

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.66_07-19-2019

以前のリビジョン:

2.62_02-20-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)sightingの修正を含む最新のシステムROMへのアップデート後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、インテル Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.5、ESXi 6.0、 およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. “Compaq ROM Utility Driver” (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、および5.5用のOS固有の“HPE Agentless Management Service Offline Bundle”からも入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)sightingの修正を含む最新のシステムROMへのアップデート後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、インテル Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML110 Gen9(P99)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046139.compsig; CP046139.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9システムROM - P99

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML150 Gen9(P95)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046162.compsig; CP046162.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML150 Gen9システムROM - P95

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているよう

に、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant ML30 Gen9 (U23)サーバー

バージョン: 2.90_11-27-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046426.compsig; CP046426.zip

重要な注意!

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

2.90_11-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_11-27-2020

以前のリビジョン:

2.88_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.5、ESXi 6.0 およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi6.7の最小iLOバージョンは、10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、および5.5用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant ML350 Gen9(P92)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046157.compsig; CP046157.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen9システムROM - P92

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9 (U14)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046133.compsig; CP046133.zip

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9システムROM - U14

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5およびESXi 6.0、6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware - HPE ProLiant XL450 Gen9(U21)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046176.compsig; CP046176.zip

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL450 Gen9システムROM - U21

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9(U13) サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: CP046127.compsig; CP046127.zip

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL230a/250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。
1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。
ESXi 5.1、ESXi 5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。 ESXi 6.7の最小iLOバージョンは10.1.0です。
2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。
5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。
5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。
6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。
6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。
6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。
両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.7、6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle"からも入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9 (U19) サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046201.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen9/HPE ProLiant XL420 Gen9システムROM - U19

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョ

ンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9 (I36)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046087.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen9/WS460c Gen9システムROM - I36

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant BL660c Gen9 (I38)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046093.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant BL660c Gen9システムROM - I38

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL120 Gen9 (P86)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046140.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL120 Gen9システムROM - P86

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9 (U20)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046153.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen9/DL180 Gen9システムROM - U20

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen9 (U22)サーバー

バージョン: 2.90_11-27-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046424.exe

重要な注意!

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen9 システムROM - U22

リリースバージョン:

2.90_11-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_11-27-2020

以前のリビジョン:

2.88_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL560 Gen9 (P85)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp046867.exe

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen9システムROM - P85

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL580 Gen9 (U17)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp046868.exe

重要な注意!

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL580 Gen9システムROM - U17

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000016(CPUID 306F4)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8764 として文書化された BIOS プラットフォームコードアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

バージョン2.80_10-16-2020(B)にはファームウェアパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン2.80_10-16-2020と同等です。ファームウェアをバージョン2.80_10-16-2020にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL60 Gen9/DL80 Gen9(U15) サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046165.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL60 Gen9/ProLiant DL80 Gen9 システムROM - U15

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant EC200a (U26) サーバー/HPE ProLiant Thin Micro TM200 (U26) サーバー

バージョン: 2.66_07-19-2019 **(推奨)**
ファイル名: cp040771.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant Thin Micro TM200システムROM - U26

リリースバージョン:

2.66_07-19-2019

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.66_07-19-2019

以前のリビジョン:

2.62_02-20-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)sightingの修正を含む最新のシステムROMへのアップデート後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの

最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、インテル Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、Intel TSX(Transactional Synchronizations Extensions)sightingの修正を含む最新のシステムROMへのアップデート後にシステムがマシンチェックを経験する可能性があるIntel sightingの緩和を提供するIntelマイクロコードの最新リビジョンが含まれます。以前のマイクロコードは、v2.62システムROMで最初に導入されました。この問題は、インテル Xeon® D-1500プロセッサーで構成されたシステムにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML110 Gen9 (P99)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046137.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen9システムROM - P99

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML150 Gen9 (P95)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046160.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML150 Gen9システムROM - P95

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen9 (U23)サーバー

バージョン: 2.90_11-27-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046423.exe

重要な注意!

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen9 システムROM - U23

リリースバージョン:

2.90_11-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.90_11-27-2020

以前のリビジョン:

2.88_10-16-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテルのマイクロコードの最新リビジョン:0x000000E2 (CPUID 506E3)が含まれています。このインテルマイクロコードパッチは、CVE-2020-8696およびCVE-2020-8698として文書化されているBIOSアドバイザリおよびセキュリティの脆弱性に対する緩和策を提供します。これらのセキュリティ脆弱性は、Intel Security Advisory INTEL-SA-00381に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML350 Gen9(P92)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046143.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen9システムROM - P92

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9(U14)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046131.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen9システムROM - U14

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL230a/XL250a Gen9 (U13) サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046125.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL230a/250a Gen9 システムROM - U13

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant XL270d (U25) アクセラレータトレイ

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046196.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant XL270dアクセラレータトレイシステムROM - U25

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL450 Gen9 (U21)サーバー

バージョン: 2.80_10-16-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046174.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL450 Gen9システムROM - U21

リリースバージョン:

2.80_10-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.80_10-16-2020

以前のリビジョン:

2.76_10-21-2019

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

前提条件

Windows用"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver” (CHIF) は、 Service Pack for ProLiant (SPP) から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x00000044(CPUID 306F2)および0x00B00003A(CPUID 406F1)です。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0591 および CVE-2020-0592 として文書化されたBIOSアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-8738、CVE-2020-8740、および CVE-2020-8764 として文書化されているBIOSプラットフォームのコードアドバイザリおよびセキュリティ上の脆弱性の緩和を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00390に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このバージョンのシステムROMには、SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラー用のアップデートされたUEFIドライバーが含まれています。このアップデートは、システムでオペレーティングシステムの起動に関する問題(起動時にLinuxカーネルパニックが発生するなど)が定期的に発生する可能性がある問題に対処します。

既知の問題点:

なし

拡張

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

BIOS(ログインが必要)- システムROM

先頭

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u38-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u38-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u39-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u39-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10/ProLiant XL420 Gen10システムROM - U39

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および

0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u40-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u40-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4510 Gen10/ProLiant XL450 Gen10システムROM - U40

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 Plus (A48)サーバー

バージョン: 2.40_02-24-2021**(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a48-2.40_2021_02_24-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a48-2.40_2021_02_24-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a48-2.40_2021_02_24-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 PlusシステムROM - A48

リリースバージョン:

2.40_02-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_12-23-2020

以前のリビジョン:

1.38_12-23-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 Plus (A47)サーバー

バージョン: 2.40_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a47-2.40_2021_02_23-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a47-2.40_2021_02_23-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a47-2.40_2021_02_23-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 PlusシステムROM - A47

リリースバージョン:

2.40_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_11-06-2020

以前のリビジョン:

1.38_11-06-2020

ファームウェアの依存関係:

HPE ProLiant XL675d Gen10Plus CPLDバージョン0F

HPE Apollo 6500 Gen10 PlusシャーシCPLD バージョン0909

改善点/新しい機能:

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

直接液体冷却ソリューションのサポートが追加されました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

HPE ProLiant XL675d Gen10Plus CPLDバージョン0F

HPE Apollo 6500 Gen10 PlusシャーシCPLD バージョン0909

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

直接液体冷却ソリューションのサポートが追加されました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u45-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u45-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 システムROM - U45

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-i41-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-i41-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、

0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10(U31)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u31-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u31-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 システムROM - U31

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL20 Gen10 (U43) サーバー

バージョン: 2.20_10-27-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u43-2.20_2020_10_27-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u43-2.20_2020_10_27-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.20_10-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_10-27-2020

以前のリビジョン:

2.18_06-24-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL325 Gen10 (A41)サーバー

バージョン: 2.44_11-13-2020 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a41-2.44_2020_11_13-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a41-2.44_2020_11_13-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.44_11-13-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.44_11-13-2020

以前のリビジョン:

2.42_07-17-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

システムメモリの最大量を8TBに増やすためのサポートが追加されました。

修正された問題点:

ウォームリセット後にシステムが起動しないというまれな問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

ウォームリセット後にシステムが起動しないというまれな問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

システムメモリの最大量を8TBに増やすためのサポートが追加されました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 Plus(A43)サーバー

バージョン: 2.40_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a43-2.40_2021_02_23-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a43-2.40_2021_02_23-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a43-2.40_2021_02_23-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

2.40_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_10-30-2020

以前のリビジョン:

1.38_10-30-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity FabricのパフォーマンスステートとBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンスステートの値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンスステートに設定されるため、パフォーマンスステートを[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity FabricのパフォーマンスステートとBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンスステートの値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンスステートに設定されるため、パフォーマンスステートを[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u32-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u32-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 Plus(A42)サーバー

バージョン: 2.40_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a42-2.40_2021_02_23-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a42-2.40_2021_02_23-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a42-2.40_2021_02_23-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

2.40_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_10-30-2020

以前のリビジョン:

1.38_10-30-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、

IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL380 Gen10 (U30)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u30-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u30-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005 (CPUID 50656) および 0x05003005 (CPUID 50567)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。今回のリリースに含まれるインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09 (CPUID 50654)、0x04003005 (CPUID 50656) および 0x05003005 (CPUID 50567)。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL385 Gen10 (A40) サーバー

バージョン: 2.44_10-29-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a40-2.44_2020_10_29-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a40-2.44_2020_10_29-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.44_10-29-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.44_10-29-2020

以前のリビジョン:

2.42_07-17-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。 このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

システムメモリの最大量を8TBに増やすためのサポートが追加されました。

修正された問題点:

ウォームリセット後にシステムが起動しないというまれな問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

OSからのウォームリセット後の起動中にシステムがハングする可能性がある問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。 このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10(U34)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u34-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u34-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン: 2.20_10-27-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u48-2.20_2020_10_27-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u48-2.20_2020_10_27-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus システムROM - U48

リリースバージョン:

2.20_10-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_10-27-2020

以前のリビジョン:

2.18_06-24-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u33-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u33-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML30 Gen10 (U44) サーバー

バージョン: 2.20_10-27-2020**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u44-2.20_2020_10_27-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u44-2.20_2020_10_27-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.20_10-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_10-27-2020

以前のリビジョン:

2.18_06-24-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u41-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u41-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL225n Gen10 Plus (A46) サーバー

バージョン: 2.42_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a46-2.42_2021_02_23-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a46-2.42_2021_02_23-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a46-2.42_2021_02_23-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL225n Gen10 PlusシステムROM - A46

リリースバージョン:

2.42_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_11-06-2020

以前のリビジョン:

2.40_01-21-2021

ファームウェアの依存関係:

システムプログラマブルロジックCPLDバージョン34

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

システムプログラマブルロジックCPLDバージョン34

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u37-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u37-2.42_2021_01_23-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046684.compsig; cp046684.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したもの

です。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046641.compsig; cp046641.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10/ProLiant XL420 Gen10システムROM - U39

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有

のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant

XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046644.compsig; cp046644.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4510 Gen10/ProLiant XL450 Gen10システムROM - U40

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 Plus (A48)サーバー

バージョン: 2.40_02-24-2021**(オプション)**
ファイル名: cp046362.exe; cp046362_part1.compsig; cp046362_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 PlusシステムROM - A48

リリースバージョン:

2.40_02-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_12-23-2020

以前のリビジョン:

1.38_12-23-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 Plus (A47)サーバー

バージョン: 2.40_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: cp046228.exe; cp046228_part1.compsig; cp046228_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 PlusシステムROM - A47

リリースバージョン:

2.40_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_11-06-2020

以前のリビジョン:

1.38_11-06-2020

ファームウェアの依存関係:

HPE ProLiant XL675d Gen10Plus CPLDバージョン0F

HPE Apollo 6500 Gen10 PlusシャーシCPLD バージョン0909

改善点/新しい機能:

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

直接液体冷却ソリューションのサポートが追加されました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

HPE ProLiant XL675d Gen10Plus CPLDバージョン0F

HPE Apollo 6500 Gen10 PlusシャーシCPLD バージョン0909

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

直接液体冷却ソリューションのサポートが追加されました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046690.compsig; cp046690.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 システムROM - U45

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046668.compsig; cp046668.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、

0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 (U31)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046620.compsig; cp046620.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 システムROM - U31

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen10 (U43) サーバー

バージョン: 2.20_10-27-2020**(推奨)**
ファイル名: cp045749.compsig; cp045749.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.20_10-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_10-27-2020

以前のリビジョン:

2.18_06-24-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL325 Gen10 (A41) サーバー

バージョン: 2.44_11-13-2020 **(推奨)**
ファイル名: cp046096.compsig; cp046096.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.44_11-13-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.44_11-13-2020

以前のリビジョン:

2.42_07-17-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

システムメモリの最大量を8TBに増やすためのサポートが追加されました。

修正された問題点:

ウォームリセット後にシステムが起動しないというまれな問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

ウォームリセット後にシステムが起動しないというまれな問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

システムメモリの最大量を8TBに増やすためのサポートが追加されました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 Plus(A43)サーバー

バージョン: 2.40_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: cp044523.exe; cp044523_part1.compsig; cp044523_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

2.40_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_10-30-2020

以前のリビジョン:

1.38_10-30-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046626.compsig; cp046626.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 Plus(A42)サーバー

バージョン: 2.40_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: cp044529.exe; cp044529_part1.compsig; cp044529_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

2.40_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_10-30-2020

以前のリビジョン:

1.38_10-30-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL380 Gen10 (U30)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046614.compsig; cp046614.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005 (CPUID 50656) および0x05003005 (CPUID 50567)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。今回のリリースに含まれるインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09 (CPUID 50654)、0x04003005 (CPUID 50656) および 0x05003005 (CPUID 50567)。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL385 Gen10 (A40) サーバー

バージョン: 2.44_10-29-2020**(推奨)**
ファイル名: cp046090.compsig; cp046090.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.44_10-29-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.44_10-29-2020

以前のリビジョン:

2.42_07-17-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。 このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

システムメモリの最大量を8TBに増やすためのサポートが追加されました。

修正された問題点:

ウォームリセット後にシステムが起動しないというまれな問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

OSからのウォームリセット後の起動中にシステムがハングする可能性がある問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。 このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10 (U34)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046635.compsig; cp046635.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン: 2.20_10-27-2020**(推奨)**
ファイル名: cp045740.compsig; cp045740.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus システムROM - U48

リリースバージョン:

2.20_10-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_10-27-2020

以前のリビジョン:

2.18_06-24-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046632.compsig; cp046632.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有

のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen10 (U44) サーバー

バージョン: 2.20_10-27-2020**(推奨)**

ファイル名: cp045752.compsig; cp045752.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.20_10-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_10-27-2020

以前のリビジョン:

2.18_06-24-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046647.compsig; cp046647.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および

0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL225n Gen10 Plus (A46) サーバー

バージョン: 2.42_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: cp046930.exe; cp046930_part1.compsig; cp046930_part2.compsig

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL225n Gen10 PlusシステムROM - A46

リリースバージョン:

2.42_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_11-06-2020

以前のリビジョン:

2.40_01-21-2021

ファームウェアの依存関係:

システムプログラマブルロジックCPLDバージョン34

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

システムプログラマブルロジックCPLDバージョン34

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: cp046681.compsig; cp046681.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U38_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U39_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4200 Gen10/ProLiant XL420 Gen10システムROM - U39

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U40_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 4510 Gen10/ProLiant XL450 Gen10システムROM - U40

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U45_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 システムROM - U45

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant BL460c Gen10(I41)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: I41_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 (U31)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U31_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 システムROM - U31

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL20 Gen10(U43)サーバー

バージョン: 2.20_10-27-2020**(推奨)**
ファイル名: U43_2.20_10_27_2020.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.20_10-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_10-27-2020

以前のリビジョン:

2.18_06-24-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL325 Gen10(A41)サーバー

バージョン: 2.44_11-13-2020 **(推奨)**
ファイル名: A41_2.44_11_13_2020.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.44_11-13-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.44_11-13-2020

以前のリビジョン:

2.42_07-17-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

システムメモリの最大量を8TBに増やすためのサポートが追加されました。

修正された問題点:

ウォームリセット後にシステムが起動しないというまれな問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

ウォームリセット後にシステムが起動しないというまれな問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

システムメモリの最大量を8TBに増やすためのサポートが追加されました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL360 Gen10(U32)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U32_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性がありま

す。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL380 Gen10(U30)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U30_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005 (CPUID 50656) および 0x05003005 (CPUID 50567)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。今回のリリースに含まれるインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09 (CPUID 50654)、0x04003005 (CPUID 50656) および 0x05003005 (CPUID 50567)。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および 0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL385 Gen10(A40)サーバー

バージョン: 2.44_10-29-2020**(推奨)**
ファイル名: A40_2.44_10_29_2020.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.44_10-29-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.44_10-29-2020

以前のリビジョン:

2.42_07-17-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。 このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

システムメモリの最大量を8TBに増やすためのサポートが追加されました。

修正された問題点:

ウォームリセット後にシステムが起動しないというまれな問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

OSからのウォームリセット後の起動中にシステムがハングする可能性がある問題に対処しました。

セキュアブートのアドバンストオプションがすべてのキーのエクスポートに失敗する問題に対処しました。

SmartRAID SW RAIDサポートが有効になっているときにOne-Buttonセキュア消去が完了しなかった問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

アドバンストPCIeコンフィギュレーションオプションにPCIeアダプタのデュアル分岐(クアッド分岐)用の新しいBIOS/プラットフォームコンフィギュレーション(RBSU)を追加しました。このオプションは、x16 PCIeデバイスを4つのx4デバイスに分岐することを可能にします。 このオプションは、このレベルの分岐をサポートするPCIeアダプターにのみ使用されます。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10(U34)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U34_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン: 2.20_10-27-2020**(推奨)**
ファイル名: U48_2.20_10_27_2020.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus システムROM - U48

リリースバージョン:

2.20_10-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_10-27-2020

以前のリビジョン:

2.18_06-24-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリー INTEL-SA-00358 に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML110 Gen10(U33)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U33_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML30 Gen10(U44)サーバー

バージョン: 2.20_10-27-2020**(推奨)**
ファイル名: U44_2.20_10_27_2020.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.20_10-27-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.20_10-27-2020

以前のリビジョン:

2.18_06-24-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

このバージョンのシステムROMには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステム ROM のリビジョンには、CVE-2020-8696、CVE-2020-8694、および CVE-2020-8695 として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00381 および INTEL-SA-00389 に文書化されています。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチはバージョン0x000000DE(CPUID 906ED、906EC、906EB、および906EA)です。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0593 として文書化されたBIOSアドバイザリとセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新版が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00358 に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

「Minimum Processor Idle Power Package C-State」RBSUオプションが欠落していた問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

メモリオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。Low Watermark設定を選択すると、メモリコントローラーはDDR4 RowHammer攻撃の影響を受けにくくなります。Low Watermark設定を有効にすると、メモリ性能に影響が出ることが予想されます。システムのデフォルトの動作は変更されていません。追加のRowHammer保護を提供したいお客様は、この設定を有効にする必要があります。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のサポートが追加され、セキュアブート署名リストを署名付きバイナリファイルとしてインポートおよびエクスポートできるようになりました。これは、UEFIフォーラム(https://uefi.org/revocationlistfile)に記載されているように、Microsoftの失効リストバイナリファイルをセキュアブートDBXにインポートするのに便利です。

最新のHPEオプションデバイスでOne Buttonセキュア消去機能のシステムROM対応をアップデートしました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML350 Gen10(U41)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U41_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant XL225n Gen10 Plus (A46) サーバー

バージョン: 2.42_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: A46_2.42_02_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL225n Gen10 PlusシステムROM - A46

リリースバージョン:

2.42_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_11-06-2020

以前のリビジョン:

2.40_01-21-2021

ファームウェアの依存関係:

システムプログラマブルロジックCPLDバージョン34

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

システムプログラマブルロジックCPLDバージョン34

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant XL230k Gen10(U37)サーバー

バージョン: 2.42_01-23-2021**(推奨)**
ファイル名: U37_2.42_01_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

2.42_01-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_01-23-2021

以前のリビジョン:

2.40_10-26-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

システムROMのこのリビジョンには、インテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これは、命令の短いループを伴う重いストレス下での潜在的なマシンチェック例外の修正を提供します。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 0080およびMCACOD = 0400hのバンク3でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x04003005(CPUID 50656)および0x05003005(CPUID 50657)です。この問題は、第2世代のインテルXeonスケーラブルパフォーマンスプロセッサーにのみ影響します。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステムROMのリビジョンには、PCIe上で高レベルの割り込みトラフィックが発生した場合のマシンチェック例外の修正を提供するインテル製マイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これにより、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に記録されているように、MSCOD = 000Chのバンク9、10、または11でマシンチェック例外が発生する可能性があります。このリリースに含まれているインテル製マイクロコードパッチは、バージョン0x02006A09(CPUID 50654)、0x04003005(CPUID 50656)、0x05003005(CPUID 50657)です。この変更の一環として、アドバンストパフォーマンスオプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが追加され、お客様がこの緩和策を無効にできるようになりました。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)で有効に構成されている場合に拡張メモリテストが実行されない問題に対処しました。このオプションはデフォルトでは無効になっていることに注意してください。この問題はシステムROMバージョン2.40で最初に発生したものです。

サーバーがAHCI SATAドライブで構成されている場合に、サーバーシステムのファンが予想よりも高速で動作する可能性がある問題に対処しました。

不良LRDIMMメモリデバイスをマップから除外することはできたが、インテグレーテッドマネジメントログ(IML)に適切に報告できなかった問題に対処しました。この問題は、LRDIMMで構成されたシステムにのみ影響しました。

既知の問題点:

なし

拡張

システムの稼働時間を改善するために、高速フォールトトレラントメモリモード(ADDDC)のサポートをアップデートしました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 Plus(A48) サーバー

バージョン: 2.40_02-24-2021**(オプション)**
ファイル名: A48_2.40_02_24_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL645d Gen10 PlusシステムROM - A48

リリースバージョン:

2.40_02-24-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_12-23-2020

以前のリビジョン:

1.38_12-23-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 Plus(A47) サーバー

バージョン: 2.40_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: A47_2.40_02_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10 Plus/HPE ProLiant XL675d Gen10 PlusシステムROM - A47

リリースバージョン:

2.40_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_11-06-2020

以前のリビジョン:

1.38_11-06-2020

ファームウェアの依存関係:

HPE ProLiant XL675d Gen10Plus CPLDバージョン0F

HPE Apollo 6500 Gen10 PlusシャーシCPLD バージョン0909

改善点/新しい機能:

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

直接液体冷却ソリューションのサポートが追加されました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

HPE ProLiant XL675d Gen10Plus CPLDバージョン0F

HPE Apollo 6500 Gen10 PlusシャーシCPLD バージョン0909

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

拡張

AMD EPYC 7003プロセッサーのサポートを追加します。

直接液体冷却ソリューションのサポートが追加されました。

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 Plus(A43)サーバー

バージョン: 2.40_02-23-2021**(オプション)**
ファイル名: A43_2.40_02_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325/DL325 v2/DL345 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

2.40_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_10-30-2020

以前のリビジョン:

1.38_10-30-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 Plus(A42)サーバー

バージョン: 2.40_02-23-2021**(オプション)**

ファイル名: A42_2.40_02_23_2021.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL365/DL385/DL385 v2 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

2.40_02-23-2021

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.38_10-30-2020

以前のリビジョン:

1.38_10-30-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバーの起動時にリアルタイムクロックが破損する可能性がある非常にまれな問題に対処しました。これは通常、RTCの年フィールドの予期しない変更として現れましたが、日付と時刻の他の部分に影響を与える可能性があります。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

HPE SmartアレイE208iまたはE408iのファームウェアをバージョン3.0にアップグレードした後、ファンが予想よりも高速で回転する問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

ダブリン/ロンドン(UTC + 1)を追加するために、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)タイムゾーンのサポートが追加されました。このサポートには、iLOファームウェアの最新バージョン(バージョン2.40以降)も必要です。

プラットフォームの耐障害性および保守性(RAS)ポリシーを制御するために、プラットフォームRASポリシーの新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)を追加しました。このオプションは、プラットフォームファームウェアまたはオペレーティングシステムが修正されたエラー処理とレポートを制御できるかどうかを制御します。

直接接続されたNVMeドライブのSmartRAID SW RAIDサポートを有効にするドライバーとオプションを追加しました。

AMD I/Oバーチャライゼーションテクノロジーと呼ばれる仮想化オプションに新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションを追加しました。このオプションは、以前のBIOSリリースのAMD IOMMUおよびAMDバーチャライゼーションテクノロジーオプションに置き換わるものであり、機能を1つの設定にまとめたものです。以前のリリースでは、オペレーティングシステムの問題により、IOMMUとVTの設定が個別に制御されているときは、これら両方を制御するためにシステムファームウェアでAMD IOMMU設定のみを使用していました。新しい設定では、2つの設定が独立しているという認識がなくなりました。

Infinity Fabricの電力管理が無効になっていない限り、Infinity Fabricのパフォーマンス状態と呼ばれるBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションが非表示になるように変更しました。また、パフォーマンス状態の値を[無効]から[自動]にアップデートしました。システムの動作によってInfinity Fabricは無効になるのではなくパフォーマンス状態に設定されるため、パフォーマンス状態を[無効]に設定するというのは誤解を招く恐れがあります。

ドライバー - チップセット

先頭

Microsoft Windows用AMD EPYCプロセッサーの識別子

バージョン: 3.1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: cp046033.compsig; cp046033.exe

拡張

- AMD IOMMUデバイスをアップデートしました
- HPE ProLiant Gen10 Plus Snap4 Latentサーバーのサポートを追加しました。

Windows用Intel Xeon E-2xxxプロセッサーの識別子

バージョン: 10.1.18015.8142 **(オプション)**
ファイル名: cp039323.compsig; cp039323.exe

拡張

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plusサーバーのサポートを追加します。

Windows用Intel Xeonスケーラブルプロセッサー(第1および第2世代)識別子

バージョン: 10.1.18435.8224 **(オプション)**
ファイル名: cp044968.compsig; cp044968.exe

拡張

- Intelデバイス201A、201C、および206Fのサポートを追加します
- Superdome Flex 280のサポートを追加します

Windows用Intel Xeonスケーラブルプロセッサー(第3世代)識別子

バージョン: 10.1.18661.8255 **(推奨)**
ファイル名: cp047086.compsig; cp047086.exe

拡張

- デバイス「VMDレジスタ-28C0」を削除しました

ドライバー - Lights-Outマネジメント

先頭

ESXi 7.0用のHPE iLOネイティブドライバー

バージョン: 10.7.0 **(推奨)**
ファイル名:ilo-driver_700.10.7.0.6-1OEM.700.1.0.15843807_17481969.zip

修正

iLOドライバーデバイスの初期化が失敗したときのPSODを修正しました。

拡張

VMware ESXi 7.0 U1およびESXi 7.0 U2をサポートします

ドライバー - ネットワーク

先頭

Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 218.0.32.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045254.compsig; cp045254.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Broadcom NetXtreme-E*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、致命的でないエラーの後でシステムが回復するときにシステムがフリーズして再起動する問題を修正します。
- この製品は、WindowsがホストOSである場合に、特定の仮想OSでVFがロードされない問題を修正します。
- この製品は、IRP SystemBufferアクセスの競合状態によって引き起こされるユーザーモードRDMAのBSoD(Blue Screen of Death)の問題を修正します。
- この製品は、NDISドライバーのアンインストール時に発生するWindows Stop Error BSoD(Blue Screen of Death)を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 218.0.32.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045255.compsig; cp045255.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*Broadcom NetXtreme-E*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、致命的でないエラーの後でシステムが回復するときにシステムがフリーズして再起動する問題を修正します。
- この製品は、Windows 2019でインボックスドライバーのアップデート後に観察されたBSODの問題を修正します。
- この製品は、WindowsがホストOSである場合に、特定の仮想OSでVFがロードされない問題を修正します。
- この製品は、IRP SystemBufferアクセスの競合状態によって引き起こされるユーザーモードRDMAのBSoD(Blue Screen of Death)の問題を修正します。
- この製品は、NDISドライバーのアンインストール時に発生するWindows Stop Error BSoD(Blue Screen of Death)を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.03.09 **(オプション)**
ファイル名: cp042919.compsig; cp042919.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.12.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ネットワークの接続性に影響するvmnicフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.03.09 **(オプション)**
ファイル名: cp042920.compsig; cp042920.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.12.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ネットワークの接続性に影響するvmnicフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1195.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039927.compsig; cp039927.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1195.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039928.compsig; cp039928.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1195.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039929.compsig; cp039929.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039936.compsig; cp039936.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039935.compsig; cp039935.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039930.compsig; cp039930.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039931.compsig; cp039931.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039932.compsig; cp039932.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE*ファームウェアフラッシュ*for Emulex*メザニンコンバージドネットワークアダプター*for Linux (x64)*、バージョン2021.02.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.9.4-2.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 5.9.4-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039952.compsig; cp039952.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、HPE Blade Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware、バージョン1.0.7以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、PCIeリンクがダウンした場合に再帰が正しく終了するように、再帰終了条件を修正します。

この製品は、SFP +モジュールがない場合にixgbenドライバーのCPUオーバーヘッドが高くなる問題に対処します。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039953.compsig; cp039953.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、HPE Blade Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware、バージョン1.0.7以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、PCIeリンクがダウンした場合に再帰が正しく終了するように、再帰終了条件を修正します。

この製品は、SFP +モジュールがない場合にixgbenドライバーのCPUオーバーヘッドが高くなる問題に対処します。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2020.06.01 **(オプション)**
ファイル名: cp041435.compsig; cp041435.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware、バージョン1.1.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**

ファイル名:kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.9.3-2.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**

ファイル名: hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.9.3-1 (B) **(オプション)**

ファイル名: hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複数のVFが同じ重複したMACアドレスを持つSRIOVを有効にするときに見られる問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.14.214.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045175.compsig; cp045175.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリ、ixtmsg.dll、nicco5.dll、およびnicinitx.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixn ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045176.compsig; cp045176.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリ、ixtmsg.dll、nicco5.dll、およびnicinitx.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixn ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.197.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045177.compsig; cp045177.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリixtmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixn ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.2.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045178.compsig; cp045178.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン3.14.214.0以降が必要です。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリ、vxnmsg.dll、nicco5.dll、およびnicinvxn.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixn ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.1.192.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045179.compsig; cp045179.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.199.0以降が必要です。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリ、vxnmsg.dll、nicco5.dll、およびnicinvxn.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixn ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 2.1.191.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045180.compsig; cp045180.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.197.0以降が必要です。

修正

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリvxnmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixn ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.19 **(オプション)**
ファイル名: cp045168.compsig; cp045168.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン1.24.16で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 6.5 U3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.04.19 **(オプション)**
ファイル名: cp045167.compsig; cp045167.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン1.24.16で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、カプセル化されたヘッダーが関係するPSODに対処します。
この製品は、トラフィックのスケジューリング中に発生するPSODに対処します。
この製品は、ESXCLIツールによって表示される誤ったMTU値を修正します。
この製品は、Storage vMotion操作中に発生するPSODの問題に対処します。
この製品は、検出タイムアウト、送信スケジューリング、LUNリセットのシナリオの間に発生するPSODに対処します。
この製品は、複雑な仮想LAN環境で動作しているシステムで発生するPSODに対処します。
この製品は、クリティカルパケットドロップのシナリオの間に発生するPSODに対処します。

拡張

この製品は現在、VMware vShere 6.7 U3をサポートしています。
この製品は、複雑なフラッディングや競合状態の問題の処理を改善しました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.04.19 **(オプション)**
ファイル名: cp045166.compsig; cp045166.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン1.24.16で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、カプセル化されたヘッダーが関係するPSODに対処します。
この製品は、トラフィックのスケジューリング中に発生するPSODに対処します。
この製品は、ESXCLIツールによって表示される誤ったMTU値を修正します。
この製品は、Storage vMotion操作中に発生するPSODの問題に対処します。
この製品は、検出タイムアウト、送信スケジューリング、LUNリセットのシナリオの間に発生するPSODに対処します。
この製品は、複雑な仮想LAN環境で動作しているシステムで発生するPSODに対処します。
この製品は、クリティカルパケットドロップのシナリオの間に発生するPSODに対処します。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 7.0 U1をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 7.14.76-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-netxtreme2_bl-7.14.76-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.76-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2_bl-7.14.76-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.76-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RoCE Data Center Quantized Congestion Notification(DCQCN)が有効になっている場合にNPARモードでドライバーのロードに失敗する問題を修正します。
この製品は、RoCEドライバーのみをアンロードおよびリロードするときに発生するシステムクラッシュに対処します。
この製品は、VFおよびRDMAを使用した仮想マシンの複数回のリブート中に発生するシステムクラッシュに対処します。
この製品は、NIC PF上でfw_assertを挿入するときに発生するシステムクラッシュに対処します。
この製品は、iSCSI BFSでのリブート後にシステムがシャットダウンに失敗する問題を修正します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 7.14.76-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-netxtreme2_bl-7.14.76-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.76-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2_bl-7.14.76-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.76-2.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 7.14.76-1 **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RoCE Data Center Quantized Congestion Notification(DCQCN)が有効になっている場合にNPARモードでドライバーのロードに失敗する問題を修正します。
この製品は、RoCEドライバーのみをアンロードおよびリロードするときに発生するシステムクラッシュに対処します。
この製品は、VFおよびRDMAを使用した仮想マシンの複数回のリブート中に発生するシステムクラッシュに対処します。
この製品は、NIC PF上でfw_assertを挿入するときに発生するシステムクラッシュに対処します。
この製品は、iSCSI BFSでのリブート後にシステムがシャットダウンに失敗する問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 7.14.76-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.76_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.76_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.2.3以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RoCE Data Center Quantized Congestion Notification(DCQCN)が有効になっている場合にNPARモードでドライバーのロードに失敗する問題を修正します。
この製品は、RoCEドライバーのみをアンロードおよびリロードするときに発生するシステムクラッシュに対処します。
この製品は、VFおよびRDMAを使用した仮想マシンの複数回のリブート中に発生するシステムクラッシュに対処します。
この製品は、NIC PF上でfw_assertを挿入するときに発生するシステムクラッシュに対処します。
この製品は、iSCSI BFSでのリブート後にシステムがシャットダウンに失敗する問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Edition

バージョン: 7.13.196.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045208.compsig; cp045208.exe

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.2.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、NDISドライバーのアンインストール時に発生するWindows Stopエラー(BSOD)を修正します。
この製品は、システムのネットワークトラフィックの負荷が高い場合に発生するエラーコード7EのBSODを修正します。

拡張

この製品は、Windows Server2016で非SRIOV NICスイッチおよびUDPハッシュのサポートを提供するようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 iSCSI Offload IO Daemon for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名:iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.rhel8u0.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.rhel8u0.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles12sp3.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles12sp3.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles12sp4.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles12sp4.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp0.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp0.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名:iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 214.0.247.1 **(オプション)**
ファイル名: cp041785.compsig; cp041785.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.0.5以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、WindowsハイパーバイザーとWindows VMが使用されているときに.max SRIOV VFがロードされない問題を修正します。
この製品は、VFドライバーが一部のデバイスにインストールされない問題を修正します。
この製品は、より多くのPF-Vportを割り当てるときにFWがハングする問題を修正します
この製品は、HWが突然削除された場合にbonoコマンドがすぐに失敗する問題を修正します
この製品は、SR-IOVが使用されている場合、SFモードで使用可能なVPORTが少ないという問題を修正します。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートしています

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 218.0.32.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045020.compsig; cp045020.exe

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン 、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、使用できないWake-on-LAN(WoL)機能を修正します。
- この製品は、WindowsがホストOSである場合に、特定の仮想OSでVFがロードされない問題を修正します。
- この製品は、IRP SystemBufferアクセスの競合状態によって引き起こされるユーザーモードRDMAのBSoD(Blue Screen of Death)の問題を修正します。
- この製品は、NDISドライバーのアンインストール時に発生するWindows Stop Error BSoD(Blue Screen of Death)を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 218.0.32.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045021.compsig; cp045021.exe

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン 、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、致命的でないエラーの後でシステムが回復するときにシステムがフリーズして再起動する問題を修正します。
- この製品は、Windows 2019でインボックスドライバーのアップデート後に観察されたBSODの問題を修正します。
- この製品は、WindowsがホストOSである場合に、特定の仮想OSでVFがロードされない問題を修正します。
- この製品は、IRP SystemBufferアクセスの競合状態によって引き起こされるユーザーモードRDMAのBSoD(Blue Screen of Death)の問題を修正します。
- この製品は、NDISドライバーのアンインストール時に発生するWindows Stop Error BSoD(Blue Screen of Death)を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 1.10.2-218.0.67.0 **(オプション)**
ファイル名:kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン、218.0.138000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、ブロードキャストトラフィックの実行中にドライバーのアンロードとロードをループで実行するとシステムがクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ifup(ネットワークインターフェイスの起動)の前にbnxt_enモジュールがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します

- この製品は、PCIe AER(Advanced Error Reporting)デバイスの回復が成功した後にカーネルパニックが発生する問題に対処します
- この製品は、SRIOVを有効にするときにbnxt_enがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ethtool -S tx_bytesおよびrx_bytesのカウンター値が実際の値をはるかに超えるエラーを修正します
- この製品は、sysfsを介してVFのhwmon温度を照会する際のエラーメッセージを修正します

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。
- この製品は、ethtoolツールでPAM4速度情報をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 1.10.2-218.0.67.0 **(オプション)**

ファイル名:kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.2-218.0.67.0.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン 、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、ブロードキャストトラフィックの実行中にドライバーのアンロードとロードをループで実行するとシステムがクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ifup(ネットワークインターフェイスの起動)の前にbnxt_enモジュールがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、PCIe AER(Advanced Error Reporting)デバイスの回復が成功した後にカーネルパニックが発生する問題に対処します
- この製品は、SRIOVを有効にするときにbnxt_enがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ethtool -S tx_bytesおよびrx_bytesのカウンター値が実際の値をはるかに超えるエラーを修正します
- この製品は、sysfsを介してVFのhwmon温度を照会する際のエラーメッセージを修正します

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、ethtoolツールでPAM4速度情報をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 1.10.2-218.0.67.0 **(オプション)**

ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_120-218.0.67.0.sles12sp5.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_120-218.0.67.0.sles12sp5.x86_64.rpm; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_94.41-

218.0.67.0.sles12sp4.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_94.41-218.0.67.0.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン 、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、ブロードキャストトラフィックの実行中にドライバーのアンロードとロードをループで実行するとシステムがクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ifup(ネットワークインターフェイスの起動)の前にbnxt_enモジュールがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、PCIe AER(Advanced Error Reporting)デバイスの回復が成功した後にカーネルパニックが発生する問題に対処します
- この製品は、SRIOVを有効にするときにbnxt_enがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ethtool -S tx_bytesおよびrx_bytesのカウンター値が実際の値をはるかに超えるエラーを修正します
- この製品は、sysfsを介してVFのhwmon温度を照会する際のエラーメッセージを修正します

拡張

この製品は、ethtoolツールでPAM4速度情報をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 1.10.2-218.0.67.0 **(オプション)**
ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_195-218.0.67.0.sles15sp1.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k4.12.14_195-218.0.67.0.sles15sp1.x86_64.rpm; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_22-218.0.67.0.sles15sp2.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.2_k5.3.18_22-218.0.67.0.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン 、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

- この製品は、ブロードキャストトラフィックの実行中にドライバーのアンロードとロードをループで実行するとシステムがクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ifup(ネットワークインターフェイスの起動)の前にbnxt_enモジュールがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、PCIe AER(Advanced Error Reporting)デバイスの回復が成功した後にカーネルパニックが発生する問題に対処します
- この製品は、SRIOVを有効にするときにbnxt_enがNULLポインター逆参照でクラッシュする問題に対処します
- この製品は、ethtool -S tx_bytesおよびrx_bytesのカウンター値が実際の値をはるかに超えるエラーを修正します
- この製品は、sysfsを介してVFのhwmon温度を照会する際のエラーメッセージを修正します

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています
- この製品は、ethtoolツールでPAM4速度情報をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045073.compsig; cp045073.zip

重要な注意!

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン 、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

この製品は、リモートダイレクトメモリアクセス(RDMA)トラフィック上で仮想SAN(vSAN)を実行しているときに、無効な完了キュー要素(CQE)が原因でPurple Screen Of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045074.compsig; cp045074.zip

重要な注意!

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン 、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

この製品は、リモートダイレクトメモリアクセス(RDMA)トラフィック上で仮想SAN(vSAN)を実行しているときに、無効な完了キュー要素(CQE)が原因でPurple Screen Of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045075.compsig; cp045075.zip

重要な注意!

- このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。
- このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E*ファームウェアバージョン 、218.0.166000以降を推奨しています。

修正

この製品は、リモートダイレクトメモリアクセス(RDMA)トラフィック上で仮想SAN(vSAN)を実行しているときに、無効な完了キュー要素(CQE)が原因でPurple Screen Of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel7u8.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel7u8.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 7*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

この製品は、rdma-core v29(rdmaユーザースペースアプリケーション)をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel7u9.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel7u9.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 7*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリース

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-rhel8u0.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-rhel8u0.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.1-216.0.169.4以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します

拡張

- この製品は、リンクアグリゲーションが有効になっている場合、VFでのRoCEドライバーのロードを無効にするようになりました
- この製品は、rdma-core v22をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u2.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u2.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u3.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-rhel8u3.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp4.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp4.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

この製品は、rdma-core v29(rdmaユーザースペースアプリケーション)をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp5.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-sles12sp5.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

この製品は、rdma-core v29(rdmaユーザースペースアプリケーション)をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-sles15sp0.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-sles15sp0.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン1.10.1-216.0.169.4以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します。
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します。

拡張

- この製品は、リンクアグリゲーションが有効になっている場合、VFでのRoCEドライバーのロードを無効にするようになりました。
- この製品は、rdma-core v22をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-sles15sp1.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-sles15sp1.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

この製品は、rdma-core v29(rdmaユーザースペースアプリケーション)をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 218.0.7.0 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-218.0.7.0-sles15sp2.x86_64.compsig; libbnxt_re-218.0.7.0-sles15sp2.x86_64.rpm; README

前提条件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン1.10.2-218.0.65.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

拡張

最初のリリース

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Edition

バージョン: 214.0.0.6 **(オプション)**
ファイル名: cp045019.compsig; cp045019.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSのシャットダウン中にWindowsドライバーがNMI/RSODを引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 3.139b-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらの製品は、tg3タイマーが起動したときにすでにダウンしているにもかかわらず、ドライバーがPHY(物理層)にアクセスしようとする競合状態の問題を修正します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 3.139b-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.139b-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらの製品は、tg3タイマーが起動したときにすでにダウンしているにもかかわらず、ドライバーがPHY(物理層)にアクセスしようとする競合状態の問題を修正します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.139b-2 **(オプション)**

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_94.41-2.sles12sp4.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_94.41-2.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらの製品は、tg3タイマーが起動したときにすでにダウンしているにもかかわらず、ドライバーがPHY(物理層)にアクセスしようとする競合状態の問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 3.139b-2 **(オプション)**

ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_195-2.sles15sp1.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k4.12.14_195-2.sles15sp1.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.139b_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.139b_k5.3.18_22-2.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらの製品は、tg3タイマーが起動したときにすでにダウンしているにもかかわらず、ドライバーがPHY(物理層)にアクセスしようとする競合状態の問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**

ファイル名: cp044545.compsig; cp044545.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044546.compsig; cp044546.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1195.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044540.compsig; cp044540.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1195.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044541.compsig; cp044541.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1195.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044542.compsig; cp044542.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1171.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044560.compsig; cp044560.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1171.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044561.compsig; cp044561.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1171.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044562.compsig; cp044562.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8およびRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1以降にbe2netドライバーをインストールするためのelx_net_install.shインストールスクリプトをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 2をサポートしています。

この製品は、SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 1以降にbe2netドライバーをインストールするための elx_net_install.shインストールスクリプトをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044543.compsig; cp044543.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044544.compsig; cp044544.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8およびRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター

- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1342.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Linux (x64)*、バージョン2020.08.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1およびSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E 10Gbコンバージドネットワークアダプター
- HPE CN1200E 10GBASE-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

HPE Intel E1Rドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.14.8.5 **(オプション)**
ファイル名: cp045119.compsig; cp045119.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2012

バージョン: 12.16.3.1 **(オプション)**
ファイル名: cp045120.compsig; cp045120.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.18.11.1 **(オプション)**
ファイル名: cp045121.compsig; cp045121.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64用HPE Intel i40eドライバー

バージョン: 2.13.10-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、LLDP(リンクレイヤー検出プロトコル)エージェントが無効になっている場合に、XDP(eXpress Data Path)プログラムのロード後にサーバーがハングする問題に対処します。
- この製品は、VFが高信頼性モードのとき、VF(仮想機能)のMAC(メディアアクセス制御)アドレスをVM(仮想マシン)から変更できない問題に対処します。
- この製品は、名前空間内にVF(仮想機能)VLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)インターフェースを作成できない問題に対処します。
- この製品は、VSI(Virtual Station Interface)がリセットリカバリモードのとき、ドライバーの削除中にシステムがクラッシュする問題に対処します。
- この製品は、VF(仮想機能)が他のVFからユニキャストパケットを受信する問題に対処します。
- この製品は、インテルnvmupdateユーティリティを使用するとアップデートが終了しないという問題に対処します。
- この製品は、pfドライバー(i40e)の削除中にvfドライバー(iavf)のリセットでカーネルがクラッシュする問題に対処します。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。
- この製品は、ファームウェアLLDP(リンクレイヤー検出プロトコル)エージェントをオンにせずにDCBを使用できる、ソフトウェアDCB(Data Center Bridging)と呼ばれる新機能をサポートしています。
- この製品は、ユーザーがVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)フィールドを指定し、ethtoolを介してFlow Directorに追加できる新機能をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 2.13.10-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、LLDP(リンクレイヤー検出プロトコル)エージェントが無効になっている場合に、XDP(eXpress Data Path)プログラムのロード後にサーバーがハングする問題に対処します。
- この製品は、VFが高信頼性モードのとき、VF(仮想機能)のMAC(メディアアクセス制御)アドレスをVM(仮想マシン)から変更できない問題に対処します。
- この製品は、名前空間内にVF(仮想機能)VLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)インターフェースを作成できない問題に対処します。
- この製品は、VSI(Virtual Station Interface)がリセットリカバリモードのとき、ドライバーの削除中にシステムがクラッシュする問題に対処します。
- この製品は、VF(仮想機能)が他のVFからユニキャストパケットを受信する問題に対処します。
- この製品は、インテルnvmupdateユーティリティを使用するとアップデートが終了しないという問題に対処します。
- この製品は、pfドライバー(i40e)の削除中にvfドライバー(iavf)のリセットでカーネルがクラッシュする問題に対処します。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、ファームウェアLLDP(リンクレイヤー検出プロトコル)エージェントをオンにせずにDCBを使用できる、ソフトウェアDCB(Data Center Bridging)と呼ばれる新機能をサポートしています。
- この製品は、ユーザーがVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)フィールドを指定し、ethtoolを介してFlow Directorに追加できる新機能をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 2.13.10-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、LLDP(リンクレイヤー検出プロトコル)エージェントが無効になっている場合に、XDP(eXpress Data Path)プログラムのロード後にサーバーがハングする問題に対処します。
- この製品は、VFが高信頼性モードのとき、VF(仮想機能)のMAC(メディアアクセス制御)アドレスをVM(仮想マシン)から変更できない問題に対処します。
- この製品は、名前空間内にVF(仮想機能)VLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)インターフェースを作成できない問題に対処します。
- この製品は、VSI(Virtual Station Interface)がリセットリカバリモードのとき、ドライバーの削除中にシステムがクラッシュする問題に対処します。
- この製品は、VF(仮想機能)が他のVFからユニキャストパケットを受信する問題に対処します。
- この製品は、インテルnvmupdateユーティリティを使用するとアップデートが終了しないという問題に対処します。
- この製品は、pfドライバー(i40e)の削除中にvfドライバー(iavf)のリセットでカーネルがクラッシュする問題に対処します。

拡張

- この製品は、ファームウェアLLDP(リンクレイヤー検出プロトコル)エージェントをオンにせずにDCBを使用できる、ソフトウェアDCB(Data Center Bridging)と呼ばれる新機能をサポートしています。
- この製品は、ユーザーがVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)フィールドを指定し、ethtoolを介してFlow Directorに追加できる新機能をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 2.13.10-1 **(オプション)**

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、LLDP(リンクレイヤー検出プロトコル)エージェントが無効になっている場合に、XDP(eXpress Data Path)プログラムのロード後にサーバーがハングする問題に対処します。
- この製品は、VFが高信頼性モードのとき、VF(仮想機能)のMAC(メディアアクセス制御)アドレスをVM(仮想マシン)から変更できない問題に対処します。
- この製品は、名前空間内にVF(仮想機能)VLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)インターフェースを作成できない問題に対処します。
- この製品は、VSI(Virtual Station Interface)がリセットリカバリモードのとき、ドライバーの削除中にシステムがクラッシュする問題に対処します。
- この製品は、VF(仮想機能)が他のVFからユニキャストパケットを受信する問題に対処します。
- この製品は、インテルnvmupdateユーティリティを使用するとアップデートが終了しないという問題に対処します。
- この製品は、pfドライバー(i40e)の削除中にvfドライバー(iavf)のリセットでカーネルがクラッシュする問題に対処します。

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています
- この製品は、ファームウェアLLDP(リンクレイヤー検出プロトコル)エージェントをオンにせずにDCBを使用できる、ソフトウェアDCB(Data Center Bridging)と呼ばれる新機能をサポートしています。
- この製品は、ユーザーがVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)フィールドを指定し、ethtoolを介してFlow Directorに追加できる新機能をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045124.compsig; cp045124.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**

ファイル名: cp045125.compsig; cp045125.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045126.compsig; cp045126.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045127.compsig; cp045127.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045128.compsig; cp045128.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045129.compsig; cp045129.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40enドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp042675.compsig; cp042675.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、PCIデバイス情報がintnetcliコマンドラインインターフェイス(Intel® ESXCLIプラグイン管理ツール)。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Intel i40enドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045743.compsig; cp045743.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.14.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、intnet CLIツールの実行時にPCIアドレス情報を取得する際の問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Intel i40enドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2020.05.29 **(オプション)**
ファイル名: cp041295.compsig; cp041295.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン3.12.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.12.9.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045116.compsig; cp045116.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.13.104.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.12.9.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045011.compsig; cp045011.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.13.104.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.12.9.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045010.compsig; cp045010.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.13.104.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Intel iavfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.0.2-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。
- この製品は、次のサーバーをサポートしました:

  HPE Superdome Flex 280
  HPE Superdome Flexサーバー
  HPE Superdome Flex 2

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavf ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.0.2-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、次のサーバーをサポートしました:

  HPE Superdome Flex 280
  HPE Superdome Flexサーバー
  HPE Superdome Flex 2

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.0.2-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、次のサーバーをサポートしました:

  HPE Superdome Flex 280
  HPE Superdome Flexサーバー
  HPE Superdome Flex 2

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.0.2-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています
- この製品は、次のサーバーをサポートしました:

  HPE Superdome Flex 280
  HPE Superdome Flexサーバー
  HPE Superdome Flex 2

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 6.2.5-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

拡張

- この製品は、*Linux x86_64*用の*HPE Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ、バージョン(またはそれ以降)によるファームウェアのアップデートをサポートするようになりました。
- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 6.2.5-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

拡張

- この製品は、Linux x86_64用のHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ、バージョン(またはそれ以降)によるファームウェアのアップデートをサポートするようになりました。
- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター

- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 6.2.5-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.2.5_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Linux x86_64用のHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ、バージョン(またはそれ以降)によるファームウェアのアップデートをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 6.2.5-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.2.5_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

拡張

- この製品は、Linux x86_64用のHPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ、バージョン(またはそれ以降)によるファームウェアのアップデートをサポートするようになりました。
- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp042677.compsig; cp042677.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン3.14.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、渡されたデュプレックス値の処理に関するESXiコマンドの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp042678.compsig; cp042678.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン3.14.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、渡されたデュプレックス値の処理に関するESXiコマンドの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045339.compsig; cp045339.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.14.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、渡されたデュプレックス値の処理に関するESXiコマンドの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1 Gb 4ポート366i通信ボード

- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-

ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 5.9.4-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp042679.compsig; cp042679.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン3.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、リンクフロー制御設定を実行したときにリンクパートナーから通知される問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp042680.compsig; cp042680.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン3.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、リンクフロー制御設定を実行したときにリンクパートナーから通知される問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2020.05.29 **(オプション)**
ファイル名: cp041297.compsig; cp041297.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*, バージョン3.12.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**

ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**

ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3をサポートしています。
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**

ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.9.3-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Linux x86_64*、バージョン1.21.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています
- この製品は、PF(物理機能)とVF(仮想機能)間の新しいメールボックス通信のサポートを追加することで信頼性を高め、未定義または障害のある動作につながる可能性のある潜在的な欠陥を取り除きます
- この製品は、新しいメールボックスAPI実装が古いドライバーとも互換性を持つように互換性を強化します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.14.214.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042027.compsig; cp042027.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042028.compsig; cp042028.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.197.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp046115.compsig; cp046115.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、アップデートされた.catファイルとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

Windows Server 2012 R2用HPE Intel ixsドライバー

バージョン: 3.14.222.0 **(オプション)**
ファイル名: cp046116.compsig; cp046116.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

Windows Server 2016用HPE Intel ixsドライバー

バージョン: 4.1.219.0 **(オプション)**
ファイル名: cp046117.compsig; cp046117.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

Windows Server 2019用HPE Intel ixsドライバー

バージョン: 4.1.219.0 **(オプション)**
ファイル名: cp046118.compsig; cp046118.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixtドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.14.214.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045117.compsig; cp045117.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0 以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel ixtドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045118.compsig; cp045118.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0 以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel ixtドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.197.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045874.compsig; cp045874.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0 以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

初期バージョン

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.2.199.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp045152.compsig; cp045152.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン3.14.214.0以降が必要です。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixn ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixt ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.1.192.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp045153.compsig; cp045153.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.199.0以降が必要です。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixn ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixt ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 2.1.191.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp046080.compsig; cp046080.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.179.0以降が必要です。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixn ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター

このコンポーネントは、以下のHPE Intel ixt ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

HPE Intel vxsドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.2.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042036.compsig; cp042036.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン3.14.214.0以降が必要です。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel vxsドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 2.1.192.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042037.compsig; cp042037.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.199.0以降が必要です。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel vxsドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 2.1.191.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042038.compsig; cp042038.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.179.0以降が必要です。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Mellanox CX3ドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 5.35.12978.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp040882.compsig; cp040882.exe

拡張

この製品は、現在SynergyおよびBlade Serverのサポートが削除されています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、下記のHPE Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター

HPE Mellanox CX3ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 5.35.12978.0 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp040866.compsig; cp040866.exe

拡張

この製品は、現在SynergyおよびBlade Serverのサポートが削除されています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHP Mellanox CX3ネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2012 R2

バージョン: 2.60.23957.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045130.compsig; cp045130.exe

修正

- この製品は、ND接続の切断中にMellanox NdStatユーティリティ(mlx5cmd -ndstat)を実行すると発生するWindows Stop Error(BSOD)に対処します。
- この製品は、INFファイルが正しくないために発生するドライバーのロードエラーを修正します。
- この製品は、WS2012R2でvSwitchを割り当てることができない問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 1ポート840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 2.60.23957.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045131.compsig; cp045131.exe

修正

- この製品は、ND接続の切断中にMellanox NdStatユーティリティ(mlx5cmd -ndstat)を実行すると発生するWindows Stop Error(BSOD)に対処します。
- この製品は、INFファイルが正しくないために発生するドライバーのロードエラーを修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 1ポート840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 2.60.23957.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045132.compsig; cp045132.exe

修正

- この製品は、ND接続の切断中にMellanox NdStatユーティリティ(mlx5cmd -ndstat)を実行すると発生するWindows Stop Error(BSOD)に対処します。
- この製品は、INFファイルが正しくないために発生するドライバーのロードエラーを修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 1ポート840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8(x86_64)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.16 **(推奨)**
ファイル名:kmod-kernel-mft-mlnx-4.16.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-kernel-mft-mlnx-4.16.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; mft-4.16.0-105.rhel7u8.x86_64.compsig; mft-4.16.0-105.rhel7u8.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1127.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9(x86_64)

バージョン: 4.16 **(推奨)**
ファイル名:kmod-kernel-mft-mlnx-4.16.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-kernel-mft-mlnx-4.16.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; mft-4.16.0-105.rhel7u9.x86_64.compsig; mft-4.16.0-105.rhel7u9.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2(x86_64)

バージョン: 4.16 **(推奨)**
ファイル名:kmod-kernel-mft-mlnx-4.16.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-kernel-mft-mlnx-4.16.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; mft-4.16.0-105.rhel8u2.x86_64.compsig; mft-4.16.0-105.rhel8u2.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 2(x86_64)カーネルは、次の通りです。
4.18.0-147.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3(x86_64)

バージョン: 4.16 **(推奨)**
ファイル名:kmod-kernel-mft-mlnx-4.16.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-kernel-mft-mlnx-4.16.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm; mft-4.16.0-105.rhel8u3.x86_64.compsig; mft-4.16.0-105.rhel8u3.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3(x86_64)カーネルは、次の通りです。
4.18.0-240.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4(AMD64/EM64T)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.16 **(推奨)**
ファイル名:kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.16.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.16.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; mft-4.16.0-105.sles12sp4.x86_64.compsig; mft-4.16.0-105.sles12sp4.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 11 SP4 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-94.41-default および将来のアップデートカーネル。

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5(AMD64/EM64T)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.16 **(推奨)**
ファイル名:kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.16.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.16.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; mft-4.16.0-105.sles12sp5.x86_64.compsig; mft-4.16.0-105.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 11 SP5 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-120-default および将来のアップデートカーネル。

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1(AMD64/EM64T)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.16 **(推奨)**
ファイル名:kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.16.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.16.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; mft-4.16.0-105.sles15sp1.x86_64.compsig; mft-4.16.0-105.sles15sp1.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP0 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-195-default および将来のアップデートカーネル。

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2(AMD64/EM64T)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.16 **(推奨)**
ファイル名:kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.16.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.16.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; mft-4.16.0-105.sles15sp2.x86_64.compsig; mft-4.16.0-105.sles15sp2.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート用のMFT前提条件RPMです。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP0 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-195-default および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)

バージョン: 5.2 **(推奨)**
ファイル名:kmod-mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel7u8.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel7u8.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信レポジトリ(http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.2で修正されました:

- min_rateを少なくとも1つのVFに設定した後、すべてのSR-IOVレガシーVFでmin_rateをクリアしても、QoS min_rateは無効になりませんでした。
- 空の/usr/src/mlnx-ofa_kernel/defaultは作成されなくなりました。
- --add-kernel-supportを使用してメタパッケージを生成した後、レポジトリを介したパッケージのインストールが失敗する問題。これらのメタパッケージのObsoleteヘッダーが過剰で間違っているためにエラーが発生しました。RHEL 8.xシステムの/usr/bin/python3ではなく/bin/python3にmlnx-ofa_kernelパッケージをインストールできるようにしました。
- すべてのIPoIBオフロードパケットが誤ってrx_csum_completeとしてカウントされました。これらのパケットは、rx_csum_unnecessaryパケットとして識別されるようになりました。
- アクション数の異なる複数のルールが同じマッチャーにある場合、mlx5dv_dr_rule_destroyセグメンテーション障害がまれに発生する可能性があります。これは、削除済みのルールメモリをより少ないアクションで再利用した後に発生する可能性があります。
- DSCP(Differentiated Service Code Point)を構成した後にSwitchDevモードに移行する際の問題。
- グローバルなトラフィッククラス構成がDC QP(動的接続キューペア)では有効になりませんでした。
- RDMA CMが使用された場合、レスポンダー側のmin_rnr_timer設定が正しくないためにib_send_bwトラフィックが頻繁にゼロに低下しました。min_rnr_timer設定を非RDMA CMの場合の設定に揃えました。
- VST QinQ機能が有効になっているVFをトラフィックが通過しませんでした。
- Tx VLANオフロードが有効でTSO(TCPセグメンテーションオフロード)またはTx csumが有効になっているGeneve VLANを介してトラフィックが送信された場合、トラフィックがドロップされ、回線に送信されない可能性があります。
- mlnxofed-dpdk-upstream-libsパッケージを手動でインストールするとファームウェアが再起動する問題。
- SLESシステムのrdma-core "dracut"フックのユーティリティパスが正しくなく、"--add rdma"オプションを指定して"dracut"を実行すると次のエラーが発生していました。dracut-install:

        - ERROR: installing '/usr/libexec/mlx4-setup.sh' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/mlx4-setup.sh dracut-install: ERROR: installing '/usr/libexec/rdma-set-sriov-vf' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/rdma-set-sriov-vf
    - sysfsを介して設定した場合、DCTでトラフィッククラス値がアップデートされませんでした。
    - セキュアメモリ暗号化(SME)を使用するAMDプラットフォームでのドアベル喪失の問題。
    - フォーク中にmlx5dv_devx_umem_regを使用したメモリの登録。この修正なしでは、umem_regで登録されたメモリを使用しているときにfork()または類似のシステムコールを使用するアプリケーションは、間違った物理ページマッピングのためにハングする可能性があります。この修正には、IBV_FORK_SAFE環境変数を設定する必要があります。
    - デバイスのバインドを解除すると、次のメッセージがdmesgに出力されました:"failed to disable DC tracer"
    - ファイル/sys/class/net//statistics/ multicastの内容が古く、実際の値よりも低い値が表示されていた可能性があります。
    - ERSPAN(Encapsulated Remote SPAN)プロトコルは、Txチェックサムオフロードをオフにする場合にのみ使用可能でした。
    - 非Mellanoxデバイスの名前が変更される原因となったudevスクリプトの問題。
    - ifconfigの使用時にリプレゼンターの統計情報がありません。
    - リプレゼンターの受信パケットのskbマークの誤った値を修正しました。
    - 2番目のポートのリプレゼンターが最初のポートのリプレゼンターとして命名される問題。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.2の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
    - RxマルチストライドパケットのCQE圧縮のサポート。
    - 単一のQPまたはQPのグループでのQoSの設定。
    - MPLS-over-UDPを介したIPv4トラフィックのハードウェアオフロードのencap/decap。これは、MPLSルーターを備えたネットワークで使用して、より効率的なルーティングを実現できます。
    - あるVFから別のVFにトラフィックを転送するためのVFの接続追跡ルール。
    - sFlowサンプリングルールのオフロード。

ConnectX-5アダプターおよびConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
    - mlx5dv_dr APIを使用してソフトウェアステアリングにルールを並列挿入できるようにするロックメカニズム。並列挿入は挿入速度を向上させ、FDBドメインを介してRxおよびTxルールを追加するときに実行されます。
    - 動的フレックスパーサーを使用してGeneveトンネルでmlx5dv_dr APIを照合するオプション。オプションヘッダーは、クラス、タイプ、長さ、およびデータで構成されます。devxコマンドを使用してパーサーを構成する必要があります。その後、パーサーIDとデータを照合するルールを作成できます。
    - 拡張ヘッダーのマッチングを含む、Geneveトンネリングオフロード。
    - 複数のOVSスレッドを使用したオフロードされたルールの並列挿入と削除。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
    - [ベータ] GTP-U TEIDを変更します。このサポートには、フレックスパーサーの構成が必要です。
    - [ベータ]マルチテーブルフローの一致とアクションを1つの結合フローにマージできるようにすることで、OVS接続追跡フローのパフォーマンスが改善されました。

ConnectX-6 Dx以上のアダプターの場合:

以下の機能のサポートを追加しました。

- CQEの作成時に生成されたタイムスタンプの代わりに、ポートレベルで生成されたタイムスタンプを使用すると、送信パケットのタイムスタンプの精度を向上させることができます。Txポートのタイムスタンプは、パケットの実際の送信時刻をより適切に反映します。この機能はデフォルトで無効になっています。この機能は、次のコマンドを使用して有効または無効にできます。ethtool --set-priv-flags tx_port_ts on / off。
- ハイパーバイザーでソースインターフェイスが(アップリンクに加えて)VFである場合のトンネルルールのオフロード。
- 接続追跡でのミラーリングオフロードの使用。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOフローメーター。これにより、特定のフローのパケットレートを監視できます。フローメーターに接続されているフローにパケットがヒットすると、このメーターを通過するパケットのレートが評価されます。また、基準レートと比較した現在のレートに従って、Cレジスタの1つにコピーされた色でパケットがマークされます。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOファーストヒット。これにより、パケットによるルールヒットの追跡が可能になります。パケットがASOファーストヒットアクションでルールにヒットすると、このイベントを示すフラグが設定され、フラグの元の値がCレジスタの1つにコピーされます。
- 新しいフィールド"gtpu_first_ext_dw_0"を照合するためのmlx5dv_dr APIのサポート。このフィールドは、GTP-Uの最初の拡張ヘッダー(最初のdwordのみ)に基づくパケットフィルタリングを有効にします。トンネルGTP-U拡張ヘッダーの解析を有効にするには、次のコマンドを実行します。./cloud_fw_reset.py FLEX_PARSER_PROFILE_ENABLE=3。

ConnectX-6 Lx以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
    - 拡張シーケンス番号、リプレイ保護ウィンドウ、およびライフタイムパケット制限のIPsecフルオフロードサポート。

すべてのHCAの場合

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 単一のGIDエントリーをそのポートとGIDインデックスによってクエリしたり、特定のデバイスのすべてのGIDテーブルをクエリしたりできる新しいGIDクエリAPI。このAPIはsysfsではなくioctlで機能し、それによってクエリプロセスが高速化されます。
  - デバイスファームウェアをアップグレードするためのマルチホストファームウェアリセットの実行。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされ、リロードされます。
  - [アルファ]ドライバーのファームウェアライブパッチ。ライブパッチは、ファームウェアのリセットを実行せずにファームウェアをアップデートします。ただし、現在のファームウェアバージョンと新しいファームウェアバージョンの違いが小さいシナリオにのみ適用できます。これは、ファームウェア自体によって決定されます。
  - デバイスのファームウェアをアップグレードするためにファームウェアのリセットを実行するためのdevlinkツール。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされます。保留中の新しいファームウェアがない場合は、現在のファームウェアイメージがフラッシュからリロードされます。詳しくは、devlinkのmanページを参照してください。
  - コマンドがタイムアウトした場合にドライバーがコマンドイベントキュー(EQ)を手動でポーリングするための耐障害性メカニズム。割り込みが失われたために未処理になっているイベントキューエントリー(EQE)が耐障害性メカニズムで検出された場合は、ドライバーがそれを処理します。その後、コマンドインターフェイスは正常な状態に戻ります。
  - スニファプライベートフラグの設定は非推奨になり、不要になりました。オフロード/RoCEトラフィックをキャプチャーするために、RDMAデバイスでtcpdumpを実行できるようになりました。
  - ポートごとのヘルスアクティビティを管理するために、devlink healthにポートごとのレポーターを追加しました。ユーザーは、devlink healthコマンドAPIを介してデバイスのdevlink名に加えてポートインデックスを指定することにより、devlinkポートレポーターにアクセスできるようになりました。このアップデートは、iproute2 v5.8で最初に導入されました。この機能の一部として、mlx5e TxおよびRxレポーターがdevlinkポートレポーターとして再定義されました。例については、devlink-healthのmanページを参照してください
  - ヒュージページシステムにおけるメモリ登録のメモリ消費が最適化されました。例として、2MBヒュージページシステムでは、100 GBのメモリ登録で600 MBが節約されます。
  - QPがRTS状態のときに、特定のRC/UC QPのRoCEパケット用に構成済みのUDP送信元ポートを変更するmlx5dv API。
  - PCI帯域幅とCPU使用率を節約することにより、Txデータパスを高速化します。節約は、複数のパケットを単一のWQEに集約することによって実現されます。この機能は、UDPなどの特定のトラフィックタイプに対してxmit_moreによって駆動されます。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1127.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)

バージョン: 5.2 **(推奨)**
ファイル名:kmod-mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel7u9.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel7u9.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信レポジトリ(http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.2で修正されました:

- min_rateを少なくとも1つのVFに設定した後、すべてのSR-IOVレガシーVFでmin_rateをクリアしても、QoS min_rateは無効になりませんでした。
- 空の/usr/src/mlnx-ofa_kernel/defaultは作成されなくなりました。

- --add-kernel-supportを使用してメタパッケージを生成した後、レポジトリを介したパッケージのインストールが失敗する問題。これらのメタパッケージのObsoleteヘッダーが過剰で間違っているためにエラーが発生しました。RHEL 8.xシステムの/usr/bin/python3ではなく/bin/python3にmlnx-ofa_kernelパッケージをインストールできるようにしました。
- すべてのIPoIBオフロードパケットが誤ってrx_csum_completeとしてカウントされました。これらのパケットは、rx_csum_unnecessaryパケットとして識別されるようになりました。
- アクション数の異なる複数のルールが同じマッチャーにある場合、mlx5dv_dr_rule_destroyセグメンテーション障害がまれに発生する可能性があります。これは、削除済みのルールメモリをより少ないアクションで再利用した後に発生する可能性があります。
- DSCP(Differentiated Service Code Point)を構成した後にSwitchDevモードに移行する際の問題。
- グローバルなトラフィッククラス構成がDC QP(動的接続キューペア)では有効になりませんでした。
- RDMA CMが使用された場合、レスポンダー側のmin_rnr_timer設定が正しくないためにib_send_bwトラフィックが頻繁にゼロに低下しました。min_rnr_timer設定を非RDMA CMの場合の設定に揃えました。
- VST QinQ機能が有効になっているVFをトラフィックが通過しませんでした。
- Tx VLANオフロードが有効でTSO(TCPセグメンテーションオフロード)またはTx csumが有効になっているGeneve VLANを介してトラフィックが送信された場合、トラフィックがドロップされ、回線に送信されない可能性があります。
- mlnxofed-dpdk-upstream-libsパッケージを手動でインストールするとファームウェアが再起動する問題。
- SLESシステムのrdma-core "dracut"フックのユーティリティパスが正しくなく、"--add rdma"オプションを指定して"dracut"を実行すると次のエラーが発生していました。dracut-install:
  - ERROR: installing ‘/usr/libexec/mlx4-setup.sh’ dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/mlx4-setup.sh dracut-install: ERROR: installing ‘/usr/libexec/rdma-set-sriov-vf’ dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/rdma-set-sriov-vf
- sysfsを介して設定した場合、DCTでトラフィッククラス値がアップデートされませんでした。
- セキュアメモリ暗号化(SME)を使用するAMDプラットフォームでのドアベル喪失の問題。
- フォーク中にmlx5dv_devx_umem_regを使用したメモリの登録。この修正なしでは、umem_regで登録されたメモリを使用しているときにfork()または類似のシステムコールを使用するアプリケーションは、間違った物理ページマッピングのためにハングする可能性があります。この修正には、IBV_FORK_SAFE環境変数を設定する必要があります。
- デバイスのバインドを解除すると、次のメッセージがdmesgに出力されました:"failed to disable DC tracer"
- ファイル/sys/class/net//statistics/ multicastの内容が古く、実際の値よりも低い値が表示されていた可能性があります。
- ERSPAN(Encapsulated Remote SPAN)プロトコルは、Txチェックサムオフロードをオフにする場合にのみ使用可能でした。
- 非Mellanoxデバイスの名前が変更される原因となったudevスクリプトの問題。
- ifconfigの使用時にリプレゼンターの統計情報がありません。
- リプレゼンターの受信パケットのskbマークの誤った値を修正しました。
- 2番目のポートのリプレゼンターが最初のポートのリプレゼンターとして命名される問題。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.2の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - Rxマルチストライドパケットの圧縮のサポート。
  - 単一のQPまたはQPのグループでのQoSの設定。
  - MPLS-over-UDPを介したIPv4トラフィックのハードウェアオフロードのencap/decap。これは、MPLSルーターを備えたネットワークで使用して、より効率的なルーティングを実現できます。
  - あるVFから別のVFにトラフィックを転送するためのVFの接続追跡ルール。
  - sFlowサンプリングルールのオフロード。

ConnectX-5アダプターおよびConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - mlx5dv_dr APIを使用してソフトウェアステアリングにルールを並列挿入できるようにするロックメカニズム。並列挿入は挿入速度を向上させ、FDBドメインを介してRxおよびTxルールを追加するときに実行されます。
  - 動的フレックスパーサーを使用してGeneveトンネルでmlx5dv_dr APIを照合するオプション。オプションヘッダーは、クラス、タイプ、長さ、およびデータで構成されます。devxコマンドを使用してパーサーを構成する必要があります。その後、パーサーIDとデータを照合するルールを作成できます。
  - 拡張ヘッダーのマッチングを含む、Geneveトンネリングオフロード。
  - 複数のOVSスレッドを使用したオフロードされたルールの並列挿入と削除。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - [ベータ] GTP-U TEIDを変更します。このサポートには、フレックスパーサーの構成が必要です。
  - [ベータ]マルチテーブルフローの一致とアクションを1つの結合フローにマージできるようにすることで、OVS接続追跡フローのパフォーマンスが改善されました。

ConnectX-6 Dx以上のアダプターの場合:

以下の機能のサポートを追加しました。

- CQEの作成時に生成されたタイムスタンプの代わりに、ポートレベルで生成されたタイムスタンプを使用すると、送信パケットのタイムスタンプの精度を向上させることができます。Txポートのタイムスタンプは、パケットの実際の送信時刻をより適切に

反映します。この機能はデフォルトで無効になっています。この機能は、次のコマンドを使用して有効または無効にできます。ethtool --set-priv-flags tx_port_ts on / off。
- ハイパーバイザーでソースインターフェイスが(アップリンクに加えて)VFである場合のトンネルルールのオフロード。
- 接続追跡でのミラーリングオフロードの使用。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOフローメーター。これにより、特定のフローのパケットレートを監視できます。フローメーターに接続されているフローにパケットがヒットすると、このメーターを通過するパケットのレートが評価されます。また、基準レートと比較した現在のレートに従って、Cレジスタの1つにコピーされた色でパケットがマークされます。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOファーストヒット。これにより、パケットによるルールヒットの追跡が可能になります。パケットがASOファーストヒットアクションでルールにヒットすると、このイベントを示すフラグが設定され、フラグの元の値がCレジスタの1つにコピーされます。
- 新しいフィールド"gtpu_first_ext_dw_0"を照合するためのmlx5dv_dr APIのサポート。このフィールドは、GTP-Uの最初の拡張ヘッダー(最初のdwordのみ)に基づくパケットフィルタリングを有効にします。トンネルGTP-U拡張ヘッダーの解析を有効にするには、次のコマンドを実行します。./cloud_fw_reset.py FLEX_PARSER_PROFILE_ENABLE=3。

ConnectX-6 Lx以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 拡張シーケンス番号、リプレイ保護ウィンドウ、およびライフタイムパケット制限のIPsecフルオフロードサポート。

すべてのHCAの場合

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 単一のGIDエントリーをそのポートとGIDインデックスによってクエリしたり、特定のデバイスのすべてのGIDテーブルをクエリしたりできる新しいGIDクエリAPI。このAPIはsysfsではなくioctlで機能し、それによってクエリプロセスが高速化されます。
  - デバイスファームウェアをアップグレードするためのマルチホストファームウェアリセットの実行。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされ、リロードされます。
  - [アルファ]ドライバーのファームウェアライブパッチ。ライブパッチは、ファームウェアのリセットを実行せずにファームウェアをアップデートします。ただし、現在のファームウェアバージョンと新しいファームウェアバージョンの違いが小さいシナリオにのみ適用できます。これは、ファームウェア自体によって決定されます。
  - デバイスのファームウェアをアップグレードするためにファームウェアのリセットを実行するためのdevlinkツール。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされます。保留中の新しいファームウェアがない場合は、現在のファームウェアイメージがフラッシュからリロードされます。詳しくは、devlinkのmanページを参照してください。
  - コマンドがタイムアウトした場合にドライバーがコマンドイベントキュー(EQ)を手動でポーリングするための耐障害性メカニズム。割り込みが失われたために未処理になっているイベントキューエントリー(EQE)が耐障害性メカニズムで検出された場合は、ドライバーがそれを処理します。その後、コマンドインターフェイスは正常な状態に戻ります。
  - スニファプライベートフラグの設定は非推奨になり、不要になりました。オフロード/RoCEトラフィックをキャプチャーするために、RDMAデバイスでtcpdumpを実行できるようになりました。
  - ポートごとのヘルスアクティビティを管理するために、devlink healthにポートごとのレポーターを追加しました。ユーザーは、devlink healthコマンドAPIを介してデバイスのdevlink名に加えてポートインデックスを指定することにより、devlinkポートレポーターにアクセスできるようになりました。このアップデートは、iproute2 v5.8で最初に導入されました。この機能の一部として、mlx5e TxおよびRxレポーターがdevlinkポートレポーターとして再定義されました。例については、devlink-healthのmanページを参照してください
  - ヒュージページシステムにおけるメモリ登録のメモリ消費が最適化されました。例として、2MBヒュージページシステムでは、100 GBのメモリ登録で600 MBが節約されます。
  - QPがRTS状態のときに、特定のRC/UC QPのRoCEパケット用に構成済みのUDP送信元ポートを変更するmlx5dv API。
  - PCI帯域幅とCPU使用率を節約することにより、Txデータパスを高速化します。節約は、複数のパケットを単一のWQEに集約することによって実現されます。この機能は、UDPなどの特定のトラフィックタイプに対してxmit_moreによって駆動されます。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2 (x86_64)

バージョン: 5.2 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel8u2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel8u2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel8u2.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED

VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ
("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.2で修正されました:

- min_rateを少なくとも1つのVFに設定した後、すべてのSR-IOVレガシーVFでmin_rateをクリアしても、QoS min_rateは無効になりませんでした。
- 空の/usr/src/mlnx-ofa_kernel/defaultは作成されなくなりました。
- --add-kernel-supportを使用してメタパッケージを生成した後、レポジトリを介したパッケージのインストールが失敗する問題。これらのメタパッケージのObsoleteヘッダーが過剰で間違っているためにエラーが発生しました。RHEL 8.xシステムの/usr/bin/python3ではなく/bin/python3にmlnx-ofa_kernelパッケージをインストールできるようにしました。
- すべてのIPoIBオフロードパケットが誤ってrx_csum_completeとしてカウントされました。これらのパケットは、rx_csum_unnecessaryパケットとして識別されるようになりました。
- アクション数の異なる複数のルールが同じマッチャーにある場合、mlx5dv_dr_rule_destroyセグメンテーション障害がまれに発生する可能性があります。これは、削除済みのルールメモリをより少ないアクションで再利用した後に発生する可能性があります。
- DSCP(Differentiated Service Code Point)を構成した後にSwitchDevモードに移行する際の問題。
- グローバルなトラフィッククラス構成がDC QP(動的接続キューペア)では有効になりませんでした。
- RDMA CMが使用された場合、レスポンダー側のmin_rnr_timer設定が正しくないためにib_send_bwトラフィックが頻繁にゼロに低下しました。min_rnr_timer設定を非RDMA CMの場合の設定に揃えました。
- VST QinQ機能が有効になっているVFをトラフィックが通過しませんでした。
- Tx VLANオフロードが有効でTSO(TCPセグメンテーションオフロード)またはTx csumが有効になっているGeneve VLANを介してトラフィックが送信された場合、トラフィックがドロップされ、回線に送信されない可能性があります。
- mlnxofed-dpdk-upstream-libsパッケージを手動でインストールするとファームウェアが再起動する問題。
- SLESシステムのrdma-core "dracut"フックのユーティリティパスが正しくなく、"--add rdma"オプションを指定して"dracut"を実行すると次のエラーが発生していました。dracut-install:
  - ERROR: installing '/usr/libexec/mlx4-setup.sh' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/mlx4-setup.sh dracut-install: ERROR: installing '/usr/libexec/rdma-set-sriov-vf' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/rdma-set-sriov-vf
- sysfsを介して設定した場合、DCTでトラフィッククラス値がアップデートされませんでした。
- セキュアメモリ暗号化(SME)を使用するAMDプラットフォームでのドアベル喪失の問題。
- フォーク中にmlx5dv_devx_umem_regを使用したメモリの登録。この修正なしでは、umem_regで登録されたメモリを使用しているときにfork()または類似のシステムコールを使用するアプリケーションは、間違った物理ページマッピングのためにハングする可能性があります。この修正には、IBV_FORK_SAFE環境変数を設定する必要があります。
- デバイスのバインドを解除すると、次のメッセージがdmesgに出力されました:"failed to disable DC tracer"
- ファイル/sys/class/net//statistics/ multicastの内容が古く、実際の値よりも低い値が表示されていた可能性があります。
- ERSPAN(Encapsulated Remote SPAN)プロトコルは、Txチェックサムオフロードをオフにする場合にのみ使用可能でした。
- 非Mellanoxデバイスの名前が変更される原因となったudevスクリプトの問題。
- ifconfigの使用時にリプレゼンターの統計情報がありません。
- リプレゼンターの受信パケットのskbマークの誤った値を修正しました。
- 2番目のポートのリプレゼンターが最初のポートのリプレゼンターとして命名される問題。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.2の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - RxマルチストライドパケットのCQE圧縮のサポート。
  - 単一のQPまたはQPのグループでのQoSの設定。
  - MPLS-over-UDPを介したIPv4トラフィックのハードウェアオフロードのencap/decap。これは、MPLSルーターを備えたネットワークで使用して、より効率的なルーティングを実現できます。
  - あるVFから別のVFにトラフィックを転送するためのVFの接続追跡ルール。
  - sFlowサンプリングルールのオフロード。

ConnectX-5アダプターおよびConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - mlx5dv_dr APIを使用してソフトウェアステアリングにルールを並列挿入できるようにするロックメカニズム。並列挿入は挿入速度を向上させ、FDBドメインを介してRxおよびTxルールを追加するときに実行されます。

- 動的フレックスパーサーを使用してGeneveトンネルでmlx5dv_dr APIを照合するオプション。オプションヘッダーは、クラス、タイプ、長さ、およびデータで構成されます。devxコマンドを使用してパーサーを構成する必要があります。その後、パーサーIDとデータを照合するルールを作成できます。
- 拡張ヘッダーのマッチングを含む、Geneveトンネリングオフロード。
- 複数のOVSスレッドを使用したオフロードされたルールの並列挿入と削除。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - [ベータ] GTP-U TEIDを変更します。このサポートには、フレックスパーサーの構成が必要です。
  - [ベータ]マルチテーブルフローの一致とアクションを1つの結合フローにマージできるようにすることで、OVS接続追跡フローのパフォーマンスが改善されました。

ConnectX-6 Dx以上のアダプターの場合:

以下の機能のサポートを追加しました。

- CQEの作成時に生成されたタイムスタンプの代わりに、ポートレベルで生成されたタイムスタンプを使用すると、送信パケットのタイムスタンプの精度を向上させることができます。Txポートのタイムスタンプは、パケットの実際の送信時刻をより適切に反映します。この機能はデフォルトで無効になっています。この機能は、次のコマンドを使用して有効または無効にできます。ethtool --set-priv-flags tx_port_ts on / off。
- ハイパーバイザーでソースインターフェイスが(アップリンクに加えて)VFである場合のトンネルルールのオフロード。
- 接続追跡でのミラーリングオフロードの使用。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOフローメーター。これにより、特定のフローのパケットレートを監視できます。フローメーターに接続されているフローにパケットがヒットすると、このメーターを通過するパケットのレートが評価されます。また、基準レートと比較した現在のレートに従って、Cレジスタの1つにコピーされた色でパケットがマークされます。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOファーストヒット。これにより、パケットによるルールヒットの追跡が可能になります。パケットがASOファーストヒットアクションでルールにヒットすると、このイベントを示すフラグが設定され、フラグの元の値がCレジスタの1つにコピーされます。
- 新しいフィールド"gtpu_first_ext_dw_0"を照合するためのmlx5dv_dr APIのサポート。このフィールドは、GTP-Uの最初の拡張ヘッダー(最初のdwordのみ)に基づくパケットフィルタリングを有効にします。トンネルGTP-U拡張ヘッダーの解析を有効にするには、次のコマンドを実行します。./cloud_fw_reset.py FLEX_PARSER_PROFILE_ENABLE=3。

ConnectX-6 Lx以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 拡張シーケンス番号、リプレイ保護ウィンドウ、およびライフタイムパケット制限のIPsecフルオフロードサポート。

すべてのHCAの場合

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 単一のGIDエントリーをそのポートとGIDインデックスによってクエリしたり、特定のデバイスのすべてのGIDテーブルをクエリしたりできる新しいGIDクエリAPI。このAPIはsysfsではなくioctlで機能し、それによってクエリプロセスが高速化されます。
  - デバイスファームウェアをアップグレードするためのマルチホストファームウェアリセットの実行。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされ、リロードされます。
  - [アルファ]ドライバーのファームウェアライブパッチ。ライブパッチは、ファームウェアのリセットを実行せずにファームウェアをアップデートします。ただし、現在のファームウェアバージョンと新しいファームウェアバージョンの違いが小さいシナリオにのみ適用できます。これは、ファームウェア自体によって決定されます。
  - デバイスのファームウェアをアップグレードするためにファームウェアのリセットを実行するためのdevlinkツール。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされます。保留中の新しいファームウェアがない場合は、現在のファームウェアイメージがフラッシュからリロードされます。詳しくは、devlinkのmanページを参照してください。
  - コマンドがタイムアウトした場合にドライバーがコマンドイベントキュー(EQ)を手動でポーリングするための耐障害性メカニズム。割り込みが失われたために未処理になっているイベントキューエントリー(EQE)が耐障害性メカニズムで検出された場合は、ドライバーがそれを処理します。その後、コマンドインターフェイスは正常な状態に戻ります。
  - スニファプライベートフラグの設定は非推奨になり、不要になりました。オフロード/RoCEトラフィックをキャプチャーするために、RDMAデバイスでtcpdumpを実行できるようになりました。
  - ポートごとのヘルスアクティビティを管理するために、devlink healthにポートごとのレポーターを追加しました。ユーザーは、devlink healthコマンドAPIを介してデバイスのdevlink名に加えてポートインデックスを指定することにより、devlinkポートレポーターにアクセスできるようになりました。このアップデートは、iproute2 v5.8で最初に導入されました。この機能の一部として、mlx5e TxおよびRxレポーターがdevlinkポートレポーターとして再定義されました。例については、devlink-healthのmanページを参照してください
  - ヒュージページシステムにおけるメモリ登録のメモリ消費が最適化されました。例として、2MBヒュージページシステムでは、100 GBのメモリ登録で600 MBが節約されます。
  - QPがRTS状態のときに、特定のRC/UC QPのRoCEパケット用に構成済みのUDP送信元ポートを変更するmlx5dv API。
  - PCI帯域幅とCPU使用率を節約することにより、Txデータパスを高速化します。節約は、複数のパケットを単一のWQEに集約することによって実現されます。この機能は、UDPなどの特定のトラフィックタイプに対してxmit_moreによって駆動されます。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 2(x86_64)カーネルは、次の通りです。
4.18.0-193.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)Driver for Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3 (x86_64)

バージョン: 5.2 **(推奨)**
ファイル名:kmod-mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel8u3.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel8u3.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.2で修正されました:

- min_rateを少なくとも1つのVFに設定した後、すべてのSR-IOVレガシーVFでmin_rateをクリアしても、QoS min_rateは無効になりませんでした。
- 空の/usr/src/mlnx-ofa_kernel/defaultは作成されなくなりました。
- --add-kernel-supportを使用してメタパッケージを生成した後、レポジトリを介したパッケージのインストールが失敗する問題。これらのメタパッケージのObsoleteヘッダーが過剰で間違っているためにエラーが発生しました。RHEL 8.xシステムの/usr/bin/python3ではなく/bin/python3にmlnx-ofa_kernelパッケージをインストールできるようにしました。
- すべてのIPoIBオフロードパケットが誤ってrx_csum_completeとしてカウントされました。これらのパケットは、rx_csum_unnecessaryパケットとして識別されるようになりました。
- アクション数の異なる複数のルールが同じマッチャーにある場合、mlx5dv_dr_rule_destroyセグメンテーション障害がまれに発生する可能性があります。これは、削除済みのルールメモリをより少ないアクションで再利用した後に発生する可能性があります。
- DSCP(Differentiated Service Code Point)を構成した後にSwitchDevモードに移行する際の問題。
- グローバルなトラフィッククラス構成がDC QP(動的接続キューペア)では有効になりませんでした。
- RDMA CMが使用された場合、レスポンダー側のmin_rnr_timer設定が正しくないためにib_send_bwトラフィックが頻繁にゼロに低下しました。min_rnr_timer設定を非RDMA CMの場合の設定に揃えました。
- VST QinQ機能が有効になっているVFをトラフィックが通過しませんでした。
- Tx VLANオフロードが有効でTSO(TCPセグメンテーションオフロード)またはTx csumが有効になっているGeneve VLANを介してトラフィックが送信された場合、トラフィックがドロップされ、回線に送信されない可能性があります。
- mlnxofed-dpdk-upstream-libsパッケージを手動でインストールするとファームウェアが再起動する問題。
- SLESシステムのrdma-core "dracut"フックのユーティリティパスが正しくなく、"--add rdma"オプションを指定して"dracut"を実行すると次のエラーが発生していました。dracut-install:
  - ERROR: installing '/usr/libexec/mlx4-setup.sh' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/mlx4-setup.sh dracut-install: ERROR: installing '/usr/libexec/rdma-set-sriov-vf' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/rdma-set-sriov-vf
- sysfsを介して設定した場合、DCTでトラフィッククラス値がアップデートされませんでした。
- セキュアメモリ暗号化(SME)を使用するAMDプラットフォームでのドアベル喪失の問題。
- フォーク中にmlx5dv_devx_umem_regを使用したメモリの登録。この修正なしでは、umem_regで登録されたメモリを使用しているときにfork()または類似のシステムコールを使用するアプリケーションは、間違った物理ページマッピングのためにハングする可能性があります。この修正には、IBV_FORK_SAFE環境変数を設定する必要があります。
- デバイスのバインドを解除すると、次のメッセージがdmesgに出力されました:"failed to disable DC tracer"
- ファイル/sys/class/net//statistics/ multicastの内容が古く、実際の値よりも低い値が表示されていた可能性があります。
- ERSPAN(Encapsulated Remote SPAN)プロトコルは、Txチェックサムオフロードをオフにする場合にのみ使用可能でした。
- 非Mellanoxデバイスの名前が変更される原因となったudevスクリプトの問題。
- ifconfigの使用時にリプレゼンターの統計情報がありません。
- リプレゼンターの受信パケットのskbマークの誤った値を修正しました。
- 2番目のポートのリプレゼンターが最初のポートのリプレゼンターとして命名される問題。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.2の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - RxマルチストライドパケットのCQE圧縮のサポート。
  - 単一のQPまたはQPのグループでのQoSの設定。
  - MPLS-over-UDPを介したIPv4トラフィックのハードウェアオフロードのencap/decap。これは、MPLSルーターを備えたネットワークで使用して、より効率的なルーティングを実現できます。
  - あるVFから別のVFにトラフィックを転送するためのVFの接続追跡ルール。
  - sFlowサンプリングルールのオフロード。

ConnectX-5アダプターおよびConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - mlx5dv_dr APIを使用してソフトウェアステアリングにルールを並列挿入できるようにするロックメカニズム。並列挿入は挿入速度を向上させ、FDBドメインを介してRxおよびTxルールを追加するときに実行されます。
  - 動的フレックスパーサーを使用してGeneveトンネルでmlx5dv_dr APIを照合するオプション。オプションヘッダーは、クラス、タイプ、長さ、およびデータで構成されます。devxコマンドを使用してパーサーを構成する必要があります。その後、パーサーIDとデータを照合するルールを作成できます。
  - 拡張ヘッダーのマッチングを含む、Geneveトンネリングオフロード。
  - 複数のOVSスレッドを使用したオフロードされたルールの並列挿入と削除。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - [ベータ] GTP-U TEIDを変更します。このサポートには、フレックスパーサーの構成が必要です。
  - [ベータ]マルチテーブルフローの一致とアクションを1つの結合フローにマージできるようにすることで、OVS接続追跡フローのパフォーマンスが改善されました。

ConnectX-6 Dx以上のアダプターの場合:

以下の機能のサポートを追加しました。

- CQEの作成時に生成されたタイムスタンプの代わりに、ポートレベルで生成されたタイムスタンプを使用すると、送信パケットのタイムスタンプの精度を向上させることができます。Txポートのタイムスタンプは、パケットの実際の送信時刻をより適切に反映します。この機能はデフォルトで無効になっています。この機能は、次のコマンドを使用して有効または無効にできます。ethtool --set-priv-flags tx_port_ts on / off。
- ハイパーバイザーでソースインターフェイスが(アップリンクに加えて)VFである場合のトンネルルールのオフロード。
- 接続追跡でのミラーリングオフロードの使用。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOフローメーター。これにより、特定のフローのパケットレートを監視できます。フローメーターに接続されているフローにパケットがヒットすると、このメーターを通過するパケットのレートが評価されます。また、基準レートと比較した現在のレートに従って、Cレジスタの1つにコピーされた色でパケットがマークされます。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOファーストヒット。これにより、パケットによるルールヒットの追跡が可能になります。パケットがASOファーストヒットアクションでルールにヒットすると、このイベントを示すフラグが設定され、フラグの元の値がCレジスタの1つにコピーされます。
- 新しいフィールド"gtpu_first_ext_dw_0"を照合するためのmlx5dv_dr APIのサポート。このフィールドは、GTP-Uの最初の拡張ヘッダー(最初のdwordのみ)に基づくパケットフィルタリングを有効にします。トンネルGTP-U拡張ヘッダーの解析を有効にするには、次のコマンドを実行します。./cloud_fw_reset.py FLEX_PARSER_PROFILE_ENABLE=3。

ConnectX-6 Lx以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 拡張シーケンス番号、リプレイ保護ウィンドウ、およびライフタイムパケット制限のIPsecフルオフロードサポート。

すべてのHCAの場合

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 単一のGIDエントリーをそのポートとGIDインデックスによってクエリしたり、特定のデバイスのすべてのGIDテーブルをクエリしたりできる新しいGIDクエリAPI。このAPIはsysfsではなくioctlで機能し、それによってクエリプロセスが高速化されます。
  - デバイスファームウェアをアップグレードするためのマルチホストファームウェアリセットの実行。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされ、リロードされます。
  - [アルファ]ドライバーのファームウェアライブパッチ。ライブパッチは、ファームウェアのリセットを実行せずにファームウェアをアップデートします。ただし、現在のファームウェアバージョンと新しいファームウェアバージョンの違いが小さいシナリオにのみ適用できます。これは、ファームウェア自体によって決定されます。
  - デバイスのファームウェアをアップグレードするためにファームウェアのリセットを実行するためのdevlinkツール。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされます。保留中の新しいファームウェアがない場合は、現在のファームウェアイメージがフラッシュからリロードされます。詳しくは、devlinkのmanページを参照してください。
  - コマンドがタイムアウトした場合にドライバーがコマンドイベントキュー(EQ)を手動でポーリングするための耐障害性メカニズム。割り込みが失われたために未処理になっているイベントキューエントリー(EQE)が耐障害性メカニズムで検

出された場合は、ドライバーがそれを処理します。その後、コマンドインターフェイスは正常な状態に戻ります。
- スニファプライベートフラグの設定は非推奨になり、不要になりました。オフロード/RoCEトラフィックをキャプチャーするために、RDMAデバイスでtcpdumpを実行できるようになりました。
- ポートごとのヘルスアクティビティを管理するために、devlink healthにポートごとのレポーターを追加しました。ユーザーは、devlink healthコマンドAPIを介してデバイスのdevlink名に加えてポートインデックスを指定することにより、devlinkポートレポーターにアクセスできるようになりました。このアップデートは、iproute2 v5.8で最初に導入されました。この機能の一部として、mlx5e TxおよびRxレポーターがdevlinkポートレポーターとして再定義されました。例については、devlink-healthのmanページを参照してください
- ヒュージページシステムにおけるメモリ登録のメモリ消費が最適化されました。例として、2MBヒュージページシステムでは、100 GBのメモリ登録で600 MBが節約されます。
- QPがRTS状態のときに、特定のRC/UC QPのRoCEパケット用に構成済みのUDP送信元ポートを変更するmlx5dv API。
- PCI帯域幅とCPU使用率を節約することにより、Txデータパスを高速化します。節約は、複数のパケットを単一のWQEに集約することによって実現されます。この機能は、UDPなどの特定のトラフィックタイプに対してxmit_moreによって駆動されます。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 3(x86_64)カーネルは、次の通りです。
4.18.0-240.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.2 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.sles12sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.2_k4.12.14_94.41-OFED.5.2.1.0.4.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.2_k4.12.14_94.41-OFED.5.2.1.0.4.1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信レポジトリ(http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.2で修正されました:

- min_rateを少なくとも1つのVFに設定した後、すべてのSR-IOVレガシーVFでmin_rateをクリアしても、QoS min_rateは無効になりませんでした。
- 空の/usr/src/mlnx-ofa_kernel/defaultは作成されなくなりました。
- --add-kernel-supportを使用してメタパッケージを生成した後、レポジトリを介したパッケージのインストールが失敗する問題。これらのメタパッケージのObsoleteヘッダーが過剰で間違っているためにエラーが発生しました。RHEL 8.xシステムの/usr/bin/python3ではなく/bin/python3にmlnx-ofa_kernelパッケージをインストールできるようにしました。
- すべてのIPoIBオフロードパケットが誤ってrx_csum_completeとしてカウントされました。これらのパケットは、rx_csum_unnecessaryパケットとして識別されるようになりました。
- アクション数の異なる複数のルールが同じマッチャーにある場合、mlx5dv_dr_rule_destroyセグメンテーション障害がまれに発生する可能性があります。これは、削除済みのルールメモリをより少ないアクションで再利用した後に発生する可能性があります。
- DSCP(Differentiated Service Code Point)を構成した後にSwitchDevモードに移行する際の問題。
- グローバルなトラフィッククラス構成がDC QP(動的接続キューペア)では有効になりませんでした。
- RDMA CMが使用された場合、レスポンダー側のmin_rnr_timer設定が正しくないためにib_send_bwトラフィックが頻繁にゼロに低下しました。min_rnr_timer設定を非RDMA CMの場合の設定に揃えました。
- VST QinQ機能が有効になっているVFをトラフィックが通過しませんでした。
- Tx VLANオフロードが有効でTSO(TCPセグメンテーションオフロード)またはTx csumが有効になっているGeneve VLANを介してトラフィックが送信された場合、トラフィックがドロップされ、回線に送信されない可能性があります。
- mlnxofed-dpdk-upstream-libsパッケージを手動でインストールするとファームウェアが再起動する問題。

- SLESシステムのrdma-core "dracut"フックのユーティリティパスが正しくなく、"--add rdma"オプションを指定して"dracut"を実行すると次のエラーが発生していました。dracut-install:
  - ERROR: installing '/usr/libexec/mlx4-setup.sh' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/mlx4-setup.sh dracut-install: ERROR: installing '/usr/libexec/rdma-set-sriov-vf' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/rdma-set-sriov-vf
- sysfsを介して設定した場合、DCTでトラフィッククラス値がアップデートされませんでした。
- セキュアメモリ暗号化(SME)を使用するAMDプラットフォームでのドアベル喪失の問題。
- フォーク中にmlx5dv_devx_umem_regを使用したメモリの登録。この修正なしでは、umem_regで登録されたメモリを使用しているときにfork()または類似のシステムコールを使用するアプリケーションは、間違った物理ページマッピングのためにハングする可能性があります。この修正には、IBV_FORK_SAFE環境変数を設定する必要があります。
- デバイスのバインドを解除すると、次のメッセージがdmesgに出力されました:"failed to disable DC tracer"
- ファイル/sys/class/net//statistics/ multicastの内容が古く、実際の値よりも低い値が表示されていた可能性があります。
- ERSPAN(Encapsulated Remote SPAN)プロトコルは、Txチェックサムオフロードをオフにする場合にのみ使用可能でした。
- 非Mellanoxデバイスの名前が変更される原因となったudevスクリプトの問題。
- ifconfigの使用時にリプレゼンターの統計情報がありません。
- リプレゼンターの受信パケットのskbマークの誤った値を修正しました。
- 2番目のポートのリプレゼンターが最初のポートのリプレゼンターとして命名される問題。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.2の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - RxマルチストライドパケットのCQE圧縮のサポート。
  - 単一のQPまたはQPのグループでのQoSの設定。
  - MPLS-over-UDPを介したIPv4トラフィックのハードウェアオフロードのencap/decap。これは、MPLSルーターを備えたネットワークで使用して、より効率的なルーティングを実現できます。
  - あるVFから別のVFにトラフィックを転送するためのVFの接続追跡ルール。
  - sFlowサンプリングルールのオフロード。

ConnectX-5アダプターおよびConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - mlx5dv_dr APIを使用してソフトウェアステアリングにルールを並列挿入できるようにするロックメカニズム。並列挿入は挿入速度を向上させ、FDBドメインを介してRxおよびTxルールを追加するときに実行されます。
  - 動的フレックスパーサーを使用してGeneveトンネルでmlx5dv_dr APIを照合するオプション。オプションヘッダーは、クラス、タイプ、長さ、およびデータで構成されます。devxコマンドを使用してパーサーを構成する必要があります。その後、パーサーIDとデータを照合するルールを作成できます。
  - 拡張ヘッダーのマッチングを含む、Geneveトンネリングオフロード。
  - 複数のOVSスレッドを使用したオフロードされたルールの並列挿入と削除。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - [ベータ] GTP-U TEIDを変更します。このサポートには、フレックスパーサーの構成が必要です。
  - [ベータ]マルチテーブルフローの一致とアクションを1つの結合フローにマージできるようにすることで、OVS接続追跡フローのパフォーマンスが改善されました。

ConnectX-6 Dx以上のアダプターの場合:

以下の機能のサポートを追加しました。

- CQEの作成時に生成されたタイムスタンプの代わりに、ポートレベルで生成されたタイムスタンプを使用すると、送信パケットのタイムスタンプの精度を向上させることができます。Txポートのタイムスタンプは、パケットの実際の送信時刻をより適切に反映します。この機能はデフォルトで無効になっています。この機能は、次のコマンドを使用して有効または無効にできます。ethtool --set-priv-flags tx_port_ts on / off。
- ハイパーバイザーでソースインターフェイスが(アップリンクに加えて)VFである場合のトンネルルールのオフロード。
- 接続追跡でのミラーリングオフロードの使用。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOフローメーター。これにより、特定のフローのパケットレートを監視できます。フローメーターに接続されているフローにパケットがヒットすると、このメーターを通過するパケットのレートが評価されます。また、基準レートと比較した現在のレートに従って、Cレジスタの1つにコピーされた色でパケットがマークされます。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOファーストヒット。これにより、パケットによるルールヒットの追跡が可能になります。パケットがASOファーストヒットアクションでルールにヒットすると、このイベントを示すフラグが設定され、フラグの元の値がCレジスタの1つにコピーされます。
- 新しいフィールド"gtpu_first_ext_dw_0"を照合するためのmlx5dv_dr APIのサポート。このフィールドは、GTP-Uの最初の拡張ヘッダー(最初のdwordのみ)に基づくパケットフィルタリングを有効にします。トンネルGTP-U拡張ヘッダーの解析を有効にするには、次のコマンドを実行します。./cloud_fw_reset.py FLEX_PARSER_PROFILE_ENABLE=3。

ConnectX-6 Lx以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。

- 拡張シーケンス番号、リプレイ保護ウィンドウ、およびライフタイムパケット制限のIPsecフルオフロードサポート。

すべてのHCAの場合

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 単一のGIDエントリーをそのポートとGIDインデックスによってクエリしたり、特定のデバイスのすべてのGIDテーブルをクエリしたりできる新しいGIDクエリAPI。このAPIはsysfsではなくioctlで機能し、それによってクエリプロセスが高速化されます。
  - デバイスファームウェアをアップグレードするためのマルチホストファームウェアリセットの実行。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされ、リロードされます。
  - [アルファ]ドライバーのファームウェアライブパッチ。ライブパッチは、ファームウェアのリセットを実行せずにファームウェアをアップデートします。ただし、現在のファームウェアバージョンと新しいファームウェアバージョンの違いが小さいシナリオにのみ適用できます。これは、ファームウェア自体によって決定されます。
  - デバイスのファームウェアをアップグレードするためにファームウェアのリセットを実行するためのdevlinkツール。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされます。保留中の新しいファームウェアがない場合は、現在のファームウェアイメージがフラッシュからリロードされます。詳しくは、devlinkのmanページを参照してください。
  - コマンドがタイムアウトした場合にドライバーがコマンドイベントキュー(EQ)を手動でポーリングするための耐障害性メカニズム。割り込みが失われたために未処理になっているイベントキューエントリー(EQE)が耐障害性メカニズムで検出された場合は、ドライバーがそれを処理します。その後、コマンドインターフェイスは正常な状態に戻ります。
  - スニファプライベートフラグの設定は非推奨になり、不要になりました。オフロード/RoCEトラフィックをキャプチャーするために、RDMAデバイスでtcpdumpを実行できるようになりました。
  - ポートごとのヘルスアクティビティを管理するために、devlink healthにポートごとのレポーターを追加しました。ユーザーは、devlink healthコマンドAPIを介してデバイスのdevlink名に加えてポートインデックスを指定することにより、devlinkポートレポーターにアクセスできるようになりました。このアップデートは、iproute2 v5.8で最初に導入されました。この機能の一部として、mlx5e TxおよびRxレポーターがdevlinkポートレポーターとして再定義されました。例については、devlink-healthのmanページを参照してください
  - ヒュージページシステムにおけるメモリ登録のメモリ消費が最適化されました。例として、2MBヒュージページシステムでは、100 GBのメモリ登録で600 MBが節約されます。
  - QPがRTS状態のときに、特定のRC/UC QPのRoCEパケット用に構成済みのUDP送信元ポートを変更するmlx5dv API。
  - PCI帯域幅とCPU使用率を節約することにより、Txデータパスを高速化します。節約は、複数のパケットを単一のWQEに集約することによって実現されます。この機能は、UDPなどの特定のトラフィックタイプに対してxmit_moreによって駆動されます。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 11 SP4 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-94.41-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.2 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.2_k4.12.14_120-OFED.5.2.1.0.4.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.2_k4.12.14_120-OFED.5.2.1.0.4.1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信レポジトリ(http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.2で修正されました:

- min_rateを少なくとも1つのVFに設定した後、すべてのSR-IOVレガシーVFでmin_rateをクリアしても、QoS min_rateは無効になりませんでした。
- 空の/usr/src/mlnx-ofa_kernel/defaultは作成されなくなりました。
- --add-kernel-supportを使用してメタパッケージを生成した後、レポジトリを介したパッケージのインストールが失敗する問題。これらのメタパッケージのObsoleteヘッダーが過剰で間違っているためにエラーが発生しました。RHEL 8.xシステムの/usr/bin/python3ではなく/bin/python3にmlnx-ofa_kernelパッケージをインストールできるようにしました。
- すべてのIPoIBオフロードパケットが誤ってrx_csum_completeとしてカウントされました。これらのパケットは、rx_csum_unnecessaryパケットとして識別されるようになりました。
- アクション数の異なる複数のルールが同じマッチャーにある場合、mlx5dv_dr_rule_destroyセグメンテーション障害がまれに発生する可能性があります。これは、削除済みのルールメモリをより少ないアクションで再利用した後に発生する可能性があります。
- DSCP(Differentiated Service Code Point)を構成した後にSwitchDevモードに移行する際の問題。
- グローバルなトラフィッククラス構成がDC QP(動的接続キューペア)では有効になりませんでした。
- RDMA CMが使用された場合、レスポンダー側のmin_rnr_timer設定が正しくないためにib_send_bwトラフィックが頻繁にゼロに低下しました。min_rnr_timer設定を非RDMA CMの場合の設定に揃えました。
- VST QinQ機能が有効になっているVFをトラフィックが通過しませんでした。
- Tx VLANオフロードが有効でTSO(TCPセグメンテーションオフロード)またはTx csumが有効になっているGeneve VLANを介してトラフィックが送信された場合、トラフィックがドロップされ、回線に送信されない可能性があります。
- mlnxofed-dpdk-upstream-libsパッケージを手動でインストールするとファームウェアが再起動する問題。
- SLESシステムのrdma-core "dracut"フックのユーティリティパスが正しくなく、"--add rdma"オプションを指定して"dracut"を実行すると次のエラーが発生していました。dracut-install:
  - ERROR: installing '/usr/libexec/mlx4-setup.sh' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/mlx4-setup.sh dracut-install: ERROR: installing '/usr/libexec/rdma-set-sriov-vf' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/rdma-set-sriov-vf
- sysfsを介して設定した場合、DCTでトラフィッククラス値がアップデートされませんでした。
- セキュアメモリ暗号化(SME)を使用するAMDプラットフォームでのドアベル喪失の問題。
- フォーク中にmlx5dv_devx_umem_regを使用したメモリの登録。この修正なしでは、umem_regで登録されたメモリを使用しているときにfork()または類似のシステムコールを使用するアプリケーションは、間違った物理ページマッピングのためにハングする可能性があります。この修正には、IBV_FORK_SAFE環境変数を設定する必要があります。
- デバイスのバインドを解除すると、次のメッセージがdmesgに出力されました:"failed to disable DC tracer"
- ファイル/sys/class/net//statistics/ multicastの内容が古く、実際の値よりも低い値が表示されていた可能性があります。
- ERSPAN(Encapsulated Remote SPAN)プロトコルは、Txチェックサムオフロードをオフにする場合にのみ使用可能でした。
- 非Mellanoxデバイスの名前が変更される原因となったudevスクリプトの問題。
- ifconfigの使用時にリプレゼンターの統計情報がありません。
- リプレゼンターの受信パケットのskbマークの誤った値を修正しました。
- 2番目のポートのリプレゼンターが最初のポートのリプレゼンターとして命名される問題。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.2の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - RxマルチストライドパケットのCQE圧縮のサポート。
  - 単一のQPまたはQPのグループでのQoSの設定。
  - MPLS-over-UDPを介したIPv4トラフィックのハードウェアオフロードのencap/decap。これは、MPLSルーターを備えたネットワークで使用して、より効率的なルーティングを実現できます。
  - あるVFから別のVFにトラフィックを転送するためのVFの接続追跡ルール。
  - sFlowサンプリングルールのオフロード。

ConnectX-5アダプターおよびConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - mlx5dv_dr APIを使用してソフトウェアステアリングにルールを並列挿入できるようにするロックメカニズム。並列挿入は挿入速度を向上させ、FDBドメインを介してRxおよびTxルールを追加するときに実行されます。
  - 動的フレックスパーサーを使用してGeneveトンネルでmlx5dv_dr APIを照合するオプション。オプションヘッダーは、クラス、タイプ、長さ、およびデータで構成されます。devxコマンドを使用してパーサーを構成する必要があります。その後、パーサーIDとデータを照合するルールを作成できます。
  - 拡張ヘッダーのマッチングを含む、Geneveトンネリングオフロード。
  - 複数のOVSスレッドを使用したオフロードされたルールの並列挿入と削除。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - [ベータ] GTP-U TEIDを変更します。このサポートには、フレックスパーサーの構成が必要です。
  - [ベータ]マルチテーブルフローの一致とアクションを1つの結合フローにマージできるようにすることで、OVS接続追跡フローのパフォーマンスが改善されました。

ConnectX-6 Dx以上のアダプターの場合:

以下の機能のサポートを追加しました。

- CQEの作成時に生成されたタイムスタンプの代わりに、ポートレベルで生成されたタイムスタンプを使用すると、送信パケットのタイムスタンプの精度を向上させることができます。Txポートのタイムスタンプは、パケットの実際の送信時刻をより適切に反映します。この機能はデフォルトで無効になっています。この機能は、次のコマンドを使用して有効または無効にできます。ethtool --set-priv-flags tx_port_ts on / off。
- ハイパーバイザーでソースインターフェイスが(アップリンクに加えて)VFである場合のトンネルルールのオフロード。
- 接続追跡でのミラーリングオフロードの使用。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOフローメーター。これにより、特定のフローのパケットレートを監視できます。フローメーターに接続されているフローにパケットがヒットすると、このメーターを通過するパケットのレートが評価されます。また、基準レートと比較した現在のレートに従って、Cレジスタの1つにコピーされた色でパケットがマークされます。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOファーストヒット。これにより、パケットによるルールヒットの追跡が可能になります。パケットがASOファーストヒットアクションでルールにヒットすると、このイベントを示すフラグが設定され、フラグの元の値がCレジスタの1つにコピーされます。
- 新しいフィールド"gtpu_first_ext_dw_0"を照合するためのmlx5dv_dr APIのサポート。このフィールドは、GTP-Uの最初の拡張ヘッダー(最初のdwordのみ)に基づくパケットフィルタリングを有効にします。トンネルGTP-U拡張ヘッダーの解析を有効にするには、次のコマンドを実行します。./cloud_fw_reset.py FLEX_PARSER_PROFILE_ENABLE=3。

ConnectX-6 Lx以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 拡張シーケンス番号、リプレイ保護ウィンドウ、およびライフタイムパケット制限のIPsecフルオフロードサポート。

すべてのHCAの場合

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 単一のGIDエントリーをそのポートとGIDインデックスによってクエリしたり、特定のデバイスのすべてのGIDテーブルをクエリしたりできる新しいGIDクエリAPI。このAPIはsysfsではなくioctlで機能し、それによってクエリプロセスが高速化されます。
  - デバイスファームウェアをアップグレードするためのマルチホストファームウェアリセットの実行。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされ、リロードされます。
  - [アルファ]ドライバーのファームウェアライブパッチ。ライブパッチは、ファームウェアのリセットを実行せずにファームウェアをアップデートします。ただし、現在のファームウェアバージョンと新しいファームウェアバージョンの違いが小さいシナリオにのみ適用できます。これは、ファームウェア自体によって決定されます。
  - デバイスのファームウェアをアップグレードするためにファームウェアのリセットを実行するためのdevlinkツール。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされます。保留中の新しいファームウェアがない場合は、現在のファームウェアイメージがフラッシュからリロードされます。詳しくは、devlinkのmanページを参照してください。
  - コマンドがタイムアウトした場合にドライバーがコマンドイベントキュー(EQ)を手動でポーリングするための耐障害性メカニズム。割り込みが失われたために未処理になっているイベントキューエントリー(EQE)が耐障害性メカニズムで検出された場合は、ドライバーがそれを処理します。その後、コマンドインターフェイスは正常な状態に戻ります。
  - スニファプライベートフラグの設定は非推奨になり、不要になりました。オフロード/RoCEトラフィックをキャプチャーするために、RDMAデバイスでtcpdumpを実行できるようになりました。
  - ポートごとのヘルスアクティビティを管理するために、devlink healthにポートごとのレポーターを追加しました。ユーザーは、devlink healthコマンドAPIを介してデバイスのdevlink名に加えてポートインデックスを指定することにより、devlinkポートレポーターにアクセスできるようになりました。このアップデートは、iproute2 v5.8で最初に導入されました。この機能の一部として、mlx5e TxおよびRxレポーターがdevlinkポートレポーターとして再定義されました。例については、devlink-healthのmanページを参照してください
  - ヒュージページシステムにおけるメモリ登録のメモリ消費が最適化されました。例として、2MBヒュージページシステムでは、100 GBのメモリ登録で600 MBが節約されます。
  - QPがRTS状態のときに、特定のRC/UC QPのRoCEパケット用に構成済みのUDP送信元ポートを変更するmlx5dv API。
  - PCI帯域幅とCPU使用率を節約することにより、Txデータパスを高速化します。節約は、複数のパケットを単一のWQEに集約することによって実現されます。この機能は、UDPなどの特定のトラフィックタイプに対してxmit_moreによって駆動されます。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 11 SP5 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-120-default - (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP1(AMD64/EM64T)

バージョン: 5.2 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.sles15sp1.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.2_k4.12.14_195-OFED.5.2.1.0.4.1.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.2_k4.12.14_195-OFED.5.2.1.0.4.1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信レポジトリ(http://downloads.linux.hpe.com/SDR/repo/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

SLES15SP1へのPythonの依存関係の詳細については、次のアドバイザリを参照してください。
https://si.houston.hpecorp.net/si/DocumentationRequests/details.aspx?DRId=SID5293&slim=yes&offset=0

修正

以下の問題点がバージョン5.2で修正されました:

- min_rateを少なくとも1つのVFに設定した後、すべてのSR-IOVレガシーVFでmin_rateをクリアしても、QoS min_rateは無効になりませんでした。
- 空の/usr/src/mlnx-ofa_kernel/defaultは作成されなくなりました。
- --add-kernel-supportを使用してメタパッケージを生成した後、レポジトリを介したパッケージのインストールが失敗する問題。これらのメタパッケージのObsoleteヘッダーが過剰で間違っているためにエラーが発生しました。RHEL 8.xシステムの/usr/bin/python3ではなく/bin/python3にmlnx-ofa_kernelパッケージをインストールできるようにしました。
- すべてのIPoIBオフロードパケットが誤ってrx_csum_completeとしてカウントされました。これらのパケットは、rx_csum_unnecessaryパケットとして識別されるようになりました。
- アクション数の異なる複数のルールが同じマッチャーにある場合、mlx5dv_dr_rule_destroyセグメンテーション障害がまれに発生する可能性があります。これは、削除済みのルールメモリをより少ないアクションで再利用した後に発生する可能性があります。
- DSCP(Differentiated Service Code Point)を構成した後にSwitchDevモードに移行する際の問題。
- グローバルなトラフィッククラス構成がDC QP(動的接続キューペア)では有効になりませんでした。
- RDMA CMが使用された場合、レスポンダー側のmin_rnr_timer設定が正しくないためにib_send_bwトラフィックが頻繁にゼロに低下しました。min_rnr_timer設定を非RDMA CMの場合の設定に揃えました。
- VST QinQ機能が有効になっているVFをトラフィックが通過しませんでした。
- Tx VLANオフロードが有効でTSO(TCPセグメンテーションオフロード)またはTx csumが有効になっているGeneve VLANを介してトラフィックが送信された場合、トラフィックがドロップされ、回線に送信されない可能性があります。
- mlnxofed-dpdk-upstream-libsパッケージを手動でインストールするとファームウェアが再起動する問題。
- SLESシステムのrdma-core "dracut"フックのユーティリティパスが正しくなく、"--add rdma"オプションを指定して"dracut"を実行すると次のエラーが発生していました。dracut-install:
  - ERROR: installing '/usr/libexec/mlx4-setup.sh' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/mlx4-setup.sh dracut-install: ERROR: installing '/usr/libexec/rdma-set-sriov-vf' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/rdma-set-sriov-vf
- sysfsを介して設定した場合、DCTでトラフィッククラス値がアップデートされませんでした。
- セキュアメモリ暗号化(SME)を使用するAMDプラットフォームでのドアベル喪失の問題。
- フォーク中にmlx5dv_devx_umem_regを使用したメモリの登録。この修正なしでは、umem_regで登録されたメモリを使用しているときにfork()または類似のシステムコールを使用するアプリケーションは、間違った物理ページマッピングのためにハングする可能性があります。この修正には、IBV_FORK_SAFE環境変数を設定する必要があります。
- デバイスのバインドを解除すると、次のメッセージがdmesgに出力されました:"failed to disable DC tracer"
- ファイル/sys/class/net//statistics/ multicastの内容が古く、実際の値よりも低い値が表示されていた可能性があります。
- ERSPAN(Encapsulated Remote SPAN)プロトコルは、Txチェックサムオフロードをオフにする場合にのみ使用可能でした。
- 非Mellanoxデバイスの名前が変更される原因となったudevスクリプトの問題。
- ifconfigの使用時にリプレゼンターの統計情報がありません。
- リプレゼンターの受信パケットのskbマークの誤った値を修正しました。
- 2番目のポートのリプレゼンターが最初のポートのリプレゼンターとして命名される問題。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.2の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - RxマルチストライドパケットのCQE圧縮のサポート。
  - 単一のQPまたはQPのグループでのQoSの設定。
  - MPLS-over-UDPを介したIPv4トラフィックのハードウェアオフロードのencap/decap。これは、MPLSルーターを備えたネットワークで使用して、より効率的なルーティングを実現できます。
  - あるVFから別のVFにトラフィックを転送するためのVFの接続追跡ルール。

        - sFlowサンプリングルールのオフロード。

ConnectX-5アダプターおよびConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
    - mlx5dv_dr APIを使用してソフトウェアステアリングにルールを並列挿入できるようにするロックメカニズム。並列挿入は挿入速度を向上させ、FDBドメインを介してRxおよびTxルールを追加するときに実行されます。
    - 動的フレックスパーサーを使用してGeneveトンネルでmlx5dv_dr APIを照合するオプション。オプションヘッダーは、クラス、タイプ、長さ、およびデータで構成されます。devxコマンドを使用してパーサーを構成する必要があります。その後、パーサーIDとデータを照合するルールを作成できます。
    - 拡張ヘッダーのマッチングを含む、Geneveトンネリングオフロード。
    - 複数のOVSスレッドを使用したオフロードされたルールの並列挿入と削除。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
    - [ベータ] GTP-U TEIDを変更します。このサポートには、フレックスパーサーの構成が必要です。
    - [ベータ]マルチテーブルフローの一致とアクションを1つの結合フローにマージできるようにすることで、OVS接続追跡フローのパフォーマンスが改善されました。

ConnectX-6 Dx以上のアダプターの場合:

以下の機能のサポートを追加しました。

- CQEの作成時に生成されたタイムスタンプの代わりに、ポートレベルで生成されたタイムスタンプを使用すると、送信パケットのタイムスタンプの精度を向上させることができます。Txポートのタイムスタンプは、パケットの実際の送信時刻をより適切に反映します。この機能はデフォルトで無効になっています。この機能は、次のコマンドを使用して有効または無効にできます。ethtool --set-priv-flags tx_port_ts on / off。
- ハイパーバイザーでソースインターフェイスが(アップリンクに加えて)VFである場合のトンネルルールのオフロード。
- 接続追跡でのミラーリングオフロードの使用。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOフローメーター。これにより、特定のフローのパケットレートを監視できます。フローメーターに接続されているフローにパケットがヒットすると、このメーターを通過するパケットのレートが評価されます。また、基準レートと比較した現在のレートに従って、Cレジスタの1つにコピーされた色でパケットがマークされます。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOファーストヒット。これにより、パケットによるルールヒットの追跡が可能になります。パケットがASOファーストヒットアクションでルールにヒットすると、このイベントを示すフラグが設定され、フラグの元の値がCレジスタの1つにコピーされます。
- 新しいフィールド"gtpu_first_ext_dw_0"を照合するためのmlx5dv_dr APIのサポート。このフィールドは、GTP-Uの最初の拡張ヘッダー(最初のdwordのみ)に基づくパケットフィルタリングを有効にします。トンネルGTP-U拡張ヘッダーの解析を有効にするには、次のコマンドを実行します。./cloud_fw_reset.py FLEX_PARSER_PROFILE_ENABLE=3。

ConnectX-6 Lx以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
    - 拡張シーケンス番号、リプレイ保護ウィンドウ、およびライフタイムパケット制限のIPsecフルオフロードサポート。

すべてのHCAの場合

- 以下の機能のサポートを追加しました。
    - 単一のGIDエントリーをそのポートとGIDインデックスによってクエリしたり、特定のデバイスのすべてのGIDテーブルをクエリしたりできる新しいGIDクエリAPI。このAPIはsysfsではなくioctlで機能し、それによってクエリプロセスが高速化されます。
    - デバイスファームウェアをアップグレードするためのマルチホストファームウェアリセットの実行。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされ、リロードされます。
    - [アルファ]ドライバーのファームウェアライブパッチ。ライブパッチは、ファームウェアのリセットを実行せずにファームウェアをアップデートします。ただし、現在のファームウェアバージョンと新しいファームウェアバージョンの違いが小さいシナリオにのみ適用できます。これは、ファームウェア自体によって決定されます。
    - デバイスのファームウェアをアップグレードするためにファームウェアのリセットを実行するためのdevlinkツール。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされます。保留中の新しいファームウェアがない場合は、現在のファームウェアイメージがフラッシュからリロードされます。詳しくは、devlinkのmanページを参照してください。
    - コマンドがタイムアウトした場合にドライバーがコマンドイベントキュー(EQ)を手動でポーリングするための耐障害性メカニズム。割り込みが失われたために未処理になっているイベントキューエントリー(EQE)が耐障害性メカニズムで検出された場合は、ドライバーがそれを処理します。その後、コマンドインターフェイスは正常な状態に戻ります。
    - スニファプライベートフラグの設定は非推奨になり、不要になりました。オフロード/RoCEトラフィックをキャプチャーするために、RDMAデバイスでtcpdumpを実行できるようになりました。
    - ポートごとのヘルスアクティビティを管理するために、devlink healthにポートごとのレポーターを追加しました。ユーザーは、devlink healthコマンドAPIを介してデバイスのdevlink名に加えてポートインデックスを指定することにより、devlinkポートレポーターにアクセスできるようになりました。このアップデートは、iproute2 v5.8で最初に導入されました。この機能の一部として、mlx5e TxおよびRxレポーターがdevlinkポートレポーターとして再定義されました。例については、devlink-healthのmanページを参照してください
    - ヒュージページシステムにおけるメモリ登録のメモリ消費が最適化されました。例として、2MBヒュージページシステムでは、100 GBのメモリ登録で600 MBが節約されます。
    - QPがRTS状態のときに、特定のRC/UC QPのRoCEパケット用に構成済みのUDP送信元ポートを変更するmlx5dv API。

- PCI帯域幅とCPU使用率を節約することにより、Txデータパスを高速化します。節約は、複数のパケットを単一のWQEに集約することによって実現されます。この機能は、UDPなどの特定のトラフィックタイプに対してxmit_moreによって駆動されます。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP1 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-195-default - (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.2 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.2-OFED.5.2.1.0.4.1.sles15sp2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.2_k5.3.18_22-OFED.5.2.1.0.4.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.2_k5.3.18_22-OFED.5.2.1.0.4.1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.2で修正されました:

- min_rateを少なくとも1つのVFに設定した後、すべてのSR-IOVレガシーVFでmin_rateをクリアしても、QoS min_rateは無効になりませんでした。
- 空の/usr/src/mlnx-ofa_kernel/defaultは作成されなくなりました。
- --add-kernel-supportを使用してメタパッケージを生成した後、レポジトリを介したパッケージのインストールが失敗する問題。これらのメタパッケージのObsoleteヘッダーが過剰で間違っているためにエラーが発生しました。RHEL 8.xシステムの/usr/bin/python3ではなく/bin/python3にmlnx-ofa_kernelパッケージをインストールできるようにしました。
- すべてのIPoIBオフロードパケットが誤ってrx_csum_completeとしてカウントされました。これらのパケットは、rx_csum_unnecessaryパケットとして識別されるようになりました。
- アクション数の異なる複数のルールが同じマッチャーにある場合、mlx5dv_dr_rule_destroyセグメンテーション障害がまれに発生する可能性があります。これは、削除済みのルールメモリをより少ないアクションで再利用した後に発生する可能性があります。
- DSCP(Differentiated Service Code Point)を構成した後にSwitchDevモードに移行する際の問題。
- グローバルなトラフィッククラス構成がDC QP(動的接続キューペア)では有効になりませんでした。
- RDMA CMが使用された場合、レスポンダー側のmin_rnr_timer設定が正しくないためにib_send_bwトラフィックが頻繁にゼロに低下しました。min_rnr_timer設定を非RDMA CMの場合の設定に揃えました。
- VST QinQ機能が有効になっているVFをトラフィックが通過しませんでした。
- Tx VLANオフロードが有効でTSO(TCPセグメンテーションオフロード)またはTx csumが有効になっているGeneve VLANを介してトラフィックが送信された場合、トラフィックがドロップされ、回線に送信されない可能性があります。
- mlnxofed-dpdk-upstream-libsパッケージを手動でインストールするとファームウェアが再起動する問題。
- SLESシステムのrdma-core "dracut"フックのユーティリティパスが正しくなく、"--add rdma"オプションを指定して"dracut"を実行すると次のエラーが発生していました。dracut-install:
  - ERROR: installing '/usr/libexec/mlx4-setup.sh' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/mlx4-setup.sh dracut-install: ERROR: installing '/usr/libexec/rdma-set-sriov-vf' dracut: /usr/lib/dracut/dracut-install -D /var/tmp/dracut.UdCOSJ/ initramfs /usr/libexec/rdma-set-sriov-vf
- sysfsを介して設定した場合、DCTでトラフィッククラス値がアップデートされませんでした。
- セキュアメモリ暗号化(SME)を使用するAMDプラットフォームでのドアベル喪失の問題。
- フォーク中にmlx5dv_devx_umem_regを使用したメモリの登録。この修正なしでは、umem_regで登録されたメモリを使用しているときにfork()または類似のシステムコールを使用するアプリケーションは、間違った物理ページマッピングのためにハングする可能性があります。この修正には、IBV_FORK_SAFE環境変数を設定する必要があります。
- デバイスのバインドを解除すると、次のメッセージがdmesgに出力されました:"failed to disable DC tracer"

- ファイル/sys/class/net//statistics/ multicastの内容が古く、実際の値よりも低い値が表示されていた可能性があります。
- ERSPAN(Encapsulated Remote SPAN)プロトコルは、Txチェックサムオフロードをオフにする場合にのみ使用可能でした。
- 非Mellanoxデバイスの名前が変更される原因となったudevスクリプトの問題。
- ifconfigの使用時にリプレゼンターの統計情報がありません。
- リプレゼンターの受信パケットのskbマークの誤った値を修正しました。
- 2番目のポートのリプレゼンターが最初のポートのリプレゼンターとして命名される問題。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.2の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - RxマルチストライドパケットのCQE圧縮のサポート。
  - 単一のQPまたはQPのグループでのQoSの設定。
  - MPLS-over-UDPを介したIPv4トラフィックのハードウェアオフロードのencap/decap。これは、MPLSルーターを備えたネットワークで使用して、より効率的なルーティングを実現できます。
  - あるVFから別のVFにトラフィックを転送するためのVFの接続追跡ルール。
  - sFlowサンプリングルールのオフロード。

ConnectX-5アダプターおよびConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - mlx5dv_dr APIを使用してソフトウェアステアリングにルールを並列挿入できるようにするロックメカニズム。並列挿入は挿入速度を向上させ、FDBドメインを介してRxおよびTxルールを追加するときに実行されます。
  - 動的フレックスパーサーを使用してGeneveトンネルでmlx5dv_dr APIを照合するオプション。オプションヘッダーは、クラス、タイプ、長さ、およびデータで構成されます。devxコマンドを使用してパーサーを構成する必要があります。その後、パーサーIDとデータを照合するルールを作成できます。
  - 拡張ヘッダーのマッチングを含む、Geneveトンネリングオフロード。
  - 複数のOVSスレッドを使用したオフロードされたルールの並列挿入と削除。

ConnectX-6 Dxアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - [ベータ] GTP-U TEIDを変更します。このサポートには、フレックスパーサーの構成が必要です。
  - [ベータ]マルチテーブルフローの一致とアクションを1つの結合フローにマージできるようにすることで、OVS接続追跡フローのパフォーマンスが改善されました。

ConnectX-6 Dx以上のアダプターの場合:

以下の機能のサポートを追加しました。

- CQEの作成時に生成されたタイムスタンプの代わりに、ポートレベルで生成されたタイムスタンプを使用すると、送信パケットのタイムスタンプの精度を向上させることができます。Txポートのタイムスタンプは、パケットの実際の送信時刻をより適切に反映します。この機能はデフォルトで無効になっています。この機能は、次のコマンドを使用して有効または無効にできます。ethtool --set-priv-flags tx_port_ts on / off。
- ハイパーバイザーでソースインターフェイスが(アップリンクに加えて)VFである場合のトンネルルールのオフロード。
- 接続追跡でのミラーリングオフロードの使用。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOフローメーター。これにより、特定のフローのパケットレートを監視できます。フローメーターに接続されているフローにパケットがヒットすると、このメーターを通過するパケットのレートが評価されます。また、基準レートと比較した現在のレートに従って、Cレジスタの1つにコピーされた色でパケットがマークされます。
- mlx5dv_dr APIを使用したASOファーストヒット。これにより、パケットによるルールヒットの追跡が可能になります。パケットがASOファーストヒットアクションでルールにヒットすると、このイベントを示すフラグが設定され、フラグの元の値がCレジスタの1つにコピーされます。
- 新しいフィールド"gtpu_first_ext_dw_0"を照合するためのmlx5dv_dr APIのサポート。このフィールドは、GTP-Uの最初の拡張ヘッダー(最初のdwordのみ)に基づくパケットフィルタリングを有効にします。トンネルGTP-U拡張ヘッダーの解析を有効にするには、次のコマンドを実行します。./cloud_fw_reset.py FLEX_PARSER_PROFILE_ENABLE=3。

ConnectX-6 Lx以上のアダプターの場合:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 拡張シーケンス番号、リプレイ保護ウィンドウ、およびライフタイムパケット制限のIPsecフルオフロードサポート。

すべてのHCAの場合

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 単一のGIDエントリーをそのポートとGIDインデックスによってクエリしたり、特定のデバイスのすべてのGIDテーブルをクエリしたりできる新しいGIDクエリAPI。このAPIはsysfsではなくioctlで機能し、それによってクエリプロセスが高速化されます。
  - デバイスファームウェアをアップグレードするためのマルチホストファームウェアリセットの実行。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされ、リロードされます。

- [アルファ]ドライバーのファームウェアライブパッチ。ライブパッチは、ファームウェアのリセットを実行せずにファームウェアをアップデートします。ただし、現在のファームウェアバージョンと新しいファームウェアバージョンの違いが小さいシナリオにのみ適用できます。これは、ファームウェア自体によって決定されます。
- デバイスのファームウェアをアップグレードするためにファームウェアのリセットを実行するためのdevlinkツール。ファームウェアのリセットでは、新しいファームウェアがフラッシュに書き込まれてアクティブ化が保留されていた場合、新しいファームウェアがロードされます。保留中の新しいファームウェアがない場合は、現在のファームウェアイメージがフラッシュからリロードされます。詳しくは、devlinkのmanページを参照してください。
- コマンドがタイムアウトした場合にドライバーがコマンドイベントキュー(EQ)を手動でポーリングするための耐障害性メカニズム。割り込みが失われたために未処理になっているイベントキューエントリー(EQE)が耐障害性メカニズムで検出された場合は、ドライバーがそれを処理します。その後、コマンドインターフェイスは正常な状態に戻ります。
- スニファプライベートフラグの設定は非推奨になり、不要になりました。オフロード/RoCEトラフィックをキャプチャーするために、RDMAデバイスでtcpdumpを実行できるようになりました。
- ポートごとのヘルスアクティビティを管理するために、devlink healthにポートごとのレポーターを追加しました。ユーザーは、devlink healthコマンドAPIを介してデバイスのdevlink名に加えてポートインデックスを指定することにより、devlinkポートレポーターにアクセスできるようになりました。このアップデートは、iproute2 v5.8で最初に導入されました。この機能の一部として、mlx5e TxおよびRxレポーターがdevlinkポートレポーターとして再定義されました。例については、devlink-healthのmanページを参照してください
- ヒュージページシステムにおけるメモリ登録のメモリ消費が最適化されました。例として、2MBヒュージページシステムでは、100 GBのメモリ登録で600 MBが節約されます。
- QPがRTS状態のときに、特定のRC/UC QPのRoCEパケット用に構成済みのUDP送信元ポートを変更するmlx5dv API。
- PCI帯域幅とCPU使用率を節約することにより、Txデータパスを高速化します。節約は、複数のパケットを単一のWQEに集約することによって実現されます。この機能は、UDPなどの特定のトラフィックタイプに対してxmit_moreによって駆動されます。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
5.3.18-22-default - (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HP Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)

バージョン: 4.9 (A) **(推奨)**
ファイル名:kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.rhel7u8.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.rhel7u8.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題を修正しました:“EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver” was fixed.
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例: "eth8@0000:af:00.3".
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。

- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題を修正しました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記: カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。

        - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
        - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
        - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
        - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。
        roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
    - ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

    - **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1127.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)

バージョン: 4.9 **(推奨)**
ファイル名:kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.rhel7u9.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.rhel7u9.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題を修正しました:“EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver” was fixed.
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。

- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例: "eth8@0000:af:00.3".
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題を修正しました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記: カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。

- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。
    roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 9 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1160.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2 (x86_64)

バージョン: 4.9 (A) **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.rhel8u2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.rhel8u2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.rhel8u2.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題を修正しました:“EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver” was fixed.
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例: "eth8@0000:af:00.3".
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題を修正しました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記: カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。

- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。
    roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 2(x86_64)カーネルは、次の通りです。
4.18.0-193.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9 (A) **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles12sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_94.41-OFED.4.9.2.2.4.1.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_94.41-OFED.4.9.2.2.4.1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題を修正しました:“EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver” was fixed.
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例: "eth8@0000:af:00.3".
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題を修正しました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記: カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。

- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。
    roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 11 SP4 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-94.41-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9 (A) **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.2.2.4.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.2.2.4.1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題を修正しました:“EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver” was fixed.
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例: "eth8@0000:af:00.3".
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題を修正しました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記: カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。
    roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 11 SP5 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-120-default - (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server

15 SP1 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9 (A) **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles15sp1.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_195-OFED.4.9.2.2.4.1.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_195-OFED.4.9.2.2.4.1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題を修正しました:“EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver” was fixed.
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例: "eth8@0000:af:00.3".
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題を修正しました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記: カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。

- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。
    roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP1 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-195-default - (AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.2.2.4.1.1.sles15sp2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k5.3.18_22-OFED.4.9.2.2.4.1.sles15sp2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k5.3.18_22-OFED.4.9.2.2.4.1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題を修正しました:“EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver” was fixed.
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例: "eth8@0000:af:00.3".
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題を修正しました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。

- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記: カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9には、以下の変更と新機能が追加されています。

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。
    roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。

- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15 SP2 (AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
5.3.18-22-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.5.0-1 **(オプション)**
ファイル名:kmod-qlgc-fastlinq-8.55.5.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.5.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.5.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.5.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64、バージョン1.10.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、RoCE Data Center Quantized Congestion Notification(DCQCN)が有効になっている場合にNPARモードでドライバーのロードに失敗する問題を修正します。
- この製品は、VFでイーサネットデータのレート制限ができない問題を修正します。
- この製品は、NIC PF上でfw_assertを挿入するときに発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、VFの要求に応じてMSI-X割り込みベクトルの数を制限するときに発生するシステムクラッシュに対処します
- この製品は、RoCEドライバーのみをアンロードおよびリロードするときに発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9環境でburninおよびiperfストレスを実行しているときに見られるシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、VFおよびRDMAを使用した仮想マシンの複数回のリブート中に発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、トラフィックが多いために接続の回復が失敗する問題に対処します

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.5.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.55.5.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.5.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.5.0-2.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.55.5.0-2.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64、バージョン1.10.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、RoCE Data Center Quantized Congestion Notification(DCQCN)が有効になっている場合にNPARモードでドライバーのロードに失敗する問題を修正します。
- この製品は、VFでイーサネットデータのレート制限ができない問題を修正します。
- この製品は、NIC PF上でfw_assertを挿入するときに発生するシステムクラッシュに対処します。

- この製品は、VFの要求に応じてMSI-X割り込みベクトルの数を制限するときに発生するシステムクラッシュに対処します
- この製品は、RoCEドライバーのみをアンロードおよびリロードするときに発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、VFおよびRDMAを使用した仮想マシンの複数回のリブート中に発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、トラフィックが多いために接続の回復が失敗する問題に対処します

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3および8 Update 2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.5.0-1 **(オプション)**
ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.5.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.5.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.5.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.5.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64、バージョン1.10.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、RoCE Data Center Quantized Congestion Notification(DCQCN)が有効になっている場合にNPARモードでドライバーのロードに失敗する問題を修正します。
- この製品は、VFでイーサネットデータのレート制限ができない問題を修正します。
- この製品は、NIC PF上でfw_assertを挿入するときに発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、VFの要求に応じてMSI-X割り込みベクトルの数を制限するときに発生するシステムクラッシュに対処します
- この製品は、RoCEドライバーのみをアンロードおよびリロードするときに発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、VFおよびRDMAを使用した仮想マシンの複数回のリブート中に発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、トラフィックが多いために接続の回復が失敗する問題に対処します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.55.5.0-1 **(オプション)**
ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.5.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.5.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.5.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.55.5.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64、バージョン1.10.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、RoCE Data Center Quantized Congestion Notification(DCQCN)が有効になっている場合にNPARモードでドライバーのロードに失敗する問題を修正します。
- この製品は、VFでイーサネットデータのレート制限ができない問題を修正します。
- この製品は、NIC PF上でfw_assertを挿入するときに発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、VFの要求に応じてMSI-X割り込みベクトルの数を制限するときに発生するシステムクラッシュに対処します
- この製品は、RoCEドライバーのみをアンロードおよびリロードするときに発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、VFおよびRDMAを使用した仮想マシンの複数回のリブート中に発生するシステムクラッシュに対処します。
- この製品は、トラフィックが多いために接続の回復が失敗する問題に対処します

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー for Windows Server x64 Edition

バージョン: 8.55.5.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044990.compsig; cp044990.exe

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、使用できないWake-on-LAN(WoL)機能を修正します。
- この製品は、仮想マシンのマルチキュー(VMMQ)でCPU使用率が高くなる問題を修正します。
- この製品は、netshユーティリティを使用してグローバルRSSを構成するときに発生するBSODに対処します。
- この製品は、NicSwitchとNBL送信でvport IDがvportの最大値を超えている場合のBSODの問題を修正します。
- この製品は、ドライバーのインストール中にSR-IOV仮想機能を割り当てる場合に発生するWindows Stop Error(BSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp046222.compsig; cp046222.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン4.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、MSI-X割り込みベクトルの不足によってPurple Screen of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp044977.compsig; cp044977.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン4.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複雑な仮想LAN環境で動作しているシステムで発生するPurple Screen Of Death(PSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp044976.compsig; cp044976.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン4.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、複雑な仮想LAN環境で動作しているシステムで発生するPurple Screen Of Death(PSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0

バージョン: 2.0-873.113-1 **(オプション)**
ファイル名: qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.rhel8u0-1.x86_64.compsig; qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.rhel8u0-1.x86_64.rpm; README

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4

バージョン: 2.0-873.113-1 (D) **(オプション)**
ファイル名: qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles12sp4-1.x86_64.compsig; qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles12sp4-1.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、 HPE Synergy QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0

バージョン: 2.0-873.113-1 (D) **(オプション)**
ファイル名: qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles15sp0-1.x86_64.compsig; qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles15sp0-1.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、 HPE Synergy QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

バージョン: 2.0-873.113-1 **(オプション)**
ファイル名: qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles15sp1-1.x86_64.compsig; qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles15sp1-1.x86_64.rpm; README

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0

バージョン: 2.11.5.13-3 **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.rhel8u0.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.rhel8u0.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.sles12sp4.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.sles12sp4.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、VLAN上でのiSCSI検出エラーに対処します。

拡張

この製品は、ProLiant Bladeサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。ブレードサーバーおよびデバイスは、 HPE Blade QLogic NX2 iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4によってサポートされるようになりました。

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、 HPE Synergy QLogic iSCSIオフロードIOデーモンfor SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.sles15sp0.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.sles15sp0.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、VLAN上でのiSCSI検出エラーに対処します。

拡張

この製品は、ProLiant Bladeサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。ブレードサーバーおよびデバイスは、 HPE Blade QLogic NX2 iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0によってサポートされるようになりました。

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、 HPE Synergy QLogic iSCSIオフロードIOデーモンfor SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

バージョン: 2.11.5.13-3 **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート 536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター

VMware vSphere 6.5用HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp046404.compsig; cp046404.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン1.28.0で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ESXCLIツールによって表示される誤ったMTU値を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp044987.compsig; cp044987.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン1.28.0で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、トラフィックのスケジューリング中に発生するPurple Screen Of Death(PSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.04.05 **(オプション)**
ファイル名: cp045082.compsig; cp045082.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

HPEは、このドライバーでの使用に、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for VMware*、バージョン1.28.0で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

この製品は、トラフィックのスケジューリング中に発生するPurple Screen Of Death(PSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 7.14.76-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.76-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.76-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.76-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.76-1.rhel7u9.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.28.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ethtoolツールの実行時にMedium Dependent Interface(MDI)およびMedium Dependent Interface Crossover(MDIX)の情報を取得する際の問題を修正します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 7.14.76-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.76-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.76-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.76-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.76-1.rhel8u3.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.28.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ethtoolツールの実行時にMedium Dependent Interface(MDI)およびMedium Dependent Interface Crossover(MDIX)の情報を取得する際の問題を修正します。

拡張

この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 7.14.76-1 **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.24.15以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ethtoolツールの実行時にMedium Dependent Interface(MDI)およびMedium Dependent Interface Crossover(MDIX)の情報を取得する際の問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 7.14.76-1 **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.76_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.76_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.76_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.28.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ethtoolツールの実行時にMedium Dependent Interface(MDI)およびMedium Dependent Interface Crossover(MDIX)の情報を取得する際の問題を修正します。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター

- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Edition

バージョン: 7.13.196.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044989.compsig; cp044989.exe

重要な注意!

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、WS2012R2でvSwitchを割り当てることができない問題を修正します。
- この製品は、NDISドライバーのアンインストール中に見られるワンタイムシステムクラッシュの問題を修正します
- この製品は、SR-IOV仮想機能が正常に起動できない問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター

Intel i350ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.16.3.1 **(オプション)**
ファイル名: cp045122.compsig; cp045122.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel Powervilleネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection

Intel i350ドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.18.11.1 **(オプション)**
ファイル名: cp045123.compsig; cp045123.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされている改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection

Intel i40eaドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045319.compsig; cp045319.exe

重要な注意!

HPE Intel オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.1.1.0 以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel I40EAネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

Intel i40eaドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 1.13.104.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045320.compsig; cp045320.exe

重要な注意!

HPE Intel オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.1.1.0 以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、RDMA機能を有効にした後にパケットがVLANに転送されたときに見られる、トラフィックパケットがcertの失敗を引き起こす問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel I40EAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3アダプターfor HPE
- Intel X710-DA2 Ethernet 10Gb 2ポート SFP+アダプターfor HPE

Intel iavfドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 1.12.9.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045022.compsig; cp045022.exe

重要な注意!

HPE Intel オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.0.80.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のIntel VFネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iavfドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 1.12.9.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045023.compsig; cp045023.exe

重要な注意!

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel* オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

前提条件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.0.80.0以降が必要です。

拡張

この製品は、アップデートされたWindowsインストールライブラリiavfmsg.dllとの互換性を維持してアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のIntel VFネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceaドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 1.5.74.0 **(オプション)**
ファイル名: cp041200.compsig; cp041200.exe

重要な注意!

HPEでは、このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*ファームウェアパッケージ*for Columbiaville*(FWPKG)、バージョン2.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel ICEAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intel iceaドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 1.5.74.0 **(オプション)**

ファイル名: cp041201.compsig; cp041201.exe

重要な注意!

HPEでは、このドライバーとともに使用する場合は、*Intel*ファームウェアパッケージ*for Columbiaville*(FWPKG)、バージョン2.2以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel ICEAネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE
- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Red Hat Enterprise Linux用Linux Intelドライバービルドバンドル

バージョン: 1.0.4.0 **(オプション)**

ファイル名:hp-i40e-2.13.10-1.all.src.rpm; hp-iavf-4.0.2-1.all.src.rpm; hp-igb-6.2.5-1.all.src.rpm; hp-ixgbe-5.9.4-1.all.src.rpm; hp-ixgbevf-4.9.3-1.all.src.rpm; i40e-README; iavf-README; ice-1.2.1-1.all.src.rpm;氷-README; igb-README; irdma-1.2.21-1.all.src.rpm; irdma-README; ixgbe-README; ixgbevf-README; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.13.10-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-4.0.2-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.5-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.9.4-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.9.3-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-ice-1.2.1-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-ice-1.2.1-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-ice-1.2.1-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-ice-1.2.1-1.rhel8u3.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.2.21-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.2.21-1.rhel7u9.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.2.21-1.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-irdma-1.2.21-1.rhel8u3.x86_64.rpm

拡張

Gen10PlusSnap4

SUSE Linux Enterprise Server用Linux Intelドライバービルドバンドル

バージョン: 1.0.4.0 **(オプション)**

ファイル名: hp-i40e-2.13.10-1.all.src.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.13.10_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-iavf-4.0.2-1.all.src.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-4.0.2_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-igb-6.2.5-1.all.src.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.5_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbe-5.9.4-1.all.src.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.9.4_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-4.9.3-1.all.src.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.9.3_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; i40e-README; iavf-README; ice-1.2.1-1.all.src.rpm; ice-kmp-default-1.2.1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; ice-kmp-default-1.2.1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; ice-kmp-default-1.2.1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; ice-kmp-default-1.2.1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; ice-README; igb-README; irdma-1.2.21-1.all.src.rpm; irdma-kmp-default-1.2.21_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; irdma-kmp-default-1.2.21_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; irdma-kmp-default-1.2.21_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; irdma-kmp-default-1.2.21_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; irdma-README; ixgbe-README; ixgbevf-README

拡張

Gen10PlusSnap4

Marvell FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー for Windows Server x64 Edition

バージョン: 8.55.5.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044988.compsig; cp044988.exe

重要な注意!

HPEでは、これらのドライバーとともに使用する場合は、*Marvell FastLinQ*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.4.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、使用できないWake-on-LAN(WoL)機能を修正します。
- この製品は、仮想マシンのマルチキュー(VMMQ)でCPU使用率が高くなる問題を修正します。
- この製品は、netshユーティリティを使用してグローバルRSSを構成するときに発生するBSODに対処します。
- この製品は、NicSwitchとNBL送信でvport IDがvportの最大値を超えている場合のBSODの問題を修正します。
- この製品は、ドライバーのインストール中にSR-IOV仮想機能を割り当てる場合に発生するWindows Stop Error(BSOD)に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HLCUアダプター

Mellanox CX5およびCX6DXドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 2.60.23957.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043868.compsig; cp043868.exe

修正

- この製品は、ND接続の切断中にMellanox NdStatユーティリティ(mlx5cmd -ndstat)を実行すると発生するWindows Stop Error(BSOD)に対処します。
- この製品は、INFファイルが正しくないために発生するドライバーのロードエラーを修正します。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACATアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623436AS-CDATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター

Mellanox CX5およびCX6DXドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 2.60.23957.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043869.compsig; cp043869.exe

修正

- この製品は、ND接続の切断中にMellanox NdStatユーティリティ(mlx5cmd -ndstat)を実行すると発生するWindows Stop Error(BSOD)に対処します。
- この製品は、INFファイルが正しくないために発生するドライバーのロードエラーを修正します。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACATアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623436AS-CDATアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター

---

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネント for VMware ESXi 6.5および6.7

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046337.compsig; cp046337.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。HPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

前提条件

NA

拡張

NMSTバージョン 4.12.0.105:

このバージョンでは、次のアダプターのサポートが追加されます。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCHTアダプター(部品番号:P21930-B21)
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター(部品番号:P11341-B21)
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACHTアダプター(部品番号:P13188-B21)
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター(部品番号:P10112-B21)
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター(部品番号:P21927-B21)
- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター(部品番号:P06154-B21)
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター(部品番号:P06250-B21)
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター(部品番号:P06251-B21)
- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター(部品番号:P23664-B21)
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター(部品番号:P23665-B21)
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター(部品番号:P23666-B21)
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター(部品番号:P25960-B21)

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022

868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453
P10180-B21	Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE	MT_0000000435
P31246-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター	MT_0000000591
P31323-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター	MT_0000000592
P31348-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター	MT_0000000593
P31324-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター	MT_0000000594

---

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネントfor VMware ESXi 7.0

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046317.compsig; cp046317.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。HPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

前提条件

NA

修正

NMSTバージョン 4.14.3.3

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023

825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453
P10180-B21	Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE	MT_0000000435
P31246-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター	MT_0000000591
P31323-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター	MT_0000000592
P31348-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653436A-HDAIアダプター	MT_0000000593
P31324-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター	MT_0000000594

---

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046261.compsig; cp046261.zip

重要な注意!

既知の問題点:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違って報告されます。
- ポートがDOWNのしている場合、管理インターフェイスの"ポートタイプ" フィールドは、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ポートが複数のケーブルタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。
- 管理インターフェイスのポートタイプフィールドは、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告します。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールドは、"esxcli network nic get -n vmnicX" フィールド"Pause Autonegotiate"フィールドに相当します。

ESXi 6.5ドライバーバージョン3.16.11.10のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:
https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

拡張

バージョン3.16.70.2の変更および新機能:

- ネットワークアダプターのトラフィックが停止する問題を解決しました。
- LACP(リンクアグリゲーション制御プロトコル)bondingプロトコルを破壊した内部マルチキャストループバックの問題を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004

---

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware 7.0

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046345.compsig; cp046345.zip

重要な注意!

既知の問題点:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違って報告されます。
- ポートがDOWNのしている場合、管理インターフェイスの"ポートタイプ" フィールドは、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ポートが複数のケーブルタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。
- 管理インターフェイスのポートタイプフィールドは、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告します。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールドは、"esxcli network nic get -n vmnicX" フィールド"Pause Autonegotiate"フィールドに相当します。

ESXi 6.5ドライバーバージョン3.16.11.10のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:
https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

拡張

バージョン3.19.70.1の変更および新機能:

- ネットワークアダプターのトラフィックが停止する問題を解決しました。
- LACP(リンクアグリゲーション制御プロトコル)bondingプロトコルを破壊した内部マルチキャストループバックの問題を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004

---

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware ESXi 6.7

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046262.compsig; cp046262.zip

重要な注意!

バージョン3.17.70.1での既知の問題:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違って報告されます。
- ポートがDOWNしている場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ケーブルが複数のタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。
- 管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告します。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールド(nmlx_en_MgmtIFAutoNegMode)は、"esxcli network nic get -n vmnicX"フィールド"Pause Autonegotiate"に相当します。

拡張

バージョン3.17.70.1の変更点および新機能:

- アダプターカードのPSIDがPrivstats(プライベート統計)に表示されるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004

---

nmlx5_enドライバーコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046263.compsig; cp046263.zip

重要な注意!

バージョン4.16.70.1での既知の問題:

- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は現在5000です。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生することがあります。
- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ECN統計カウンターaccumulatorsPeriodとecnMarkedRoce-Packetsには誤った値が表示され、クリアすることはできません。
- ハードウェアは、最大256バイトのヘッダーのみをオフロードできます。
- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていません。
- 同じHCA上の異なるポートに接続されたPV機能とSR-IOV VF間でトラフィックを送信することはできません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- Geneveの長さのサポートは56バイトに制限されています。オプションの長さが56バイトを超える受信パケットは廃棄されます。
- ConnectX-4/ConnectX-4 Lxの古いファームウェアのバージョンとの相互作用により、以下の内部ファームウェアエラーが発生する可能性があります。
  - デバイスの状態が損なわれる
  - synd 0x1: ファームウェアの内部エラー
  - extSync 0x94ee
- 'esxcli mellanox uplink link info -u <vmnic_name>' コマンドは、'Auto negotiation' 機能を常に'true'としてレポートします。
- Wake-on-LANは、無効なパラメーターが提供されたときには通知しません。
- ネストされたESXiが正しく機能しない可能性があります。
- デバイスRSSは、ブロードキャストトラフィックで十分なRXリングにトラフィックをハッシュすることに失敗します。
- ストレス状態では'ウォッチドッグ'が現れ、アップリンクがアップしたり、ダウンします。
- VXLANインターフェイスを介したVGTトラフィックは現在サポートされていません。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。

- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートごとにサポートされるVFは次のとおりです:
  - ConnectX-4: 最大127
  - ConnectX-5: 最大63

修正

以下の問題点がバージョン4.16.70.1で修正されました。

- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていませんでした。vmknicでこのコマンドを実行すると、障害メッセージが表示されました。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2020.11.11の変更点と新機能:

- 以下のアダプターのサポートを追加しました。
  - HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター(HPE部品番号:P10180-B21)

バージョン4.16.70.1の新機能および変更:

- ネットワークアダプターが必要とする電力がPCIeスロットで利用可能な電力よりも高い場合、イベントが送信されて管理者に通知されます。
- Differentiated Services Code Point(DSCP)の信頼と、RoCEトラフィックのデフォルト値の設定のサポート。
- ユーザーが仮想関数カウンターごとにクエリできるようにする新しいカウンター。
- ソフトウェア受信バッファーが不足していることを示すRXバッファー不足カウンター。
- 特定のRoCEバージョンを強制するためのモジュールパラメーター。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター	HPE0000000014
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P10180-B21	HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター	MT_0000000435

---

nmlx5_enドライバーコンポーネント for VMware 6.7

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046264.compsig; cp046264.zip

重要な注意!

バージョン4.17.70.1での既知の問題:

- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ENSが有効にされている場合、SRI-OVはサポートされません。
- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は現在5000です。
- ENS(拡張ネットワークスタック)は現在、ConnectX-6 Dxアダプターカードでサポートされていません。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生することがあります。
- PSODは、ENS VMK上のvMotion中に発生する場合があります。
- ENS DVSからのENSアップリンク切断中に、キューがまだ割り当てられていること、または要求されたキューが使用されていないことに関する以下のエラーメッセージが表示される場合があります。
- ドライバーのライブアンロードはサポートされていません。これを行うと、max_vfsパラメーターが設定されている場合にPSODが発生する可能性があります。
- ECN統計カウンターaccumulatorsPeriodとecnMarkedRoce-Packetsには誤った値が表示され、クリアすることはできません。

- RSSの最大値は、CPUコアの数よりも少なくなければなりません。
- ハードウェアは、最大256Bのヘッダーのみをオフロードできます。
- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていません。vmknicでこのコマンドを実行すると、障害メッセージが表示されます。
- 同じHCAの異なるポートに接続されているPVとSR-IOV VFの間にトラフィックはありません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- ゲストにIB PCIパススルーデバイスまたはIB VFが割り当てられている場合、ゲスト用のVMware Toolsネットワーク情報が正しくない可能性があります。これは、インターフェイスやIPなどのゲストネットワーキング情報をvCenterに表示する方法に影響します。
- パススルーモードのvmnicsでの操作はサポートされていません。
- 'esxcli mellanox uplink link info -u <vmnic_name>' コマンドは、'Auto negotiation' 機能を常に'true'としてレポートします。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- Wake-on-LANは、無効なパラメーターが提供されたときには通知しません。
- ネストされたESXiが正しく機能しない可能性があります。
- デバイスRSSは、ブロードキャストトラフィックで十分なRXリングにトラフィックをハッシュすることに失敗します。
- ストレス状態では'ウォッチドッグ'が現れ、アップリンクがアップしたり、ダウンします。
- ENS DVSからのENSアップリンク切断中に、キューがまだ割り当てられていること、または要求されたキューが使用されていないことに関する以下のエラーメッセージが表示される場合があります。"ドライバーは*OS*の問題をカバーしているため、メッセージは情報提供のみを目的としています。"
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートデバイスごとにサポートされるVFは次のとおりです:
  - ConnectX-4: 最大127
  - ConnectX-5: 最大127

ESXi 6.7ドライバーバージョン4.17.70.1のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:
https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

修正

以下の問題点がバージョン4.17.70.1で修正されました。

- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていませんでした。このコマンドを"vmknic"で実行すると、エラーメッセージが表示されました。
- 内部のパケットとしてのIPv6はサポートされていませんでした。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2020.11.11の変更点と新機能:

- 以下のアダプターのサポートを追加しました。
  - HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター(HPE部品番号:P10180-B21)

バージョン4.17.70.1の新機能および変更:

- 電力制限のためにリンクをシャットダウンするオプションを無効にしました。
- Differentiated Services Code Point(DSCP)の信頼と、RoCEトラフィックのデフォルト値の設定のサポート。
- ユーザーが仮想関数カウンターごとにクエリできるようにする新しいカウンター。
- ソフトウェア受信バッファーが不足していることを示すRXバッファー不足カウンター。
- 特定のRoCEバージョンを強制するためのモジュールパラメーター。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054

874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター	HPE0000000014
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P10180-B21	HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター	MT_0000000435

---

nmlx5_enドライバーコンポーネントfor VMware 7.0

バージョン: 2020.11.11 **(推奨)**
ファイル名: cp046265.compsig; cp046265.zip

重要な注意!

バージョン4.19.70.1での既知の問題:

- ENSが有効にされている場合、SR-IOVはサポートされません。
- ドライバーのライブアンロードはサポートされていません。これを行うと、max_vfsパラメーターが設定されている場合にPSODが発生する可能性があります。
- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は現在5000です。
- ENSは現在、ConnectX-6 Dxアダプターカードでサポートされていません。
  回避策: ConnectX-6 DxカードにENS DVS以外を使用してください。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生することがあります。
  回避策: ETS値を0ではなく1に設定します。
- 'esxcli mellanox uplink link info -u <vmnic_name>' コマンドは、'Auto negotiation' 機能を常に'true'としてレポートします。
- SMP MAD(ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートデバイスごとにサポートされるVFは次のとおりです:
  - ConnectX-4 / ConnectX-5:最大127

拡張

Smartコンポーネントバージョン2020.11.11には、以下の変更と新機能が含まれます。

- 以下のアダプターのサポートを追加しました。
  - HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター(HPE部品番号:P10180-B21)

バージョン4.19.70.1の新機能および変更:

- 電力制限のためにリンクをシャットダウンするオプションを無効にしました。
- Differentiated Services Code Point(DSCP)の信頼と、RoCEトラフィックのデフォルト値の設定のサポート。
- ユーザーが仮想関数カウンターごとにクエリできるようにする新しいカウンター。
- ソフトウェア受信バッファーが不足していることを示すRXバッファー不足カウンター。
- Data Center Bridging Capability Exchange(DCBx)プロトコルのサポート。DCBXはLLDPと連携して、スイッチでデータセンターブリッジング(DCB)機能と構成に関する情報を交換し、一般的な優先順位ベースのフロー制御(PFC)

  パラメーターを自動的にネゴシエートできるようにします。
- 特定のRoCEバージョンを強制するためのモジュールパラメーター。
- トラフィッククラス(TC)の最小帯域幅保証の設定のサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HP_1200111023
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034

P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター	HPE0000000014
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036
P10180-B21	HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター	MT_0000000435

VMware ESX 6.5および6.7 MSTドライバー オフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.12.0.105 **(推奨)**
ファイル名: MLNX-NMST-ESX-6.5.0-4.12.0.105.zip

前提条件

NA

拡張

VM65/67 nmst 4.12.0.105

VMware ESX 6.0 MSTドライバー オフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.14.3.3 **(推奨)**
ファイル名: Mellanox-NATIVE-NMST_4.14.3.3-1OEM.700.1.0.15525992_16211416.zip

前提条件

NA

拡張

VM70 nmst 4.14.3.3

ドライバー - ストレージ

先頭

Dynamic SmartアレイB140iコントローラードライバーfor 64ビットMicrosoft Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019 Edition

バージョン: 62.16.2.64 **(推奨)**
ファイル名: cp042594.exe

修正

- SWH RAIDで構成されたM.2 SSDドライブでSCSIバスリセットにつながるRAIDスタックタイムアウトと過度の読み取り/書き込みコマンドタイムアウトを引き起こす可能性のあるNCQおよび非NCQコマンドで致命的なエラーが報告されたAHCIのSATLエラー処理を修正しました

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 SW RAIDドライバーfor Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 106.12.6.0 **(クリティカル)**
ファイル名: cp043250.compsig; cp043250.exe

修正

RAID 0/1/5/10フォールトトレラントモードで構成されたRAIDボリュームの初期構成または操作中に、HPE SmartアレイS100iソフトウェアRAIDで潜在的なデータの不整合が発生する可能性がある問題に対処しました。

この問題は、SmartアレイS100iサポートを有効にしていないシステムには影響しません。

- 詳しくは、 カスタマー通知a00097789en_usを参照してください

重要な情報:

- 単一のRAID 0論理ドライブで構成されたアレイは影響を受けません。
- 単一のRAID 1論理ドライブで構成されたアレイは影響を受けません。

拡張

AMD向けのサポートを追加しました

HPE SmartストレージSR100i Gen10 Plus SW RAIDドライバーfor Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 106.106.2.1229 **(推奨)**
ファイル名: cp045150.compsig; cp045150.exe

拡張

NVMe SW RAIDのサポートを追加しました

ドライバー - ストレージコントローラー

先頭

HPE Dynamic SmartアレイB140iコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.5(ドライバーコンポーネント)

バージョン:2019.05.01 **(推奨)**
ファイル名: cp039786.compsig; cp039786.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

AHCIドライバーが優先されるためにドライバーがアップグレードされない問題を修正しました。

この問題は、バージョン2018.09.31 (5.5.0.66-1)にアップグレードした場合にのみ発生します。他のすべてのバージョンは影響を受けません。

HPE Dynamic Smartアレイ B140i コントローラードライバー for VMware vSphere 6.7 (ドライバーコンポーネント)

バージョン:2019.05.01 **(推奨)**
ファイル名: cp039788.compsig; cp039788.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

AHCIドライバーが優先されるためにドライバーがアップグレードされない問題を修正しました。

この問題は、バージョン2018.09.31 (5.5.0.66-1)にアップグレードした場合にのみ発生します。他のすべてのバージョンは影響を受けません。

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE Dynamic SmartアレイB140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-184 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-184.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-184.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-184.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-184.rhel7u9.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9のサポートを追加

Red Hat Enterprise Linux 8(64-bit)用HPE Dynamic Smartアレイ B140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-185 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hpdsa-1.2.10-185.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-185.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hpdsa-1.2.10-185.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hpdsa-1.2.10-185.rhel8u3.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 8.3のサポートを追加しました。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE Dynamic Smartアレイ B140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-176 (B) **(推奨)**
ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-176.sles12sp4.x86_64.compsig; hpdsa-kmp-default-1.2.10-176.sles12sp4.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-176.sles12sp5.x86_64.compsig; hpdsa-kmp-default-1.2.10-176.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

- Linux SLES12 SP5でのセキュアブートハングの問題を修正するためのPKCS署名プロセスが追加されました。
- SWH RAIDで構成されたM.2 SSDドライブでSCSIバスリセットにつながるRAIDスタックタイムアウトと過度の読み取り/書き込みコマンドタイムアウトを引き起こす可能性のあるNCQおよび非NCQコマンドで致命的なエラーが報告されたAHCIのSATLエラー処理を修正しました

拡張

SuSE Linux Enterprise Server 12 SP5のサポートを追加

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP2 および今後のerrata。
- SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP3 plus 将来のerrata。

SUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)用HPE Dynamic Smartアレイ B140i SATA RAIDコントローラードライバー

バージョン: 1.2.10-182 **(推奨)**
ファイル名: hpdsa-kmp-default-1.2.10-182.sles15sp1.x86_64.compsig; hpdsa-kmp-default-1.2.10-182.sles15sp1.x86_64.rpm; hpdsa-kmp-default-1.2.10-182.sles15sp2.x86_64.compsig; hpdsa-kmp-default-1.2.10-182.sles15sp2.x86_64.rpm

拡張

SuSE Linux Enterprise Server 15 SP2のサポートを追加

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP0 および今後のerrata。

default - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP1および今後のerrata。

HPE Dynamic Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.5 (バンドルファイル)

バージョン:5.5.0.68-1 **(推奨)**
ファイル名: hpdsa-5.5.0.68.zip

修正

AHCIドライバーが優先されるためにドライバーがアップグレードされない問題を修正しました。

この問題は、バージョン2018.09.31 (5.5.0.66-1)にアップグレードした場合にのみ発生します。他のすべてのバージョンは影響を受けません。

VMware vSphere 6.7用HPE Dynamic Smartアレイコントローラードライバー(バンドルファイル)。

バージョン:5.5.0.68-1 **(推奨)**
ファイル名: hpdsa-5.5.0.68.zip

修正

AHCIドライバーが優先されるためにドライバーがアップグレードされない問題を修正しました。

この問題は、バージョン2018.09.31 (5.5.0.66-1)にアップグレードした場合にのみ発生します。他のすべてのバージョンは影響を受けません。

vSphere 6.5用HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプター(64-bi)ドライバー

バージョン: 15.10.07.00-1 (A) **(オプション)**
ファイル名: mpt2sas-15.10.07.00-esxi5.5-4778920.zip

修正

バージョン15.10.07.00-1(A)実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へアップデートしました。
  注記:システムが以前にドライバーバージョン15.10.07.00-1にアップデートされている場合、15.10.07.00-1(A)にアップデートする必要はありません。

バージョン15.10.07.00-1で解決した問題:

- VMware vSphere 6.5のドライブのインストールに関するマイナートラブルを修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

注記:HPE H221ホストバスアダプターは、Gen9サーバーのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしていません。

vSphere 6.5用HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプター(64-bi)ドライバー(ドライバーコンポーネント)。

バージョン: 2017.01.20 (A) **(オプション)**
ファイル名: cp032277.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

バージョン2017.01.20(A)実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へアップデートしました。
  注記:システムが以前にコンポーネントバージョン2017.01.20にアップデートされている場合、2017.01.20(A)にアップデートする必要はありません。

バージョン2017.01.20で解決した問題:

- VMware vSphere 6.5のドライブのインストールに関するマイナートラブルを修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

注記:HPE H221ホストバスアダプターは、Gen9サーバーのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしていません。

HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバーfor 64-bit Microsoft Windows Server 2016 Edition

バージョン: 2.68.64.2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp037731.exe

重要な注意!

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません

HPE H2xx SAS/SATAホストバスアダプタードライバーfor Microsoft Windows Server 2012 R2 64-bit Edition

バージョン: 2.68.64.1 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp032453.exe

拡張

バージョン2.68.64.1(B)に実施された変更:

- Service Pack for ProLiantをバージョン2017.07.0へアップデートしました。
  システムが以前にドライバーバージョン2.68.64.1 にアップデートされている場合、2.68.64.1(B)にアップデートする必要はありません。

バージョン2.68.64.1の拡張/新しい機能:

- Windows 8.1およびWindows Server 2012R2へのサポートをビルドスクリプトに追加しました。
- 新しいWindowsイベントロギングにビルドサポートを追加しました。
- ビルドの間のデフォルトドライバー・ビルドパラメーターの自動選択にサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE H2xx SAS/SATAバスアダプタードライバー

バージョン:15.10.09.00-2 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mpt2sas-15.10.07.00-3.rhel7u5.x86_64.compsig; kmod-mpt2sas-15.10.07.00-3.rhel7u5.x86_64.rpm; kmod-mpt2sas-15.10.09.00-2.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-mpt2sas-15.10.09.00-2.rhel7u6.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。

3.10.0-693.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびUpdate 4用の今後のerrataカーネル。
3.10.0-862.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5 (64-bit) およびUpdate 5用の今後のerrataカーネル。

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

SUSE LINUX Enterrise Server 12(64-bit)用HPE H2xx SAS/SATAバスアダプタードライバー

バージョン:15.10.09.00-1 **(推奨)**
ファイル名: lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.09.00-1.sles12sp4.x86_64.compsig; lsi-mpt2sas-kmp-default-15.10.09.00-1.sles12sp4.x86_64.rpm

拡張

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
- SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP4plus 将来のerrata。

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラー(64-bit)ドライバーfor vSphere 6.7

バージョン: 7.716.03.00 **(推奨)**
ファイル名: Broadcom-lsi-mr3_7.716.03.00-1OEM.670.0.0.8169922-offline_bundle-17653784.zip

拡張

- 最初のリリース

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラー(64-bit)ドライバーfor vSphere 6.7 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.04.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044905.compsig; cp044905.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

最初のリリース

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラー(64-bit)ドライバーfor vSphere 7.0

バージョン: 7.716.03.00 **(推奨)**
ファイル名: Broadcom-lsi-mr3_7.716.03.00-1OEM.700.1.0.15843807_17632848.zip

拡張

- 最初のリリース

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラー(64-bit)ドライバーfor vSphere 7.0 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.04.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044980.compsig; cp044980.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

拡張

MR416i-p、MR216i-a、MR416-a、MR216i-pドライバーの初期リリース

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラードライバーfor 64-bit Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 07.716.02.00 **(推奨)**
ファイル名: kmod-megaraid_sas-07.716.02.00_el7.8-1.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00_el7.8-

1.x86_64.rpm; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00_el7.9-1.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00_el7.9-1.x86_64.rpm

修正

最初のリリース

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-693.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびUpdate 4用の今後のerrataカーネル。
3.10.0-862.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5 (64-bit)およびUpdate 5用の今後のerrataカーネル。

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラードライバーfor 64-bit Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 07.716.02.00 **(推奨)**
ファイル名: kmod-megaraid_sas-07.716.02.00_el8.2-1.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00_el8.2-1.x86_64.rpm; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00_el8.3-1.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.716.02.00_el8.3-1.x86_64.rpm

修正

最初のリリース

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8(64ビット)カーネルは、次のとおりです。
4.18.0-193.el8- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2 (64-bit)およびUpdate 2用の今後のerrataカーネル。

HPE MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-pコントローラードライバーfor 64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 15

バージョン: 07.716.02.00 **(推奨)**
ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles15-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles15-1.x86_64.rpm; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles15sp1-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles15sp1-1.x86_64.rpm; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles15sp2-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles15sp2-1.x86_64.rpm

修正

最初のリリース

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit) SP0および今後のerrata。

4.12.14-195 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP1 および今後のerrata。

5.3.18-22 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP2 および今後のerrata。

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-a 64-bit コントローラードライバーfor Microsoft Windows 2019 edition。

バージョン: 7.716.3.0 **(推奨)**
ファイル名: cp044907.compsig; cp044907.exe

修正

最初のリリース

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-aコントローラードライバーfor 64-bit SUSE LINUX

Enterprise Server 12

バージョン: 07.716.02.00 **(推奨)**
ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp4-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp4-1.x86_64.rpm; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp5-1.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.716.02.00_sles12sp5-1.x86_64.rpm

修正

最初のリリース

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.12.14-94.41 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP4および今後のerrata。
4.12.14-120 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP5 および今後のerrata。

HPE MR416i-p、MR416i-a、MR216i-p、MR216i-a 64-bitコントローラードライバーfor Microsoft Windows 2016 edition。

バージョン: 7.716.3.0 **(推奨)**
ファイル名: cp044906.compsig; cp044906.exe

修正

最初のリリース

HPE ProLiant Gen10 および Gen10Plus Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)

バージョン: 2.1.8-040 **(推奨)**
ファイル名: kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

-

修正

- scsi-mid-layerが公開されたホストキューの深さを超える要求を送信すると、ファームウェアASSERTの問題が発生する場合があります。この問題は、Linuxカーネルバージョン5.5以降で発生する可能性があります。
- 次のエラーメッセージが表示される場合があります:Synchronize Cache(10) failed: Result: hostbyte=DID_NO_CONNECT driverbyte=DRIVER_OK'。これは、HBA SAS/SATAディスクで有効になっているドライブ書き込みキャッシュに対する未処理のI/Oがあるドライバーをアンロードするときに発生します。
- I/O要求がUREにヒットすると、SmartPath読み取りI/O要求にアクセスエラーが発生し、データが返されない場合があります。

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-957.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6 (64-bit)およびUpdate 6用の今後のerrataカーネル。

HPE ProLiant Gen10 および Gen10Plus Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)

バージョン: 2.1.8-040 **(推奨)**
ファイル名: kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-2.1.8-040.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

-

修正

- scsi-mid-layerが公開されたホストキューの深さを超える要求を送信すると、ファームウェアASSERTの問題が発生する場合があります。この問題は、Linuxカーネルバージョン5.5以降で発生する可能性があります。
- 次のエラーメッセージが表示される場合があります:Synchronize Cache(10) failed: Result: hostbyte=DID_NO_CONNECT driverbyte=DRIVER_OK'。これは、HBA SAS/SATAディスクで有効になっているドライブ書き込みキャッシュに対する未処理のI/Oがあるドライバーをアンロードするときに発生します。
- I/O要求がUREにヒットすると、SmartPath読み取りI/O要求にアクセスエラーが発生し、データが返されない場合があります。

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
default- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0(64ビット)

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64ビット)ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)

バージョン: 2.1.8-040 **(推奨)**
ファイル名: smartpqi-kmp-default-2.1.8-040.sles12sp4.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.8-040.sles12sp4.x86_64.rpm; smartpqi-kmp-default-2.1.8-040.sles12sp5.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.8-040.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

- scsi-mid-layerが公開されたホストキューの深さを超える要求を送信すると、ファームウェアASSERTの問題が発生する場合があります。この問題は、Linuxカーネルバージョン5.5以降で発生する可能性があります。
- 次のエラーメッセージが表示される場合があります:Synchronize Cache(10) failed: Result: hostbyte=DID_NO_CONNECT driverbyte=DRIVER_OK'。これは、HBA SAS/SATAディスクで有効になっているドライブ書き込みキャッシュに対する未処理のI/Oがあるドライバーをアンロードするときに発生します。
- I/O要求がUREにヒットすると、SmartPath読み取りI/O要求にアクセスエラーが発生し、データが返されない場合があります。

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
4.12.14-94.41.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP4 および今後のerrata。

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラー(64-ビット)ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit)

バージョン: 2.1.8-040 **(推奨)**
ファイル名: smartpqi-kmp-default-2.1.8-040.sles15sp1.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.8-040.sles15sp1.x86_64.rpm; smartpqi-kmp-default-2.1.8-040.sles15sp2.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-2.1.8-040.sles15sp2.x86_64.rpm

修正

- scsi-mid-layerが公開されたホストキューの深さを超える要求を送信すると、ファームウェアASSERTの問題が発生する場合があります。この問題は、Linuxカーネルバージョン5.5以降で発生する可能性があります。
- 次のエラーメッセージが表示される場合があります:Synchronize Cache(10) failed: Result: hostbyte=DID_NO_CONNECT driverbyte=DRIVER_OK'。これは、HBA SAS/SATAディスクで有効になっているドライブ書き込みキャッシュに対する未処理のI/Oがあるドライバーをアンロードするときに発生します。
- I/O要求がUREにヒットすると、SmartPath読み取りI/O要求にアクセスエラーが発生し、データが返されない場合があります。

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーディスケットでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)カーネルは、次の通りです。
-default - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit)および今後のerrataカーネル

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-202 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hpsa-3.4.20-202.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-202.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.20-202.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-202.rhel7u9.x86_64.rpm

修正

PTRAIDデバイスのキュー深度を128に増やし、Linux環境での低ランダムIOパフォーマンスをMSAパフォーマンス階層(SSD)に固定します。

拡張

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9のサポートを追加

Red Hat Enterprise Linux 8(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-203 **(推奨)**
ファイル名: kmod-hpsa-3.4.20-203.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-203.rhel8u2.x86_64.rpm; kmod-hpsa-3.4.20-203.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-hpsa-3.4.20-203.rhel8u3.x86_64.rpm

拡張

Red Hat Enterprise Linux 8.3のサポートを追加しました。

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-188 (B) **(推奨)**
ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.20-188.sles12sp4.x86_64.compsig; hpsa-kmp-default-3.4.20-188.sles12sp4.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.20-188.sles12sp5.x86_64.compsig; hpsa-kmp-default-3.4.20-188.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

- SuSE Linux Enterprise Server 12 SP5のサポートを追加
- Linux SLES12 SP5でのセキュアブートハングの問題を修正するためのPKCS署名プロセスが追加されました

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP2 および今後のerrata。
4.4.73-5.1 -SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP3および今後のerrata。

SUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)用HPE ProLiant Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 3.4.20-197 **(推奨)**
ファイル名: hpsa-kmp-default-3.4.20-197.sles15sp1.x86_64.compsig; hpsa-kmp-default-3.4.20-197.sles15sp1.x86_64.rpm; hpsa-kmp-default-3.4.20-197.sles15sp2.x86_64.compsig; hpsa-kmp-default-3.4.20-197.sles15sp2.x86_64.rpm

拡張

SuSE Linux Enterprise Server 15 SP2のサポートを追加

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP0 および今後のerrata。

default - SUSE LINUX Enterprise Server 15 (64-bit) SP1および今後のerrata。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.5 (バンドルファイル)

バージョン: 0072.0.149 **(推奨)**
ファイル名: VMW-ESX-6.5.0-nhpsa-65.0072.0.149-offline_bundle-17204132.zip

修正

このリリースには以下の修正が含まれています。

- キューでハングした失敗したTURコマンドを修正
- 壊れた内部コマンド予約を修正
- 新しいバージョン番号スキームのアップデート
- 一般的な無害なエラーに関する詳細なエラーメッセージを修正

- 失敗した論理ボリュームがオフライン状態で適切に処理されていません。
- 一部のエラー状態では、SCSIセンスとステータスの戻り値が正しくありません。
- ホットプラグのリカバリ中に表示される「使用不可」ステータスが正しくありません。
- 一部のドライバーログメッセージで表示されるターゲットIDが正しくありません。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバー for VMware vSphere 6.5(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.01.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042874.compsig; cp042874.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

このリリースには以下の修正が含まれています。

- キューでハングした失敗したTURコマンドを修正
- 壊れた内部コマンド予約を修正
- 新しいバージョン番号スキームのアップデート
- 一般的な無害なエラーに関する詳細なエラーメッセージを修正

- 失敗した論理ボリュームがオフライン状態で適切に処理されていません。
- 一部のエラー状態では、SCSIセンスとステータスの戻り値が正しくありません。
- ホットプラグのリカバリ中に表示される「使用不可」ステータスが正しくありません。
- 一部のドライバーログメッセージで表示されるターゲットIDが正しくありません。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.7 (バンドルファイル)

バージョン: 0072.0.149 **(推奨)**
ファイル名: HPE-nhpsa_67.0072.0.149-1OEM.670.0.0.8169922-offline_bundle-17300270.zip

修正

このリリースには以下の修正が含まれています。

- キューでハングした失敗したTURコマンドを修正
- 壊れた内部コマンド予約を修正
- 新しいバージョン番号スキームのアップデート
- 一般的な無害なエラーに関する詳細なエラーメッセージを修正

- 失敗した論理ボリュームがオフライン状態で適切に処理されていません。
- 一部のエラー状態では、SCSIセンスとステータスの戻り値が正しくありません。
- ホットプラグのリカバリ中に表示される「使用不可」ステータスが正しくありません。
- 一部のドライバーログメッセージで表示されるターゲットIDが正しくありません。

HPE ProLiant Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.7 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2021.01.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042875.compsig; cp042875.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

このリリースには以下の修正が含まれています。

- キューでハングした失敗したTURコマンドを修正
- 壊れた内部コマンド予約を修正
- 新しいバージョン番号スキームのアップデート
- 一般的な無害なエラーに関する詳細なエラーメッセージを修正

- 失敗した論理ボリュームがオフライン状態で適切に処理されていません。
- 一部のエラー状態では、SCSIセンスとステータスの戻り値が正しくありません。
- ホットプラグのリカバリ中に表示される「使用不可」ステータスが正しくありません。
- 一部のドライバーログメッセージで表示されるターゲットIDが正しくありません。

HPE ProLiant Smartアレイ HPCISSS3コントローラードライバー for 64ビットMicrosoft Windows Server 2012/2012 R2/2016/2019 Edition

バージョン:106.26.0.64 **(推奨)**
ファイル名: cp037982.exe

修正

システムは、メモリ割り当ての問題により、ホットリプレースの実行中にBSODを表示する可能性があります

HPE SmartアレイGen10およびGen10Plusコントローラードライバーfor Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 106.278.0.1043 **(推奨)**
ファイル名: cp044563.compsig; cp044563.exe

修正

- ディスクに論理ドライブへの未処理のコマンドがあるときに論理ドライブを削除する場合のBSODの問題。
- コントローラーをスリープ状態からウェイクアップすると、ウォッチドッグタイムアウトのBSODが発生する場合があります。
- エキスパンダーの背後に接続されたSATAドライブで大量のI/Oを実行すると、ウォッチドッグ時間のBSODが発生する場合があります。
- 大量のI/Oを実行し、LUNをリセットした後のBSODの問題

拡張

- HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

Windows 2012 R2 エディション用HPE Smartアレイ P824i-p MR 64-bitコントローラードライバー。

バージョン:6.714.18.0 **(推奨)**
ファイル名: cp034410.compsig; cp034410.exe

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

Windows 2016エディション用HPE Smartアレイ P824i-p MR 64-bitコントローラードライバー。

バージョン:6.714.18.0 **(推奨)**
ファイル名: cp034411.compsig; cp034411.exe

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

Windows 2019エディション用HPE SmartアレイP824i-p MR 64-bitコントローラードライバー。

バージョン: 6.714.18.0 **(推奨)**
ファイル名: cp038009.compsig; cp038009.exe

拡張

Microsoft Windows Server 2019初回リリース

---

vSphere 6.5用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー

バージョン: 7.706.09.00 **(推奨)**
ファイル名: Release_Notes_lsi-mr3-7.706.09.00-1OEM_6.5.txt; VMW-ESX-6.5.0-lsi_mr3-7.706.09.00-12102431.zip

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

---

vSphere 6.5用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2019.12.13 **(推奨)**
ファイル名: cp042803.compsig; cp042803.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

---

vSphere 6.7用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー

バージョン: 7.706.09.00 **(推奨)**
ファイル名: Release_Notes_lsi-mr3-7.706.09.00-1OEM.txt; VMW-ESX-6.7.0-lsi_mr3-7.706.09.00-offline_bundle-12095481.zip

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

---

vSphere 6.7用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2019.12.13 **(推奨)**
ファイル名: cp042807.compsig; cp042807.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

64-bit Red Hat Enterprise Linux 7用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラードライバー

バージョン:07.706.05.00-14 **(推奨)**
ファイル名: kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u5.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u5.x86_64.rpm; kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u6.x86_64.rpm

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(Megacellステータス、AHS、Spade、サニタイズ & エキスパンダー)

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-693.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびUpdate 4用の今後のerrataカーネル。
3.10.0-862.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5 (64-bit)およびUpdate 5用の今後のerrataカーネル。

64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 12用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラードライバー

バージョン:07.706.05.00-14 **(推奨)**
ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp3.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp3.x86_64.rpm; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp4.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp4.x86_64.rpm

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(Megacellステータス、AHS、Spade、サニタイズおよびエキスパンダー)

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP2 および今後のerrata。
4.4.73-5.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP3および今後のerrata。

64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 15用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラードライバー

バージョン:07.706.05.00-14 **(推奨)**
ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles15sp0.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles15sp0.x86_64.rpm

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(Megacellステータス、AHS、Spade、サニタイズ & エキスパンダー)

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit) SP0および今後のerrata。

ドライバー - ストレージ ファイバーチャネルおよびファイバーチャネルオーバーイーサネット

先頭

HPE Blade Storageメザニンファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー - Microsoft Windows Server 2012R2/2016

バージョン: 12.0.1192.0 **(推奨)**
ファイル名: cp042241.compsig; cp042241.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Storageメザニンファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー - Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1192.0 **(推奨)**
ファイル名: cp042240.compsig; cp042240.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012R2

バージョン: 12.8.334.6 **(推奨)**
ファイル名: cp044863.compsig; cp044863.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 12.8.334.6 **(推奨)**
ファイル名: cp044734.compsig; cp044734.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

機能強化:

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

```
elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019
```

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.8.334.6 **(推奨)**
ファイル名: cp044733.compsig; cp044733.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012 R2

バージョン: 9.4.1.20 (b) **(推奨)**
ファイル名: cp044785.compsig; cp044785.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.1.20にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.1.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 9.4.2.20 **(推奨)**
ファイル名: cp044786.compsig; cp044786.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.2.20にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.2.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 9.4.2.20 **(推奨)**
ファイル名: cp044787.compsig; cp044787.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.2.20にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.2.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー for Microsoft Windows Server 2012R2/2016

バージョン: 12.0.1192.0 (e) **(推奨)**
ファイル名: cp042531.compsig; cp042531.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター

HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサーネットアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー for Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1192.0 (f) **(推奨)**
ファイル名: cp042530.compsig; cp042530.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012R2/2016

バージョン: 12.8.334.6 **(推奨)**
ファイル名: cp044768.compsig; cp044768.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.8.334.6 **(推奨)**
ファイル名: cp044767.compsig; cp044767.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、 その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 例、

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

ドライバーバージョン12.8.334.6にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012 R2

バージョン: 9.4.1.20 (b) **(推奨)**
ファイル名: cp044798.compsig; cp044798.exe

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.1.20にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.1.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 9.4.2.20 **(推奨)**
ファイル名: cp044799.compsig; cp044799.exe

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました

- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.2.20にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.2.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 9.4.2.20 **(推奨)**
ファイル名: cp044800.compsig; cp044800.exe

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.2.20にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- リモートデスクトッププロトコル(RDP)要求を実行するファイバーチャネル(FC)ファブリックで、長時間の稼働後に不完全な入出力(I/O)が報告される動作を修正しました
- マルチパスI/O(MPIO)パスが90秒以上オフラインのままにされると回復しない可能性がある動作を修正しました
- サーバーの再起動後に、ターゲットの永続的バインド用に構成されたファイバーチャネル(FC)テープデバイスが認識されない動作を修正しました
- Hyper-V仮想マシン(VM)が論理ユニット番号(LUN)への一部のパスを認識しない場合がある動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

バージョン9.4.2.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.352.11-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.352.11-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名:kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.352.11-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.352.11-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with

Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を追加しました。

- RHEL 7.9のサポートを追加しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

以下を追加しました。

- RHEL 7.9のサポートを追加しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 9 Serverファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名:kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel7u9.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

機能強化:

- RHEL 7.9のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- RHEL 7.9のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.352.11-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.352.11-1.rhel8u2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel8u2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターfoR c-Class BladeSystem

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32GbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2 Serverファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名:kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel8u2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.8.352.11-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.8.352.11-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を追加しました。

- RHEL 8.3のサポートを追加しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

以下を追加しました。

- RHEL 8.3のサポートを追加しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.02.01.00.a14_k1-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

QLogicドライバーのベース名は、"qlgc"に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 3 Serverファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名:kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1342.0-1.rhel8u3.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

機能強化:

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.352.11_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.352.11_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

同じドライバーバージョンの書き換えは、–reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm –Uvh elx-lpfc-kmp-default-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. 同じドライバーバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm –Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –force --nodeps

rpm –Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

3. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4ファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。

- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.352.11_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.352.11_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

同じドライバーバージョンの書き換えは、–reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm –Uvh elx-lpfc-kmp-default-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を追加しました。

- SLES 12 SP5のサポートを追加しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

以下を追加しました。

- SLES 12 SP5のサポートを追加しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. 同じドライバーバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm –Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –force --nodeps

rpm –Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

3. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

機能強化:

- SLES 12 SP5のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SLES 12 SP5のサポートを追加しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.352.11_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.352.11_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

同じドライバーバージョンの書き換えは、–reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm –Uvh elx-lpfc-kmp-default-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. 同じドライバーバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm –Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –force --nodeps

rpm –Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

3. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with

Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1ファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

拡張

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.8.352.11_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.8.352.11_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

同じドライバーバージョンの書き換えは、–reinstallオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm –Uvh elx-lpfc-kmp-default-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を追加しました。

- SLES 15 SP2のサポートを追加しました。
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

拡張

以下を追加しました。

- SLES 15 SP2のサポートを追加しました。
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.02.01.00.a14-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.02.01.00.a14_k1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:

1. QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

2. 同じドライバーバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります

例: rpm –Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –force --nodeps

rpm –Uvh kmod-qla2xxx-<version>.<OSupdate>.x86_64.rpm –replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

3. セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている状態の検出およびそこからの回復を改善してください

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン10.02.01.00.a14-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルオーバーイーサーネット(FCoE)ドライバーキットfor HPE Storage Emulex(BRCM)コンバージドネットワークアダプターおよびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1342.0 **(推奨)**
ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1342.0_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

機能強化:

- SLES15 SP2のサポートを追加しました。

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

注記:

セキュアブートが有効になっているLinuxを実行しているHPE Gen 9サーバーには、このドライバーをロードするために、HPE-DB-2016セキュアブートキーをNVRAMにインストールする必要があります。詳しくは、次のリンクにある"HPE Gen9 Servers with Secure Boot Enabled Must Install the New HPE Db Key to Update Drivers"というタイトルのサポートドキュメントを参照してください:"https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00109772en_us。

修正

以下を修正しました。

- https://access.redhat.com/solutions/3136041で説明されている、Fibre Channel over Ethernet(FCoE)マルチパスフェイルオーバー中にクラスターノードが削除される可能性がある動作を修正しました。
- Virtual Connect(VC)インターコネクトモジュールの再起動後にイーサーネット接続が回復しない場合がある動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SLES 15 SP2のサポートを追加しました。

ドライバーバージョン12.0.1342.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

ドライバー - システム

先頭

HPE 不揮発性メモリドライバーfor Microsoft Windows Server 2012 R2および2016

バージョン: 3.0.2.0 **(推奨)**
ファイル名: cp042922.compsig; cp042922.exe

重要な注意!

このSmartコンポーネントバージョン3.0.2.0には、HPE NVMバスドライバーHpeNvmBus.sysバージョン3.0.2.0およびHPE NVMディスクドライバーHpeNvmDisk0101バージョン3.0.2.0が含まれています。

拡張

これらのNVDIMMドライバーはMicrosoft Windows Server 2012 R2および2016を実行する限定されたHPEサーバー上での不揮発性メモリに関するサポートを可能にします。

- WS2012R2およびWS2016ゲストでHyper-V Server 2019によって提供されるMicrosoft仮想NVDIMM(別名vNVDIMM)のサポートを追加しました。
- WS2012R2およびWS2016で、HPE Persistent Memoryデバイス(Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載)のサポートを追加しました。
- HPE 16GB NVDIMMデバイスWS2012R2上のサポートを追加しました。
- ブロックセクターサイズを512バイトから4096バイトに変更しました。古いデータにはアクセスできないため、保存する必要がある場合は最初にバックアップする必要があります。

HPEサーバー上のPersistent Memoryに関する詳しい情報については、下記のリンクを参照願います。

- https://www.hpe.com/us/en/servers/persistent-memory.html(英語)
- https://persistentmemory.hpe.com/windows/nvdimm (英語)

ドライバー - システムマネジメント

先頭

ESXi 7.0用のHPE CRUネイティブドライバー

バージョン: 7.0.10 **(推奨)**
ファイル名:cru_driver_700.10.16_1OEM.700.0.0.14828939_signed_component_15675715.zip

拡張

VMware ESXi 7.0のサポート

HPE ProLiant Gen9チップセット識別子 for Windows Server 2012 R2からServer 2019

バージョン: 10.1.17969.8134 **(オプション)**
ファイル名: cp040885.exe

拡張

- このコンポーネントでサポートされているデバイスについて、インテルから入手可能な最新バージョンと一致するようにアップデートされました。
- プロダクションService Pack for ProLiant のオペレーティングシステムのサポートを合わせるため、Windows Server 2012 を削除しました。

---

iLO 3/4チャネルインターフェイスドライバー for Windows Server 2008 および Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.30.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp029394.exe

重要な注意!

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたとき、チャネルインターフェイスドライバーは独自のコンポーネントに分離されました。以前は、このドライバーは*iLO 3*マネジメントコントローラードライバーパッケージコンポーネントの一部でした。

修正

ドライバーを再起動した場合、ドライバーで作成された作業項目が適切に終了していることを確認してください

---

iLO 4チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2012 および Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.0.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp035107.exe

重要な注意!

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたとき、チャネルインターフェイスドライバーは独自のコンポーネントに分離されました。以前は、このドライバーは*iLO 3*マネジメントコントローラードライバーパッケージコンポーネントの一部でした。

拡張

プロダクションService Pack for ProLiantを使用して、システムとオペレーティングシステムの連携をサポートします。

- Windows Server 2008およびWindows Server 2008 R2のサポートが削除されました。
- iLO 3のサポートが削除されました。
- HP ProLiant G7およびHP ProLiant Gen8システムのサポートが削除されました。

---

iLO 4チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2012 および Windows Server 2012 R2

バージョン:4.1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: cp039984.exe

重要な注意!

ProLiant Support Packバージョン9.00がリリースされたとき、チャネルインターフェイスドライバーは独自のコンポーネントに分離されました。以前は、このドライバーは*iLO 3*マネジメントコントローラードライバーパッケージコンポーネントの一部でした。

修正

Windowsがドライバーをアンロードせずに再起動した場合に発生する可能性があるWindowsバグチェック 0x50(PAGE_FAULT_IN_NONPAGED_AREA)を修正しました。

---

iLO 4チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2016 および Windows Server 2019

バージョン: 4.0.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp035108.exe

拡張

Windows Server 2019のサポートを追加しました。

---

iLO 4チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2016 および Windows Server 2019

バージョン:4.1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: cp039985.exe

修正

Windowsがドライバーをアンロードせずに再起動した場合に発生する可能性があるWindowsバグチェック 0x50(PAGE_FAULT_IN_NONPAGED_AREA)を修正しました。

---

iLO 4マネジメントコントローラードライバーパッケージfor Windows Server 2012および2012 R2

バージョン: 4.0.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp035109.exe

前提条件

このコンポーネントの前に*HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows Server 2008 to Server 2012 R2*(バージョン3.4.0.0以降)をインストールする必要があります。チャネルインターフェイスドライバーは、以前はこのコンポーネントに含まれていましたが、現在は別々にインストールされます。

拡張

プロダクションService Pack for ProLiantを使用して、システムとオペレーティングシステムの連携をサポートします。

- Windows Server 2008およびWindows Server 2008 R2のサポートが削除されました。
- iLO 3のサポートが削除されました。
- HP ProLiant G7およびHP ProLiant Gen8システムのサポートが削除されました。

---

iLO 4マネジメントコントローラードライバーパッケージfor Windows Server 2016および2019

バージョン:4.0.0.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp037927.exe

前提条件

このコンポーネントの前に*HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows Server 2016*をインストールする必要があります。

修正

Windows Device Guardが有効になっているときのコンポーネントのインストールの失敗(エラーメッセージ"The iLO 4 Core Driver must be installed before installing this package")を修正しました。

Microsoft Windows Server 2012 R2用iLO 5自動サーバー復旧ドライバー

バージョン: 4.7.1.0 **(推奨)**
ファイル名: cp046491.compsig; cp046491.exe

重要な注意!

iLO 5 Channel Interface Driver(バージョン4.1.0.0以前)をインストールすると、このドライバーが上書きされます。上書きを避けるには、バージョン4.1.0.0(B)以降のiLO 5 Channel Interface Driverを使用してください。

修正

- ブランディングの問題を修正しました

Microsoft Windows Server 2016およびMicrosoft Windows Server 2019用iLO 5自動サーバー復旧ドライバー

バージョン: 4.7.1.0 **(推奨)**
ファイル名: cp046492.compsig; cp046492.exe

重要な注意!

iLO 5 Channel Interface Driver(バージョン4.1.0.0以前)をインストールすると、このドライバーが上書きされます。上書きを避けるには、バージョン4.1.0.0(B)以降のiLO 5 Channel Interface Driverを使用してください。

修正

- ブランディングの問題を修正しました

---

iLO 5チャネルインターフェイスドライバー for Microsoft Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.7.1.0 **(推奨)**
ファイル名: cp046356.compsig; cp046356.exe

修正

- ブランディングの問題を修正しました

---

iLO 5チャネルインターフェイスドライバーfor Microsoft Windows Server 2016およびMicrosoft Windows Server 2019

バージョン: 4.7.1.0 **(推奨)**
ファイル名: cp046333.compsig; cp046333.exe

修正

- ブランディングの問題を修正しました

---

iLO 5チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.6.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp040013.compsig; cp040013.exe

拡張

iLO 5バージョン2.xファームウェアのサポートを追加します。

---

iLO 5チャネルインターフェイスドライバーfor Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 4.6.0.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp041932.compsig; cp041932.exe

拡張

_TBD

Windows Server 2016およびServer 2019用のSwitchtec PCIeスイッチ管理ドライバー

バージョン: 12.52.0.676 **(推奨)**
ファイル名: cp046195.compsig; cp046195.exe

拡張

- Apollo 6500 Gen10 Plus XL675dおよびXL645dのサポート

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるデバイス:

- Switchtec PFX 100xG4管理EP
- Switchtec PFX 52xG4管理EP

ドライバー - ビデオ

先頭

Windows Server 2012および2012 R2用Matrox G200eHビデオコントローラードライバー

バージョン:9.15.1.224 **(オプション)**
ファイル名: cp038691.exe

修正

- ドライバーバージョン9.15.1.184および9.15.1.218で発生する可能性がある解像度を変更したときに、画面がランダムに破損する問題を修正しました。

- Windowsディスプレイ診断ツール(dispdiag.exe)の実行時に発生する可能性のあるディスプレイのフリーズを修正します。

Windows Server 2016および2019用Matrox G200eHビデオコントローラードライバー

バージョン:9.15.1.224 **(オプション)**
ファイル名: cp038692.exe

修正

- ドライバーバージョン9.15.1.184および9.15.1.218で発生する可能性がある解像度を変更したときに、画面がランダムに破損する問題を修正しました。
- Windowsディスプレイ診断ツール(dispdiag.exe)の実行時に発生する可能性のあるディスプレイのフリーズを修正します。

Microsoft Windows Server 2016およびMicrosoft Windows Server 2019用Matrox G200eH3ビデオコントローラードライバー

バージョン: 9.15.1.224 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp041584.compsig; cp041584.exe

拡張

- Intel ICXプラットフォームのサポートが追加されました

Windows Server 2012 R2用Matrox G200eH3ビデオコントローラードライバー

バージョン: 9.15.1.224 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp040214.compsig; cp040214.exe

拡張

iLO 5バージョン2.xファームウェアのサポートを追加します。

ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ 先頭

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネントfor Windows

バージョン: 4.85 **(推奨)**
ファイル名: cp043332.exe

前提条件

HPE Virtual Connectリリースノートのバージョン4.85 には、前提条件が含まれていて、次のURLにあります: http://www.hpe.com/info/vc/manuals

修正

バージョン4.85で解決した問題のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

拡張

4.85バージョンの拡張機能の一覧は、 http://www.hpe.com/info/vc/manualsのHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュールfor HPE BladeSystem c-Class

HPE バーチャルコネクト 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

---

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8 Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネントfor Linux
バージョン: 4.85 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-vceth-4.85-1.1.x86_64.rpm

前提条件

『HPE Virtual Connectリリースノート』のバージョン4.85には、前提条件が含まれていて、次のURLにあります: http://www.hpe.com/info/vc/manuals

修正

バージョン4.85で解決した問題のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

拡張

4.85バージョンの拡張機能の一覧は、 http://www.hpe.com/info/vc/manualsのHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュールfor HPE BladeSystem c-Class

HPE バーチャルコネクト 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

---

オンラインHP 6 Gb SAS BLスイッチファームウェアSmart Component for Linux (x86/x64)
バージョン: 4.3.6.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/i586/firmware-solex6gb-solex-4.3.6.0-2.1.i586.rpm

重要な注意!

注記:システムが以前にバージョン4.3.6.0にアップデートされている場合、4.3.6.0(B)にアップデートする必要はありません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインHPE 6 Gb SAS BLスイッチファームウェアSmart Component for Windows (x86/x64)
バージョン: 4.3.6.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp038273.exe

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネントfor Linux
バージョン: 4.97 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-oa-4.97-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
  - OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
  - ファームウエアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
    - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して, まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。

        - Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
            - HPE Smart コンポーネントに依存するOAファームウェアのアップグレードメカニズム(例:EFM)は、この変更に影響を受けません。Smartコンポーネントは OA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。
    - **EFM**
        - OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接 保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISOイメージが4 GBを越える場合、 CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENTコマンドはISO URLステータスを“Invalid URL”と表示します。
        - SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアのアップデートプロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバー用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(HPE SUMをカスタムISOイメージを作成するために使用する場合は、コンポーネントタイプとしてファームウェア、サーバータイプとしてHPE ProLiant BLシリーズを選択します。) OA EFM機能と互換性のあるカスタムISOイメージの作成について詳しくは、『HPE BladeSystem Onboard Administratorユーザーガイド』を参照してください。HPE SUMに関する詳しい情報はHPE Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。 https://www.hpe.com/servers/hpsum/documentation
    - **FIPS**
        - Onboard Administrator 4.71は、http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdfにある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPS認定です。
    - **IPv6**
        - DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

前提条件

OAのWebインターフェイスにアクセスするには、のIPアドレスと、互換性のあるWebブラウザーを用意する必要があります。アプリケーションには、

HTTPS(SSL/TLSで暗号化されたセッションでやり取りされるHTTPパケット)でアクセスする必要があります。

OAのWebインターフェイスには、JavaScript 1.3またはこれに相当するものをサポートするXSLT対応ブラウザーが必要です。

以下では、サポートされているブラウザーを示します。

• Microsoft Internet Explorer 11

• Mozilla Firefox 67.0.4(64ビット)

• Google Chrome 77.0.3865.90 (Official Build) (64ビット)

修正

全般

- 異なるSSHセッションから同時にUPDATE ILO cliコマンドを実行すると、一部のコマンドが操作不能になるという問題に対処しました
- IPv6環境でのSETSERVER DVD CONNECTcliコマンドの使用に関する問題を修正しました。
- System Rom RBSUでのブレードのProductIDアップデートがOnboard Administratorに反映されない問題に対処しました。
- フラッシュからの証明書読み取り操作を利用して、証明書読み取りの失敗を最小限に抑えます。
- EngineBootカウントの増分時にEngineTimeがリセットされなかったSNMPv3プロトコルの問題を修正しました。
- ブレード検出の失敗に関連する問題に対処しました
- DHE暗号を使用してOnboard Administratorとの通信を確立できないSmart Componentの問題を修正しました。
- ECDSA暗号の有効化/無効化機能に関連する問題に対処しました。
- 構成スクリプトにSSH暗号リストを追加しました
- エンクロージャーが静的IP構成用に構成されている場合、IPv4 DynamicDNSを有効にできないOnboard Administrator GUIの問題を修正しました。
- CLIコマンドSETSSL_SESSIONTIMEOUTおよびSETSECURESHでのヘルプメッセージ表示の問題を修正しました。
- トラップレシーバーの追加/削除のためにEngineBootカウントが2つ増加するSNMPの問題に対処しました。
- 言語パックがOnboard Administratorにアップロードされたときに発生する問題をオンラインヘルプ(OLH)ページに表示する問題を修正しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました:

- Onboard AdministratorのWebサーバーの応答が拡張され、X-Content-Type-Optionsセキュリティヘッダーが含まれるようになりました。

- CVE-2011-3026-libpng:ヒープバッファオーバーフロー
- CVE-2018-1000517-BusyBoxwgetバージョンにバッファオーバーフローの脆弱性が含まれています
- CVE-2020-1971-EDIPARTYNAMENULLポインターの逆参照
- CVE-2020-15861-Net-SNMPで権限昇格が可能
- CVE-2020-15862-Net-SNMPは、rootとして任意のコマンドを実行する機能を提供します。
- CVE-2019-20892 – SNMPv3が一括リクエストの問題を取得

問題点および解決策

ブラウザー

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の"回帰"によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代わりのブラウザーを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11を備えたWindows 8システムでは、OA Web GUIセッションがIPアドレスの代わりにホスト名を使用してロードされている場合、OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザーのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス>FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladeも同じ問題があります。JavaアプレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HPE Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター"*Make Bootable ISO file*"と "*Enclosure Firmware Management*" を選択してください。詳しくは、HPE SUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

CAC

- CACモードのSSHでは、TelnetおよびXML応答プロトコルは無効になります。
- リンクされたエンクロージャーがCACモードになっている場合、リンクされたエンクロージャーのログインは動作しません。
- サービスアカウントの詳細を正確に指定しないと、証明書を使用したLDAPユーザーのログインは失敗します。
- CACの使用を開始する前にリカバリプランを立てることを強くお勧めします。 OA設定で問題が起こった場合、OAをシリアルポートまたはInsight DisplayパネルおよびUSB KEYからリカバリできる場合があります。いずれの方法もOAへの物理アクセスが必要です。 ただし、LCD PINが設定されている(または忘れた)場合、およびローカルアカウントが無効になっているかCACが正しく設定されていない場合、リカバリする唯一の方法はシリアルポート経由です。OAの復旧が必要な最も一般的な状況を2つ挙げると、LDAPが無効なローカルアカウントで誤って設定されている場合と、CACが証明書にアクセスしないよう設定されている場合です。

設定可能なSSHポート番号

スタンバイOAが4.85未満のファームウェアバージョンを実行していて、アクティブOAのファームウェア同期機能を使用してファームウェアバージョンが4.85以上にアップデートした場合、ファームウェアのアップデートおよびスタンバイOAの再起動後、SSHポートは構成されたポート番号で開きません。回避策は、スタンバイOAを再起動することです。SSHポートは、次回起動時に設定されたポートで開きます。SSH ポートがアクティブOAのデフォルトポート22で構成されている場合は、この問題が発生しません。

Smart コンポーネント

OAがFIPS ONまたはFIPS TOP-SECRETモードであり、Diffie-Hellman (DH)キーを使用する暗号のいずれかが有効になっている場合、OA Smartコンポーネントを使用したファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが次のエラーで失敗することがあります。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

FIPSまたは

TLS_DHE_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA25
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256

FIPS TOP-SECRET

TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384

Smartを介してOAのアップグレードまたはダウングレードを実行すると、同じエラーが発生する可能性があります

Update Manager(SUM)の結果、SUMに次のエラーメッセージが表示されます。

Component Package Deployment Status Log

---

cpC39063 オンラインHPEBladeSystem c-Class Onboard Administrator for Windows アップデートがエラーを返しました ビュー・ログ

この障害が発生すると、OA Smartコンポーネントのログファイルに次のメッセージが表示されます。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。

ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

この問題の回避策は、DHキーを使用するすべての暗号を無効にして、ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードを再実行することです。

暗号の無効化は、CLIコマンドDISABLE SSL CIPHERまたはGUIを使用して実行できます。ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが完了すると、無効にされた暗号を再度有効にすることができます。

iLO5ファームウェアのアップデート

UPDATE ILOコマンドは、OAバージョン4.90および4.90未満でiLO5ファームウェアバージョン2.10以降のアップデートに失敗します。この問題は、iLO5ファームウェアバージョン2.10に新しい署名が導入されたことが原因で発生します。

回避策は、OAファームウェアを4.95にアップデートしてから、UPDATE ILOコマンドを試すことです。この問題はOAバージョン4.95以降では発生しません。

拡張

Onboard Administrator 4.97は、以下の機能強化に対するサポートを提供します:

ハードウェアの追加

- なし

特徴**: 追加と変更**

全般

- 新しい機能がSNMPに追加され、v1 / v2cプロトコルの有効化/無効化オプションをサポートします。
- 緊急ブレーキ(eブレーキ)がアクティブ化および非アクティブ化されたイベント用に、新しいSNMPトラップが追加されました。
- 新しいNIDECファンのファームウェアアップデートのサポートが追加されました。
- ファームウェアバージョン1.8をサポートするように拡張されたPowerPICファームウェアアップデート。
- Onboard Administrator GUIで、iLO HTML5 IRCコンソールのサポートが追加されました。

セキュリティ

- SSHには、キー交換(KEX)アルゴリズムの有効化/無効化をサポートする新機能が追加されています。

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard AdministratorファームウェアコンポーネントfoWindows
バージョン: 4.97 **(推奨)**
ファイル名: cp046217.exe

重要な注意!

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
  - OA 4.50のリリースを開始するにあたって、ファームウェアのイメージの信頼性を強化するために標準化されたコード署名と認証のメカニズムが導入されています。
  - ファームウエアのROMイメージを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
    - ファームウェアバージョンが3.50以前のOAに関して, まずOAを3.50にアップグレードし、それからOA 4.50以降へのアップグレードを続けます。
  - Smart コンポーネントを使用している顧客がOAをアップグレードすることに関して
    - HPE Smart コンポーネントに依存するOAファームウェアのアップグレードメカニズム(例:EFM)は、この変更に影響を受けません。SmartコンポーネントはOA 4.50以降へのアップグレードを行う前に、OA 3.50への中間アップグレードを行います。
- **EFM**
  - OAは4 GB以下のサイズのSPP ISOイメージだけをサポートします。エンクロージャーDVD形式で直接 保存されているか、付随したUSBキーか、特定のURL経由で遠隔でマウントされているかのどれかとなります。もしISOイメージが4 GBを越える場合、 CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENTコマンドはISO URLステータスを“Invalid URL”と表示します。
  - SPP ISOイメージが4 GB以上である場合、OA EFMブレードファームウェアのアップデートプロセスには不要なコンポーネントを除外したカスタムISOイメージを作成する必要があります。カスタムISOには、少なくともHPE ProLiant BLシリーズのサーバー用ファームウェアコンポーネントだけは含める必要があります。(HPE SUMをカスタムISOイメージを作成するために使用する場合は、コンポーネントタイプとしてファームウェア、サーバータイプとしてHPE ProLiant BLシリーズを選択します。) OA EFM機能と互換性のあるカスタムISOイメージの作成について詳しくは、『HPE BladeSystem Onboard Administratorユーザーガイド』を参照してください。HPE SUMに関する詳しい情報はHPE Smart Update Managerのオンラインヘルプまたは次で見つけることができます。 https://www.hpe.com/servers/hpsum/documentation
- **FIPS**
  - Onboard Administrator 4.71は、http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdfにある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPS認定です。
- **IPv6**
  - DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

前提条件

OAのWebインターフェイスにアクセスするには、のIPアドレスと、互換性のあるWebブラウザーを用意する必要があります。アプリケーションには、

HTTPS(SSL/TLSで暗号化されたセッションでやり取りされるHTTPパケット)でアクセスする必要があります。

OAのWebインターフェイスには、JavaScript 1.3またはこれに相当するものをサポートするXSLT対応ブラウザーが必要です。

以下では、サポートされているブラウザーを示します。

• Microsoft Internet Explorer 11

• Mozilla Firefox 67.0.4(64ビット)

• Google Chrome 77.0.3865.90 (Official Build) (64ビット)

修正

全般

- 異なるSSHセッションから同時にUPDATE ILO cliコマンドを実行すると、一部のコマンドが操作不能になるという問題に対処しました
- IPv6環境でのSETSERVER DVD CONNECTcliコマンドの使用に関する問題を修正しました。
- System Rom RBSUでのブレードのProductIDアップデートがOnboard Administratorに反映されない問題に対処しました。
- フラッシュからの証明書読み取り操作を利用して、証明書読み取りの失敗を最小限に抑えます。
- EngineBootカウントの増分時にEngineTimeがリセットされなかったSNMPv3プロトコルの問題を修正しました。
- ブレード検出の失敗に関連する問題に対処しました
- DHE暗号を使用してOnboard Administratorとの通信を確立できないSmart Componentの問題を修正しました。
- ECDSA暗号の有効化/無効化機能に関連する問題に対処しました。
- 構成スクリプトにSSH暗号リストを追加しました
- エンクロージャーが静的IP構成用に構成されている場合、IPv4 DynamicDNSを有効にできないOnboard Administrator GUIの問題を修正しました。
- CLIコマンドSETSSL_SESSIONTIMEOUTおよびSETSECURESHでのヘルプメッセージ表示の問題を修正しました。
- トラップレシーバーの追加/削除のためにEngineBootカウントが2つ増加するSNMPの問題に対処しました。
- 言語パックがOnboard Administratorにアップロードされたときに発生する問題をオンラインヘルプ(OLH)ページに表示する問題を修正しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました:

- Onboard AdministratorのWebサーバーの応答が拡張され、X-Content-Type-Optionsセキュリティヘッダーが含まれるようになりました。
- CVE-2011-3026-libpng:ヒープバッファオーバーフロー
- CVE-2018-1000517-BusyBoxwgetバージョンにバッファオーバーフローの脆弱性が含まれています
- CVE-2020-1971-EDIPARTYNAMENULLポインターの逆参照
- CVE-2020-15861-Net-SNMPで権限昇格が可能
- CVE-2020-15862-Net-SNMPは、rootとして任意のコマンドを実行する機能を提供します。
- CVE-2019-20892 – SNMPv3が一括リクエストの問題を取得

問題点および解決策

ブラウザー

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の“回帰”によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代わりのブラウザーを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11を備えたWindows 8システムでは、OA Web GUIセッションがIPアドレスの代わりにホスト名を使用してロードされている場合、OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザーのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス>FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladeも同じ問題があります。JavaアプレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HPE Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター"*Make Bootable ISO file*"と "*Enclosure Firmware Management*" を選択してください。詳しくは、HPE SUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

CAC

- CACモードのSSHでは、TelnetおよびXML応答プロトコルは無効になります。
- リンクされたエンクロージャーがCACモードになっている場合、リンクされたエンクロージャーのログインは動作しません。
- サービスアカウントの詳細を正確に指定しないと、証明書を使用したLDAPユーザーのログインは失敗します。
- CACの使用を開始する前にリカバリプランを立てることを強くお勧めします。 OA設定で問題が起こった場合、OAをシリアルポートまたはInsight Displayパネルおよび USB KEYからリカバリできる場合があります。いずれの方法もOAへの物理アクセスが必要です。 ただし、LCD PINが設定されている(または忘れた)場合、およびローカルアカウントが無効になっているかCACが正しく設定されていない場合、リカバリする唯一の方法はシリアルポート経由です。OAの復旧が必要な最も一般的な状況を2つ挙げると、LDAPが無効なローカルアカウントで誤って設定されている場合と、CACが証明書にアクセスしないよう設定されている場合です。

構成可能なSSHポート番号

スタンバイOAが4.85未満のファームウェアバージョンを実行していて、アクティブOAのファームウェア同期機能を使用してファームウェアバージョンが4.85以上にアップデートした場合、ファームウェアのアップデートおよびスタンバイOAの再起動後、SSHポートは構成されたポート番号で開きません。回避策は、スタンバイOAを再起動することです。SSHポートは、次回起動時に設定されたポートで開きます。SSH ポートがアクティブOAのデフォルトポート22で構成されている場合は、この問題が発生しません。

Smart コンポーネント

OAがFIPS ONまたはFIPS TOP-SECRETモードであり、Diffie-Hellman (DH)キーを使用する暗号のいずれかが有効になっている場合、OA Smartコンポーネントを使用したファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが次のエラーで失敗することがあります。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

FIPSまたは

TLS_DHE_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA25
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256

FIPS TOP-SECRET

TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384

Smartを介してOAのアップグレードまたはダウングレードを実行すると、同じエラーが発生する可能性があります

Update Manager(SUM)の結果、SUMに次のエラーメッセージが表示されます。

Component Package Deployment Status Log

---

cpC39063 オンラインHPEBladeSystem c-Class Onboard Administrator for Windows アップデートがエラーを返しました ビュー・ログ

この障害が発生すると、OA Smartコンポーネントのログファイルに次のメッセージが表示されます。

Error: 1013: クライアントは、Onboard Administratorに接続できません。

ターゲットアドレスが正しく、お使いのシステムからアクセスできることを確認してください。

この問題の回避策は、DHキーを使用するすべての暗号を無効にして、ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードを再実行することです。

暗号の無効化は、CLIコマンドDISABLE SSL CIPHERまたはGUIを使用して実行できます。ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードが完了すると、無効にされた暗号を再度有効にすることができます。

iLO5ファームウェアのアップデート

UPDATE ILOコマンドは、OAバージョン4.90および4.90未満でiLO5ファームウェアバージョン2.10以降のアップデートに失敗します。この問題は、iLO5ファームウェアバージョン2.10に新しい署名が導入されたことが原因で発生します。

回避策は、OAファームウェアを4.95にアップデートしてから、UPDATE ILOコマンドを試すことです。この問題はOAバージョン4.95以降では発生しません。

拡張

Onboard Administrator 4.97は、以下の機能強化に対するサポートを提供します:

ハードウェアの追加

- なし

特徴**: 追加と変更**

全般

- 新しい機能がSNMPに追加され、v1 / v2cプロトコルの有効化/無効化オプションをサポートします。
- 緊急ブレーキ(eブレーキ)がアクティブ化および非アクティブ化されたイベント用に、新しいSNMPトラップが追加されました。
- 新しいNIDECファンのファームウェアアップデートのサポートが追加されました。
- ファームウェアバージョン1.8をサポートするように拡張されたPowerPICファームウェアアップデート。
- Onboard Administrator GUIで、iLO HTML5 IRCコンソールのサポートが追加されました。

セキュリティ

- SSHには、キー交換(KEX)アルゴリズムの有効化/無効化をサポートする新機能が追加されています。

ファームウェア - Lights-Outマネジメント 先頭

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Integrated Lights-Out 4

バージョン: 2.77 **(推奨)**
ファイル名: CP046020.scexe; RPMS/i386/firmware-ilo4-2.77-1.1.i386.rpm

重要な注意!

- HPE製品セキュリティポリシーに従って、アップグレード要件の深刻度を推奨に下げます。これは、このセキュリティの脆弱性のCVEスコア(7.3)、影響の評価、および発生の可能性に基づいています。そのため、アップグレード要件が'推奨'アップグレードに改訂されました。

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog

WinDBGサポート
IPv6接続を経由したCPQLOCFG/HPLOMIG
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.3.0
- HPONCFG Linux 5.4.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

修正

- ネットワークスタックの潜在的な脆弱性。セキュリティの脆弱性について詳しく知りたい方はここをクリックしてください。
- LDAP認証中にActive Directoryテストが失敗する場合があります。

拡張

- ログインバナーSSHログインを表示するためのサポートが追加されました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Integrated Lights-Out 5
バージョン: 1.48 (a) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-ilo5-1.48-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-1.48-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS

Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.2.0
- HPONCFG Linux 5.3.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

注記: iLO HighSecurity、FIPS、CNSA セキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティとシステムライブラリが必要です。現在、HPONCFG Windows ユーティリティでは、CNSA セキュリティ状態がサポートされていません。

修正

- iLO 5の旧バージョンのiLO 5でサポートしているすべてのDCiオプションに対して set server info コマンドを実装し、iLO 5のアップデート中にNICの設定をリセットする可能性があります。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Integrated Lights-Out 5
バージョン: 2.42 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.42-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.42-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.42-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0

- HPONCFG Windows 5.2.0
- HPONCFG Linux 5.3.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

注記: iLO HighSecurity、FIPS、CNSA セキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティとシステムライブラリが必要です。現在、HPONCFG Windows ユーティリティでは、CNSA セキュリティ状態がサポートされていません。

修正

- デバイスインベントリの下にリストされる製品名を"NVIDIA Quadro M3000SE"として修正しました。これは、iLOファームウェアv2.16以降で"Synergy 75W MXM Mezzanine"と誤ってリストされていました
- 最初のPensandoカードがPCIeエラーで失敗した後、iLOは2つ目のカードの監視を停止します

拡張

- ネットワーク上でサーバーを一意に識別し、暗号的に検証可能なサーバーアイデンティティ(iLO IDevID、iLO LDevID、システムIDevID、システムIAK、プラットフォーム証明書)機能を追加しました。
- 802.1Xアクセス制御ネットワークへのオンボーディングのためのの認証
- Intel VROCのサポートを有効にしました

  - VROC SATAコントローラーとそれに接続されているドライブのデバイス検出とインベントリ
  - Intel VROC(VMD NVMe RAID)とVROC SATAコントローラーのファームウェアインベントリ

- サポートされているファームウェアバージョンのサイズを48バイトに拡張しました
- Apolloシステムの液冷のサポート
- サーバープラットフォームサービス記述子の検証とリカバリ
- Pensandoクラウドアダプターの検出、インベントリ、および熱サポートを有効にしました

  - P41849-B21: Pensando DSP DSC-25 Cld-SP 10/25Gbカード
  - P41852-B21: Pensando DSP DSC-100 Cld-SP 100Gbカード

- Synergyで、以下の設定を変更する機能を制限しました

注記: これらの設定への変更は、OneViewとiLO間の通信に影響を与える可能性があります

  - iLO Webサービス
  - iLO Webサービス非SSLポート
  - WebサーバーSSLポート
  - iLO RIBCLインターフェイス

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi -HPE Integrated Lights-Out 4
バージョン: 2.77 (a) **(推奨)**
ファイル名: CP046983.compsig; CP046983.zip

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
IPv6接続を経由したCPQLOCFG/HPLOMIG
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート

LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.3.0
- HPONCFG Linux 5.4.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

修正

- ESXi 7.xを実行しているGen9サーバーに、SPPからiLOファームウェアを展開できず、"Update Returned an Error"というエラーが表示されます。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 4
バージョン: 2.77 **(推奨)**
ファイル名: cp046022.exe

重要な注意!

- HPE製品セキュリティポリシーに従って、アップグレード要件の深刻度を推奨に下げます。これは、このセキュリティの脆弱性のCVEスコア(7.3)、影響の評価、および発生の可能性に基づいています。そのため、アップグレード要件が'推奨'アップグレードに改訂されました。

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HPE-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
IPv6接続を経由したCPQLOCFG/HPLOMIG
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.3.0
- HPONCFG Linux 5.4.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

修正

- ネットワークスタックの潜在的な脆弱性。セキュリティの脆弱性について詳しく知りたい方はここをクリックしてください。
- LDAP認証中にActive Directoryテストが失敗する場合があります。

拡張

- ログインバナーSSHログインを表示するためのサポートが追加されました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 5
バージョン: 1.48 (a) **(オプション)**
ファイル名: cp044447.compsig; cp044447.exe

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.2.0
- HPONCFG Linux 5.3.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

注記: ★iLO ●高セキュリティ、FIPSおよびCNSAのセキュリティ状態●をサポートするには、アップデートされたユーティリティおよびシステムライブラリーが必要です。★
★★ HPONCFG Windowsユーティリティ
は、CNSAのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

修正

- iLO 5の旧バージョンのiLO 5でサポートしているすべてのDCiオプションに対して set server info コマンドを実装し、iLO 5のアップデート中にNICの設定をリセットする可能性があります。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 5
バージョン: 2.42 **(推奨)**
ファイル名: cp046458.exe; cp046458_part1.compsig; cp046458_part2.compsig

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.2.0
- HPONCFG Linux 5.3.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

注記: ★iLO ●高セキュリティ、FIPSおよびCNSAのセキュリティ状態●をサポートするには、アップデートされたユーティリティおよびシステムライブラリーが必要です。★
★★ HPONCFG Windowsユーティリティ
は、CNSAのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

修正

- デバイスインベントリの下にリストされる製品名を"NVIDIA Quadro M3000SE"として修正しました。これは、iLOファームウェアv2.16以降で"Synergy 75W MXM Mezzanine"と誤ってリストされていました

- 最初のPensandoカードがPCIeエラーで失敗した後、iLOは2つ目のカードの監視を停止します

拡張

- ネットワーク上でサーバーを一意に識別し、暗号的に検証可能なサーバーアイデンティティ(iLO IDevID、iLO LDevID、システムIDevID、システムIAK、プラットフォーム証明書)機能を追加しました。
- 802.1Xアクセス制御ネットワークへのオンボーディングのためのの認証
- Intel VROCのサポートを有効にしました

  - VROC SATAコントローラーとそれに接続されているドライブのデバイス検出とインベントリ
  - Intel VROC(VMD NVMe RAID)とVROC SATAコントローラーのファームウェアインベントリ

- サポートされているファームウェアバージョンのサイズを48バイトに拡張しました
- Apolloシステムの液冷のサポート
- サーバープラットフォームサービス記述子の検証とリカバリ
- Pensandoクラウドアダプターの検出、インベントリ、および熱サポートを有効にしました

  - P41849-B21: Pensando DSP DSC-25 Cld-SP 10/25Gbカード
  - P41852-B21: Pensando DSP DSC-100 Cld-SP 100Gbカード

- Synergyで、以下の設定を変更する機能を制限しました

注記: これらの設定への変更は、OneViewとiLO間の通信に影響を与える可能性があります

  - iLO Webサービス
  - iLO Webサービス非SSLポート
  - WebサーバーSSLポート
  - iLO RIBCLインターフェイス

オンラインROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Integrated Lights-Out 5
バージョン: 1.48 (a) **(オプション)**
ファイル名: ilo5_148.fwpkg

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.2.0
- HPONCFG Linux 5.3.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

注記: ★iLO ●高セキュリティ、FIPSおよびCNSAのセキュリティ状態●をサポートするには、アップデートされたユーティリティおよびシステムライブラリーが必要です。★
★★ HPONCFG Windowsユーティリティ
は、CNSAのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

修正

- iLO 5の旧バージョンのiLO 5でサポートしているすべてのDCiオプションに対して set server info コマンドを実装し、iLO 5のアップデート中にNICの設定をリセットする可能性があります。

オンラインROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Integrated Lights-Out 5
バージョン: 2.42 **(推奨)**
ファイル名: ilo5_242.fwpkg

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティを推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.2.0
- HPONCFG Linux 5.3.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

注記: iLO HighSecurity、FIPS、CNSA セキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティとシステムライブラリが必要です。現在、HPONCFG Windows ユーティリティでは、CNSA セキュリティ状態がサポートされていません。

修正

- デバイスインベントリの下にリストされる製品名を"NVIDIA Quadro M3000SE"として修正しました。これは、iLOファームウェアv2.16以降で"Synergy 75W MXM Mezzanine"と誤ってリストされていました
- 最初のPensandoカードがPCIeエラーで失敗した後、iLOは2つ目のカードの監視を停止します

拡張

- サーバーID(iLO IDevID、iLO LDevID、システムIDevID、システムIAK、およびプラットフォーム証明書)機能を追加して、ネットワーク全体でサーバーを一意に識別できるようにしました。これは暗号によって検証可能です
- 802.1Xアクセス制御ネットワークへのオンボーディングのためのの認証
- Intel VROCのサポートを有効にしました

  - VROC SATAコントローラーとそれに接続されているドライブのデバイス検出とインベントリ
  - Intel VROC(VMD NVMe RAID)とVROC SATAコントローラーのファームウェアインベントリ

- サポートされているファームウェアバージョンのサイズを48バイトに拡張しました
- Apolloシステムの液冷のサポート
- サーバープラットフォームサービス記述子の検証とリカバリ
- Pensandoクラウドアダプターの検出、インベントリ、および熱サポートを有効にしました

  - P41849-B21: Pensando DSP DSC-25 Cld-SP 10/25Gbカード
  - P41852-B21: Pensando DSP DSC-100 Cld-SP 100Gbカード

- Synergyで、以下の設定を変更する機能を制限しました

注記: これらの設定への変更は、OneViewとiLO間の通信に影響を与える可能性があります

  - iLO Webサービス
  - iLO Webサービス非SSLポート
  - WebサーバーSSLポート
  - iLO RIBCLインターフェイス

ファームウェア - ネットワーク 先頭

Broadcomファームウェアパッケージfor BCM5741xアダプター

バージョン: 218.0.166.0 **(推奨)**
ファイル名:bcm218.0.166.0.pup.fwpkg

修正

  - この製品は、ファミリファームウェアバージョンのヘルプ文字列の変更に対処します。
  - この製品は、オペレーティングシステムでファームウェアバージョンをアップデートするときにファームウェアバージョンを検出できないという問題に対処します。
  - この製品は、OSからシステムを再起動した後、OS起動前環境で接続が失われる問題に対処します。

拡張

  - 初期バージョン
  - この製品は、サポートされているデバイスでのデータセンターインターコネクトのサポートを提供します。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

  - HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
  - HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
  - HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
  - HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
  - HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター
  - HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプターfor Linux (x64)
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-cna-mezz-emulex-2021.02.01-1.6.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-cna-mezz-emulex-2021.02.01-1.6.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-cna-mezz-emulex-2021.02.01-1.6.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOB NICドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

追加の要件:

ファームウェアアップデートキットのインストール前にターゲット環境にlibsysfsまたはsysfsutilsパッケージをインストールしておく必要があります。存在していない場合、libsysfsまたはsysfsutilsパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。

コンポーネントがEmulex HBA/CNAを検出できるようにするために32-bit netlink library (libnl.so) がインストールされている環境が必要です
フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です

注記: FCoE/iSCSIプロトコルをサポートするデバイス上でプロトコルを有効にするには、適切なEmulex FCoE/iSCSIドライバーをインストールしてください。FCoEプロトコルでは、HPE Emulex FCoE Enablement Kitもインストールする必要があります。ドライバーと有効化キットは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadで入手可能なService Pack for ProLiant(SPP)でも入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCoEドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールします。

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE BladeファームウェアフラッシュfOr Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019(x64)
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042239.compsig; cp042239.exe

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト: http://www.hpe.com/から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

ファイバーチャネルおよびコンバージドネットワークアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、コンバージドネットワークアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE BladeファームウェアフラッシュfOr Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - VMware vSphere 6.5
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042236.compsig; CP042236.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - VMware vSphere 6.7
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042237.compsig; CP042237.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Bladeファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンコンバージドネットワークアダプター - VMware vSphere 7.0
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042549.compsig; CP042549.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux
バージョン: 1.2.3 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-intel-bl-1.2.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-bl-1.2.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel ixgbe Drivers for Linux*、バージョン5.9.4以降を推奨しています。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。
この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。
この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。
この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware
バージョン: 1.2.3 **(オプション)**
ファイル名: CP045076.compsig; CP045076.zip

重要な注意!

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel ixgben*ドライバー *for VMware*、バージョン2020.12.09以降を推奨しています。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 7.0 U1をサポートしています。
この製品は現在、VMware vSphere 6.7 U3をサポートしています。
この製品は現在、VMware vSphere 6.5 U3をサポートしています。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Edition
バージョン: 1.0.2.3 **(オプション)**
ファイル名: cp045079.compsig; cp045079.exe

重要な注意!

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、ご使用のシステムに適用可能な次のドライバーのいずれかを推奨しています:

- *HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2012 R2*、バージョン3.14.214.0以降
- *HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2016*、バージョン4.1.199.0以降
- *HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2019*、バージョン4.1.197.0以降

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

このファームウェアは、アップデートされたWindows ixnドライバーとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux
バージョン: 1.2.3 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-bl-1.2.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-bl-1.2.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEでは、このパッケージのファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20GbE Multifunction*ドライバー*for Linux*、バージョン7.14.76-1以降を推奨しています。

前提条件

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートがアップ(*ifup ethX* または*ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

この製品は、(NPAR、SR-IOVなどの)I/O仮想化機能を有効にしてシステムの電源をオンにすると、Uncorrectable Machine Check Exception(UMCE)が発生する問題に対処します。
この製品は、534Mおよび630MメザニンデバイスでWOLがサポートされていない場合でも、それらのデバイスのヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)メニューにWOLオプションが表示される問題に対処します。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8および9をサポートします。
この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2および3をサポートしています。
この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。
この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware
バージョン: 1.2.2 **(オプション)**
ファイル名: CP045077.compsig; CP045077.zip

重要な注意!

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE*マルチファンクションドライバー *for VMware*、バージョン2021.04.19以降を推奨しています。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、(NPAR、SR-IOVなどの)I/O仮想化機能を有効にしてシステムの電源をオンにすると、Uncorrectable Machine Check Exception(UMCE)が発生する問題に対処します。
この製品は、534Mおよび630Mメザニンデバイスで WOLがサポートされていない場合でも、それらのデバイスのヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)メニューにWOLオプションが表示される問題に対処します。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 7.0 U1をサポートしています。
この製品は現在、VMware vSphere 6.7 U3をサポートしています。
この製品は現在、VMware vSphere 6.5 U3をサポートしています。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Edition
バージョン: 1.0.2.2 **(オプション)**
ファイル名: cp045080.compsig; cp045080.exe

重要な注意!

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20GbE*マルチファンクションドライバー*for Windows Server x64 Edition*、バージョン7.13.195.0以降を推奨しています。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、(NPAR、SR-IOVなどの)I/O仮想化機能を有効にしてシステムの電源をオンにすると、Uncorrectable Machine Check Exception(UMCE)が発生する問題に対処します。
この製品は、534Mおよび630Mメザニンデバイスで WOLがサポートされていない場合でも、それらのデバイスのヒューマンインターフェイスインフラストラクチャ(HII)メニューにWOLオプションが表示される問題に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eファームウェアパッケージfor BCM5741xアダプター
バージョン: 218.0.166000 **(推奨)**
ファイル名:bcm218.0.166000.Optimized.pup.fwpkg

修正

- この製品は、ファミリファームウェアバージョンのヘルプ文字列の変更に対処します。
- この製品は、RBSUでのLLDP機能オプションの命名とDCBプロトコルオプションの対話性の強化に対処します。
- この製品は、RedFishを介してクエリを実行する際のMACアドレスの不足に関する問題に対処します。
- この製品は、Microsoft Windows(R)でアダプターのファームウェアバージョンを認識できないという問題に対処します。
- この製品は、SUSE Linux Enterprise Serverのインストール中にPCIeエラーを受け取る問題に対処します。
- この製品は、UDPマルチキャストアプリケーションの開始/停止時にパケットが欠落する問題に対処します。
- この製品は、POST中にHPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプターでリンクが稼働しない問題に対処します。

拡張

初期バージョン

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 535Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64
バージョン: 2.27.6 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-broadcom-2.27.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-broadcom-2.27.6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom tg3 Ethernet Drivers*、バージョン3.139b以降を推奨しています。

前提条件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX or ifconfig ethX up or wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムがアダプタのネットワークインターフェイスを構成していない場合、インターフェイスを表示するには、ネットワーク設定ファイルを作成する必要があります。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

- この製品は、AHSログの情報不足に関する問題に対処します。
- この製品は、ウォームリブート後のPOST中に断続的に発生したRSODの問題に対処します。
- この製品は、ファミリファームウェアバージョンのヘルプ文字列の変更に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)

- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware
バージョン: 1.28.6 **(オプション)**
ファイル名: CP045013.compsig; CP045013.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.18.31が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	NCSIバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)	2.10	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0
HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE) HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター HPE Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター	1.46	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0
HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8) HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター	1.40	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、AHSログの情報不足に関する問題に対処します。
- この製品は、ウォームリブート後のPOST中に断続的に発生したRSODの問題に対処します。
- この製品は、ファミリファームウェアバージョンのヘルプ文字列の変更に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Edition
バージョン: 5.2.4.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045014.compsig; cp045014.exe

重要な注意!

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Edition*、バージョン214.0.0.6以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.18.31が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	NCSIバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター	2.10	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0

(22BD)					
HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター (22BE) HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター HPE Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター	1.46	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0
HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター (22E8) HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター	1.40	21.6.0	1.5.27	21.6.12	218.0.10.0

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、AHSログの情報不足に関する問題に対処します。
- この製品は、ウォームリブート後のPOST中に断続的に発生したRSODの問題に対処します。
- この製品は、ファミリファームウェアバージョンのヘルプ文字列の変更に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexコンバージドネットワークアダプターfor Linux (x64)
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2021.02.01-1.8.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2021.02.01-1.8.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOB NICドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

追加の要件:

ファームウェアアップデートキットのインストール前にターゲット環境にlibsysfsまたはsysfsutilsパッケージをインストールしておく必要があります。存在していない場合、libsysfsまたはsysfsutilsパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。

コンポーネントがEmulex HBA/CNAを検出できるようにするために32-bit netlink library (libnl.so) がインストールされている環境が必要です
フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です

注記: FCoE/iSCSIプロトコルをサポートするデバイス上でプロトコルを有効にするには、適切なEmulex FCoE/iSCSIドライバーをインストールしてください。FCoEプロトコルでは、HPE Emulex FCoE Enablement Kitもインストールする必要があります。ドライバーと有効化キットは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadで入手可能なService Pack for ProLiant(SPP)でも入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCoEドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールします。

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042529.compsig; cp042529.exe

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト: http://www.hpe.com/から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.5用Emulexコンバージドネットワークアダプター
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042526.compsig; CP042526.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.7用Emulexコンバージドネットワークアダプター
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042527.compsig; CP042527.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 7.0用Emulexコンバージドネットワークアダプター
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042543.compsig; CP042543.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 内部エンジニアリングデータの表示の動作を修正しました

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1277.0	12.0.1336.0	12.0.1269.0	12.0.1171.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 556FLR-Tアダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64
バージョン: 1.21.6 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-intel-1.21.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-1.21.6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- Linux用HPE Intel igbドライバー、バージョン6.2.5以降
- HPE Intel ixgbeドライバーfor Linux、バージョン5.9.4以降
- Linux用HPE Intel i40eドライバー、バージョン2.13.10以降

前提条件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX or ifconfig ethX up or wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムがアダプタのネットワークインターフェイスを構成していない場合、インターフェイスを表示するには、ネットワーク設定ファイルを作成する必要があります。

- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

この製品は、ネットワーク接続がないときにSystems Insight Display(SID)モジュールが緑色になる問題に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568i アダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware
バージョン: 3.14.5 **(オプション)**
ファイル名: CP045036.compsig; CP045036.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター	8000106F	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター	80000F91	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター	80000D00	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード	80000EBF	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター	8000105E	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター	80001060	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター	8000105F	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター	800027FA	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMTアダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター	800027FB	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター	80000838	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター	80000835	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター	80000636	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター	800005B6	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター	800027FC	1.2836.0	N/A

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563iアダプター	800035C0	1.1375.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター	80009655	1.2836.0	10.54.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター	8000137D	1.2836.0	10.54.4
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター	800095AA	1.2836.0	10.54.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター	8000137C	1.2836.0	10.54.4

コンボイメージv1.2836.0は以下を含みます:Boot Agent: 1GbE - v1.5.88、10GbE - v2.4.44、40GbE - v1.1.18 &UEFIドライバー:1GbE - v9.4.06、10GbE - v7.8.13、40GbE - v4.4.12

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 &UEFIドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、ネットワーク接続がないときにSystems Insight Display(SID)モジュールが緑色になる問題に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568i アダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition
バージョン: 5.2.4.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045037.compsig; cp045037.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター	8000106F	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター	80000F91	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター	80000D00	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード	80000EBF	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター	8000105E	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター	80001060	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター	8000105F	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター	800027FA	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMTアダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター	800027FB	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター	80000838	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター	80000835	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター	80000636	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター	800005B6	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター	800027FC	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター	800027F8	1.2836.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563iアダプター	800035C0	1.1375.0	N/A
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター	80009655	1.2836.0	10.54.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター	8000137D	1.2836.0	10.54.4
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター	800095AA	1.2836.0	10.54.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター	8000137C	1.2836.0	10.54.4

コンボイメージv1.2836.0は以下を含みます:Boot Agent: 1GbE - v1.5.88、10GbE - v2.4.44、40GbE - v1.1.18 &UEFIドライバー:1GbE - v9.4.06、10GbE - v7.8.13、40GbE - v4.4.12

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 &UEFIドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、ネットワーク接続がないときにSystems Insight Display(SID)モジュールが緑色になる問題に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568i アダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64
バージョン: 1.10.10 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-qlogic-flq-1.10.10-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-flq-1.10.10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

この製品のファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbE Drivers for Linux* 、バージョン8.55.5.0-1以降を推奨しています。

前提条件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX or ifconfig ethX up or wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムがアダプタのネットワークインターフェイスを構成していない場合、インターフェイスを表示するには、ネットワーク設定ファイルを作成する必要があります。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

この製品は、iPXEブートを試行しているときのスイッチのPause Flood状態に対処します。

拡張

この製品には、サポートPLDMファームウェアアップグレードベースの改善が含まれています。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware
バージョン: 4.13.50 **(オプション)**
ファイル名: CP046982.compsig; CP046982.zip

重要な注意!

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、 *HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbE*マルチファンクションドライバー*for VMware*、バージョン2021.04.05以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下を含むコンボイメージv8.55.12が含まれています。

- ブートコード(MFW):8.55.21.0
- UEFI:4.1.11.2
- PXE:2.0.19

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、iPXEブートを試行しているときのスイッチのPause Flood状態に対処します。

拡張

この製品には、サポートPLDMファームウェアアップグレードベースの改善が含まれています。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition
バージョン: 5.2.4.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044812.compsig; cp044812.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- *HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbE*ドライバー*for Windows Server x64 Edition*、バージョン8.55.5.0

このコンボイメージバージョンv8.55.12には以下が含まれます。

- ブートコード(MFW):8.55.21.0
- UEFI:4.1.11.2
- PXE:2.0.19

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、iPXEブートを試行しているときのスイッチのPause Flood状態に対処します。

拡張

この製品には、サポートPLDMファームウェアアップグレードベースの改善が含まれています。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64
バージョン: 2.28.6 **(オプション)**

ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-2.28.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-2.28.6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このパッケージのファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for Linux*、バージョン7.14.76-1以降を推奨しています。

前提条件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX or ifconfig ethX up or wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムがアダプタのネットワークインターフェイスを構成していない場合、インターフェイスを表示するには、ネットワーク設定ファイルを作成する必要があります。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

この製品は、プラットフォームがWOLパケットによってランダムにウェイクアップされるという問題に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware
バージョン: 1.28.6 **(オプション)**
ファイル名: CP044814.compsig; CP044814.zip

重要な注意!

このファームウェアとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for VMware、バージョン2021.04.05以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv7.18.80が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	UEFIバージョン	iSCSIバージョン	FCoEバージョン	CCMバージョン	L2バージョン
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター	7.16.03	7.14.13	8.8.2	該当なし	n/a	7.14.4	7.12.25
HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター	7.16.03	7.14.13	8.8.2	7.14.0	7.14.3	7.14.4	7.12.25

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、プラットフォームがWOLパケットによってランダムにウェイクアップされるという問題に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition
バージョン: 5.2.4.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044815.compsig; cp044815.exe

重要な注意!

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- *HPE QLogic NX2 10/20GbE*マルチファンクションドライバー*for Windows Server x64 Edition*、バージョン7.13.196.0以降

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv7.18.80が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	UEFIバージョン	iSCSIバージョン	FCoEバージョン	CCMバージョン	L2バージョン
HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター	7.16.03	7.14.13	8.8.2	該当なし	n/a	7.14.4	7.12.25
HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター HPE StoreFabric CN1100R-T コンバージドネットワークアダプター	7.16.03	7.14.13	8.8.2	7.14.0	7.14.3	7.14.4	7.12.25

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、プラットフォームがWOLパケットによってランダムにウェイクアップされるという問題に対処します。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

Intelファームウェアパッケージfor E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプター
バージョン: 2.24 **(推奨)**
ファイル名: HPE_E810_CQDA2_2p24_PLDMoMCTP_800059DB.fwpkg

拡張

初期バージョン

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプター
バージョン: 2.24 **(推奨)**
ファイル名: HPE_E810_CQDA2_OCP_2p24_NCSIwPLDMoMCTP_800059D4.fwpkg

拡張

初期バージョン

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-CQDA2 Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプター
バージョン: 2.24 **(推奨)**
ファイル名: HPE_E810_XXVDA2_SD_2p24_PLDMoMCTP_800059DF.fwpkg

拡張

初期バージョン

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプター
バージョン: 2.24 **(推奨)**
ファイル名: HPE_E810_XXVDA2_SD_OCP_2p24_NCSIwPLDMoMCTP_800059DE.fwpkg

拡張

初期バージョン

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA2 Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 OCP3アダプターfor HPE

Intelファームウェアパッケージfor E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプター
バージョン: 2.24 **(推奨)**
ファイル名: HPE_E810_XXVDA4_FH_2p24_PLDMoMCTP_800059D9.fwpkg

拡張

初期バージョン

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- Intel E810-XXVDA4 Ethernet 10/25Gb 4ポートSFP28アダプターfor HPE

Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64
バージョン: 1.22.11 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-is-intel-1.22.11-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-is-intel-1.22.11-1.1.x86_64.rpm

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。
- この製品は、現在Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2およびUpdate 3をサポートしています。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター

Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware
バージョン: 3.15.8 **(オプション)**
ファイル名: CP044896.compsig; CP044896.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	NVMバージョン
HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター	80009837	1.2829.0	8.10
HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター	800093DD	1.2829.0	8.10
Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプター	80001099	1.2839.0	N/A
Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプター	80001097	1.2839.0	N/A
インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)	8000108E	1.2839.0	N/A
インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)	8000108F	1.2839.0	N/A

コンボイメージv1.2829.0は以下を含みます:Boot Agent: I40E - v1.1.18 & UEFIドライバー:40GbE - v4.4.12。

コンボイメージv1.2839.0は以下を含みます:Boot Agent: 1GbE - v1.5.88 & UEFIドライバー:1GbE - v9.4.06。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 7.0 U1をサポートしています。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition
バージョン: 5.2.4.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044897.compsig; cp044897.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	NVMバージョン
HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ OCP3 X710-DA2アダプター	80009837	1.2829.0	8.10
HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター	800093DD	1.2829.0	8.10
Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-Tアダプター	80001099	1.2839.0	N/A
Intel I350-T4 Ethernet 1Gb 4ポートBASE-T OCP3アダプター	80001097	1.2839.0	N/A
インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)	8000108E	1.2839.0	N/A
インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)	8000108F	1.2839.0	N/A

コンボイメージv1.2829.0は以下を含みます:Boot Agent: I40E - v1.1.18 & UEFIドライバー:40GbE - v4.4.12。

コンボイメージv1.2839.0は以下を含みます:Boot Agent: 1GbE - v1.5.88 & UEFIドライバー:1GbE - v9.4.06。

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、古いバージョンからのOROMのダウングレードが終了コード6で失敗する問題を修正します。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(2ポート)
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection(4ポート)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ X710-DA2アダプター

Marvell FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64
バージョン: 1.10.8 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-is-marvell-flq-1.10.8-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-is-marvell-flq-1.10.8-1.1.x86_64.rpm

前提条件

このパッケージには、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートがアップ(*ifup ethX* または*ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

- この製品には、サポートPLDMファームウェアアップグレードベースの改善が含まれています。
- この製品は、以下のようにネットワークアダプターの過熱の問題に対処します。

    HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HLRJアダプター
    HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター

拡張

この製品は、NPAR有効化オプションをサポートするようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HLCUアダプター

Marvell FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware
バージョン: 4.13.9 **(オプション)**
ファイル名: CP044970.compsig; CP044970.zip

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、コンボイメージv8.55.12が含まれています。このコンボイメージには以下が含まれます。

- PXE:2.0.19
- ブートコード(MFW):8.55.22.0
- UEFI:6.1.8.2

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品には、サポートPLDMファームウェアアップグレードベースの改善が含まれています。
- この製品は、以下のようにネットワークアダプターの過熱の問題に対処します。

    HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HLRJアダプター
    HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター

拡張

この製品は、NPAR有効化オプションをサポートするようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HLCUアダプター

Marvell FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition
バージョン: 5.2.4.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044971.compsig; cp044971.exe

重要な注意!

HPEでは、この製品のファームウェアとともに使用する場合は、*Marvell FastLinQ 10/25/50 GbE*ドライバー*for Windows Server x64 Edition 8.55.5.0*以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、コンボイメージv8.55.12が含まれています。このコンボイメージには以下が含まれます。

- PXE:2.0.19
- ブートコード(MFW):8.55.22.0
- UEFI:6.1.8.2

前提条件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品には、サポートPLDMファームウェアアップグレードベースの改善が含まれています。
- この製品は、以下のようにネットワークアダプターの過熱の問題に対処します。

  HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HLRJアダプター
  HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター

拡張

この製品は、NPAR有効化オプションをサポートするようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HLCUアダプター

HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 MCX515A-CCAT PCIe3 x16アダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)
バージョン: 16.29.1016 **(推奨)**
ファイル名: 16_29_1016-MCX515A-CCA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、8つを超えるPFが有効になっている場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。
- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、OSがリソースの再割り当てを行う場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。
- vDPAハードウェアオフロードソリューションはソフトウェアソリューションよりも高い速度をサポートできますが、移行を完了するにはQEMU自動収束を有効にする必要があるため、virtioデバイスのトラフィック負荷が高い(20/20 MPPS)場合は移行を完了できません。
- Eye-Openingツールを使用すると、リンク速度の低下やリンクダウンイベントが発生する可能性があります。
- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが16.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
- ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

- イーサーネットwqe_too_smallモード**:**イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

以下の機能のサポートを追加しました。

- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。(ベータ)
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:
  - フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
  - l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P31246-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポートQSFP28 PCIe3 x16 MCX515A-CCATアダプター	MT_0000000

HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)
バージョン: 22.29.1016 **(推奨)**
ファイル名: 22_29_1016-MCX623106AS-CDA_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアバージョン22.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、8つを超えるPFが有効になっている場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。
- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、OSがリソースの再割り当てを行う場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。
- vDPAハードウェアオフロードソリューションはソフトウェアソリューションよりも高い速度をサポートできますが、移行を完了するにはQEMU自動収束を有効にする必要があるため、virtioデバイスのトラフィック負荷が高い(20/20 MPPS)場合は移行を完了できません。
- Eye-Openingツールを使用すると、リンク速度の低下やリンクダウンイベントが発生する可能性があります。
- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが22.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン22.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
- ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります
- "iperf3"および"iperf3 -l 512"でvirtioハードウェアオフロードソリューションのトラフィックがある問題を修正しました。

拡張

バージョン22.29.1016の新機能および変更:

- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ポートあたり最大127デバイスのスケーラビリティでPPSのvDPAパフォーマンスを最適化しました。
- マルチホストデバイスを使用する場合、ファームウェアは、アダプターカードへのオフロードアクティビティの実行を担当する最も高いインデックスを持つ外部SmartNICホスト(内蔵CPU PF(ECPF))を識別できるようになりました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

以下の機能のサポートを追加しました。

- アイ開口:NRZ信号を使用する場合にのみサポートされます。(ベータ)
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、イーサーネットパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- vDPAのエラー統計とレポート。
- IPv6 TSOオフロード

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437

HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)
バージョン: 22.29.1016 **(推奨)**
ファイル名: 22_29_1016-MCX623105AS-VDA_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

ファームウェアバージョン22.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、8つを超えるPFが有効になっている場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。
- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、OSがリソースの再割り当てを行う場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。
- vDPAハードウェアオフロードソリューションはソフトウェアソリューションよりも高い速度をサポートできますが、移行を完了するにはQEMU自動収束を有効にする必要があるため、virtioデバイスのトラフィック負荷が高い(20/20 MPPS)場合は移行を完了できません。
- Eye-Openingツールを使用すると、リンク速度の低下やリンクダウンイベントが発生する可能性があります。

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが22.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン22.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
- ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります
- "iperf3"および"iperf3 -l 512"でvirtioハードウェアオフロードソリューションのトラフィックがある問題を修正しました。

拡張

バージョン22.29.1016の新機能および変更:

- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ポートあたり最大127デバイスのスケーラビリティでPPSのvDPAパフォーマンスを最適化しました。
- マルチホストデバイスを使用する場合、ファームウェアは、アダプターカードへのオフロードアクティビティの実行を担当する最も高いインデックスを持つ外部SmartNICホスト(内蔵CPU PF(ECPF))を識別できるようになりました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

以下の機能のサポートを追加しました。

- アイ開口:NRZ信号を使用する場合にのみサポートされます。(ベータ)
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、イーサーネットパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- vDPAのエラー統計とレポート。
- IPv6 TSOオフロード

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P10180-B21	HPE Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX623105AS-VDATアダプター	MT_0000000435

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)
バージョン: 20.29.1016 **(推奨)**
ファイル名: 20_29_1016-MCX653105A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

1. クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
2. svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
3. 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
4. ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
5. NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
6. RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
7. まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 MCX653435A-HDAI OCP3 PCIe4 x16アダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)
バージョン: 20.29.1016 **(推奨)**
ファイル名: 20_29_1016-MCX653435A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

1. クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
2. svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
3. 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
4. ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
5. NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
6. RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
7. まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P31323-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56 PCIe4 x16 OCP3 MCX653435A-HDAIアダプター	MT_0000000592

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 MCX653106A-HDAT PCIe4 x16アダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)
バージョン: 20.29.1016 **(推奨)**
ファイル名: 20_29_1016-MCX653106A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				
ポート#1 - イーサーネット	**HDR/HDR100**	**EDR**	**FDR**	**QDR**
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				

ポート#1 - InfiniBand	50GbE	100GbE/25GbE	40GbE/10GbE	1GbE
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

1. クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
2. svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
3. 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
4. ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
5. NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
6. RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
7. まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P31324-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 PCIe4 x16 MCX653106A-HDATアダプター	MT_0000000594

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートQSFP56 MCX653436A-HDAI OCP3 PCIe4 x16アダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ(FWPKG)
バージョン: 20.29.1016 **(推奨)**
ファイル名: 20_29_1016-MCX653436A-HDA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				
ポート#1 - イーサーネット	**HDR/HDR100**	**EDR**	**FDR**	**QDR**
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				
ポート#1 - InfiniBand	**50GbE**	**100GbE/25GbE**	**40GbE/10GbE**	**1GbE**
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

1. クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
2. svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
3. 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
4. ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
5. NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
6. RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
7. まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P31348-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 2ポートPCIe4 x16 OCP3 QSFP56 MCX653436A-HDAIアダプター	MT_0000000593

HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ (FWPKG)
バージョン: 20.29.1016 **(推奨)**
ファイル名: 20_29_1016-MCX653105A-ECA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

1. クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
2. svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
3. 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
4. ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
5. NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
6. RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
7. まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452

HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター用Mellanoxファームウェアパッケージ (FWPKG)
バージョン: 20.29.1016 **(推奨)**
ファイル名: 20_29_1016-MCX653106A-ECA_HPE_Ax.pldm.fwpkg

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				
ポート#1 - イーサーネット	**HDR/HDR100**	**EDR**	**FDR**	**QDR**
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				
ポート#1 - InfiniBand	**50GbE**	**100GbE/25GbE**	**40GbE/10GbE**	**1GbE**
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

前提条件

FWPKGは、アダプターにフラッシュされたファームウェアバージョンが20.27.1016以降の場合にのみ機能し、iLO5ファームウェアバージョンは2.30以降である必要があります。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

1. クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
2. svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
3. 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
4. ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
5. NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
6. RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
7. まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。

- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.5)
バージョン: 1.0.4 **(推奨)**
ファイル名: CP045197.compsig; CP045197.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン14.29.1016には既知の問題は含まれていませんでした。

前提条件

ConnectX4ファームウェアバージョン14.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題がバージョン14.29.1016で修正されています:

- デバイスがFLRモードに入ったときに、送信されたパケットがハングする問題。
- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- 負荷が高い状態で多くのオープンリソースを使用してソフトウェアのリセットフローを実行しているときに、デバイスがフリーズするまれなケース。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーすると、PXEパフォーマンスが低下します。
- ファームウェアトランスポートエラーハンドラーとエラーストレッサーの競合状態が原因で完了(CQ)を完了できないエラー。エラーストレッサーがファームウェアトランスポートエラーハンドラーフローをハングさせていました。
- 断片化されたIPパケットがドロップされる問題が修正されました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます:

P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.29.1016は、以下の新機能および変更点を含みます:

- 電力削減のためのmlxconfigサポートを追加しました。PCI CAP AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
  - PCI CAP
  - AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました:
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HPE0000000038

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.5)
バージョン: 1.0.9 **(推奨)**
ファイル名: CP045192.compsig; CP045192.zip

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

FWバージョン2.42.5044での既知の問題:

- QSFPモジュールRTXM320-581を使用していて、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行すると、リンクが確立されません。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE(レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、2番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE光ケーブルを使用している場合に、56GbEリンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.29.1016および16.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策:ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。

- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策: そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

FWバージョン14.29.1016での既知の問題:

- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

FWバージョン16.29.1016での既知の問題:

- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。

前提条件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

バージョン2.42.5044で提出された修正:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_smallは、失敗するために使用されるODPページをカウントするためのカウンターです。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。

- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:

817749-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:
817753-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

バージョン14.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 6.5
バージョン: 1.0.8 **(推奨)**
ファイル名: CP045145.compsig; CP045145.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン12.28.1002での既知の問題:

- NVCONFIGによってMKEY_BY_NAMEが有効にされており、多数のVFが構成されている場合、VMの再起動(VF/PF FLR)には、MKEY_BY_NAMEが無効にされている場合よりも長くかかります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- svlan/ cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_small カウンターが ODP (On-Demand Paging) ページフォールトをカウントしてしまう問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。注記:この修正は、すべてのポートがイーサーネットとして設定されている場合に利用できます。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdown IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン12.28.1002で修正されました。

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題がありました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.1002にアップデートされました。

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

バージョン12.28.1002の新機能および変更:

- 最大XRQ数を512に増加しました。

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28 アダプター)

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation (ASO)を活用するためのフローメーターのHWサポート。 HWフローメーターは、FWフロー計測と比較して、より高いスケール、精度、およびパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)
ConnectX6デバイス - VMware ESXi 6.5
バージョン: 1.0.1 **(推奨)**
ファイル名: CP044869.compsig; CP044869.zip

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				
ポート#1 - イーサーネット	**HDR/HDR100**	**EDR**	**FDR**	**QDR**
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				
ポート#1 - InfiniBand	**50GbE**	**100GbE/25GbE**	**40GbE/10GbE**	**1GbE**
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

前提条件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
- ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.29.1016にアップデートされました:

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06154-B21
HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06250-B21
HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター - P06251-B21

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 6.5
バージョン: 1.0.7 **(推奨)**
ファイル名: CP045902.compsig; CP045902.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
  回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
  回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
  回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:** [IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
  回避策: BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
  回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
  回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
  回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
  回避策: 1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
  回避策: ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。

- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターSMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラー サイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更:

- イーサーネットアダプターカードにおいて、mlx_cmd_get_mlx_link_status コマンドの戻り値が "Link Type=Ethernet" を返すように修正しました。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HPE_1370110017

764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1390110023

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.5)
バージョン: 1.0.4 **(推奨)**
ファイル名: CP045140.zip; CP045140_part1.compsig; CP045140_part2.compsig

重要な注意!

ファームウェア14.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
- 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。mlxconfig -d <mst device> set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
- 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます。
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります。
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <->ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  -
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
  回避策: N/A
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策: このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
  回避策: N/A

注記: アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

修正

以下の問題点がファームウェアバージョン14.29.1016および16.29.1016で修正されました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCNのNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかることがあります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- eth_wqe_too_smallカウンターでODPページフォルトがカウントされる問題。

- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンス低下が観測される問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます。

P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされます。

P13188-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACATアダプター)
P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)
P10112-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター)

このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。デバイスのファームウェアセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードしてください。

バージョン14.29.1016および16.29.1016の新機能および変更:

- イーサーネットwqe_too_smallモード:イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとのカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

  以下の機能のサポートを追加しました。

- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。(ベータ)
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

  以下の機能のサポートを追加しました。

- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:
- フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.7)
バージョン: 1.0.4 **(推奨)**
ファイル名: CP045198.compsig; CP045198.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン14.29.1016には既知の問題は含まれていませんでした。

前提条件

ConnectX4ファームウェアバージョン14.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題がバージョン14.29.1016で修正されています:

- デバイスがFLRモードに入ったときに、送信されたパケットがハングする問題。
- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- 負荷が高い状態で多くのオープンリソースを使用してソフトウェアのリセットフローを実行しているときに、デバイスがフリーズするまれなケース。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーすると、PXEパフォーマンスが低下します。
- ファームウェアトランスポートエラーハンドラーとエラーストレッサーの競合状態が原因で完了(CQ)を完了できないエラー。エラーストレッサーがファームウェアトランスポートエラーハンドラーフローをハングさせていました。
- 断片化されたIPパケットがドロップされる問題が修正されました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます:

P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.29.1016は、以下の新機能および変更点を含みます:

- 電力削減のためのmlxconfigサポートを追加しました。PCI CAP AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
  - PCI CAP
  - AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました:
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HPE0000000038

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.7)
バージョン: 1.0.5 **(推奨)**
ファイル名: CP045193.compsig; CP045193.zip

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

FWバージョン2.42.5044での既知の問題:

- QSFPモジュールRTXM320-581を使用していて、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行すると、リンクが確立されません。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。

- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE(レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、2番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE光ケーブルを使用している場合に、56GbEリンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.29.1016および16.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策:ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策: そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

FWバージョン14.29.1016での既知の問題:

- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

FWバージョン16.29.1016での既知の問題:

- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。

前提条件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

バージョン2.42.5044で提出された修正:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_smallは、失敗するために使用されるODPページをカウントするためのカウンターです。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:

817749-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:
817753-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

バージョン14.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。

- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.7) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 6.7
バージョン: 1.0.4 **(推奨)**
ファイル名: CP045146.compsig; CP045146.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン12.28.1002での既知の問題:

- NVCONFIGによってMKEY_BY_NAMEが有効にされており、多数のVFが構成されている場合、VMの再起動(VF/PF FLR)には、MKEY_BY_NAMEが無効にされている場合よりも長くかかります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます

- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- svlan/ cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_small カウンターが ODP (On-Demand Paging) ページフォールトをカウントしてしまう問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。注記:この修正は、すべてのポートがイーサーネットとして設定されている場合に利用できます。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdown IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン12.28.1002で修正されました。

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題がありました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.1002にアップデートされました。

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

バージョン12.28.1002の新機能および変更:

- 最大XRQ数を512に増加しました。

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28 アダプター)

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation (ASO)を活用するためのフローメーターのHWサポート。 HWフローメーターは、FWフロー計測と比較して、より高いスケール、精度、およびパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。

- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.7) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 6.7
バージョン: 1.0.1 **(推奨)**
ファイル名: CP044870.compsig; CP044870.zip

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				
ポート#1 - イーサーネット	**HDR/HDR100**	**EDR**	**FDR**	**QDR**
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				
ポート#1 - InfiniBand	**50GbE**	**100GbE/25GbE**	**40GbE/10GbE**	**1GbE**
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

前提条件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
- ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.29.1016にアップデートされました:

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06154-B21
HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06250-B21

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.7) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 6.7
バージョン: 1.0.5 **(推奨)**
ファイル名: CP045903.compsig; CP045903.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
  回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
  回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
  回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:** [IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。

- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
  回避策: BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
  回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
  回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
  回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
  回避策: 1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
  回避策: ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターSMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラー サイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更:

- イーサーネットアダプターカードにおいて、mlx_cmd_get_mlx_link_status コマンドの戻り値が "Link Type=Ethernet" を返すように修正しました。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HPE_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1390110023

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.7)
バージョン: 1.0.4 **(推奨)**
ファイル名: CP045141.zip; CP045141_part1.compsig; CP045141_part2.compsig

重要な注意!

ファームウェア14.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
- 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。mlxconfig -d <mst device> set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
- 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます。
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります。
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <->ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1

        - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
        -
        - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
        - x86でのみコンパイルできます
    - カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
  回避策: N/A
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策: このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
  回避策: N/A

注記: アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

修正

以下の問題点がファームウェアバージョン14.29.1016および16.29.1016で修正されました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCNのNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかることがあります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- eth_wqe_too_smallカウンターでODPページフォルトがカウントされる問題。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンス低下が観測される問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます。

P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされます。

P13188-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACATアダプター)
P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)
P10112-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター)

このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。デバイスのファームウェアセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードしてください。

バージョン14.29.1016および16.29.1016の新機能および変更:

- イーサーネットwqe_too_smallモード:イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとのカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

  以下の機能のサポートを追加しました。

- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。(ベータ)
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

以下の機能のサポートを追加しました。

- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:
- フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 7.0)
バージョン: 1.0.1 **(推奨)**
ファイル名: CP045199.compsig; CP045199.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン14.29.1016には既知の問題は含まれていませんでした。

前提条件

ConnectX4ファームウェアバージョン14.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題がバージョン14.29.1016で修正されています:

- デバイスがFLRモードに入ったときに、送信されたパケットがハングする問題。
- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- 負荷が高い状態で多くのオープンリソースを使用してソフトウェアのリセットフローを実行しているときに、デバイスがフリーズするまれなケース。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーすると、PXEパフォーマンスが低下します。
- ファームウェアトランスポートエラーハンドラーとエラーストレッサーの競合状態が原因で完了(CQ)を完了できないエラー。エラーストレッサーがファームウェアトランスポートエラーハンドラーフローをハングさせていました。
- 断片化されたIPパケットがドロップされる問題が修正されました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます:

P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.29.1016は、以下の新機能および変更点を含みます:

- 電力削減のためのmlxconfigサポートを追加しました。PCI CAP AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
  - PCI CAP
  - AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました:
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HPE0000000038

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 7.0)
バージョン: 1.0.1 **(推奨)**
ファイル名: CP045194.compsig; CP045194.zip

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

FWバージョン2.42.5044での既知の問題:

- QSFPモジュールRTXM320-581を使用していて、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行すると、リンクが確立されません。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE(レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、2番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE光ケーブルを使用している場合に、56GbEリンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.29.1016および16.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策:ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策: そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

FWバージョン14.29.1016での既知の問題:

- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

FWバージョン16.29.1016での既知の問題:

- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。

前提条件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

バージョン2.42.5044で提出された修正:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_smallは、失敗するために使用されるODPページをカウントするためのカウンターです。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:

817749-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:
817753-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

バージョン14.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

バージョン16.28.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 7.0)for HPE Mellanox VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 7.0
バージョン: 1.0.1 **(推奨)**
ファイル名: CP045147.compsig; CP045147.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン12.28.1002での既知の問題:

- NVCONFIGによってMKEY_BY_NAMEが有効にされており、多数のVFが構成されている場合、VMの再起動(VF/PF FLR)には、MKEY_BY_NAMEが無効にされている場合よりも長くかかります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- svlan/ cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_small カウンターが ODP (On-Demand Paging) ページフォールトをカウントしてしまう問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。注記:この修正は、すべてのポートがイーサーネットとして設定されている場合に利用できます。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdown IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン12.28.1002で修正されました。

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題がありました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.1002にアップデートされました。

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

バージョン12.28.1002の新機能および変更:

- 最大XRQ数を512に増加しました。

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28 アダプター)

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation (ASO)を活用するためのフローメーターのHWサポート。 HWフローメーターは、FWフロー計測と比較して、より高いスケール、精度、およびパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 7.0
バージョン: 1.0.1 **(推奨)**
ファイル名: CP044871.compsig; CP044871.zip

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				
ポート#1 - イーサーネット	**HDR/HDR100**	**EDR**	**FDR**	**QDR**
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				
ポート#1 - InfiniBand	**50GbE**	**100GbE/25GbE**	**40GbE/10GbE**	**1GbE**
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

前提条件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
- ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.29.1016にアップデートされました:

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06154-B21
HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06250-B21
HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター - P06251-B21

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035

P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 7.0
バージョン: 1.0.1 **(推奨)**
ファイル名: CP045904.compsig; CP045904.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
  回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
  回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
  回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:** [IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
  回避策: BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
  回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
  回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
  回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
  回避策: 1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
  回避策: ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。

- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターSMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラー サイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更:

- イーサーネットアダプターカードにおいて、mlx_cmd_get_mlx_link_status コマンドの戻り値が "Link Type=Ethernet" を返すように修正しました。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1360110017

764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HPE_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1390110023

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 7.0)
バージョン: 1.0.1 **(推奨)**
ファイル名: CP045142.zip; CP045142_part1.compsig; CP045142_part2.compsig

重要な注意!

ファームウェア14.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
- 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。mlxconfig -d <mst device> set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
- 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます。
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります。
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <->ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls FlexParserプロトコルはサポートされていません (AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  -
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
  回避策: N/A
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策: このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
  回避策: N/A

注記: アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

修正

以下の問題点がファームウェアバージョン14.29.1016および16.29.1016で修正されました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCNのNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかることがあります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- eth_wqe_too_smallカウンターでODPページフォルトがカウントされる問題。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンス低下が観測される問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます。

P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされます。

P13188-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACATアダプター)
P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)
P10112-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター)

このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。デバイスのファームウェアセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードしてください。

バージョン14.29.1016および16.29.1016の新機能および変更:

- イーサーネットwqe_too_smallモード:イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとのカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

  以下の機能のサポートを追加しました。

- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。(ベータ)
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

  以下の機能のサポートを追加しました。

- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:
- フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)
バージョン: 1.0.4 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-mellanox-eth-only-mft-1.0.4-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-eth-only-mft-1.0.4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェアバージョン14.29.1016には既知の問題は含まれていませんでした。

前提条件

ConnectX4ファームウェアバージョン14.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題がバージョン14.29.1016で修正されています:

- デバイスがFLRモードに入ったときに、送信されたパケットがハングする問題。
- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- 負荷が高い状態で多くのオープンリソースを使用してソフトウェアのリセットフローを実行しているときに、デバイスがフリーズするまれなケース。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーすると、PXEパフォーマンスが低下します。
- ファームウェアトランスポートエラーハンドラーとエラーストレッサーの競合状態が原因で完了(CQ)を完了できないエラー。エラーストレッサーがファームウェアトランスポートエラーハンドラーフローをハングさせていました。
- 断片化されたIPパケットがドロップされる問題が修正されました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます:

P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.29.1016は、以下の新機能および変更点を含みます:

- 電力削減のためのmlxconfigサポートを追加しました。PCI CAP AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
  - PCI CAP
  - AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました:
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HPE0000000038

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE Intel OPAアダプター
バージョン: 1.9.2 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-intel-opa-hfi-1.9.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-opa-hfi-1.9.2-1.1.x86_64.rpm

前提条件

Smartコンポーネントには、前提条件としてIntel IFSまたはBasicソフトウェアv10.9.2.0.9がインストールされている必要があります。

修正

以下の問題がバージョン1.9.2で修正されました。

- SLES 15カーネル設定のため、HFIドライバーがロードされている間はhfi1_epromは機能しません。ツールとドライバーは相互に排他的です。

拡張

バージョン1.9.2の変更点および主な新しい機能:

- hfi1_eprom **v10_9_2_0_0**を追加しました。
- Loader ROM **HfiPcieGen3Loader_1.9.2.0.0.rom**およびドライバーEFI **HfiPcieGen3_1.9.2.0.0.efi**が追加されました。

サポートされるデバイスおよび機能

HP部品番号	OPA HFIアダプタータイプ	SSID
829334-B21	HPE 100Gb 1ポート OP101 QSFP28 x8 OPAアダプター	E7
829335-B21	HPE 100Gb 1ポート OP101 QSFP28 x16 OPAアダプター	E8

851226-B21	HPE Apollo 100Gb 1ポート Intel Omni-Pathアーキテクチャー860zメザニンFIOアダプター	21C

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用
バージョン: 1.0.14 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.14-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

FWバージョン2.42.5044での既知の問題:

- QSFPモジュールRTXM320-581を使用していて、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行すると、リンクが確立されません。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE(レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、2番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE光ケーブルを使用している場合に、56GbEリンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.29.1016および16.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策:ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策: そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

FWバージョン14.29.1016での既知の問題:

- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

FWバージョン16.29.1016での既知の問題:

- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。

前提条件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

バージョン2.42.5044で提出された修正:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_smallは、失敗するために使用されるODPページをカウントするためのカウンターです。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:

817749-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:
817753-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

バージョン14.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE Mellanox IB専用ConnectX4とConnectX5デバイス - Linux x86_64プラットフォーム
バージョン: 1.0.7 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.7-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.7-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェアバージョン12.28.1002での既知の問題:

- NVCONFIGによってMKEY_BY_NAMEが有効にされており、多数のVFが構成されている場合、VMの再起動(VF/PF FLR)には、MKEY_BY_NAMEが無効にされている場合よりも長くかかります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- svlan/ cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_small カウンターが ODP (On-Demand Paging) ページフォールトをカウントしてしまう問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。注記:この修正は、すべてのポートがイーサーネットとして設定されている場合に利用できます。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdown IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン12.28.1002で修正されました。

- 再試行タイムアウトが大きすぎる場合に、再試行オプションが機能する前にDCR(DCリソース)が破棄される原因となった問題。この場合、DCR'存続時間が増加し、最大再試行タイムアウトが減少しました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.1002にアップデートされました。

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター)

バージョン12.28.1002の新機能および変更:

- 最大XRQ数を512に増加しました。

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)
872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation (ASO)を活用するためのフローメーターのHWサポート。 HWフローメーターは、FWフロー計測と比較して、より高いスケール、精度、およびパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
843400-B21	HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター(843400-B21)	HPE2920111032
872723-B21	872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)	HPE0000000017
872725-B21	HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター(872725-B21)	HPE0000000008

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE Mellanox VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX4デバイス - Linux x86_64プラットフォーム
バージョン: 1.0.10 **(推奨)**
ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.10-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェアバージョン12.28.1002での既知の問題:

- NVCONFIGによってMKEY_BY_NAMEが有効にされており、多数のVFが構成されている場合、VMの再起動(VF/PF FLR)には、MKEY_BY_NAMEが無効にされている場合よりも長くかかります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- svlan/ cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_small カウンターが ODP (On-Demand Paging) ページフォールトをカウントしてしまう問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。注記:この修正は、すべてのポートがイーサーネットとして設定されている場合に利用できます。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdown IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン12.28.1002で修正されました。

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題がありました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.1002にアップデートされました。

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

バージョン12.28.1002の新機能および変更:

- 最大XRQ数を512に増加しました。

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28 アダプター)

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation (ASO)を活用するためのフローメーターのHWサポート。 HWフローメーターは、FWフロー計測と比較して、より高いスケール、精度、およびパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE Mellanox VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX6デバイス - Linux x86_64プラットフォーム
バージョン: 1.0.6 **(推奨)**
ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-connectx6-mft-1.0.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-connectx6-mft-1.0.6-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				
ポート#1 - イーサーネット	**HDR/HDR100**	**EDR**	**FDR**	**QDR**
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				
ポート#1 - InfiniBand	**50GbE**	**100GbE/25GbE**	**40GbE/10GbE**	**1GbE**
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

前提条件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
- ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.29.1016にアップデートされました:

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06154-B21
HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06250-B21
HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター - P06251-B21

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。
- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Linux x86_64プラットフォーム
バージョン: 1.0.12 **(推奨)**
ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.12-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.12-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
  回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
  回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
  回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:** [IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
  回避策: BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
  回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
  回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
  回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。
- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
  回避策: 1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
  回避策: ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターSMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラー サイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更:

- イーサーネットアダプターカードにおいて、mlx_cmd_get_mlx_link_status コマンドの戻り値が "Link Type=Ethernet" を返すように修正しました。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HPE_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1390110023

Mellanox ConnectX6Dx Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)
バージョン: 1.0.3 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-mellanox-nic-mft-1.0.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-nic-mft-1.0.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

- セキュリティハードニングの強化: このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティハードニングの強化が含まれています。 Mellanoxは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。
- シングルルートI/O仮想化(SR-IOV)- ポートあたりの仮想機能(VF)- ポートあたりの仮想機能(VF)の最大数は127です。
- 大量のPCIeリソースを必要とする機能については、"4G以上のデコード"BIOS設定を有効にすることをお勧めします。このような機能は、多数の仮想機能(VF)を備えたシングルルートI/O仮想化(SR-IOV)、PCIeエミュレートスイッチ、およびラージBAR要求です。

既知の問題点:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。

  回避策: なし

- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、8つを超えるPFが有効になっている場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。

  回避策: なし

- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、OSがリソースの再割り当てを行う場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。

  回避策: なし

- vDPAハードウェアオフロードソリューションはソフトウェアソリューションよりも高い速度をサポートできますが、移行を完了するにはQEMU自動収束を有効にする必要があるため、virtioデバイスのトラフィック負荷が高い(20/20 MPPS)場合は移行を完了できません。

  回避策:"--auto-converge"を追加して、自動収束をオンにします。例: virsh migrate --verbose --live --persistent gen-l-vrt-295-005CentOS-7.4 qemu+ssh://gen-l-vrt-295/system --unsafe --auto-converge

- Eye-Openingツールを使用すると、リンク速度の低下やリンクダウンイベントが発生する可能性があります。

  回避策: なし

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。

  回避策:ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。

- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。

  回避策:そのような問題が観察された場合:

  1. 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。mlxconfig -d <mst device> set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  2. 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います。
- Eye-Openingによって、ポートで実効誤差が発生する可能性があります。

  回避策: N/A

- AC電源再投入後にPhylessリセットを適用すると、BMCへの接続が失われます。

  回避策: N/A

- ファームウェアをv22.28.4000(およびそれ以下)からv22.29.1000にアップデートする場合、Phylessリセット機能はサポートされません。

  回避策: N/A

- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  1. ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます。
  2. バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります。
  3. 再フォーマットはサポートされていません 高度なマルチポート機能はサポートされていません - LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca--<->ワイヤーのトラフィックのみ)
  4. サポートされているパケットタイプ:
     - レイヤー2 Eth
     - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
     - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
     - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls FlexParserプロトコルはサポートされていません (AliVxlan/VxlanGpeなど)。
     - x86でのみコンパイルできます
  5. FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  6. x86でのみコンパイルできます。

  回避策: N/A

- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。

  回避策: このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。

前提条件

ConnectX5/ConnectX6ファームウェアバージョン22.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がファームウェアバージョン22.29.1016で修正されました:

- Windowsオペレーティングシステムでvirtioハードウェアオフロードソリューションのトラフィックを"iperf3"にできませんでした。
- virtioハードウェアオフロードソリューションのトラフィックを"iperf3 -i 512"にできませんでした。
- struct virtio_net_hdrがvirtioハードウェアオフロードソリューションによって適切に設定されませんでした。トラフィック中にdmesgに次のメッセージが表示されました:"bad gso: type xx, size: xx"。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかることがありました。
- バージョン4.10より新しいゲストカーネルで受信されるTCP/IPトラフィックは、GSOヘッダーが破損しているため不安定でした。dmesgから次のメッセージが表示される場合があります:"bad gso: type: xx, size: xxxx"。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にすると、パフォーマンスが低下しました。
  注記:この修正は、すべてのポートがイーサーネットとして設定されている場合に利用できます。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが22.29.1016にアップデートされます:

P25960-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター)

P10180-B21 (Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE)

バージョン22.29.1016の新機能および変更:

- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ポートあたり最大127デバイスのスケーラビリティでPPSのvDPAパフォーマンスを最適化しました。
- マルチホストデバイスを使用する場合、ファームウェアは、アダプターカードへのオフロードアクティビティの実行を担当する最も高いインデックスを持つ外部SmartNICホスト(内蔵CPU PF(ECPF))を識別できるようになりました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。
- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCNのNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。

以下の機能のサポートを追加しました。

- アイ開口:NRZ信号を使用する場合にのみサポートされます。(ベータ)
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、イーサーネットパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- vDPAのエラー統計とレポート。
- IPv6 TSOオフロード

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437
P10180-B21	Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE	MT_0000000435

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64) for Mellanox Open Ethernet cards
バージョン: 1.0.4 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-open-mellanox-eth-mft-1.0.4-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-open-mellanox-eth-mft-1.0.4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェア14.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
- 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。mlxconfig -d <mst device> set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
- 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます。
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります。
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <->ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls FlexParserプロトコルはサポートされていません (AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  -
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
  回避策: N/A
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策: このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
  回避策: N/A

注記: アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

修正

以下の問題点がファームウェアバージョン14.29.1016および16.29.1016で修正されました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCNのNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかることがあります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- eth_wqe_too_smallカウンターでODPページフォルトがカウントされる問題。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンス低下が観測される問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます。

P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされます。

P13188-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACATアダプター)
P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)
P10112-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター)

このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。デバイスのファームウェアセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードしてください。

バージョン14.29.1016および16.29.1016の新機能および変更:

- イーサーネットwqe_too_smallモード:イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとのカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

  以下の機能のサポートを追加しました。

- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。(ベータ)
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

  以下の機能のサポートを追加しました。

- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:
- フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417

HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター用オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64)
バージョン: 1.0.0.4 **(推奨)**
ファイル名: cp045200.compsig; cp045200.exe

重要な注意!

ファームウェアバージョン14.29.1016には既知の問題は含まれていませんでした。

前提条件

ConnectX4ファームウェアバージョン14.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題がバージョン14.29.1016で修正されています:

- デバイスがFLRモードに入ったときに、送信されたパケットがハングする問題。
- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- 負荷が高い状態で多くのオープンリソースを使用してソフトウェアのリセットフローを実行しているときに、デバイスがフリーズするまれなケース。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーすると、PXEパフォーマンスが低下します。
- ファームウェアトランスポートエラーハンドラーとエラーストレッサーの競合状態が原因で完了(CQ)を完了できないエラー。エラーストレッサーがファームウェアトランスポートエラーハンドラーフローをハングさせていました。
- 断片化されたIPパケットがドロップされる問題が修正されました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます:

P11338-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター)

バージョン14.29.1016は、以下の新機能および変更点を含みます:

- 電力削減のためのmlxconfigサポートを追加しました。PCI CAP AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
  - PCI CAP
  - AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN
- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました:
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+アダプター	HPE0000000038

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用
バージョン: 1.0.0.14 **(推奨)**
ファイル名: cp045195.compsig; cp045195.exe

重要な注意!

ファームウェアアップグレードユーティリティは、Mellanox Ethernet専用NICアダプター用に2つのパッケージに分割されました。1つはSynergyプラットフォームをサポートし、もう1つはProLiantおよびApolloプラットフォームをサポートします。このパッケージは、ProLiantおよびApolloサーバー上でMellanox Ethernet専用NICアダプターをサポートします。

FWバージョン2.42.5044での既知の問題:

- QSFPモジュールRTXM320-581を使用していて、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行すると、リンクが確立されません。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。

- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE(レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、2番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE光ケーブルを使用している場合に、56GbEリンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.29.1016および16.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策:ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策: そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

FWバージョン14.29.1016での既知の問題:

- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

FWバージョン16.29.1016での既知の問題:

- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。

前提条件

ConnectX4/ConnectX5ファームウェアバージョン14.28.1002/16.28.1002では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

バージョン2.42.5044で提出された修正:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_smallは、失敗するために使用されるODPページをカウントするためのカウンターです。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:

817749-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされました:
817753-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

バージョン14.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。

- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64)for HPE Mellanox IB専用ConnectX4およびConnectX5デバイス - Windows x86_64プラットフォーム
バージョン: 1.0.0.7 **(推奨)**
ファイル名: cp045138.compsig; cp045138.exe

重要な注意!

ファームウェアバージョン12.28.1002での既知の問題:

- NVCONFIGによってMKEY_BY_NAMEが有効にされており、多数のVFが構成されている場合、VMの再起動(VF/PF FLR)には、MKEY_BY_NAMEが無効にされている場合よりも長くかかります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます

- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- svlan/ cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_small カウンターが ODP (On-Demand Paging) ページフォールトをカウントしてしまう問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。注記:この修正は、すべてのポートがイーサーネットとして設定されている場合に利用できます。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdown IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン12.28.1002で修正されました。

- 再試行タイムアウトが大きすぎる場合に、再試行オプションが機能する前にDCR(DCリソース)が破棄される原因となった問題。この場合、DCR'存続時間が増加し、最大再試行タイムアウトが減少しました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.1002にアップデートされました。

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター)

バージョン12.28.1002の新機能および変更:

- 最大XRQ数を512に増加しました。

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)
872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation (ASO)を活用するためのフローメーターのHWサポート。 HWフローメーターは、FWフロー計測と比較して、より高いスケール、精度、およびパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。

- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
843400-B21	HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター(843400-B21)	HPE2920111032
872723-B21	872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)	HPE0000000017
872725-B21	HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター(872725-B21)	HPE0000000008

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4およびConnectX5デバイス - Windows x86_64プラットフォーム
バージョン: 1.0.0.9 **(推奨)**
ファイル名: cp045148.compsig; cp045148.exe

重要な注意!

ファームウェアバージョン12.28.1002での既知の問題:

- NVCONFIGによってMKEY_BY_NAMEが有効にされており、多数のVFが構成されている場合、VMの再起動(VF/PF FLR)には、MKEY_BY_NAMEが無効にされている場合よりも長くかかります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
  - 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。 mlxconfig -d set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
  - 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <-> ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策:このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

修正

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- svlan/ cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- eth_wqe_too_small カウンターが ODP (On-Demand Paging) ページフォールトをカウントしてしまう問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下する問題。注記:この修正は、すべてのポートがイーサーネットとして設定されている場合に利用できます。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

- マルチホストおよびソケットダイレクトアダプターカードのシャーシマネージャーの計算により、シャーシマネージャーBMCによるNC-SIコマンドの実行が可能になります。現在、BMCの数に関係なく、シャーシマネージャーはインデックス0のBMCとしてカウントされます。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdown IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン12.28.1002で修正されました。

- 再試行のタイムアウトが大きすぎる場合、再試行オプションが機能する前にDCRが破壊されてしまう問題がありました。この場合、DCRの生存時間が延長され、最大再試行タイムアウトが短縮されました。
- PHY消費電力の上限を1.5wに引き上げました。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告しなかった問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.28.1002にアップデートされました。

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

バージョン12.28.1002の新機能および変更:

- 最大XRQ数を512に増加しました。

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされました:

879482-B21(HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28 アダプター)

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- Advanced Steering Operation (ASO)を活用するためのフローメーターのHWサポート。 HWフローメーターは、FWフロー計測と比較して、より高いスケール、精度、およびパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE、l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとの新しいカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- アダプターカードがシステムから消えないようにするためのPCIe Rxの変更。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。
- cq_overrunカウンター。このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- [ベータ] 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022

バージョン: 1.0.0.3 **(推奨)**
ファイル名: cp044872.compsig; cp044872.exe

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				
ポート#1 - イーサーネット	**HDR/HDR100**	**EDR**	**FDR**	**QDR**
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				
ポート#1 - InfiniBand	**50GbE**	**100GbE/25GbE**	**40GbE/10GbE**	**1GbE**
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

前提条件

ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.29.1016で修正されました:

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCN(データセンター-量子化輻輳通知)のNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- svlan/cvlanタグ付きのVXLANパケットが一致しなかった問題。
- 以前は失敗していたODP(オンデマンドページング)ページをカウントするためのeth_wqe_too_smallカウンター。
- ConnectX-6 VPI 100Gb/sアダプターカードで100GbEリンクを上げることに関連する問題。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかります。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンスが低下しました。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.29.1016にアップデートされました:

HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06154-B21
HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター - P06250-B21
HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター - P06251-B21

バージョン20.29.1016の新機能および変更:

以下の機能のサポートを追加しました。

- MFTツールセットを介して書き込むLinkXモジュール。この新機能により、内部フラッシュストレージから直接ファームウェアを書き込むことが可能になり、一度に複数のモジュールを書き込むことも含めて、帯域幅の削減と書き込み処理の高速化が可能になりました。
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。
- Mellanox-MellanoxとMellanoxをサードパーティのHCAに接続するときに、同じ属性に対して異なるTxセットを制御するオプションを有効にしました。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、Ethernetパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。

- DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベルが追加されました。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- IB輻輳制御を強化し、より低い最低レートをサポートします。現在は、destination-lidを使用してフローを分類し、より大規模な処理を行い、GPCNeTベンチマークでより良い結果を達成しています。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Windows x86_64プラットフォーム:
バージョン: 1.0.0.12 **(推奨)**
ファイル名: cp045905.compsig; cp045905.exe

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.42.5000、2.42.5056、2.42.5700での既知の問題:

- QSFP(Quad Small Form-factor Pluggable)モジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行したとき、リンクが使用可能になりません。
  回避策: サーバーを再起動します。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、パケットフィルター(PF)がVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- v2.30.8000またはそれ以降のバージョンから2.30.8000以前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。
  回避策: サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernetアダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、前者の値が使用されるべきです。
  回避策: ファブリック/ドライバーユーティリティによって返されたGUID値を使用してください(0xffffffではなく)。
- SBRはConnectX-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SRIOVがVPIカードで有効になっている場合、RHEL6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- **回避策:** [IB_TAB]で"do_- sense=false"パラメーターを設定してください。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
  回避策: BIOSのSR-IOVを有効にします。
- Mellanox Firmware Tool(MFT)は、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
  回避策: MFTコマンドを使用してセマフォをクリアします:'flint -clear_semaphore'
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT3.0.0-3を使用する場合、次のメッセージがmlxconfigツールにより表示されます。You are trying to override configurable FW by non-configurable FW. If you continue, old FW configurations will be cleared, do you want to continue ? (y/n) [n] : y You are trying to restore default configuration, do you want to continue ? (y/n) [n] : y.
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを操作する場合、DMFSを有効にしないでください
- ConnectX®-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX®-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
  回避策: デバイスを識別するために物理機能のデバイスIDを使用してください。
- VPD(仮想プライベートデータベース)の読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
  回避策: それらを保持したい場合は、読み取り専用フィールドに書き込まないでください。

- port1 FDRおよびport2 40Gで仮想パス識別子(VPI)モードで作業する場合、エラーカウンターが正常に機能せず、高速に増加します。
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
  回避策: 1. スイッチからケーブルを抜きます。2. ドライバーを再起動します。3. 適切なツールを使用して、プロトコルを変更します。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、特定のスイッチでリンクアップ時間が数秒間長くなることがあります。
- アダプターカードMCX349A-XCCNは、ethtoolの "identify"コマンド(ethtool -p/--identify)に応答しません。
- IPv6上でのリモートデスクトッププロトコル(RDP)は、現在機能しません。
  回避策: ソフトウェアのデフォルトのRoCEモードをRoCE v2(RoCEを使用していない場合も)に設定します
- Sniffer QPでは、“push to that rule”と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx4_en_get_drvinfo()のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- ibdumpを実行するときは、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。
- アダプターカードは、C7000エンクロージャー内の40GE対応スイッチポートで、10Gリンクを立ち上げることができません。スイッチポートが許可する場合、1Gリンクのみを立ち上げることができます。
- プライマリI2CバスでI2Cヘッダーを介したMTUSB通信は、live-fishモードのみでサポートされます

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターSMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラー サイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。

    - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
    - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
  - コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更:

- イーサーネットアダプターカードにおいて、mlx_cmd_get_mlx_link_status コマンドの戻り値が "Link Type=Ethernet" を返すように修正しました。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるデバイス

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HPE_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HPE_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HPE_1390110023

Mellanox ConnectX6Dx Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64)
バージョン: 1.0.0.3 **(推奨)**
ファイル名: cp044271.compsig; cp044271.exe

重要な注意!

重要な注意:

- セキュリティハードニングの強化: このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティハードニングの強化が含まれています。 Mellanoxは、デバイスのファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。
- シングルルートI/O仮想化(SR-IOV)- ポートあたりの仮想機能(VF)- ポートあたりの仮想機能(VF)の最大数は127です。
- 大量のPCIeリソースを必要とする機能については、"4G以上のデコード"BIOS設定を有効にすることをお勧めします。このような機能は、多数の仮想機能(VF)を備えたシングルルートI/O仮想化(SR-IOV)、PCIeエミュレートスイッチ、およびラージBAR要求です。

既知の問題点:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。

  回避策: なし

- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、8つを超えるPFが有効になっている場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。

  回避策: なし

- エミュレートされたPCIeスイッチが有効で、OSがリソースの再割り当てを行う場合、OSのブートプロセスが停止することがあります。

  回避策: なし

- vDPAハードウェアオフロードソリューションはソフトウェアソリューションよりも高い速度をサポートできますが、移行を完了するにはQEMU自動収束を有効にする必要があるため、virtioデバイスのトラフィック負荷が高い(20/20 MPPS)場合は移行を完了できません。

  回避策:"--auto-converge"を追加して、自動収束をオンにします。例: virsh migrate --verbose --live --persistent gen-l-vrt-295-005CentOS-7.4 qemu+ssh://gen-l-vrt-295/system --unsafe --auto-converge

- Eye-Openingツールを使用すると、リンク速度の低下やリンクダウンイベントが発生する可能性があります。

  回避策: なし

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。

  回避策:ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。

- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。

  回避策:そのような問題が観察された場合:

  1. 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。mlxconfig -d <mst device> set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します

2. 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います。

- Eye-Openingによって、ポートで実効誤差が発生する可能性があります。

  回避策: N/A

- AC電源再投入後にPhylessリセットを適用すると、BMCへの接続が失われます。

  回避策: N/A

- ファームウェアをv22.28.4000(およびそれ以下)からv22.29.1000にアップデートする場合、Phylessリセット機能はサポートされません。

  回避策: N/A

- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  1. ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます。
  2. バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります。
  3. 再フォーマットはサポートされていません 高度なマルチポート機能はサポートされていません - LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca--<->ワイヤーのトラフィックのみ)
  4. サポートされているパケットタイプ:
     - レイヤー2 Eth
     - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
     - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
     - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls FlexParserプロトコルはサポートされていません (AliVxlan/VxlanGpeなど)。
     - x86でのみコンパイルできます
  5. FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  6. x86でのみコンパイルできます。

  回避策: N/A

- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。

  回避策: このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。

前提条件

ConnectX5/ConnectX6ファームウェアバージョン22.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がファームウェアバージョン22.29.1016で修正されました:

- Windowsオペレーティングシステムでvirtioハードウェアオフロードソリューションのトラフィックを"iperf3"にできませんでした。
- virtioハードウェアオフロードソリューションのトラフィックを"iperf3 -i 512"にできませんでした。
- struct virtio_net_hdrがvirtioハードウェアオフロードソリューションによって適切に設定されませんでした。トラフィック中にdmesgに次のメッセージが表示されました:"bad gso: type xx, size: xx"。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかることがありました。
- バージョン4.10より新しいゲストカーネルで受信されるTCP/IPトラフィックは、GSOヘッダーが破損しているため不安定でした。dmesgから次のメッセージが表示される場合があります:"bad gso: type: xx, size: xxxx"。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にすると、パフォーマンスが低下しました。
  注記:この修正は、すべてのポートがイーサーネットとして設定されている場合に利用できます。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが22.29.1016にアップデートされます:

P25960-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター)

P10180-B21 (Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE)

バージョン22.29.1016の新機能および変更:

- 改善されたNRZリンクパフォーマンス(RXアルゴリズム)。
- 改善されたNRZリンクアップ時間(25G/50G/100G速度)。

- UCXは、HCA_VPORTコンテキストの「ooo_per_sl」フィールドを使用してSLごとにアウトオブオーダービットマスクを公開することにより、ARを有効にできるようになりました。QUERY_HCA_VPORT_CONTEXTコマンドを実行してクエリを実行することもできます。
- ポートあたり最大127デバイスのスケーラビリティでPPSのvDPAパフォーマンスを最適化しました。
- マルチホストデバイスを使用する場合、ファームウェアは、アダプターカードへのオフロードアクティビティの実行を担当する最も高いインデックスを持つ外部SmartNICホスト(内蔵CPU PF(ECPF))を識別できるようになりました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。
- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCNのNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。

以下の機能のサポートを追加しました。

- アイ開口:NRZ信号を使用する場合にのみサポートされます。(ベータ)
- QPをレスポンダー/リクエスターキューグループに接続することにより、アプリケーションがNIC階層上に独自のQoSツリーを構築できるようにするオプション。
- "InfiniBand"プロパティをネットワークデバイス機能のRedfishオブジェクトに設定します。
- 直接パケット配置(DPP): DPPは、イーサーネットパケットが、到着順序ではなく、パケットによって伝送されるパケットシーケンス番号(PSN)に従ってメモリに分散される、受信側のトランスポートサービスです。DPPオフロードを有効にするには、ソフトウェアはCREATE_RQコマンドを使用して特別なRQを作成し、DPP関連の属性を設定する必要があります。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- vDPAのエラー統計とレポート。
- IPv6 TSOオフロード

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P25960-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター	MT_0000000437
P10180-B21	Mellanox MCX623105AS-VDAT Ethernet 200Gb 1ポートQSFP56アダプターfor HPE	MT_0000000435

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64) for Mellanox Open Ethernet cards
バージョン: 1.0.0.4 **(推奨)**
ファイル名: cp045143.compsig; cp045143.exe

重要な注意!

ファームウェア14.29.1016での既知の問題:

- 以前のリリースから現在のリリースにアップデートする場合、1秒未満のファームウェアアップデート(高速リセットフロー)はサポートされません。これを行うと、ネットワーク切断イベントが発生する可能性があります。
  回避策: ファームウェアのアップグレード/ダウングレードには完全なリセットフローを使用します。
- PCIeレイテンシが高い(2us以上)システムでは、帯域幅が低くなる可能性があります。
  回避策:そのような問題が観察された場合:
- 高いレイテンシを克服するためにZTTを有効にします。mlxconfig -d <mst device> set ZERO_TOUCH_TUNING_ENABLE=1を実行します
- 変更を有効にするために、ファームウェアのリセットまたは電源再投入を行います
- "高速FWリセット"を使用している場合、以前のファームウェアバージョンから14.29.1000にアップグレードすると、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- ステアリングダンプの制限事項は以下のとおりです。
  - ConnectX-5アダプターカードでのみサポートされます。
  - バージョン(FW/Stelib/MFT)とデバイスタイプをstelibに渡す必要があります。
  - 再フォーマットはサポートされていません
  - 高度なマルチポート機能はサポートされていません -LAG/ROCE_AFFILIATION/MPFS_LB/ESW_LB(vhca <->ワイヤーのトラフィックのみ)
    - サポートされているパケットタイプ:
    - レイヤー2 Eth
    - レイヤー3 IPv4/Ipv6/Grh
    - レイヤー4 TCP/UDP/Bth/GreV0/GreV1
    - トンネリングVXLAN/Geneve/GREv0/Mpls FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  -
  - FlexParserプロトコルはサポートされていません(AliVxlan/VxlanGpeなど)。
  - x86でのみコンパイルできます
- カードが2つのポートをサポートし、各ポートの各PFが同時に発生しない場合、輻輳制御が正しく機能しない可能性があります。

ファームウェアバージョン16.29.1016での既知の問題:

- LAGが構成されている場合、マルチAPP QoSはサポートされません。
- PER_PF_NUM_SF=1(PFごとの構成がSFに使用される)の場合、PF用に構成されたSFの数が0(PF_TOTAL_SF=0)の場合、ファームウェアは誤ってBAR2をサイズ128KBで開きます。

回避策: N/A

- アダプターカードのレベルスケジューリング設定において、QoSツリーのリーフ(QUEUE_GROUP)にデフォルトのrate_limitとデフォルトのbw_shareを設定した場合、リーフの祖先が課すQoS制限に従わない場合があります。
  回避策: このようなケースを防ぐには、リーフのQoS属性max_average_bwまたはbw_shareの少なくとも1つを構成します。
- タグマッチングRNDVおよびNVMEエミュレーションが期待どおりに動作していないことがありました。
  回避策: N/A

注記: アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

修正

以下の問題点がファームウェアバージョン14.29.1016および16.29.1016で修正されました。

- クラスターのより大きなスケーラビリティをサポートするために、すべてのデバイスでDCQCNのNPパラメーターmin_time_between_cnpsのデフォルト値を4に変更しました。
- ヘッダーサイズの問題やチェックの失敗が原因でパケットがドロップされる問題。この問題は、VFによってwqe_inline_header_modeの入力に誤ったヘッダーサイズ値が設定されるLinuxの問題が原因で発生しました。
- NVCONFIGでMKEY_BY_NAMEを有効にして、多数のVFを設定した場合、VMの再起動(VF/PF FLR)にMKEY_BY_NAMEを無効にした場合に比べて時間がかかることがあります。
- まれに、PCIトランスポート層からのエラーに関連する致命的なエラーがFLR中に報告される場合があります。
- 速度の変更またはポート状態の変更がトリガーされたときに、ファームウェアセマフォの1つを解放できないため、デバイスがdead IRISCになる問題。

以下の問題点がバージョン16.29.1016で修正されました:

- eth_wqe_too_smallカウンターでODPページフォルトがカウントされる問題。
- RoCEアクセラレータ機能を有効にした後、パフォーマンス低下が観測される問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.29.1016にアップデートされます。

P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.29.1016にアップデートされます。

P13188-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACATアダプター)
P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)
P10112-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター)

このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。デバイスのファームウェアセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードしてください。

バージョン14.29.1016および16.29.1016の新機能および変更:

- イーサーネットwqe_too_smallモード:イーサーネットRQに到達したが、サイズが大きいためにWQEに収まらないパケットの数をカウントする、vPortごとのカウンター。さらに、そのようなパケットが"CQE with Error"または"CQE_MOCK"を引き起こすかどうかを制御するオプションを追加しました。
- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

  以下の機能のサポートを追加しました。

- cq_overrunカウンター:このカウンターは、デバイスがCQEをフルCQバッファーにポストしようとしたときに発生するオーバーフローが原因でCQがエラー状態に入る回数を表します。
- 仮想機能が一時停止フレームパケットを送信できるようにする機能を有効にしました。(ベータ)
- 10/25GbE光ケーブルを使用する場合の、サードパーティでの10/25GbE自動検出を有効にしました。

バージョン16.29.1016の新機能および変更:

- デバッグとトラブルシューティングに使用されるハードウェアステアリングダンプ出力。

  以下の機能のサポートを追加しました。

- Advanced Steering Operation(ASO)を利用するためのフローメータリングのHWサポート。 HW流量計は、FW流量計と比較して、より高いスケール、より高い精度、およびより優れたパフォーマンスを可能にします。
- VFの信頼レベル。VFが信頼されると、一連の信頼できる機能が取得されます。
- 2つの新しいMini CQEフォーマット:
- フロータグレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- l3_l4_infoレイアウトを備えたレスポンダーMini CQE。
- ステアリングDPハッシュフローグループ。
- ignore_flow_levelは、TRUST LEVELアクセスレジストリによって有効化されるようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417

ファームウェア - NVDIMM 先頭

ファームウェアパッケージ - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン: 1.04 (A) **(推奨)**
ファイル名: nvdimm-16gb_1.04.fwpkg

修正

最初のリリース。

拡張

最初のリリース。

HPE Gen10サーバー上にIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory用のファームウェアパッケージ
バージョン: 01.02.00.5435 (B) **(推奨)**
ファイル名:dcpmm_01.02.00.5435.fwpkg

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン1.2.0.5435が含まれています

拡張

- この製品には、主にパフォーマンスの改善が含まれています。
- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8、SUSE Linux Enterprise Server 12、およびVMware ESXi 7.0をサポートするようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

---

Linux用オンラインフラッシュコンポーネント - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666
バージョン: 1.04 (A) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-1.1.x86_64.rpm

修正

最初のリリース。

拡張

最初のリリース。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Gen10サーバー上のIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory
バージョン: 1.2.0.5435 (B) **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-1.2.0.5435-2.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-1.2.0.5435-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン1.2.0.5435が含まれています

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

拡張

- Gen10サーバー用HPE Persistent Memoryのファームウェアの最初のリリース。
- この製品には、主にパフォーマンスの改善が含まれています。
- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8およびSUSE Linux Enterprise Server 12をサポートするようになりました。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

---

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666
バージョン: 1.04 (A) **(オプション)**
ファイル名: cp037531.compsig; cp037531.exe

修正

最初のリリース。

拡張

最初のリリース。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Gen10サーバー上のIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory
バージョン: 1.2.0.5435 **(推奨)**
ファイル名: cp042965.compsig; cp042965.exe

重要な注意!

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン1.2.0.5435が含まれています

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

拡張

Gen10サーバー用HPE Persistent Memoryのファームウェアの最初のリリース。

この製品には、主にパフォーマンスの改善が含まれています。

サポートされるデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

---

ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク 先頭

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、

MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ
バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-5.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ
バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-5.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ
バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-5.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ
バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-5.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFP、およびVK007680KWWFQドライブ
バージョン: HPK3 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-54addf5312-HPK3-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-54addf5312-HPK3-5.1.x86_64.rpm

修正

- このFWの変更により、iLOバージョン2.30で見られたMCTP VDMコンプライアンスの問題が解決されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111061en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0001600KWVNB、MO0003200KWVNC、MO0006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ
バージョン: HPK3 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK3-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK3-1.1.x86_64.rpm

修正

- SSDウェアゲージレポートのエラーの問題を修正しました。
- 正しい場所でFWStateをTR_DONE_ERRとして割り当てる問題を修正しました。
- Get Message Type Supported MCTPコマンドの適切な応答データを準備します。
- 現在の機能値をライブファームウェアアップデート間で保持するためのコードを追加しました。
- パラメータコードに2バイトではなく4バイトを割り当てます。
- NLBの値をNSize-1に変更しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ
バージョン: HPK5 **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95b6ae2e85-HPK5-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95b6ae2e85-HPK5-1.1.x86_64.rpm

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHAD、およびMT006400KWHAEドライブ
バージョン: HPK1 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPK1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPK1-3.1.x86_64.rpm

修正

- ファームウェアは、予期しない電源損失後にドライブが障害状態になる問題を修正します。この問題が発生すると、その後の電源再投入後もドライブは回復せず、システム構成やホストのアプリケーションからアクセスできなくなります。
- 解決策については、HPE Customer Bulletinを参照してください https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00042733en_us

---

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ
バージョン: EPK74H3Q**(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6628fce235-EPK74H3Q-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6628fce235-EPK74H3Q-1.1.x86_64.rpm

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MZXL5800HBHQ-000H3、 MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、 MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-00H3ドライブ
バージョン: MPK73H5Q**(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e320db791d-MPK73H5Q-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e320db791d-MPK73H5Q-1.1.x86_64.rpm

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- リンクステータスレジスタのスロットクロックコンフィギュレーションビットを設定するためのコード変更。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ
バージョン: 4ICDHPK1**(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-4ICDHPK1-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-4ICDHPK1-1.1.x86_64.rpm

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ
バージョン: HPK3 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fe9c474847-HPK3-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fe9c474847-HPK3-1.1.x86_64.rpm

修正

- SSDウェアゲージレポートのエラーの問題を修正しました。
- 正しい場所でFWStateをTR_DONE_ERRとして割り当てる問題を修正しました。
- Get Message Type Supported MCTPコマンドの適切な応答データを準備します。
- 現在の機能値をライブファームウェアアップデート間で保持するためのコードを追加しました。
- パラメータコードに2バイトではなく4バイトを割り当てます。
- NLBの値をNSize-1に変更しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ
バージョン: HPK5 **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2af7385a1e-HPK5-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2af7385a1e-HPK5-1.1.x86_64.rpm

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ
バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-5.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VS000480KXALBドライブ
バージョン: 85030G00 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-805abb7e9c-85030G00-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-805abb7e9c-85030G00-2.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ
バージョン: HPK4 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP045714.compsig; CP045714.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ
バージョン: HPK5 **(クリティカル)**
ファイル名: CP045989.compsig; CP045989.zip

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUUおよびMT1600KEXUVドライブ
バージョン: HPK4 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043753.compsig; CP043753.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MT001600KWHAC、MT003200KWHADおよびMT006400KWHAEドライブ
バージョン: HPK1 **(クリティカル)**
ファイル名: CP050549.compsig; CP050549.zip

修正

- ファームウェアは、予期しない電源損失後にドライブが障害状態になる問題を修正します。この問題が発生すると、その後の電源再投入後もドライブは回復せず、システム構成やホストのアプリケーションからアクセスできなくなります。
- 解決策については、HPE Customer Bulletinを参照してください https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00042733en_us

---

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、および

VO007680KWVMVドライブ
バージョン: HPK3 **(推奨)**
ファイル名: CP046658.compsig; CP046658.zip

修正

- SSDウェアゲージレポートのエラーの問題を修正しました。
- 正しい場所でFWStateをTR_DONE_ERRとして割り当てる問題を修正しました。
- Get Message Type Supported MCTPコマンドの適切な応答データを準備します。
- 現在の機能値をライブファームウェアアップデート間で保持するためのコードを追加しました。
- パラメータコードに2バイトではなく4バイトを割り当てます。
- NLBの値をNSize-1に変更しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ
バージョン: HPK5 **(クリティカル)**
ファイル名: CP045993.compsig; CP045993.zip

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ
バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP045692.compsig; CP045692.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ
バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP044498.compsig; CP044498.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、 VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、 VK003840KWWFPおよびVK007860KWWFQドライブ
バージョン: HPK3 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP047337.compsig; CP047337.zip

修正

- このFWの変更により、iLOバージョン2.30で見られたMCTP VDMコンプライアンスの問題が解決されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111061en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC およびMT006400KWSTDドライブ
バージョン: HPK3 **(推奨)**
ファイル名: CP045709.compsig; CP045709.zip

修正

- SSDウェアゲージレポートのエラーの問題を修正しました。
- 正しい場所でFWStateをTR_DONE_ERRとして割り当てる問題を修正しました。
- Get Message Type Supported MCTPコマンドの適切な応答データを準備します。
- 現在の機能値をライブファームウェアアップデート間で保持するためのコードを追加しました。
- パラメータコードに2バイトではなく4バイトを割り当てます。
- NLBの値をNSize-1に変更しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、および MZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ
バージョン: EPK74H3Q**(クリティカル)**
ファイル名: CP046470.compsig; CP046470.zip

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MZXL5800HBHQ-000H3、 MZXL51T6HBJR-000H3、 MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、 MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、 MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-00H3ドライブ
バージョン: MPK73H5Q**(クリティカル)**
ファイル名: CP046468.compsig; CP046468.zip

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- リンクステータスレジスタのスロットクロックコンフィギュレーションビットを設定するためのコード変更。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ
バージョン: 4ICDHPK1**(クリティカル)**
ファイル名: CP046728.compsig; CP046728.zip

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ
バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP044497.compsig; CP044497.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000GFJTEドライブ
バージョン: 85030G00 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP044993.compsig; CP044993.zip

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ
バージョン: HPK4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045559.compsig; cp045559.exe; cp045559.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ
バージョン: HPK4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045592.compsig; cp045592.exe; cp045592.md5

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHADおよびMT006400KWHAEドライブ
バージョン: HPK1 **(クリティカル)**
ファイル名: cp050550.compsig; cp050550.exe; cp050550.md5

修正

- ファームウェアは、予期しない電源損失後にドライブが障害状態になる問題を修正します。この問題が発生すると、その後の電源再投入後もドライブは回復せず、システム構成やホストのアプリケーションからアクセスできなくなります。
- 解決策については、HPE Customer Bulletinを参照してください https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00042733en_us

---

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ
バージョン: HPK4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045582.compsig; cp045582.exe; cp045582.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ
バージョン: HPK4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045513.compsig; cp045513.exe; cp045513.md5

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000800KWWFE、MK001600KWWFF、MK003200KWWFH、MK006400KWWFK、VK000960KWWFL、VK001920KWWFN、VK003840KWWFP、およびVK007680KWWFQドライブ
バージョン: HPK3 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp047338.compsig; cp047338.exe; cp047338.md5

修正

- このFWの変更により、iLOバージョン2.30で見られたMCTP VDMコンプライアンスの問題が解決されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00111061en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、MO006400KWVND、MT001600KWSTB、MT003200KWSTC、およびMT006400KWSTDドライブ
バージョン: HPK3 **(推奨)**
ファイル名: cp045598.compsig; cp045598.exe; cp045598.md5

修正

- SSDウェアゲージレポートのエラーの問題を修正しました。
- 正しい場所でFWStateをTR_DONE_ERRとして割り当てる問題を修正しました。
- Get Message Type Supported MCTPコマンドの適切な応答データを準備します。
- 現在の機能値をライブファームウェアアップデート間で保持するためのコードを追加しました。
- パラメータコードに2バイトではなく4バイトを割り当てます。
- NLBの値をNSize-1に変更しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO001600KWZQPおよびMO003200KWZQQドライブ
バージョン: HPK5 **(クリティカル)**
ファイル名: cp045987.compsig; cp045987.exe; cp045987.md5

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMeSSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MZPLJ1T6HBJR-000H3、MZPLJ3T2HBJR-000H3、およびMZPLJ6T4HALA-000H3ドライブ
バージョン: EPK74H3Q**(クリティカル)**
ファイル名: cp046472.compsig; cp046472.exe; cp046472.md5

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MZXL5800HBHQ-000H3、MZXL51T6HBJR-000H3、MZXL53T2HBLS-000H3、MZXL56T4HALA-000H3、MZXL512THALA-000H3、 MZXL5960HBHQ-000H3、MZXL51T9HBJR-000H3、MZXL53T8HBLS-000H3、MZXL57T6HALA-000H3および MZXL515THALA-0ドライブ
バージョン: MPK73H5Q**(クリティカル)**
ファイル名: cp046469.compsig; cp046469.exe; cp046469.md5

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- リンクステータスレジスタのスロットクロックコンフィギュレーションビットを設定するためのコード変更。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。
- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ
バージョン: 4ICDHPK1**(クリティカル)**
ファイル名: cp046729.compsig; cp046729.exe; cp046729.md5

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001920KWVMT、VO003840KWVMU、およびVO007680KWVMVドライブ
バージョン: HPK3 **(推奨)**
ファイル名: cp046660.compsig; cp046660.exe; cp046660.md5

修正

- SSDウェアゲージレポートのエラーの問題を修正しました。
- 正しい場所でFWStateをTR_DONE_ERRとして割り当てる問題を修正しました。
- Get Message Type Supported MCTPコマンドの適切な応答データを準備します。
- 現在の機能値をライブファームウェアアップデート間で保持するためのコードを追加しました。
- パラメータコードに2バイトではなく4バイトを割り当てます。
- NLBの値をNSize-1に変更しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001920KWZQRおよびVO003840KWZQTドライブ
バージョン: HPK5 **(クリティカル)**
ファイル名: cp045992.compsig; cp045992.exe; cp045992.md5

修正

- 最適化されたTオフセット設定。
- MQES設定を8192に変更します。
- LEDの動作のずれた仕様の問題を修正しました。
- 4つ以上のSSDがインストールされている場合のパフォーマンス低下の問題を修正しました。

- ドライブが低電力アイドルモードに頻繁に出入りしないようにするためのアイドル電力管理の修正。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00112800en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ
バージョン: HPK4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045579.compsig; cp045579.exe; cp045579.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VS000480KXALBドライブ
バージョン: 85030G00 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045602.compsig; cp045602.exe; cp045602.md5

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

ファームウェア - パワーマネジメント 先頭

オンラインROMフラッシュ for Linux - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

バージョン: 1.0.9 (J) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-powerpic-gen9-1.0.9-10.1.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver 1.0.9(J)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(J)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.7

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
"The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component."

修正

重要な注意:

Ver 1.0.9(J)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(J)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Linux - Power Management Controller
バージョン: 4.1 (E) **(推奨)**
ファイル名: RPMS/i386/hp-firmware-powerpic-dl580-4.1-5.i386.rpm

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 4.1 (E) には、“cpqsetup”から“hpsetup”へのFirmware RPMインストールコマンド名の変更が含まれており、機能的にはver. 4.1 と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン Eにアップグレードする必要はありません。

提供名:

Power Management Controller

リリースバージョン:

4.1 (E)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

このファームウェアでの初期バージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

前提条件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
"The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component."

拡張

重要な注意:

Ver. 4.1 (E) には、“cpqsetup”から“hpsetup”へのFirmware RPMインストールコマンド名の変更が含まれており、機能的にはver. 4.1 と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン Eにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

オンラインROMフラッシュ for VMware ESXi - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー
バージョン: 1.0.9 (K) **(オプション)**
ファイル名: CP047167.compsig; CP047167.zip

重要な注意!

重要な注意:

Ver 1.0.9(K)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンKにアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.7

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このコンポーネントは、実行する前に以下のHPEドライバーがロードされている必要があります。

1. "HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver" (CHIF) がインストールおよび実行されている必要があります。

ESXi 5.1、5.5、ESXi 6.0およびESXi 6.5の最小iLOバージョンは1.4です。

2. "Compaq ROM Utility Driver" (CRU) をインストールされて稼動している必要があります。

ESXi 5.1の最小CRUバージョンは5.0.3.9です。

ESXi 5.5の最小CRUバージョンは5.5.4.1です。

ESXi 6.0の最小CRUバージョンは6.0.8です。

6.5の最小CRUバージョンは6.5.8です。

6.7の最小CRUバージョンは6.7.10です。

両方のドライバーがHPE VMware Custom Imageに統合されます。これは他のHPEの高度な管理ツールにも含まれます。 ドライバーは、vibsdepot.hpe.comのVMware vSphere 6.5、6.0、5.5および5.1用のOS固有の"HPE Agentless Management Service Offline Bundle""" からも入手できます。

修正

重要な注意:

Ver 1.0.9(K)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョンKにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for VMware ESXi - Power Management Controller
バージョン: 4.1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP026094.zip

重要な注意!

重要な注意:

Ver 4.1 (E)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver. 4.1と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン Eにアップグレードする必要はありません。

提供名:

Power Management Controller

リリースバージョン:

4.1 (E)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

このファームウェアでの初期バージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

前提条件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、 "HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
"The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component."

拡張

重要な注意:

Ver 4.1 (E)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver. 4.1と同等です。ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン Eにアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

オンラインROMフラッシュ for Windows x64 - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー
バージョン: 1.0.9(I) **(オプション)**
ファイル名: cp037781.exe

重要な注意!

重要な注意:

Ver 1.0.9(I)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(I)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen9サーバー

リリースバージョン:

1.0.9

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.7

以前のリビジョン:

1.0.7

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

前提条件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows"をインストールして実行する必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
"The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component."

修正

重要な注意:

Ver 1.0.9(I)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.9と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.9にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(I)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

最小消費電力上限値が特定のシステムで誤って計算されていた問題に対処しました。この修正により、POST中の最小上限値設定の正確さが向上します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュ for Windows x64 - Power Management Controller for HPE ProLiant DL580 Gen9/Gen8サーバー
バージョン: 4.1 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp037764.exe

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 4.1 (F)は、Smart Update Managerを使用してMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加しました。 機能的にバージョン4.1と同等です。 ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン (F)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

Power Management Controller

リリースバージョン:

4.1(F)

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

このファームウェアでの初期バージョンです。

以前のリビジョン:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

前提条件

このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows"をインストールして実行する必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
"The software is not supported for installation on this system.
You must install the iLO Channel Interface driver to use this component."

拡張

重要な注意:

Ver. 4.1 (F)は、Smart Update Managerを使用してMicrosoft Windows Server 2016でOnline ROM Flashを実行するためのサポートを追加しました。 機能的にバージョン4.1と同等です。 ファームウェアをバージョン4.1にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン (F)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

これは、このファームウェアでの最初のバージョンです。

既知の問題点:

インストール手順が完了すると、スマートコンポーネントが不必要なリブートを促します。アップデートの効果とハードウェアの安定を得るために、インストール後のリブートは必要ありません。

ROMフラッシュパッケージ - アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア for HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー
バージョン: 1.0.7 (D) **(オプション)**
ファイル名: PICGen10-1.0.7-1.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

Ver. 1.0.7(D)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.7と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.7にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(D)にアップグレードする必要はありません。これは、HPE Gen10 Plusサーバーの初期バージョンです。

提供名:

HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー用アドバンスト消費電力上限マイクロコントローラーファームウェア

リリースバージョン:

1.0.7

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.0.4(HPE Gen10)

以前のリビジョン:

1.0.4(HPE Gen10)

ファームウェアの依存関係:

HPE ProLiant DL325/DL385 Gen10サーバーの場合、サポートを有効にするにはROMバージョン2.00以降が必要です。このバージョンにアップグレードするには、iLO5バージョン1.40以上が必要です。

改善点/新しい機能:

HPE ProLiant DL325/DL385 Gen10サーバー上のAMD EPYC 7002世代プロセッサーのサポートが追加されました。このサポートを有効にするには、ROMバージョン2.00以降が必要です。このバージョンのファームウェアには、AMD EPYC 7001世代プロセッサーの変更は含まれていません。このバージョンにアップグレードするには、iLO5バージョン1.40以上が必要です。

これは、HPE Gen10 Plusサーバーの初期バージョンです。

AMD Gen10およびGen10 PlusサーバーでVMware ESXi 7.xのサポートが追加されました。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

前提条件

HPE Gen10サーバーでは、Integrated Lights-Out 5(iLO 5)ファームウェアバージョン1.40およびシステムROMバージョン1.20以降が必要です。

拡張

重要な注意:

Ver. 1.0.7(D)には、コンポーネントのパッケージングに対するアップデートが含まれており、機能的にver 1.0.7と同等です。ファームウェアをバージョン1.0.7にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(D)にアップグレードする必要はありません。これは、HPE Gen10 Plusサーバーの初期バージョンです。

ファームウェアの依存関係:

HPE ProLiant DL325/DL385 Gen10サーバーの場合、サポートを有効にするにはROMバージョン2.00以降が必要です。このバージョンにアップグレードするには、iLO5バージョン1.40以上が必要です。

改善点/新しい機能:

HPE ProLiant DL325/DL385 Gen10サーバー上のAMD EPYC 7002世代プロセッサーのサポートが追加されました。このサポートを有効にするには、ROMバージョン2.00以降が必要です。このバージョンのファームウェアには、AMD EPYC 7001世代プロセッサーの変更は含まれていません。このバージョンにアップグレードするには、iLO5バージョン1.40以上が必要です。

これは、HPE Gen10 Plusサーバーの初期バージョンです。

AMD Gen10およびGen10 PlusサーバーでVMware ESXi 7.xのサポートが追加されました。

既知の問題点:

なし

ファームウェア - SASストレージ ディスク 先頭

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン: HPD4 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP045783.compsig; CP045783.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant および Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWBHRドライブ
バージョン: HPD4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD4-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWFVBドライブ
バージョン: HPD2 (F) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ
バージョン: HPD3 (F) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ
バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ
バージョン: HPD5 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD5-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD5-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKBおよびEG1200JETKCドライブ
バージョン: HPD7 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD7-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD7-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ
バージョン: HPD7 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVP ドライブ
バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ
バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ
バージョン: HPD4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ
バージョン: HPD8 (F) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD8-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD8-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ
バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、 MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、 MO006400JWTCD、EO000400JWTBV、EO000800JWTCA、EO001600JWTCBドライブ
バージョン: HPD7 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD7-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD7-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ
バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWFVCドライブ
バージョン: HPD3 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPL、およびEG0900FCSPNドライブ
バージョン: HPD2 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ
バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ
バージョン: HPD6 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEHMDドライブ
バージョン: HPD6 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEMDBドライブ
バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JFHMHドライブ
バージョン: HPD7 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD7-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD7-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPLおよびEH000900JWCPNドライブ
バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ
バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ
バージョン: HPD4 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD4-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ
バージョン: HPD4 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD4-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDXBA、EH0450JDXBBおよびEH0600JDXBCドライブ
バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTKおよびEH0600JDYTLドライブ
バージョン: HPD6 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JEDHC、EH0450JEDHDおよびEH0600JEDHEドライブ
バージョン: HPD4 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EH0600JDYTNドライブ
バージョン: HPD7 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWKGU ドライブ
バージョン: HPD1 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2c27a7a9a4-HPD1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2c27a7a9a4-HPD1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ
バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000JWKGN ドライブ
バージョン: HPD1 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRPドライブ
バージョン: HPD9 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWRTD ドライブ
バージョン: HPD1 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ
バージョン: HPD2 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD2-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ
バージョン: HPD5 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD5-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD5-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボ テストで発見されました。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000JWDFDドライブ
バージョン: HPD2 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストでのみ見られる、整列されていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。エラー処理と信頼性を改善するための追加の修正が含まれています。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWUDBドライブ
バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ
バージョン: HPD3 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ
バージョン: HPD4 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ
バージョン: HPD6 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ
バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ
バージョン: HPD9 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ
バージョン: HPDB (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ
バージョン: HPD9 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD9-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-

0f923833e9-HPD9-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JEQUVおよびMB8000JEQVAドライブ
バージョン: HPDB (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYYVドライブ
バージョン: HPD2 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000JFECQドライブ
バージョン: HPD7 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュ

することだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JFJTHドライブ
バージョン: HPD3 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWUおよびMO003840JWFWVドライブ
バージョン: HPD5 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ
バージョン: HPD3 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0400JFFCF、 MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ
バージョン: HPD9 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) -VK000960JWSSQ、 VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ
バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ
バージョン: HPD8 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ
バージョン: HPD4 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a07a420ed1-HPD4-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a07a420ed1-HPD4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- お問い合わせページのドライブベンダー識別文字列(VID)を「HP」から「HPE」に変更します。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ
バージョン: HPD4 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-35fd24601f-HPD4-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-35fd24601f-HPD4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- お問い合わせページのドライブベンダー識別文字列(VID)を「HP」から「HPE」に変更します。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ
バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD3-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD3-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ
バージョン: HPD8 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ
バージョン: HPD9 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO1920JEUQQドライブ
バージョン: HPD3 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWBHRドライブ
バージョン: HPD4 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP045716.compsig; CP045716.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWFVBドライブ
バージョン: HPD2 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP045604.compsig; CP045604.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ
バージョン: HPD3 (G) **(オプション)**
ファイル名: CP045606.compsig; CP045606.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ
バージョン: HPD3 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP045607.compsig; CP045607.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ
バージョン: HPD5 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP045609.compsig; CP045609.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ
バージョン: HPD7 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045612.compsig; CP045612.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ
バージョン: HPD4 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP045618.compsig; CP045618.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ
バージョン: HPD4 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP045619.compsig; CP045619.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0600JDYTNドライブ
バージョン: HPD7 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045623.compsig; CP045623.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA および MO003200JWDLBドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045625.compsig; CP045625.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVPドライブ
バージョン: HPD3 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP045630.compsig; CP045630.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi -MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ
バージョン: HPD3 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP045632.compsig; CP045632.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフ

ラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000JWDFDドライブ
バージョン: HPD2 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045643.compsig; CP045643.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストで見つかった、アライメントされていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。エラー処理と信頼性を向上させるための追加の修正が含まれています。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ
バージョン: HPD6 (H) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045654.compsig; CP045654.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ
バージョン: HPDB (H) **(推奨)**

ファイル名: CP045659.compsig; CP045659.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JEQUV およびMB8000JEQVAドライブ
バージョン: HPDB (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045666.compsig; CP045666.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ
バージョン: HPD8 (G) **(オプション)**
ファイル名: CP045674.compsig; CP045674.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000JFJTHドライブ
バージョン: HPD3 (G) **(オプション)**
ファイル名: CP045675.compsig; CP045675.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフ

ラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0000400JWUFT、MO0000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ
バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045976.compsig; CP045976.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、MO006400JWTCD、EO000400JWTBV、EO000800JWTCA、EO001600JWTCB ドライブ
バージョン: HPD7 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045688.compsig; CP045688.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045605.compsig; CP045605.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG001800JWFVC ライブ
バージョン: HPD3 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045608.compsig; CP045608.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ
バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP045723.compsig; CP045723.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPL、およびEG0900FCSPNドライブ
バージョン: HPD2 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045610.compsig; CP045610.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、および EG1200JEHMCドライブ
バージョン: HPD5 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP044982.compsig; CP044982.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant および Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、および EG1200JEMDAドライブ
バージョン: HPD6 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045611.compsig; CP045611.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEHMDドライブ
バージョン: HPD6 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP045613.compsig; CP045613.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEMDBドライブ
バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045614.compsig; CP045614.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JFHMHドライブ
バージョン: HPD7 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP045615.compsig; CP045615.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ
バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP046301.compsig; CP046301.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ
バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP046300.compsig; CP046300.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ
バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045620.compsig; CP045620.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ
バージョン: HPD6 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP045621.compsig; CP045621.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ
バージョン: HPD4 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP045622.compsig; CP045622.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ
バージョン: HPD7 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045698.compsig; CP045698.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000JWKGUドライブ
バージョン: HPD1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045633.compsig; CP045633.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ
バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045979.compsig; CP045979.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant および Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000JWKGNドライブ
バージョン: HPD1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045636.compsig; CP045636.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWJRQおよび MB006000JWJRP ドライブ
バージョン: HPD9 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP049132.compsig; CP049132.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWRTD ドライブ
バージョン: HPD1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045638.compsig; CP045638.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ
バージョン: HPD2 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP045696.compsig; CP045696.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ
バージョン: HPD5 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045640.compsig; CP045640.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アラインされていない書込みコマンドに関連する潜在的なデータの完全性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的なラボテスト中でのみ検出されました。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000JWUDB ドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045647.compsig; CP045647.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ
バージョン: HPD3 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045650.compsig; CP045650.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ
バージョン: HPD4 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045653.compsig; CP045653.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ
バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045655.compsig; CP045655.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ
バージョン: HPD9 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045658.compsig; CP045658.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ
バージョン: HPD9 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045660.compsig; CP045660.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JVYYVドライブ
バージョン: HPD2 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045667.compsig; CP045667.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000JFECQドライブ
バージョン: HPD7 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP045668.compsig; CP045668.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWU、およびMO003840JWFWVドライブ
バージョン: HPD5 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045676.compsig; CP045676.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0200JEFNV, MO0400JEFPA, MO0800JEFPB, MO1600JEFPC, EO0200JEFPD, EO0400JEFPE and EO0800JEFPF Drives
バージョン: HPD3 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045677.compsig; CP045677.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ
バージョン: HPD9 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP045708.compsig; CP045708.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi -VK000960JWSSQ、 VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ
バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045711.compsig; CP045711.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ
バージョン: HPD8 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: CP044848.compsig; CP044848.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ
バージョン: HPD4 **(推奨)**
ファイル名: CP046321.compsig; CP046321.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- お問い合わせページのドライブベンダー識別文字列(VID)を「HP」から「HPE」に変更します。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ
バージョン: HPD4 **(推奨)**
ファイル名: CP046318.compsig; CP046318.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- お問い合わせページのドライブベンダー識別文字列(VID)を「HP」から「HPE」に変更します。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ
バージョン: HPD3 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP045722.compsig; CP045722.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ
バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045689.compsig; CP045689.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ
バージョン: HPD9 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP045701.compsig; CP045701.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO1920JEUQQドライブ
バージョン: HPD3 (H) **(推奨)**

ファイル名: CP045690.compsig; CP045690.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045646.compsig; CP045646.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWBHRドライブ
バージョン: HPD4 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045490.compsig; cp045490.exe; cp045490.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWFVB ドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp045489.compsig; cp045489.exe; cp045489.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ
バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045492.compsig; cp045492.exe; cp045492.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ
バージョン: HPD3 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp045491.compsig; cp045491.exe; cp045491.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ
バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045493.compsig; cp045493.exe; cp045493.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWFVCドライブ
バージョン: HPD3 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045494.compsig; cp045494.exe; cp045494.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp045772.compsig; cp045772.exe; cp045772.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ
バージョン: HPD5 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045496.compsig; cp045496.exe; cp045496.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPL、およびEG0900FCSPNドライブ
バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045495.compsig; cp045495.exe; cp045495.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ
バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp045497.compsig; cp045497.exe; cp045497.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ
バージョン: HPD6 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045498.compsig; cp045498.exe; cp045498.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ
バージョン: HPD7 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045499.compsig; cp045499.exe; cp045499.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEHMDドライブ
バージョン: HPD6 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp045500.compsig; cp045500.exe; cp045500.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEMDBドライブ
バージョン: HPD5 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045501.compsig; cp045501.exe; cp045501.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JFHMHドライブ
バージョン: HPD7 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045502.compsig; cp045502.exe; cp045502.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ
バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp046213.compsig; cp046213.exe; cp046213.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ
バージョン: HPD8 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp046269.compsig; cp046269.exe; cp046269.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ
バージョン: HPD4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045505.compsig; cp045505.exe; cp045505.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ
バージョン: HPD4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045506.compsig; cp045506.exe; cp045506.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ
バージョン: HPD5 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045507.compsig; cp045507.exe; cp045507.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ
バージョン: HPD6 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp045508.compsig; cp045508.exe; cp045508.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ
バージョン: HPD4 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp045509.compsig; cp045509.exe; cp045509.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0600JDYTNドライブ
バージョン: HPD7 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045510.compsig; cp045510.exe; cp045510.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ
バージョン: HPD7 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045587.compsig; cp045587.exe; cp045587.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ
バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045512.compsig; cp045512.exe; cp045512.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVPドライブ
バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045518.compsig; cp045518.exe; cp045518.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ
バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045520.compsig; cp045520.exe; cp045520.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWKGUドライブ
バージョン: HPD1 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045521.compsig; cp045521.exe; cp045521.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、および MB001000JWWPVドライブ
バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp045900.compsig; cp045900.exe; cp045900.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant および Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000JWKGN ドライブ
バージョン: HPD1 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045524.compsig; cp045524.exe; cp045524.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWJRQおよび MB006000JWJRPドライブ
バージョン: HPD9 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp049130.compsig; cp049130.exe; cp049130.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアリリースは、コマンドタイムアウトに対する追加の保護を提供します。
- 詳しくは、HPE Customer Bulletin: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00117258en_usを参照してください。

拡張

- Microsoft Windows Server 2022のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWRTD ドライブ
バージョン: HPD1 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045526.compsig; cp045526.exe; cp045526.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ
バージョン: HPD2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045585.compsig; cp045585.exe; cp045585.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ
バージョン: HPD5 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045528.compsig; cp045528.exe; cp045528.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantÂ およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボ テストで発見されました。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000JWDFDドライブ
バージョン: HPD2 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045531.compsig; cp045531.exe; cp045531.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストで見つかった、アライメントされていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。エラー処理と信頼性を改善するための追加の修正が含まれています。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ
バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045534.compsig; cp045534.exe; cp045534.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWUDB ドライブ
バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045535.compsig; cp045535.exe; cp045535.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ
バージョン: HPD3 (D) **(推奨)**

ファイル名: cp045538.compsig; cp045538.exe; cp045538.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ
バージョン: HPD4 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045541.compsig; cp045541.exe; cp045541.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ
バージョン: HPD6 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045542.compsig; cp045542.exe; cp045542.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ
バージョン: HPD5 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045543.compsig; cp045543.exe; cp045543.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ
バージョン: HPD9 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045546.compsig; cp045546.exe; cp045546.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ
バージョン: HPDB (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045547.compsig; cp045547.exe; cp045547.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ
バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045548.compsig; cp045548.exe; cp045548.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JEQUV およびMB8000JEQVAドライブ
バージョン: HPDB (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045554.compsig; cp045554.exe; cp045554.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYYVドライブ
バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045555.compsig; cp045555.exe; cp045555.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ
バージョン: HPD4 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045556.compsig; cp045556.exe; cp045556.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000JFECQドライブ
バージョン: HPD7 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp045558.compsig; cp045558.exe; cp045558.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ
バージョン: HPD8 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp045563.compsig; cp045563.exe; cp045563.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JFJTHドライブ
バージョン: HPD3 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp045564.compsig; cp045564.exe; cp045564.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWU、およびMO003840JWFWVドライブ
バージョン: HPD5 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045565.compsig; cp045565.exe; cp045565.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび

Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ
バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp045156.compsig; cp045156.exe; cp045156.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ
バージョン: HPD3 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045566.compsig; cp045566.exe; cp045566.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ
バージョン: HPD9 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045596.compsig; cp045596.exe; cp045596.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000960JWSSQ、 VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ
バージョン: HPD8 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045600.compsig; cp045600.exe; cp045600.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)- VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ
バージョン: HPD8 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: cp044648.compsig; cp044648.exe; cp044648.md5

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - VO000800JWZJP、VO001600JWZJQ、VO003200JWZJRおよびVO006400JWZJTドライブ
バージョン: HPD4 **(推奨)**
ファイル名: cp046322.compsig; cp046322.exe; cp046322.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- お問い合わせページのドライブベンダー識別文字列(VID)を「HP」から「HPE」に変更します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、MO006400JWTCD、EO000400JWTBV、EO000800JWTCA、EO001600JWTCB ドライブ
バージョン: HPD7 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045576.compsig; cp045576.exe; cp045576.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO000960JWZJF、VO001920JWZJH、VO003840JWZJK、VO007680JWZJLおよびVO015360JWZJNドライブ
バージョン: HPD4 **(推奨)**
ファイル名: cp046320.compsig; cp046320.exe; cp046320.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- お問い合わせページのドライブベンダー識別文字列(VID)を「HP」から「HPE」に変更します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ
バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045603.compsig; cp045603.exe; cp045603.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ
バージョン: HPD8 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045578.compsig; cp045578.exe; cp045578.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ
バージョン: HPD9 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045594.compsig; cp045594.exe; cp045594.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO1920JEUQQドライブ
バージョン: HPD3 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp045580.compsig; cp045580.exe; cp045580.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

ファームウェア - SATAストレージ ディスク [先頭](#)

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPFおよびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ
バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWFWKおよびMB002000GWFWLドライブ
バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ
バージョン: HPG3 (G) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000GWKGV ドライブ
バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ
バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ
バージョン: HPG8 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ
バージョン: HPG4 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG4-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG4-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWKGRドライブ
バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWRTC ドライブ
バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-82894b9e0a-HPG1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-82894b9e0a-HPG1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ
バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ
バージョン: HPG5 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボ テストで発見されました。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWDFEドライブ
バージョン: HPG2 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ
バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG7-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWUDAドライブ
バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、およびMB4000GDUPB ドライブ
バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ
バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLUおよびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ
バージョン: HPG6 (H) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。

- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ
バージョン: HPG6 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ
バージョン: HPGB (H) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEBTPドライブ
バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ
バージョン: HPGB (H) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ検出されました。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEXXVドライブ
バージョン: HPG2 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYYUドライブ
バージョン: HPG2 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ
バージョン: HPG4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG4-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000GFECRドライブ
バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ
バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- MK000480GWSSC、 MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ
バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MK000480GWXFF、 MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ
バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e1e8083c5-HPG1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-

8e1e8083c5-HPG1-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK003840GWHTEドライブ
バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG6-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG6-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK0960GECQKドライブ
バージョン: HPG3 (J) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-10.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-10.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ
バージョン: HPG8 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG8-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG8-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000GFJTEドライブ
バージョン: HPG5 (E) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG5-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG5-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ
バージョン: HPGE (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGE-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGE-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ
バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュ

することだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFF、VK001920GWCFHおよびVK003840GWCFKドライブ
バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ
バージョン: HPGE (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGE-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGE-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPP、およびMK001920GWJPQドライブ
バージョン: HPG5 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ
バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTLおよびMK003840GWTTNドライブ
バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG6-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG6-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.4およびSLES15SP3のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ
バージョン: HPG2 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG2-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- このメンテナンスFWリリースは、ウォームブート時のまれなコーナーケースのCOMRESETの問題に対処し、特定のユースケースでの初期のEOL動作に対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK003840GWSXLドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK007680GWSXNドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ
バージョン: HPG1 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ
バージョン: HPG1 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ
バージョン: HPG1 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび

Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサニタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ
バージョン: HPS4 (I) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPF、およびEK001600GWEPHドライブ
バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP045624.compsig; CP045624.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ
バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045626.compsig; CP045626.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB001000GWFWKおよびMB002000GWFWLドライブ
バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045627.compsig; CP045627.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ
バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045628.compsig; CP045628.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ
バージョン: HPG3 (G) **(オプション)**
ファイル名: CP045629.compsig; CP045629.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000GWKGVドライブ
バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045631.compsig; CP045631.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ
バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045978.compsig; CP045978.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ
バージョン: HPG8 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045634.compsig; CP045634.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ
バージョン: HPG4 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP045710.compsig; CP045710.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWKGR ドライブ
バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045635.compsig; CP045635.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000GWRTCドライブ
バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045637.compsig; CP045637.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ
バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP045695.compsig; CP045695.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ
バージョン: HPG5 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045639.compsig; CP045639.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アラインされていない書込みコマンドに関連する潜在的なデータの完全性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的なラボテスト中でのみ検出されました。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000GWDFEドライブ
バージョン: HPG2 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045641.compsig; CP045641.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストで見つかった、アライメントされていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。
- エラー処理と信頼性を向上させるための追加の修正が含まれています。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ
バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP046334.compsig; CP046334.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045644.compsig; CP045644.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000GWUDAドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045645.compsig; CP045645.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、およびMB4000GDUPBドライブ
バージョン: HPG4 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP045648.compsig; CP045648.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ
バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045649.compsig; CP045649.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ
バージョン: HPG4 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP045651.compsig; CP045651.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ
バージョン: HPG6 (H) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045652.compsig; CP045652.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフ

ラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。
- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ
バージョン: HPG6 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045656.compsig; CP045656.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ
バージョン: HPGB (H) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045657.compsig; CP045657.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEBTPドライブ
バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045661.compsig; CP045661.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ
バージョン: HPGB (H) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045662.compsig; CP045662.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ検出されました。
- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEXXVドライブ
バージョン: HPG2 (J) **(推奨)**
ファイル名: CP045663.compsig; CP045663.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYYUドライブ
バージョン: HPG2 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP045664.compsig; CP045664.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ
バージョン: HPG4 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045665.compsig; CP045665.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000GFECRドライブ
バージョン: HPG6 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP045713.compsig; CP045713.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ
バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP045669.compsig; CP045669.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSE、およびMK003840GWSSFドライブ
バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045980.compsig; CP045980.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000480GWXFF、MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ
バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP045697.compsig; CP045697.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK003840GWHTEドライブ
バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045670.compsig; CP045670.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK0960GECQKドライブ
バージョン: HPG3 (K) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045671.compsig; CP045671.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ
バージョン: HPG8 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP045672.compsig; CP045672.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000GFJTEドライブ
バージョン: HPG5 (E) **(オプション)**
ファイル名: CP045673.compsig; CP045673.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフ

ラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMBおよびVR001920GWFMCドライブ
バージョン: HPGE (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045678.compsig; CP045678.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ
バージョン: HPG1 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045679.compsig; CP045679.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFF、VK001920GWCFH およびVK003840GWCFK ドライブ。
バージョン: HPG3 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP045680.compsig; CP045680.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWEZB、 VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK および MK001920GWHRU ドライブ
バージョン: HPGE (F) **(オプション)**
ファイル名: CP045694.compsig; CP045694.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPQドライブ
バージョン: HPG5 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045721.compsig; CP045721.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ
バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045848.compsig; CP045848.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWTSV、 VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTLおよびMK003840GWTTNドライブ
バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP048408.compsig; CP048408.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U3のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045682.compsig; CP045682.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ
バージョン: HPG2 **(推奨)**
ファイル名: CP046506.compsig; CP046506.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- このメンテナンスFWリリースは、ウォームブート時のまれなコーナーケースのCOMRESETの問題に対処し、特定のユースケースでの初期のEOL動作に対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK003840GWSXLドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045684.compsig; CP045684.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK007680GWSXNドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045685.compsig; CP045685.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ
バージョン: HPG1 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP045686.compsig; CP045686.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび

Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ
バージョン: HPG1 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP045687.compsig; CP045687.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ
バージョン: HPG1 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: CP045691.compsig; CP045691.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる可能性のあるタイミングの問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサニタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ
バージョン: HPS4 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP045693.compsig; CP045693.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび

Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPFおよびEK001600GWEPHドライブ
バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp045511.compsig; cp045511.exe; cp045511.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ
バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045514.compsig; cp045514.exe; cp045514.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWFWKおよびMB002000GWFWLドライブ
バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045515.compsig; cp045515.exe; cp045515.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ
バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045516.compsig; cp045516.exe; cp045516.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ
バージョン: HPG3 (F) **(オプション)**
ファイル名: cp045517.compsig; cp045517.exe; cp045517.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000GWKGVドライブ
バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045519.compsig; cp045519.exe; cp045519.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ
バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp045899.compsig; cp045899.exe; cp045899.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant および Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ
バージョン: HPG8 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045522.compsig; cp045522.exe; cp045522.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ
バージョン: HPG4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045599.compsig; cp045599.exe; cp045599.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWKGRドライブ
バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045523.compsig; cp045523.exe; cp045523.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWRTCドライブ
バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045525.compsig; cp045525.exe; cp045525.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ
バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045584.compsig; cp045584.exe; cp045584.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ
バージョン: HPG5 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045527.compsig; cp045527.exe; cp045527.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000GWDFEドライブ
バージョン: HPG2 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045529.compsig; cp045529.exe; cp045529.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストで見つかった、アライメントされていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。エラー処理と信頼性を改善するための追加の修正が含まれています。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ
バージョン: HPD7 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp046335.compsig; cp046335.exe; cp046335.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ
バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045532.compsig; cp045532.exe; cp045532.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045533.compsig; cp045533.exe; cp045533.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、およびMB4000GDUPB ドライブ
バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp045536.compsig; cp045536.exe; cp045536.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ
バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp045537.compsig; cp045537.exe; cp045537.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ
バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp045539.compsig; cp045539.exe; cp045539.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ
バージョン: HPG6 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045540.compsig; cp045540.exe; cp045540.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的なラボテスト中でのみ検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ
バージョン: HPG6 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp045544.compsig; cp045544.exe; cp045544.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ
バージョン: HPGB (G) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045545.compsig; cp045545.exe; cp045545.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュ

することだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEBTPドライブ
バージョン: HPG4 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp045549.compsig; cp045549.exe; cp045549.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ
バージョン: HPGB (G) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045550.compsig; cp045550.exe; cp045550.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ検出されました。
- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEXXVドライブ
バージョン: HPG2 (H) **(推奨)**
ファイル名: cp045551.compsig; cp045551.exe; cp045551.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GVYYUドライブ
バージョン: HPG2 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp045552.compsig; cp045552.exe; cp045552.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ
バージョン: HPG4 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045553.compsig; cp045553.exe; cp045553.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000GFECRドライブ
バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045557.compsig; cp045557.exe; cp045557.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)- MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ
バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp045560.compsig; cp045560.exe; cp045560.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000480GWSSC、 MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ
バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp045901.compsig; cp045901.exe; cp045901.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant およびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000480GWXFF、 MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ
バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp045586.compsig; cp045586.exe; cp045586.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK003840GWHTEドライブ
バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045561.compsig; cp045561.exe; cp045561.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK0960GECQKドライブ
バージョン: HPG3 (J) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045562.compsig; cp045562.exe; cp045562.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ
バージョン: HPG8 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp044279.compsig; cp044279.exe; cp044279.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp044278.compsig; cp044278.exe; cp044278.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant および Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ
バージョン: HPGE (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045567.compsig; cp045567.exe; cp045567.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ
バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045568.compsig; cp045568.exe; cp045568.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFF、VK001920GWCFHおよびVK003840GWCFKドライブ
バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp045290.compsig; cp045290.exe; cp045290.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant および Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ
バージョン: HPGE (E) **(オプション)**
ファイル名: cp045773.compsig; cp045773.exe; cp045773.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant および Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPQドライブ
バージョン: HPG5 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045601.compsig; cp045601.exe; cp045601.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ
バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**

ファイル名: cp045204.compsig; cp045204.exe; cp045204.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiant および Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTLおよびMK003840GWTTNドライブ
バージョン: HPD6 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp045898.compsig; cp045898.exe; cp045898.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ
バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045570.compsig; cp045570.exe; cp045570.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよび Smart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHC、およびVK003840GWTHDドライブ
バージョン: HPG2 **(推奨)**
ファイル名: cp046508.compsig; cp046508.exe; cp046508.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- このメンテナンスFWリリースは、ウォームブート時のまれなコーナーケースのCOMRESETの問題に対処し、特定のユースケースでの初期のEOL動作に対処します。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK003840GWSXL ドライブ
バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045572.compsig; cp045572.exe; cp045572.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK007680GWSXNドライブ
バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp045573.compsig; cp045573.exe; cp045573.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ
バージョン: HPG1 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp045574.compsig; cp045574.exe; cp045574.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ
バージョン: HPG1 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp045575.compsig; cp045575.exe; cp045575.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ
バージョン: HPG1 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: cp045581.compsig; cp045581.exe; cp045581.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる可能性のあるタイミングの問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサニタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ
バージョン: HPS4 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp045583.compsig; cp045583.exe; cp045583.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

ファームウェア - ストレージコントローラー 先頭

HPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)

バージョン: 5.04 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045792.md5; RPMS/x86_64/firmware-d3000-5.04-2.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d3000-5.04-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要 :ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサーに障害が発生すると、プロセッサーを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、 リリースノート を参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- Rhel 7.8のサポートを追加
- Rhel 8.2のサポートを追加
- SLES15 SP2のサポートを追加しました。

サポートされるデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710 エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます：

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー

- Smart HBA H241
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー
- SmartアレイP741mコントローラー

HPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)
バージョン: 5.04 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045788.compsig;CP045788.md5;CP045788.zip

重要な注意!

重要 :ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサーに障害が発生すると、プロセッサーを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、 リリースノート を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710 エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます：

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー

HPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)
バージョン: 5.04 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp045793.compsig; cp045793.exe

重要な注意!

重要 :ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥Verbose.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサーに障害が発生すると、プロセッサーを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、 リリースノート を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710 エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます：

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー
- SmartアレイP741mコントローラー

HPE D6020 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)
バージョン: 2.74 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP045970.md5; RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.74-9.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.74-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要 :ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、 リリースノート を参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- Rhel 7.8のサポートを追加
- Rhel 8.2のサポートを追加
- SLES15 SP2のサポートを追加しました。

サポートされるデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー

HPE D6020 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)
バージョン: 2.74 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP045969.compsig;CP045969.md5;CP045969.zip

重要な注意!

重要 :ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック

- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、 リリースノート を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー

HPE D6020 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)
バージョン: 2.74 (I) **(推奨)**
ファイル名: cp045968.compsig; cp045968.exe

重要な注意!

重要 :ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、 リリースノート を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- SmartアレイP841コントローラー
- SmartアレイP441コントローラー
- Smart HBA H241
- SmartアレイP741mコントローラー
- SmartアレイP408e-pコントローラー
- SmartアレイE208e-pコントローラー
- SmartアレイP408e-mコントローラー

HPE D8000 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)
バージョン: 0111 **(推奨)**
ファイル名: CP046459.md5; RPMS/x86_64/firmware-d8000-0111-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d8000-0111-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要 :ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD8000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- PHY ERROR COUNTERSパラメーターのプログラミングが正しくないため、黄色のLEDが点灯し、誤った警告が発生しました。カウンターの状態が修正され、黄色のLEDが正しく機能するようになりました。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、 リリースノート を参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- Rhel 7.8のサポートを追加
- Rhel 8.2のサポートを追加
- SLES15 SP2のサポートを追加しました。

サポートされるデバイスおよび機能

D8000エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

HPE D8000 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)
バージョン: 0111 **(推奨)**
ファイル名: CP046455.md5; CP046455.zip; CP046455_part1.compsig; CP046455_part2.compsig

重要な注意!

重要 :ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD8000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- PHY ERROR COUNTERSパラメーターのプログラミングが正しくないため、黄色のLEDが点灯し、誤った警告が発生しました。カウンターの状態が修正され、黄色のLEDが正しく機能するようになりました。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、 リリースノート を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D8000エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

HPE D8000 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)
バージョン: 0111 **(推奨)**
ファイル名: cp046461.compsig; cp046461.exe

重要な注意!

重要 :ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD8000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D8000.logに記録され、フラッシュの概要は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるため、ファームウェアのアップデート中は電源の切断、または再起動は行わないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記: すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D8000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- PHY ERROR COUNTERSパラメーターのプログラミングが正しくないため、黄色のLEDが点灯し、誤った警告が発生しました。カウンターの状態が修正され、黄色のLEDが正しく機能するようになりました。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、 リリースノート を参照してください。

サポートされるデバイスおよび機能

D8000エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー

HPE MR216i-a Gen10 Plusトライモードコントローラー
バージョン: 52.16.3-3913 **(推奨)**
ファイル名: HPE_MR216i-a_Gen10P_52.16.3-3913.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、MR216i-aコントローラーで使用されます。

拡張

最初のリリース

HPE MR216i-p Gen10 Plusトライモードコントローラー
バージョン: 52.16.3-3913 **(推奨)**
ファイル名: HPE_MR216i-p_Gen10P_52.16.3-3913.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、MR216i-pコントローラーで使用されます。

拡張

最初のリリース

HPE MR416i-a Gen10 Plusトライモードコントローラー
バージョン: 52.16.3-3913 **(推奨)**
ファイル名: HPE_MR416i-a_Gen10P_52.16.3-3913.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、MR416i-aコントローラーで使用されます。

拡張

最初のリリース

HPE MR416i-p Gen10 Plusトライモードコントローラー
バージョン: 52.16.3-3913 **(推奨)**
ファイル名: HPE_MR416i-p_Gen10P_52.16.3-3913.fwpkg

重要な注意!

このファームウェアバージョンは、MR416i-pコントローラーで使用されます。

拡張

最初のリリース

HPE SR932i-pおよびSR416i-a Gen10 Plusコントローラー
バージョン: 03.01.00.006 **(推奨)**
ファイル名: HPE_SRXXX_Gen10p_3.01.00.006.fwpkg

拡張

最初のリリース

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるデバイス- SmartRAID SR932i-pおよびSR416i-a

オンラインファームウェアフラッシュfor ESXi - HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r Gen10+ブートコントローラー
バージョン: 1.0.14.1055 **(クリティカル)**
ファイル名: CP047954.compsig; CP047954.zip

重要な注意!

VMware **7.0u1**は、HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、およびNS204i-r Gen10+ブートコントローラーでサポートされています

VMware 7.0は、HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、およびNS204i-r Gen10+ブートコントローラーでサポートされていません

修正

ファームウェアは、ドライブの再構築が実行された後、NS204iアダプターカードを搭載したサーバーでRedfish読み取りが実行されると、新しいドライブでのデータチャンクの再構築をスキップする場合があります。

オンラインファームウェアフラッシュfor Linux (x64) - HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r Gen10+ブートコントローラー
バージョン: 1.0.14.1055 **(クリティカル)**
ファイル名: CP047953.md5; CP047953.scexe; deb/firmware-9041739931_1.0.14.1055-1.1_amd64.deb; rpm/RPMS/x86_64/firmware-9041739931-1.0.14.1055-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-9041739931-1.0.14.1055-1.1.x86_64.rpm

修正

ファームウェアは、ドライブの再構築が実行された後、NS204iアダプターカードを搭載したサーバーでRedfish読み取りが実行されると、新しいドライブでのデータチャンクの再構築をスキップする場合があります。

オンラインファームウェアフラッシュfor Windows - HPE NS204i-p、NS204i-d、NS204i-t、NS204i-r Gen10 Plusブートコントローラー
バージョン: 1.0.14.1055 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp050165.compsig; cp050165.exe; cp050165.md5

修正

CLIツールにHPEデジタル署名を追加する

オンラインROM Flashコンポーネントfor ESXi (x86) - HPE Smartアレイ P824i-p MR Gen10
バージョン: 24.23.0-0043 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044443.compsig; CP044443.zip

拡張

VMware ESXi 7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPEホストバスアダプターH221
バージョン: 15.10.10.00 (C) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/i386/firmware-43d7eff89e-15.10.10.00-3.1.i386.rpm

重要な注意!

すでにファームウェアバージョン15.10.10.00をインストールしている場合、15.10.10.00(C)にアップデートする必要はありません。

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 1.00 (B) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-9f082dffb4-1.00-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-9f082dffb4-1.00-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

注記:バージョン1.00が以前にインストールされていた場合、1.00(B)にアップグレードする必要はありません。

拡張

- SUSE Linux Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10 PlusバックプレーンエキスパンダーFW
バージョン: 1.27 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-7b5e8400dd-1.27-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-7b5e8400dd-1.27-1.1.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 2000 System - SASエキスパンダー
バージョン: 1.00 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-3bf7ece88e-1.00-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

すでに以前のファームウェアバージョン1.00をインストールしている場合、1.00(C)にアップデートする必要はありません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 4200バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 1.78 (A) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f18fdefd0b-1.78-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f18fdefd0b-1.78-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

- HPE SmartアレイP824i-pコントローラーのサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 4200 Gen10 Plusバックプレーンエキスパンダーファームウェアバージョン: 0.37 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f36d4ef431-0.37-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f36d4ef431-0.37-1.1.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) – HPE D2500sbストレージブレード用HPE SASエキスパンダーファームウェア
バージョン: 2.00 (B) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1d0696d939-2.00-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1d0696d939-2.00-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.00をすでにインストールしている場合、2.00 (B)へアップデートする必要はありません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインROM Flash コンポーネントfor Linux (x64) - HPE Smartアレイ P824i-p MR Gen10
バージョン: 24.23.0-0043 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-cafee9b6e4-24.23.0_0043-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-cafee9b6e4-24.23.0_0043-2.1.x86_64.rpm

修正

CFI 24378:sum-8.5.1 "smartupdate upgrade" RHEL7 に P824i コントローラーFWがインストールされていない

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェアfor HPE Smartアレイコントローラーおよび HPE HBAコントローラー
バージョン: 5.10 **(推奨)**
ファイル名: CP049281.compsig; CP049281.zip

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- 有効なフラグは最初は常にtrueに設定されているため、initstringパーティションでCRCチェックを実行し、それが本当に有効かどうかをテストできます。
- Winbondの代替フラッシュをサポートするために、スマートキャリア認証をブートプロセスの後半に移動し、Exception Dumperタスクをプロセスの前半に移動してください

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 1.00 (C) **(オプション)**
ファイル名: CP037611.compsig; CP037611.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン1.00を既にインストールしている場合、1.00 (C)へアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware vSphere 6.7 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 2000 Gen10 Plus バックプレーンエキスパンダーFW
バージョン: 1.27 **(推奨)**
ファイル名: CP046386.compsig; CP046386.zip

拡張

最初のリリース

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 2000 System - SASエキスパンダー
バージョン: 1.52 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045347.compsig; CP045347.zip

拡張

ESXi 7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 4200バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 1.79 (B) **(推奨)**

ファイル名: CP045810.zip; CP045810_part1.compsig; CP045810_part2.compsig

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

ESXi 7.0のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 4200 Gen10 Plusバックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 0.37 **(推奨)**
ファイル名: CP044965.compsig; CP044965.zip

拡張

最初のリリース

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 1.56 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP038103.compsig; CP038103.zip

拡張

- HPE SmartアレイP824i-pコントローラーのサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 2.50 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045346.compsig; CP045346.zip

重要な注意!

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

拡張

ESXi OS 7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Dual 8GB microSD USB
バージョン: 1.3.2.215 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP037940.compsig; CP037940.zip

修正

- Agentless Management Serviceバージョン11.2.0以降で、対応するHPE Dual 8GB microSD USB 製品番号 を表示します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Express Bay Enablement Switchカード
バージョン: 1.78 (B) **(オプション)**
ファイル名: CP035193.zip

重要な注意!

すでにファームウェアバージョン1.78をインストールしている場合、1.78(B)にアップデートする必要はありません。

- アップデートを有効にするために電源再投入/コールドリブートがインストール後に必要です。

前提条件

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョン2.20以降が必要。HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20以前の場合、次のエラーメッセージを受信します。

    依存性の確認に失敗しました。

現在のバージョン:*iLOx x.xx*

必要な最小バージョン:*iLO4 2.20*

必要なハードウェアがシステムに存在しないかソフトウェア/ファームウェアがこのシステムに適合しないため、ソフトウェアはこのシステムにインストールされません。

拡張

- VMware vSphere 6.7 OSのサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE D2500sbストレージブレード用HPE SASエキスパンダーファームウェア
バージョン: 2.00 (C) **(オプション)**
ファイル名: CP037690.compsig; CP037690.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.00をすでにインストールしている場合、2.00(C)へアップデートする必要はありません。

- ESXi6.0を使用するには、アップグレード3以降である必要があります。以前のバージョンのOSには必要なSmartPQIドライバーがありません。

前提条件

ESXi6.0を使用するには、アップグレード3以降である必要があります。以前のバージョンのOSには必要なSmartPQIドライバーがありません。

拡張

- VMware vSphere 6.7 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408i-sb、P408e-m、P204i-c、P204i-b、P816i-a、およびP416ie-m SR Gen10
バージョン: 3.53 **(推奨)**
ファイル名: CP046359.compsig; CP046359.zip

修正

- 定期的なI/Oの受信中にコントローラーが応答しなくなる可能性がある問題。
- エキスパンダーの構成中にファームウェアがデバイスを検出しようとし続けるため、ホストI/Oのタイムアウトが発生する可能性があります。
- サポートされていないブロックサイズの不良ドライブを使用すると、コントローラーのロックアップ問題(コード0x1E10)が発生することがあります。
- 複数のホットプラグおよびホットリムーブイベント(ドライブまたはJBOD)が処理されているときに、コントローラーがハングアップします。
- コントローラーが、フラッシュバックライトキャッシュを有効にした論理ドライブを、論理ドライブの最後に向かってシーケンシャルリードでハングアップします。
- I/Oが未処理の物理ドライブをホットプラグすると、コントローラーがハングアップします。
- ホストI/Oおよびバックグラウンド整合性チェックで、すべてのドライブに同じLBA上でUREが発生しているRAID-1 ADMまたは、RAID-10 ADMストライプが同時に検出されると、コントローラーがハングアップします。
- ホストがコントローラー構成の消去コマンドまたはその他の構成変更コマンドを発行したときに、RAID6/60論理ドライブのドライブに障害が発生すると、コントローラーがハングアップします。
- SSDデータドライブは、スペアの再構築が進行しているときにホットリムーブして再挿入すると、オフラインに設定される場合があります(理由コード0x37)。
- サニタイズ消去が終了した直後にシステムを再起動すると、ドライブがOSに公開されない場合があります。
- 12Gb SAS Expander Cardの特定のポート(ポート7以上)にUBMバックプレーンを接続すると、UBMバックプレーンが正しく検出されません。
- アイドル状態の後に短時間のI/Oを行うと、コントローラーがハングアップすることがあります。
- SATAドライブのドライブファームウェアのアップデート後に、コントローラーが以前のドライブファームウェアバージョンを返す場合があります。
- マルチエキスパンダーエンクロージャー構成でのエキスパンダーファームウェアのアップグレード中に、コントローラーがドライブを障害と見なす可能性があります(理由コード0x49、I/Oフリーズタイムアウトで)。
- 特定のファンアウトエキスパンダータイプの外部エンクロージャーモデルで、ホットアドされたドライブのLED制御が失敗します。
- Smartアレイ Essentialシリーズコントローラーは、シーケンシャルI/Oを処理しているときに応答せず、ファームウェア合体ロジックがメモリを取得できない場合があります。

- SmartCache構成でプライマリ論理ドライブへの断続的な書き込みI/Oエラーが発生すると、ファイルシステムまたはアプリケーションが古いデータを読み取る可能性があります。

拡張

- UBMタイプ3バックプレーンのサポートを追加しました
- SATAドライブの長いデバイスモデル/製品IDのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - SmartアレイおよびSmart HBA H240ar、H240nr、H240、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841
バージョン: 7.00 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP047335.compsig; CP047335.zip

修正

- フラッシュエンジンの効率の向上

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822
バージョン: 8.32 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP045344.compsig; CP045344.zip

拡張

ESXi 7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830
バージョン: 5.02 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP045345.compsig; CP045345.zip

拡張

ESXI OS7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE 12Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー
バージョン: 5.10 **(推奨)**
ファイル名: cp049280.compsig; cp049280.exe; cp049280.md5

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- 有効なフラグは最初は常にtrueに設定されているため、initstringパーティションでCRCチェックを実行し、それが本当に有効かどうかをテストできます。
- Winbondの代替フラッシュをサポートするために、スマートキャリア認証をブートプロセスの後半に移動し、Exception Dumperタスクをプロセスの前半に移動してください

拡張

- Windows Server 2022のサポートを追加

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 1.00 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp037609.compsig; cp037609.exe; cp037609.md5

重要な注意!

注記:バージョン1.00が以前にインストールされていた場合、1.00(B)にアップグレードする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware Windows (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10 Plusバックプレーンエキスパンダー FW
バージョン: 1.27 **(推奨)**
ファイル名: cp046384.compsig; cp046384.exe; cp046384.md5

拡張

最初のリリース

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 2000 System - SASエキスパンダー
バージョン: 1.00 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp037691.exe;cp037691.md5

重要な注意!

すでに以前のファームウェアバージョン1.00をインストールしている場合、1.00(E)にアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 4200バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 1.78 (A) **(オプション)**
ファイル名: cp038812.compsig; cp038812.exe; cp038812.md5

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.03またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

- HPE SmartアレイP824i-pコントローラーのサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 4200 Gen10 Plusバックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 0.37 **(推奨)**
ファイル名: cp044967.compsig; cp044967.exe; cp044967.md5

拡張

最初のリリース

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 1.56 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp037765.compsig; cp037765.exe; cp037765.md5

拡張

- HPE SmartアレイP824i-pコントローラーのサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 2.50 **(オプション)**
ファイル名: cp038040.exe;cp038040.md5

重要な注意!

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

修正

- SSACLIの大量なポーリング中にエキスパンダーがリセットされることがあります
- SATAドライブがスピンアップまでに時間がかかるため、最初は検出されず、後でホットアドされます。このため、システムブートが妨げられたり、論理ドライブのステータスに影響したりすることがあります。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Express Bay Enablement Switch Card
バージョン: 1.78 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp037730.exe;cp037730.md5

重要な注意!

すでにファームウェアバージョン1.78をインストールしている場合、1.78(C)にアップデートする必要はありません。

- アップデートを有効にするために電源再投入/コールドリブートがインストール後に必要です。

前提条件

- このフラッシュコンポーネントを使用する前に、"HP ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver"がインストールされて実行されている必要があります。ドライバーが実行されていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

  "セットアップでセットアップ DLLを読み込めません"

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョン2.20以降が必要。HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20以前の場合、次のエラーメッセージを受信します。

  依存性の確認に失敗しました。

  現在のバージョン*:iLOx x.xx*

  必要な最小バージョン*:iLO4 2.20*

  必要なハードウェアがシステムに存在しないかソフトウェア/ファームウェアがこのシステムに適合しないため、ソフトウェアはこのシステムにインストールされません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPEホストバスアダプターH221
バージョン: 15.10.10.00 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp038049.exe;cp038049.md5

重要な注意!

すでにファームウェアバージョン15.10.10.00をインストールしている場合、15.10.10.00(E)にアップデートする必要はありません。

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました。

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーコンポーネントは、H221コントローラー搭載のGen9サーバーのみをサポートし、コントローラーはGen9サーバーでのD2600、D2700、およびD6000ディスクエンクロージャーへの接続をサポートしません。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE D2500sbストレージブレード用HPE SASエキスパンダーファームウェア
バージョン: 2.00 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp037679.compsig; cp037679.exe; cp037679.md5

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.00をすでにインストールしている場合、2.00 (B)へアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Smartアレイ P408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408i-sb、P408e-m、P204i-c、P204i-b、P816i-aおよびP416ie-m SR Gen10
バージョン: 3.53 **(推奨)**
ファイル名: cp046357.compsig; cp046357.exe; cp046357.md5

修正

- 定期的なI/Oの受信中にコントローラーが応答しなくなる可能性がある問題。
- エキスパンダーの構成中にファームウェアがデバイスを検出しようとし続けるため、ホストI/Oのタイムアウトが発生する可能性があります。
- サポートされていないブロックサイズの不良ドライブを使用すると、コントローラーのロックアップ問題(コード0x1E10)が発生することがあります。
- 複数のホットプラグおよびホットリムーブイベント(ドライブまたはJBOD)が処理されているときに、コントローラーがハングアップします。
- コントローラーが、フラッシュバックライトキャッシュを有効にした論理ドライブを、論理ドライブの最後に向かってシーケンシャルリードでハングアップします。
- I/Oが未処理の物理ドライブをホットプラグすると、コントローラーがハングアップします。
- ホストI/Oおよびバックグラウンド整合性チェックで、すべてのドライブに同じLBA上でUREが発生しているRAID-1 ADMまたは、RAID-10 ADMストライプが同時に検出されると、コントローラーがハングアップします。
- ホストがコントローラー構成の消去コマンドまたはその他の構成変更コマンドを発行したときに、RAID6/60論理ドライブのドライブに障害が発生すると、コントローラーがハングアップします。
- SSDデータドライブは、スペアの再構築が進行しているときにホットリムーブして再挿入すると、オフラインに設定される場合があります(理由コード0x37)。
- サニタイズ消去が終了した直後にシステムを再起動すると、ドライブがOSに公開されない場合があります。
- 12Gb SAS Expander Cardの特定のポート(ポート7以上)にUBMバックプレーンを接続すると、UBMバックプレーンが正しく検出されません。
- アイドル状態の後に短時間のI/Oを行うと、コントローラーがハングアップすることがあります。
- SATAドライブのドライブファームウェアのアップデート後に、コントローラーが以前のドライブファームウェアバージョンを返す場合があります。
- マルチエキスパンダーエンクロージャー構成でのエキスパンダーファームウェアのアップグレード中に、コントローラーがドライブを障害と見なす可能性があります(理由コード0x49、I/Oフリーズタイムアウトで)。
- 特定のファンアウトエキスパンダータイプの外部エンクロージャーモデルで、ホットアドされたドライブのLED制御が失敗します。
- Smartアレイ Essentialシリーズコントローラーは、シーケンシャルI/Oを処理しているときに応答せず、ファームウェア合体ロジックがメモリを取得できない場合があります。
- SmartCache構成でプライマリ論理ドライブへの断続的な書き込みI/Oエラーが発生すると、ファイルシステムまたはアプリケーションが古いデータを読み取る可能性があります。

拡張

- UBMタイプ3バックプレーンのサポートを追加しました
- SATAドライブの長いデバイスモデル/製品IDのサポートを追加しました。

オンラインROM Flashコンポーネントfor Windows (x64) - HPE SmartアレイP824i-p MR Gen10
バージョン: 24.23.0-0043 (A) **(推奨)**
ファイル名: cp044919.compsig; cp044919.exe; cp044919.md5

修正

過熱の問題は、>=60Cしきい値のための誤ったIMLでした。新しいバージョンでしきい値を>65Cに変更しました。

カスタマーアドバイザリa00101958en_usを参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- SmartアレイおよびSmart HBA H240ar、H240nr、H240、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841
バージョン: 7.00 **(推奨)**
ファイル名: cp039995.exe;cp039995.md5

修正

- FWがその期間中にドライブと同期していないため、一定期間Sanitizeコマンドを実行した後、ドライブがIOを受け入れない場合があります

- 非HPEドライブは、ワークロードが重いときにドライブがqdepth制限に達するため、"Task Set Full"を報告する可能性があります
- ホットプラグ中に不良ドライブが2つのスロットを消費するため、RAIDボリュームは検出されません
- 4.5xより前のファームウェアバージョンからアップグレードすると、データにアクセスできなくなる可能性があります
- CPU例外が原因で、SCSI検証コマンドの実行時にコントローラーが応答を停止することがありました
- I/Oコマンドのタイムアウトにより、システムが通信を停止する可能性があります
- HBAモードでは、早期に割り当てられたバッファリリースにより、ドライブが応答を停止することがありました
- SASドライブのWWNは、誤ったレポートが原因でドライバーがデバイスと同期しなくなるため、不正確であると報告されます
- 4Gモジュールを使用している場合、SSDキャッシュメタデータがバックアップ中に制限を超えると、コントローラーが応答しなくなる可能性があります
- 使用可能なキャッシュスペースの減少によりSSD Smart Cacheモジュールが無効になるります

拡張

通信バッファーの所有権を確認するため、より効果的なメカニズムを持つiLO通信インターフェースの最適化を追加します

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822
バージョン: 8.32 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp037741.exe;cp037741.md5

重要な注意!

すでにファームウェアバージョン8.32をインストールしている場合、8.32(C)にアップデートする必要はありません。

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i、およびP830
バージョン: 5.02 **(オプション)**
ファイル名: cp039412.exe;cp039412.md5

修正

- Smart Cacheでアクティブな I/Oが発生しているため、SmartCacheが有効な間ファームウェアのアップデートが失敗する可能性があります。
- バッファーがコントローラーによって適切に処理されないため、エキスパンダーのシリアル出力がコントローラーログに入力されない場合があります

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE SmartアレイコントローラーおよびHPE HBAコントローラー
バージョン: 5.10 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1f19a4a64d-5.10-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1f19a4a64d-5.10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- 有効なフラグは最初は常にtrueに設定されているため、initstringパーティションでCRCチェックを実行し、それが本当に有効かどうかをテストできます。
- Winbondの代替フラッシュをサポートするために、スマートキャリア認証をブートプロセスの後半に移動し、Exception Dumperタスクをプロセスの前半に移動してください

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 1.56 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.56-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.56-3.1.x86_64.rpm

拡張

- HPE SmartアレイP824i-pコントローラーのサポートを追加しました

サプリメンタルアップデート / オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Apollo 45xx Gen9バックプレーンエキスパンダーファームウェア
バージョン: 2.50 **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-7bdfcd246b-2.50-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- バージョン1.03以前からのファームウェアアップグレードを有効にするために、サーバーの電源コードを1度抜いて、再度挿してください。

修正

- SSACLIの大量なポーリング中にエキスパンダーがリセットされることがあります
- SATAドライブがスピンアップまでに時間がかかるため、最初は検出されず、後でホットアドされます。このため、システムブートが妨げられたり、論理ドライブのステータスに影響したりすることがあります。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Express Bay Enablement Switch Card
バージョン: 1.78 (B) **(オプション)**
ファイル名: firmware-smartarray-94189dca85-1.78-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

すでにファームウェアバージョン1.78をインストールしている場合、1.78(B)にアップデートする必要はありません。

- アップデートを有効にするために電源再投入/コールドリブートがインストール後に必要です。

前提条件

- HPE Express Bay Enablement Switch CardファームウェアSmartコンポーネントの前回リリースでは、iLO 3/4チャネルインターフェイスドライバーへの依存が記録されました。このドライバーは、以下のLinux OSに含まれるようになりました。

  Red Hat Enterprise Linux 7 Server

  Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64)

  SUSE Linux Enterprise Server 12

- HP ProLiant iLOファームウェアバージョン2.20以降が必要。HP ProLiant iLOファームウェアがv2.20以前の場合、次のエラーメッセージを受信します。

  依存性の確認に失敗しました。

  現在のバージョン:*iLOx x.xx*

  必要な最小バージョン:*iLO4 2.20*

  必要なハードウェアがシステムに存在しないかソフトウェア/ファームウェアがこのシステムに適合しないため、ソフトウェアはこのシステムにインストールされません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

サプリメンタルアップデート/Linux(x64)用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408e-m、P204i-c、P204i-b、P816i-a、およびP416ie-m SR Gen10
バージョン: 3.53 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-3.53-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-3.53-1.1.x86_64.rpm

修正

- 定期的なI/Oの受信中にコントローラーが応答しなくなる可能性がある問題。
- エキスパンダーの構成中にファームウェアがデバイスを検出しようとし続けるため、ホストI/Oのタイムアウトが発生する可能性があります。
- サポートされていないブロックサイズの不良ドライブを使用すると、コントローラーのロックアップ問題(コード0x1E10)が発生することがあります。

- 複数のホットプラグおよびホットリムーブイベント(ドライブまたはJBOD)が処理されているときに、コントローラーがハングアップします。
- コントローラーが、フラッシュバックライトキャッシュを有効にした論理ドライブを、論理ドライブの最後に向かってシーケンシャルリードでハングアップします。
- I/Oが未処理の物理ドライブをホットプラグすると、コントローラーがハングアップします。
- ホストI/Oおよびバックグラウンド整合性チェックで、すべてのドライブに同じLBA上でUREが発生しているRAID-1 ADMまたは、RAID-10 ADMストライプが同時に検出されると、コントローラーがハングアップします。
- ホストがコントローラー構成の消去コマンドまたはその他の構成変更コマンドを発行したときに、RAID6/60論理ドライブのドライブに障害が発生すると、コントローラーがハングアップします。
- SSDデータドライブは、スペアの再構築が進行しているときにホットリムーブして再挿入すると、オフラインに設定される場合があります(理由コード0x37)。
- サニタイズ消去が終了した直後にシステムを再起動すると、ドライブがOSに公開されない場合があります。
- 12Gb SAS Expander Cardの特定のポート(ポート7以上)にUBMバックプレーンを接続すると、UBMバックプレーンが正しく検出されません。
- アイドル状態の後に短時間のI/Oを行うと、コントローラーがハングアップすることがあります。
- SATAドライブのドライブファームウェアのアップデート後に、コントローラーが以前のドライブファームウェアバージョンを返す場合があります。
- マルチエキスパンダーエンクロージャー構成でのエキスパンダーファームウェアのアップグレード中に、コントローラーがドライブを障害と見なす可能性があります(理由コード0x49、I/Oフリーズタイムアウトで)。
- 特定のファンアウトエキスパンダータイプの外部エンクロージャーモデルで、ホットアドされたドライブのLED制御が失敗します。
- Smartアレイ Essentialシリーズコントローラーは、シーケンシャルI/Oを処理しているときに応答せず、ファームウェア合体ロジックがメモリを取得できない場合があります。
- SmartCache構成でプライマリ論理ドライブへの断続的な書き込みI/Oエラーが発生すると、ファイルシステムまたはアプリケーションが古いデータを読み取る可能性があります。

拡張

- UBMタイプ3バックプレーンのサポートを追加しました
- SATAドライブの長いデバイスモデル/製品IDのサポートを追加しました。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- SmartアレイおよびSmart HBA H240ar、H240nr、H240、H241、H244br、P240nr、P244br、P246br、P440ar、P440、P441、P542D、P741m、P840、P840arおよびP841
バージョン: 7.00 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-ea3138d8e8-7.00-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 正しく検出されるために、いくつかのコントローラーは、コントローラーファームウェアをアップグレードする前にSmartアレイドライバーの新しいバージョンのインストールが必要な場合があります。 インストールされていない場合、コンポーネントはリターンコード3で失敗します。

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更に起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする "**modprobe sg**" コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、 /dev/sg* デバイスが存在するようになり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用可能になります。

修正

- FWがその期間中にドライブと同期していないため、一定期間Sanitizeコマンドを実行した後、ドライブがIOを受け入れない場合があります
- 非HPEドライブは、ワークロードが重いときにドライブがqdepth制限に達するため、"Task Set Full"を報告する可能性があります
- ホットプラグ中に不良ドライブが2つのスロットを消費するため、RAIDボリュームは検出されません
- 4.5xより前のファームウェアバージョンからアップグレードすると、データにアクセスできなくなる可能性があります
- CPU例外が原因で、SCSI検証コマンドの実行時にコントローラーが応答を停止することがありました
- I/Oコマンドのタイムアウトにより、システムが通信を停止する可能性があります
- HBAモードでは、早期に割り当てられたバッファリリースにより、ドライブが応答を停止することがありました
- SASドライブのWWNは、誤ったレポートが原因でドライバーがデバイスと同期しなくなるため、不正確であると報告されます
- 4Gモジュールを使用している場合、SSDキャッシュメタデータがバックアップ中に制限を超えると、コントローラーが応答しなくなる可能性があります
- 使用可能なキャッシュスペースの減少によりSSD Smart Cacheモジュールが無効になるります

拡張

通信バッファーの所有権を確認するため、より効果的なメカニズムを持つiLO通信インターフェースの最適化を追加します

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - SmartアレイP220i、P222、P420i、P420、P421、P721m、およびP822
バージョン: 8.32 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/hp-firmware-smartarray-46a4d957a7-8.32-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更に起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする "**modprobe sg**" コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、 /dev/sg* デバイスが存在するようになり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用可能になります。

修正

システムは、ベースコードファームウェアによって返される完了について、RAIDスタックスレッドがキューをポーリングしているライブロック状況のために、ロックアップコードを表示せずに応答を停止することがあります。

拡張

ドライブ温度レポート機能の精度が改善されました。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - SmartアレイP230i、P430、P431、P731m、P830i および P830
バージョン: 5.02 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-112204add8-5.02-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Red Hat Enterprise Linux 7.1オペレーティングシステムを実行するシステムを起動すると、Smartアレイコントローラーが認識されないことがあります。この問題は、sgドライバーをシステムブート時にロードしないOSでの変更に起因します。この問題を回避するには、sgドライバーをロードする "**modprobe sg**" コマンドを手動で発行します。sgドライバーがロードされた後、 /dev/sg* デバイスが存在するようになり、sgドライバーがSCSIデバイスにアクセスするために使用可能になります。

修正

- Smart Cacheでアクティブな I/Oが発生しているため、SmartCacheが有効な間ファームウェアのアップデートが失敗する可能性があります。
- バッファーがコントローラーによって適切に処理されないため、エキスパンダーのシリアル出力がコントローラーログに入力されない場合があります

ファームウェア - ストレージ ファイバーチャネル **先頭**

HPE ファームウェアフラッシュ for Emulex ファイバーチャネルホストバスアダプターfor Linux (x64)

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2021.02.01-1.23.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2021.02.01-1.23.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCドライバーキットをインストールし、再起動してからEnablement Kitをインストールしてください。

追加の要件:

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です
コンポーネントでEmulexホストバスアダプター(HBA)を検出できるようにするには、32-bit netlink library(libnl.so)がインストールされている環境が必要です

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019 x64
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044732.compsig; cp044732.exe

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/download/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE ファームウェアフラッシュ for Emulex ファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.5
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044728.compsig; CP044728.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS

HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FC アダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.7用Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044729.compsig; CP044729.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 7.0
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044730.compsig; CP044730.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.80a3	2.10X6	12.8.183.0	12.8.9.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FC アダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor Linux (x64)
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-emulex-2021.02.01-1.13.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-emulex-2021.02.01-1.13.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCドライバーキットをインストールし、再起動してからEnablement Kitをインストールしてください。

追加の要件:

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です
コンポーネントでEmulexホストバスアダプター(HBA)を検出できるようにするには、32-bit netlink library(libnl.so)がインストールされている環境が必要です

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

Emulex Mezzanineファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019 x64
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044766.compsig; cp044766.exe

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/download/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.5
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044762.compsig; CP044762.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044763.compsig; CP044763.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 7.0
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044764.compsig; CP044764.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーのデフォルトをロードするときにSN1600Eが誤って不要なメッセージを表示する動作を修正しました

拡張

以下を追加しました。

- SN1200E、SN1600E、およびSN1610Eに対するDistributed Management Task Force(DMTF)- プラットフォームレベルデータモデル(PLDM)ファームウェアアップデートのサポートが追加されました
- ユーザーがHewlett Packard Enterprise(HPE)インテリジェントプロビジョニングからHewlett Packard Enterprise(HPE)セキュア消去をアクティブ化すると、アダプターはデフォルトにリセットされるようになりました。
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.8.352.12	12.8.352.12	12.8.352.10	12.8.352.5

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FCアダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x86_64)
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2021.02.01-1.24.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2021.02.01-1.24.x86_64.rpm

重要な注意!

次のリリースノートを参照してください。

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。

- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

前提条件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

- /var/tmpフォルダーに読み取り/書き込み権限を付与することをお勧めします。/tmpまたは/var/tmpディレクトリで読み取り/書き込み(rw)権限が有効になっていない場合、Service Pack for ProLiant(SPP)を介したファームウェアの展開が失敗する場合があります。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

サポートされるデバイスおよび機能

この ファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019(x86_64)
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044784.compsig; cp044784.exe

重要な注意!

次のリリースノートを参照してください。

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOBドライバーは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

サポートされるデバイスおよび機能

この ファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.5用HPEファームウェアフラッシュ
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044780.compsig; CP044780.zip

重要な注意!

次のリリースノートを参照してください。

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントがSUMによって特定される前に、HPEが提供する Qlogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/download/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

サポートされるデバイスおよび機能

この ファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044781.compsig; CP044781.zip

重要な注意!

次のリリースノートを参照してください。

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントがSUMによって特定される前に、HPEが提供する Qlogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/download/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1610Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

サポートされるデバイスおよび機能

この ファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 7.0用HPEファームウェアフラッシュ
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044782.compsig; CP044782.zip

重要な注意!

次のリリースノートを参照してください。

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントがSUMによって特定される前に、HPEが提供する Qlogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/download/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43
HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64
HPE SN1600Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	1.75.07	9.06.02	7.04	3.64

HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.04.07	09.06.02	7.11	0.0

サポートされるデバイスおよび機能

この ファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポート ファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルメザニンホストバスアダプターfor VMware vSphere 7.0用HPEファームウェアフラッシュ
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044795.compsig; CP044795.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントがSUMによって特定される前に、HPEが提供する Qlogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/download/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター - Linux (x86_64)
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-qlogic-2021.02.01-1.11.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-qlogic-2021.02.01-1.11.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

前提条件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

- /var/tmpフォルダーに読み取り/書き込み権限を付与することをお勧めします。/tmpまたは/var/tmpディレクトリで読み取り/書き込み(rw)権限が有効になっていない場合、Service Pack for ProLiant(SPP)を介したファームウェアの展開が失敗する場合があります。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019(x86_64)
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044797.compsig; cp044797.exe

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOBドライバーは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.5
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044793.compsig; CP044793.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS

HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントがSUMによって特定される前に、HPEが提供する Qlogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/download/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 6.7
バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: CP044794.compsig; CP044794.zip

重要な注意!

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントがSUMによって特定される前に、HPEが提供する Qlogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/download/のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている停止を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。
- 起動中にメザニンアダプターの一方または両方のポートがインターコネクトモジュールに接続されていない場合に、Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)ドライバーがシステムを強制的に再起動する動作を修正しました。
- 特定のファブリック条件下でアクティブな入出力(IO)交換の数が減少し、パフォーマンスが低下する可能性がある動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用	16Gb	6.04.04	8.08.232	7.04	3.43

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター、c-Class BladeSystem用

ファームウェア - システム 先頭

ファームウェアパッケージ - Gen10 NVMe Backplane PICファームウェア

バージョン: 1.20 **(オプション)**
ファイル名: ISS_NVMe_BP_PIC_flashV1B20.fwpkg

前提条件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

最初のリリース。

ファームウェアパッケージ - Gen10Plus UBM2 Backplane PICファームウェア
バージョン: 1.16 **(推奨)**
ファイル名: UBM2_V1.16.fwpkg

前提条件

iLO 5バージョン2.10以降が必要です。

修正

LED点灯条件を修正するために修正しました

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10 NVMeバックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.20 (D) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-nvmebackplane-gen10-1.20-5.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-nvmebackplane-gen10-1.20-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

注記: ターゲットデバイスがすでにファームウェアバージョン1.20にアップデートされている場合は、ファームウェアアップデート1.20(E)を適用する必要はありません。

前提条件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

- SUSE Linux Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM1バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.42 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-2e20068436-1.42-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-2e20068436-1.42-2.1.x86_64.rpm

前提条件

iLO 5バージョン2.30以降が必要です。

修正

デバイスGUIDを修正する。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM2バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.16 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-40023de47f-1.16-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-40023de47f-1.16-1.1.x86_64.rpm

修正

LED点灯条件を修正するために修正しました

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM3バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.20 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-b249e2e715-1.20-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-b249e2e715-1.20-1.1.x86_64.rpm

前提条件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

最初のリリース

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - Gen10Plus UBM4バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.20 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-b368ad032e-1.20-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-b368ad032e-1.20-1.1.x86_64.rpm

前提条件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

最初のリリース

オンラインフラッシュコンポーネントfor Linux - NVMeバックプレーンPICファームウェア
バージョン: 8.4 (D) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/i386/firmware-nvmebackplane-8.4-4.1.i386.rpm

重要な注意!

注記: システムが以前にバージョン8.4にアップデートされている場合、8.4 (D)にアップデートする必要はありません。

前提条件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor VMware - NVMeバックプレーンPICファームウェア
バージョン: 8.4 (D) **(オプション)**
ファイル名: CP035161.compsig; CP035161.zip

重要な注意!

注記: システムが以前にバージョン8.4にアップデートされている場合、8.4 (D)にアップデートする必要はありません。

前提条件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

- VMware vSphere 6.7 OSのサポートを追加しました

オンラインフラッシュコンポーネントfor VMware Esxi - Gen10Plus UBM1バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.42 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP049821.compsig; CP049821.zip

修正

デバイスGUIDを修正する

オンラインフラッシュコンポーネントfor VMware Esxi - Gen10Plus UBM2バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.16 **(推奨)**
ファイル名: CP043320.compsig; CP043320.zip

修正

LED点灯条件を修正するために修正しました

オンラインフラッシュコンポーネントfor VMware Esxi - Gen10Plus UBM3バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.20 **(推奨)**
ファイル名: CP045879.compsig; CP045879.zip

拡張

- 最初のリリース

オンラインフラッシュコンポーネントfor VMware Esxi - Gen10Plus UBM4バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.20 **(推奨)**
ファイル名: CP045880.compsig; CP045880.zip

拡張

- 最初のリリース

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10 NVMeバックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.20 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp037722.compsig; cp037722.exe

重要な注意!

注記: ターゲットデバイスがすでにファームウェアバージョン1.20にアップデートされている場合は、ファームウェアアップデート 1.20(D) を適用する必要はありません。

前提条件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM1 バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.42 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp049776.compsig; cp049776.exe; cp049776.md5

前提条件

iLO 5バージョン2.30以降が必要です。

拡張

Microsoft Windows 2022をサポート対象OSリストに追加

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM2 バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.16 **(推奨)**
ファイル名: cp041524.compsig; cp041524.exe; cp041524.md5

前提条件

iLO 5バージョン2.30以降が必要です。

修正

LED点灯条件を修正するために修正しました

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM3 バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.20 **(推奨)**
ファイル名: cp042623.compsig; cp042623.exe; cp042623.md5

前提条件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

- 最初のリリース

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10Plus UBM4 バックプレーンPICファームウェア
バージョン: 1.20 **(推奨)**
ファイル名: cp043315.compsig; cp043315.exe; cp043315.md5

前提条件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

- 最初のリリース

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - NVMeバックプレーンPICファームウェア
バージョン: 8.4 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp037743.exe

重要な注意!

注記: システムが以前にバージョン8.4にアップデートされている場合、8.4 (E)にアップデートする必要はありません。

前提条件

iLO 4バージョン2.50以降が必要です。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE Gen10サーバー向けServer Platform Services(SPS)ファームウェア
バージョン: 04.01.04.423 **(推奨)**
ファイル名: cp045310.compsig; cp045310.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.423

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.423

以前のリビジョン:

04.01.04.381(B)

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus
バージョン: 05.01.04.208 **(推奨)**
ファイル名: cp045278.compsig; cp045278.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus(U48)サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.208

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.208

以前のリビジョン:

05.01.04.113

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10
バージョン: 05.01.04.208 **(推奨)**
ファイル名: cp045274.compsig; cp045274.exe

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE DL20ML30Gen10SPS Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

05.01.04.208

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.208

以前のリビジョン:

05.01.04.113

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェアfor HPE Gen10サーバー
バージョン: 0.2.2.0 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-iegen10-0.2.2.0-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-iegen10-0.2.2.0-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.2.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.1.5.2

以前のリビジョン:

0.2.1.2

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

プロセッサーまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予想よりも速く動作している可能性があるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動後に時々発生し、通常はその後のサーバーの再起動で修正されます。

既知の問題点:

なし

前提条件

システムROM V1.26以降

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プロセッサーまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予想よりも速く動作している可能性があるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動後に時々発生し、通常はその後のサーバーの再起動で修正されます。

既知の問題点:

なし

Linux向けオンラインROMフラッシュ - HPE Gen10向けServer Platform Services(SPS)ファームウェア
バージョン: 04.01.04.423 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-spsgen10-04.01.04.423-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-spsgen10-04.01.04.423-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.423

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.423

以前のリビジョン:

04.01.04.381(B)

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus
バージョン: 05.01.04.208 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-microservergen10plussps-05.01.04.208-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-microservergen10plussps-05.01.04.208-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus(U48)サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.208

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.208

以前のリビジョン:

05.01.04.113

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10
バージョン: 05.01.04.208 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dl20ml30gen10sps-05.01.04.208-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dl20ml30gen10sps-05.01.04.208-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE DL20ML30Gen10SPS Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

05.01.04.208

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.208

以前のリビジョン:

05.01.04.113

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver”(CHIF)。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Windows x64 - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェアfor HPE Gen10サーバー
バージョン: 0.2.2.0 **(オプション)**

ファイル名: cp043588.compsig; cp043588.exe

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.2.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.1.5.2

以前のリビジョン:

0.2.1.2

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

プロセッサーまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予想よりも速く動作している可能性があるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動後に時々発生し、通常はその後のサーバーの再起動で修正されます。

既知の問題点:

なし

前提条件

システムROM V1.26以降

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プロセッサーまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予想よりも速く動作している可能性があるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動後に時々発生し、通常はその後のサーバーの再起動で修正されます。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェアfor HPE Gen10サーバー
バージョン: 0.2.2.0 **(オプション)**
ファイル名: IEGen10_0.2.2.0.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.2.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.1.5.2

以前のリビジョン:

0.2.1.2

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

プロセッサーまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予想よりも速く動作している可能性があるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動後に時々発生し、通常はその後のサーバーの再起動で修正されます。

既知の問題点:

なし

前提条件

システムROM V1.26以降

iLO 5 v1.20以降

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プロセッサーまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予想よりも速く動作している可能性があるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動後に時々発生し、通常はその後のサーバーの再起動で修正されます。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10サーバー
バージョン: 05.01.04.208 **(推奨)**
ファイル名: DL20ML30Gen10SPS_05.01.04.208.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE DL20ML30Gen10SPS Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

05.01.04.208

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.208

以前のリビジョン:

05.01.04.113

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus
バージョン: 05.01.04.208 **(推奨)**
ファイル名: MicroserverGen10PlusSPS_05.01.04.208.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus(U48)サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.208

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.208

以前のリビジョン:

05.01.04.113

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10サーバー
バージョン: 04.01.04.423 **(推奨)**
ファイル名: SPSGen10_04.01.04.423.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.423

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.423

以前のリビジョン:

04.01.04.381(B)

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

前提条件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

iLO 5 Channel Interface Driver (CHIF)は、Service Pack for ProLiant (SPP)から入手できます。

修正

重要な注意:

このバージョンのサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェアには、インテル製品アップデート(IPU)バージョンIPU.2020.2ガイダンスに沿ったアップデートが含まれています。

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

サーバープラットフォームサービスファームウェアのこのリビジョンは、CVE-2020-8755として文書化されているセキュリティ上の脆弱性を緩和します。このセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリ INTEL-SA-00391 に文章化されています。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

サーバープラットフォームサービス (SPS)ファームウェア
バージョン: 05.01.04.208 **(推奨)**
ファイル名: cp045275.compsig; cp045275.zip

拡張

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

Intel C242およびC246 PCHベースのシステム用のサーバープラットフォームサービス(SPS)ファームウェア
バージョン: 05.01.04.208 **(推奨)**
ファイル名: cp045271.compsig; cp045271.zip

拡張

リリースドキュメントを参照してください

ファームウェア (ライセンスが必要) - ストレージコントローラー 先頭

HP D2600/D2700 6 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)

バージョン: 0150 (B) **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/hp-firmware-d2600-d2700-0150-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、/var/cpq/Component.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュの進捗メッセージは、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートされるデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

HP D2600/D2700 6 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)
バージョン: 0150 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp028806.exe

重要な注意!

現在デバイスが150ファームウェアを実行している場合、150(B)へファームウェアをアップグレードする必要はありません

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムの全てのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

前提条件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:ディスクエンクロージャーがカスケードされたとき、1つのエンクロージャーのI/OモジュールAは、その後のエンクロージャーのI/OモジュールAに接続されます。ファームウェアのアップデート中、カスケードされたディスクエンクロージャー内のI/OモジュールAは、自動的にアップデートされます。

デュアルドメイン構成で、ターゲットディスクエンクロージャーとカスケードディスクエンクロージャーのI/Oモジュールは、ファームウェアインストール処理の間、自動的にアップデートされます。

すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D2000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

修正

このバージョンでは、次の修正が追加されています。

誤ったアルゴリズムによるFAULT_SENSEDビットに関するアクションを削除しました。

サポートされるデバイスおよび機能

D2600 / D2700エンクロージャーは、どのHPストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます。

- HP H222ホストバスアダプター
- HP H221ホストバスアダプター
- HP H241 Smartホストバスアダプター
- HP SmartアレイP812コントローラー
- HP SmartアレイP822コントローラー
- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP SmartアレイP431コントローラー
- HP SmartアレイP421コントローラー
- HP SmartアレイP411コントローラー
- HP SmartアレイP212コントローラー
- HP SmartアレイP222コントローラー

ソフトウェア - Lights-Outマネジメント

先頭

HPE Lights-Outオンライン設定ユーティリティfor Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.6.0-0 **(オプション)**
ファイル名: hponcfg-5.6.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.6.0-0.x86_64.rpm

前提条件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.20以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x以降が必要です。
opensslを手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に/usr/bin/opensslに再配置している場合は、PATH環境変数を設定し、正しい/意図したopensslにHPONCFGをダイレクトする必要があります。

修正

64ビットのopensslがインストールされている場合、HPONCFGがopensslライブラリを検出できないという問題を修正しました。

拡張

製品名をHPE Lights-Outオンライン構成ユーティリティfor Linux (AMD64/EM64T)にアップデートしました。

HPE Lights-Out オンライン構成ユーティリティfor Windows x64 Edition

バージョン: 5.5.0.0 (A) **(オプション)**
ファイル名: cp046381.compsig; cp046381.exe

前提条件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.30以降

マネジメントインターフェイスドライバーがサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

HPONCFG GUIを起動するには、Microsoft .Net Framework 2.0以降が必要です。

修正

RBSUでSW RAID構成を有効にしたときにHPONCFG Windows Smartコンポーネントがインストールされなかった問題を修正しました。

ソフトウェア - マネジメント

先頭

HPE Agentless Managementバンドル Smart コンポーネント for Gen9 on ESXi 7.0

バージョン: 2021.04.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044741.compsig; cp044741.zip

修正

Agentless Management Service

- AHSログの収集が失敗したときのリソースリークを修正しました
- cpqIdeAtaDisk MIB内のSmartアレイおよびSASコントローラーに接続されたSATAディスクの正しくないレポートを修正します。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいvSphere 7.0U1デーモンインターフェイスを実装しました。これはvSphere 7.0U1以降でのみサポートされます。新しい"esxcli daemon control"コマンドを使用して、AMSを停止/開始/再起動するようになりました。

HPE Agentless ManagementバンドルSmart コンポーネントon ESXi 7.0

バージョン: 2021.04.12 **(推奨)**
ファイル名: cp046906.compsig; cp046906.zip

修正

Agentless Management Service

- 再起動せずに、OneViewオンラインソフトウェアアップデートの問題の解決に役立つように、ソフトウェアインベントリキャッシュのアップデート時間を15秒に短縮します。
- AHSログの収集が失敗したときのリソースリークを修正しました
- cpqIdeAtaDisk MIB内のSmartアレイおよびSASコントローラーに接続されたSATAディスクの正しくないレポートを修正します。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいNICデバイスのサポートが追加されました
- 新しいSATA、SAS、NVMeドライブのサポートが追加されました

- 新しいvSphere 7.0U1デーモンインターフェイスを実装しました。これはvSphere 7.0U1以降でのみサポートされます。新しい"esxcli daemon"コマンドを使用して、AMSを制御し、AMSステータスを取得するようになりました。

HPE CRUドライバーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2020.04.01 (A) **(推奨)**
ファイル名: cp044598.compsig; cp044598.zip

拡張

サポートされている新しいサーバーの追加

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント バンドル Smart コンポーネント for ESXi 7.0

バージョン: 2021.04.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044916.compsig; cp044916.zip

拡張

VMware ESXi 7.0 U1およびESXi 7.0 U2をサポートします

HPE iLOドライバーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2021.04.01 **(推奨)**
ファイル名: cp045983.compsig; cp045983.zip

修正

iLOドライバーデバイスの初期化が失敗したときのPSODを修正しました。

拡張

VMware ESXi 7.0 U1およびESXi 7.0 U2をサポートします

HPE Management Bundle Smart Component for ESXi 6.5

バージョン: 2021.04.12 **(推奨)**
ファイル名: cp046908.compsig; cp046908.zip

修正

Agentless Management Service

- 再起動せずに、OneViewオンラインソフトウェアアップデートの問題の解決に役立つように、ソフトウェアインベントリキャッシュのアップデート時間を15秒に短縮します。
- AHSログの収集が失敗したときのリソースリークを修正しました
- cpqIdeAtaDisk MIB内のSmartアレイおよびSASコントローラーに接続されたSATAディスクの正しくないレポートを修正します。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいNICデバイスのサポートが追加されました(Gen10 AMSのみ)
- 新しいSATA、SAS、NVMeドライブのサポートが追加されました(Gen10 AMSのみ)

HPE Management Bundle Smart Component for ESXi 6.7

バージョン: 2021.04.12 **(推奨)**
ファイル名: cp046907.compsig; cp046907.zip

修正

Agentless Management Service

- 再起動せずに、OneViewオンラインソフトウェアアップデートの問題の解決に役立つように、ソフトウェアインベントリキャッシュのアップデート時間を15秒に短縮します。
- AHSログの収集が失敗したときのリソースリークを修正しました

- cpqIdeAtaDisk MIB内のSmartアレイおよびSASコントローラーに接続されたSATAディスクの正しくないレポートを修正します。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいNICデバイスのサポートが追加されました(Gen10 AMSのみ)
- 新しいSATA、SAS、NVMeドライブのサポートが追加されました(Gen10 AMSのみ)

HPE SDK Pythonモジュール

バージョン: 3.2.0 **(オプション)**
ファイル名: python-ilorest-library-3.2.0.zip

修正

証明書ログインが追加されます

HPE SMXプロバイダーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2020.04.01 (A) **(推奨)**
ファイル名: cp044591.compsig; cp044591.zip

拡張

サポートされている新しいサーバーの追加

Smart Storage Administrator (SSA) CLI Smartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2021.04.01 **(推奨)**
ファイル名: cp047031.compsig; cp047031.zip

拡張

HPE SR Gen10 Plusコントローラーのサポートの追加。

ソフトウェア - ネットワーク

先頭

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux x86_64用Broadcom Active Health Systemエージェント

バージョン: 1.0.21-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-tg3sd-1.0.21-1.x86_64.compsig; hp-tg3sd-1.0.21-1.x86_64.rpm; hp-tg3sd-1.0.21-1.x86_64.txt

修正

この製品は、SUSE Linux Enterprise Server 15を実行しているシステムにインストールするときに表示されるライブラリ依存関係の問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE ProLiantネットワークアダプター for Linux x86_64用Intel Active Health Systemエージェント

バージョン: 1.1.85.0-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: hp-ocsbbd-1.1.85.0-1.x86_64.compsig; hp-ocsbbd-1.1.85.0-1.x86_64.rpm; hp-ocsbbd-1.1.85.0-1.x86_64.txt

修正

この製品は、ocsbbdサービスが原因でサーバーの起動に時間がかかる問題を修正します。

拡張

SUMはこの製品をサポートしていないGen10サーバーにこの製品をインストールしようとしません。

サポートされるデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のインテルネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 363i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 364i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Mアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560Mアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 561Tアダプター

ソフトウェア - ストレージコントローラー

先頭

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware6.5

バージョン: 2021.04.00 **(推奨)**
ファイル名: cp045835.compsig; cp045835.zip

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware6.7

バージョン: 2021.04.00 **(推奨)**
ファイル名: cp045812.compsig; cp045812.zip

拡張

最初のリリース

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware6.7

バージョン: 2021.04 **(推奨)**
ファイル名: cp045860.compsig; cp045860.zip

拡張

- MegaRAID Gen10+コントローラーの保守、監視、設定をサポートします。MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-p

---

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware7.0

バージョン: 2021.04.00 **(推奨)**
ファイル名: cp044633.compsig; cp044633.zip

拡張

最初のリリース

HPE ProLiant Smartアレイ SAS/SATAイベント通知サービス for 64ビット Windows Server Edition

バージョン: 6.46.0.64 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp037465.exe

重要な注意!

すでにファームウェアバージョン6.46.0.64をインストールしている場合、6.46.0.64(E)にアップデートする必要はありません。

拡張

Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

HPE Smartアレイ SRイベント通知サービス for Windows Server 64-bit Edition

バージョン: 1.2.1.65 **(推奨)**
ファイル名: cp045133.compsig; cp045133.exe

修正

バージョン情報を修正しました

ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネル

先頭

VMware vSphere 6.5用HPE Blade Emulex(BRCM)メザニンファイバーチャネルオーバーイーサーネットドライバー

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042231.compsig; cp042231.zip

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

```
#esxcli software vib remove lpfc
```

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals

2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

拡張

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE Blade Emulex(BRCM)メザニンファイバーチャネルオーバーイーサーネットドライバー

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042232.compsig; cp042232.zip

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

拡張

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044777.compsig; cp044777.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン2.1.101.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン2.1.101.0

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32GbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044778.compsig; cp044778.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン3.1.46.0

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044779.compsig; cp044779.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEのアプリケーションで使用されることを目的としています。vmware.com および HPE vibsdepot.hpe.comのWebページから入手可能なドライバーと、HPE固有のCPXXXX.xmlファイルがzip形式で含まれています。

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン4.1.22.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました

- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン4.1.22.0

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32GbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044790.compsig; cp044790.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン2.1.101.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン2.1.101.0

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044791.compsig; cp044791.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEのアプリケーションで使用されることを目的としています。vmware.com および HPE vibsdepot.hpe.comのWebページから入手可能なドライバーと、HPE固有のCPXXXX.xmlファイルがzip形式で含まれています。

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン3.1.46.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン3.1.46.0

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044792.compsig; cp044792.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン4.1.22.0

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- ストレージエリアネットワーク(SAN)セットアップからの起動時にVM-IDとSmartSANを有効にすると、ドライバーのロードが不完全になる動作を修正しました
- https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_usにあるカスタマーアドバイザリで説明されている動作から自動的に回復を試みた結果、Purple Screen of Death (PSoD)になる動作を修正しました。

拡張

以下を追加しました。

- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました
- Fabric Performance Impact Notifications(FPIN)のサポートが追加されました

ドライバーバージョン4.1.22.0

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**

ファイル名: cp044735.compsig; cp044735.zip

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044736.compsig; cp044736.zip

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044737.compsig; cp044737.zip

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ESXi 7.0 U1のサポートを追加しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.329.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ESXi 7.0 U1のサポートを追加しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.329.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**

ファイル名: cp045822.compsig; cp045822.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ドライバーバージョン12.8.329.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.329.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storage Emulexメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044769.compsig; cp044769.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FC アダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storage Emulexメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044770.compsig; cp044770.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

以下を追加しました。

- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.317.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FC アダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storage Emulexメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044771.compsig; cp044771.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals

2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を追加しました。

- ESXi 7.0 U1のサポートを追加しました
- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.329.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

以下を追加しました。

- ESXi 7.0 U1のサポートを追加しました
- デフォルトの論理ユニット番号(LUN)キュー深度を30から64に変更しました
- ファイバーチャネル(FC)を介したNon-Volatile Memory Express(NVMe)機能を追加しました

ドライバーバージョン12.8.329.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FC アダプター:

- HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storage Emulexメザニンファイバーチャネル NVMeドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp045823.compsig; cp045823.zip

重要な注意!

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ドライバーバージョン12.8.329.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.8.329.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

16Gb FC アダプター:

- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニンホストバスアダプター

VMware vSphere 6.5用HPE Storage Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットドライバー

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042522.compsig; cp042522.zip

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

拡張

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE Storage Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットドライバー

バージョン: 2021.02.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042523.compsig; cp042523.zip

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

拡張

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

ソフトウェア - ストレージ ファイバーチャネルHBA

先頭

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux - Red Hat Enterprise Linux (RHEL)

バージョン: 4.1-1 (c) **(オプション)**
ファイル名: fibreutils-4.1-1_rhel.x86_64.compsig; fibreutils-4.1-1_rhel.x86_64.rpm

前提条件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

このパッケージでは、RedHat Enterprise Linux(RHEL)ディストリビューションのみがサポートされています

サポートされるデバイスおよび機能

サポート対象:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1205A 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem
- HPE QMH2572 8GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux - SuSE Linux Enterprise Server(SLES)

バージョン: 4.1-1 (c) **(オプション)**
ファイル名: fibreutils-4.1-1_sles.x86_64.compsig; fibreutils-4.1-1_sles.x86_64.rpm

前提条件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

拡張

このパッケージでは、SuSE Linux Enterprise Server(SLES)ディストリビューションのみがサポートされています

サポートされるデバイスおよび機能

サポート対象:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1205A 8GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor BladeSystem c-Class
- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor BladeSystem c-Class
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HPE QMH2572 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.rhel7.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

Linuxイネーブルメントキットは"HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"から"HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"に変更されました。以前にリリースされたイネーブルメントキットからのアップグレードがサポートされています。ただし、以前のバージョン"HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"へのダウングレードは成功しない場合があり、競合が報告される場合があります。

回避策:イネーブルメントキットをアンインストールして、古いバージョンをインストールしてください

バージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

バージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.rhel8.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.rhel8.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

Linuxイネーブルメントキットは"HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"から"HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"に変更されました。以前にリリースされたイネーブルメントキットからのアップグレードがサポートされています。ただし、以前のバージョン"HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"へのダウングレードは成功しない場合があり、競合が報告される場合があります。

回避策:イネーブルメントキットをアンインストールして、古いバージョンをインストールしてください

バージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

バージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.sles12sp4.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.sles12sp4.x86_64.rpm; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.sles12sp5.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

Linuxイネーブルメントキットは"HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"から"HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"に変更されました。以前にリリースされたイネーブルメントキットからのアップグレードがサポートされています。ただし、以前のバージョン"HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"へのダウングレードは成功しない場合があり、競合が報告される場合があります。

回避策:イネーブルメントキットをアンインストールして、古いバージョンをインストールしてください

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック4およびSuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック5での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります。

例: rpm –Uvh HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-<version>.<OS>.<architecture>.rpm --force --nodeps

rpm –Uvh HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-<version>.<OS>.<architecture>.rpm --replacepkgs --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

バージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

バージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルメザニンホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulexファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.8.352.11 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.sles15sp1.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.sles15sp1.x86_64.rpm; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.sles15sp2.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.8.352.11-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

Linuxイネーブルメントキットは"HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"から"HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"に変更されました。以前にリリースされたイネーブルメントキットからのアップグレードがサポートされています。ただし、以前のバージョン"HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit"へのダウングレードは成功しない場合があり、競合が報告される場合があります。

回避策:イネーブルメントキットをアンインストールして、古いバージョンをインストールしてください

SuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック1およびSuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック 1での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、--reinstallオプションを使用して実行する必要があります。

例: rpm –Uvh HPE-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-<version>.<OS>.<architecture>.rpm --reinstall

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

バージョン12.8.352.11にアップデートしました

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

バージョン12.8.352.11にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニン

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Linuxサーバー向けHPE Emulexホストバスアダプター用HPE Emulex NVMeファイバーチャネルイネーブルメントキット

バージョン: 12.8.264.0 **(オプション)**
ファイル名:nvmefc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u8.noarch.compsig; nvmefc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u8.noarch.rpm; nvmefc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u9.noarch.compsig; nvmefc-connect-12.8.264.0-1.rhel7u9.noarch.rpm; nvmefc-connect-12.8.264.0-1.sles12sp4.noarch.compsig; nvmefc-connect-12.8.264.0-1.sles12sp4.noarch.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このパッケージは、以下のオペレーティングシステムにのみ適用されます

Red Hat Enterprise Linux Server 7 update 8

Red Hat Enterprise Linux Server 7 update 9

SUSE Linux Enterprise Server 12 service pack 4

前提条件

Linuxオペレーティングシステムに基づくターゲットシステムにnvme-connect rpmを正常に展開するには、"nvme-cli"パッケージがターゲットシステムで使用可能である必要があります。このパッケージは、OSディストリビューションの一部として入手できます。

拡張

バージョン12.8.264.0にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPEファイバーチャネル16Gb LPe1605メザニンホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 1.0.0.0-4 (f) **(オプション)**
ファイル名: hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.compsig; hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.rpm

重要な注意!

オペレーティングシステムにインボックスファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 ボックス (OOB) ファイバー チャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。 OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

Storage Information Library

(http://www.hpe.com/info/storage/docs/)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にするには、HPEが提供するファイバーチャネルドライバーをこのイネーブルメントキットコンポーネントの前にインストールする必要があります。 このドライバーは、HPE.comのWebサイト www.hpe.comから入手できます。

Linux FCドライバーキットfor HPE Branded Emulex FC HBAおよびメザニンカード、バージョン11.1.183.21(サポートされている最小バージョン)for RedHat 7、RedHat 8およびNovell SUSE 12、SUSE 15

ただし、Smart SAN対応のドライバーが実行時にインストールされていない場合、コンポーネントは、ドライバーをインストールした後に今後の使用のため、イネーブルメントキットファイルを格納します。

拡張

SLES15SP1にサポートを追加しました

バージョン1.0.0.0-4にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Smart SANイネーブルメントキット(Microsoft Windows Server 64ビットオペレーティングシステム)

バージョン: 1.0.0.1 (j) **(推奨)**
ファイル名: cp042255.compsig; cp042255.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムにインボックスファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 ボックス (OOB) ファイバー チャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。 OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

Storage Information Library

(http://www.hpe.com/info/storage/docs/)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にするには、HPEが提供するファイバーチャネルドライバーをこのイネーブルメントキットコンポーネントの前にインストールする必要があります。 このドライバーは、HPE.comのWebサイト www.hpe.comから入手できます。

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキット for x64 Emulex Storportドライバー v11.1.145.16 cp030886.exe

ただし、Smart SAN対応のドライバーが実行時にインストールされていない場合、コンポーネントは、ドライバーをインストールした後に今後の使用のため、イネーブルメントキットファイルを格納します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Eクアッドポート16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC アダプター:

- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 12.0.1339.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel7.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 12.0.1339.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel8.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.rhel8.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1339.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles12sp4.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles12sp4.x86_64.rpm; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles12sp5.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Emulex(BRCM)ファイバーチャネルオーバーイーサーネットイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1339.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles15sp1.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles15sp1.x86_64.rpm; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles15sp2.x86_64.compsig; HPE-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1339.0-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください: http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

前提条件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へ移動してください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1339.0

サポートされるデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE QLogicファイバーチャネルイネーブルメントキットforホストバスアダプターおよびメザニンホストバスアダプター - Linux

バージョン: 6.0.0.0-16 **(推奨)**
ファイル名: HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-16.noarch.compsig; HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-16.noarch.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

Linuxイネーブルメントキットは"HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit"から"HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit"に変更されました。以前にリリースされたイネーブルメントキットからのアップグレードがサポートされています。ただし、以前のバージョン"HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit"へのダウングレードは成功しない場合があり、競合が報告される場合があります。

回避策:イネーブルメントキットをアンインストールして、古いバージョンをインストールしてください

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック4およびSuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック5での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、–forceまたは--replacepkgsと--nodepsオプションを使用して実行する必要があります。

例: rpm –Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-<version>.noarch.rpm --force --nodeps

rpm –Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-<version>.noarch.rpm --replacepkgs --nodeps

SuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック1およびSuSE Linux Enterprise Server 15サービスパック2での同じイネーブルメントキットバージョンの書き換えは、--reinstallオプションを使用して実行する必要があります。

例: rpm –Uvh HPE-CNA-FC-hpeqlgc-Enablement-Kit-<version>.noarch.rpm --force --nodeps

詳しくは、次のナレッジベースを参照してください。https://www.suse.com/support/kb/doc/?id=000019640

バージョン6.0.0.0-16にキットをアップデートしました

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

拡張

バージョン6.0.0.0-16にキットをアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem

32Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット for Linux

バージョン: 3.3-3 (h) **(オプション)**
ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.compsig; hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.rpm

重要な注意!

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

Storage Information Library

(http://www.hpe.com/info/storage/docs/)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にするには、HPEが提供するファイバーチャネルドライバーをこのイネーブルメントキットコンポーネントの前にインストールする必要があります。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイト www.hpe.comで利用できます。

- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64) FCoE/FCドライバーキットfor HPE Qlogic CNA、HBAおよびメザニンHBA、バージ8.07.00.42.06.0-k1
- Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoE/FCドライバーキットfor HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNA、バージョン8.07.00.42.07.0-k1
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FCドライバーキットfor HPE Qlogic CNA、HBAおよびメザニンHBA、バージョン8.07.00.42.11.3-k
- SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FCドライバーキットfor HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNAバージョン 8.07.00.42.12.0-k1

ただし、Smart SAN対応のドライバーが実行時にインストールされていない場合、コンポーネントは、ドライバーをインストールした後に今後の使用のため、イネーブルメントキットファイルを格納します。

拡張

RHEL8およびSLES15SP1のサポートが追加されました

バージョン3.3-3にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HPE QMH2572 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SANイネーブルメントキットfor Microsoft Windows Server 64ビットオペレーティングシステム

バージョン: 1.0.0.1 (i) **(推奨)**
ファイル名: cp039719.compsig; cp039719.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムにインボックスファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 ボックス (OOB) ファイバー チャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。 OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

Storage Information Library

(http://www.hpe.com/info/storage/docs/)

デフォルトでは、**HPE 3PAR Storage**が選択されます

製品およびソリューション

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にするには、HPEが提供するファイバーチャネルドライバーをこのイネーブルメントキットコンポーネントの前にインストールする必要があります。 このドライバーは、HPE.comのWebサイト www.hpe.comから入手できます。

- x64 QLogic Storport Driver v9.2.2.20用HPE Storage Fibre Channelアダプターキット、cp031252.exe
- QLogic Storport Driver for Windows Server 2012および2012 R2 v9.2.2.20用HPE Storage Fibre Channelアダプターキット、cp031253.exe
- HPE Storage Fibre Channelアダプターキット for QLogic Storportドライバー for Windows Server 2016 v9.2.2.20、cp031251.exe
- HPE Storage Fibre Channelアダプターキット for QLogic Storportドライバーfor Windows Server 2019 v9.2.9.22、cp037397.exe

ただし、Smart SAN対応のドライバーが実行時にインストールされていない場合、コンポーネントは、ドライバーをインストールした後に今後の使用のため、イネーブルメントキットファイルを格納します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HPE QMH2572 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターFor c-Class BladeSystem
- HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SANイネーブルメントキットfor Microsoft Windows Server 64ビットオペレーティングシステム

バージョン: 1.0.0.1 **(推奨)**
ファイル名: cp046397.compsig; cp046397.exe

重要な注意!

オペレーティングシステムにインボックスファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 ボックス (OOB) ファイバー チャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。 OOBドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

Storage Information Library

(http://www.hpe.com/info/storage/docs/)

デフォルトでは、**HPE 3PAR Storage**が選択されます

製品およびソリューション

前提条件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にするには、HPEが提供するファイバーチャネルドライバーをこのイネーブルメントキットコンポーネントの前にインストールする必要があります。 このドライバーは、HPE.comのWebサイト www.hpe.comから入手できます。

ただし、Smart SAN対応のドライバーが実行時にインストールされていない場合、コンポーネントは、ドライバーをインストールした後に今後の使用のため、イネーブルメントキットファイルを格納します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートされるデバイスおよび機能

このイネーブルメントキットは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 4ポート8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GB 2ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GB 1ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GB 2ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GB 1ポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ソフトウェア - システムマネジメント

先頭

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 2.4.1 **(オプション)**
ファイル名: amsd-2.4.1-1571.4.rhel7.x86_64.compsig; amsd-2.4.1-1571.4.rhel7.x86_64.rpm

前提条件

- **amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
  - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
  - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 7.3 Errata 3.10.0.514.6.1

修正

以下を修正しました。

- カスタマーアドバイザリ a00053824en_usで概説されている少量のメモリリークに対処しました。
- smadからユーザーに次の報告が定期的に発生する可能性があります:No response from iLO for Hello。iLOとの接続が失われた後、再接続を試行するためにサブエージェントのCPU使用率が高くなる可能性があります。この問題はカスタマーアドバイザリhttps://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111063en_usに文書化されています。
- AMSD構成がエージェントモードである間、cpqIdeサービスを開始できません。
- 一部のコーナーケースでのバッファオーバーフローの問題に対処しました。

拡張

このリリースでは、以下の機能強化が行われています。

- iLOとの堅牢な通信を強化します。拡張機能には、適切なプロセスが存在し、OS信号の処理があります。
- SMAロギングシステムを強化して、通信イベントの記録を改善します。
- AMSDは、非同期情報を回避するために、Open NICコントローラーSNがiLOと連携することを報告します。

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.4.1 **(オプション)**
ファイル名: amsd-2.4.1-1571.8.rhel8.x86_64.compsig; amsd-2.4.1-1571.8.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

- **amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
  - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
  - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 8

修正

以下を修正しました。

- カスタマーアドバイザリ a00053824en_usで概説されている少量のメモリリークに対処しました。
- smadからユーザーに次の報告が定期的に発生する可能性があります:No response from iLO for Hello。iLOとの接続が失われた後、再接続を試行するためにサブエージェントのCPU使用率が高くなる可能性があります。この問題はカスタマーアドバイザリhttps://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111063en_usに文書化されています。
- AMSD構成がエージェントモードである間、cpqIdeサービスを開始できません。
- 一部のコーナーケースでのバッファオーバーフローの問題に対処しました。

拡張

このリリースでは、以下の機能強化が行われています。

- iLOとの堅牢な通信を強化します。拡張機能には、適切なプロセスが存在し、OS信号の処理があります。
- SMAロギングシステムを強化して、通信イベントの記録を改善します。
- AMSDは、非同期情報を回避するために、Open NICコントローラーSNがiLOと連携することを報告します。

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 2.4.1 **(オプション)**
ファイル名: amsd-2.4.1-1571.4.sles12.x86_64.compsig; amsd-2.4.1-1571.4.sles12.x86_64.rpm

前提条件

- **amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
  - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
  - サポートされる最小OSバージョン = SuSE Linux Enterprise Server 12 SP2

修正

以下を修正しました。

- カスタマーアドバイザリ a00053824en_usで概説されている少量のメモリリークに対処しました。
- smadからユーザーに次の報告が定期的に発生する可能性があります:No response from iLO for Hello。iLOとの接続が失われた後、再接続を試行するためにサブエージェントのCPU使用率が高くなる可能性があります。この問題はカスタマーアドバイザリhttps://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111063en_usに文書化されています。
- AMSD構成がエージェントモードである間、cpqIdeサービスを開始できません。
- 一部のコーナーケースでのバッファオーバーフローの問題に対処しました。

拡張

このリリースでは、以下の機能強化が行われています。

- iLOとの堅牢な通信を強化します。拡張機能には、適切なプロセスが存在し、OS信号の処理があります。
- SMAロギングシステムを強化して、通信イベントの記録を改善します。
- AMSDは、非同期情報を回避するために、Open NICコントローラーSNがiLOと連携することを報告します。

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 2.4.1 **(オプション)**
ファイル名: amsd-2.4.1-1571.4.sles15.x86_64.compsig; amsd-2.4.1-1571.4.sles15.x86_64.rpm

前提条件

- **amsdは、HPE Gen10/Gen10 Plusサーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
  - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
  - サポートされる最小OSバージョン = SuSE Linux Enterprise Server 15

修正

以下を修正しました。

- カスタマーアドバイザリ a00053824en_usで概説されている少量のメモリリークに対処しました。
- smadからユーザーに次の報告が定期的に発生する可能性があります:No response from iLO for Hello。iLOとの接続が失われた後、再接続を試行するためにサブエージェントのCPU使用率が高くなる可能性があります。この問題はカスタマーアドバイザリhttps://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00111063en_usに文書化されています。
- AMSD構成がエージェントモードである間、cpqIdeサービスを開始できません。
- 一部のコーナーケースでのバッファオーバーフローの問題に対処しました。
- サポートされているプラットフォームのリストに記載されていない新しいAMDサーバーに対応するためのメタデータのアップデート。

拡張

このリリースでは、以下の機能強化が行われています。

- iLOとの堅牢な通信を強化します。拡張機能には、適切なプロセスが存在し、OS信号の処理があります。
- SMAロギングシステムを強化して、通信イベントの記録を改善します。
- AMSDは、非同期情報を回避するために、Open NICコントローラーSNがiLOと連携することを報告します。

Agentless Management Service for Windows x64

バージョン: 2.41.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp046676.compsig; cp046676.exe

重要な注意!

iLOファームウェアバージョン:

- このAMSのバージョンは、iLO5ファームウェアバージョン2.40でテストされています。iLO 5ファームウェア2.40以降を使用中のシステムでは、AMS 2.41.0.0をインストールすることをお勧めします。

SMAサービスのインストールおよびイネーブルメントについて:

- インタラクティブモードでAMSをインストール中に、選択的にSMAをインストールするように求めるポップアップメッセージが表示されます。
  - [Yes]が選択されている場合は、SMAサービスがインストールされ、実行状態に設定されます。
  - [No]が選択されている場合は、SMAサービスがインストールされますが、サービスは有効化されません。
- サイレントモードでのAMSのインストール中に、SMAがインストールされますが、サービスは有効化されません。
- 後でSMAサービスを有効化する場合は、下記のフォルダーに移動します:%ProgramFiles%¥OEM¥AMS¥Service¥(通常は、c:¥Program Files¥OEM¥AMS¥Service)でEnableSma.bat /fを実行
- 重要: SNMPサービスコミュニティ名および権限も設定する必要があります。 これは EnableSma.batによって行われません。
- SMAが有効になっているときに無効化するには、下記のフォルダーにアクセスします:%ProgramFiles%¥OEM¥AMS¥Service¥(通常は、c:¥Program Files¥OEM¥AMS¥Service)DisableSma.bat /fを実行
- Windowsオペレーティングシステムをインストールしたあとは、すべてのMicrosoft Updateがダウンロードおよびインストールされていることを確認してください(wuapp.exeを起動してアップデートプロセスを開始できます)。これを完了していないと、Windowsイベントログに深刻なエラー“The Agentless Management Service terminated unexpectedly.”が報告されることがあります。

AMSコントロールパネルアプレット:

- AMSコントロールパネルのアプレットUIのシステムでの表示が最適となるのは、画面解像度が1280 × 1024ピクセル以上、テキストサイズが100%のときです。
- AMSコントロールパネルアプレットから生成されたテストトラップには、iLO5ファームウェアバージョン2.10以降が必要です。
- iLO5高セキュリティモード(FIPSモードなど)の場合、MD5認証プロトコルは表示されません。

前提条件

このコンポーネントの前に、*Channel Interface Driver for Windows X64*をインストールする必要があります。

SMA(System Management Assistant)を有効化している場合は、Microsoft SNMP Serviceを有効化する必要があります。

修正

- ユーザーが同時に多くのケーブルを抜いた場合、IMLでNICリンクダウンレコードが欠落していた問題を修正しました。
- Windows Hype-Vスイッチの作成時にiLO Web GUIでIPv6アドレスが欠落する問題を修正しました。
- AMSがiSCSI情報を照会しているときのクラッシュの問題を修正しました。
- IDE SATAドライブがアクセス時にビジー状態である場合の誤ったドライブステータスを修正しました。
- Windowsが障害予測ドライブを認識した場合の誤ったドライブステータスを修正しました。

拡張

- 論理ドライブトラップ5023を追加しました。
- 新しいI/Oカードのサポートを追加しました。
- IDE/SATAの時間間隔を120秒から60秒に変更しました。
- より多くのiLOセキュリティログをWindowsイベントシステムにリダイレクトしてください。

HPE Agentless ManagementバンドルESXi 7.0 Gen 9

バージョン: 701.11.7.0 **(推奨)**
ファイル名:amshelprComponent_701.11.7.0.14-1_17510219.zip

修正

Agentless Management Service

- AHSログの収集が失敗したときのリソースリークを修正しました
- cpqIdeAtaDisk MIB内のSmartアレイおよびSASコントローラーに接続されたSATAディスクの正しくないレポートを修正します。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいvSphere 7.0U1デーモンインターフェイスを実装しました。これはvSphere 7.0U1以降でのみサポートされます。新しい"esxcli daemon"コマンドを使用して、AMSを制御し、AMSステータスを取得するようになりました。

HPE Gen10およびGen10 Plusサーバー向けESXi 7.0 Update 1用のHPE Agentless Managementバンドル

バージョン: 701.11.7.1 **(推奨)**
ファイル名:amsdComponent_701.11.7.1.3-1_17671487.zip

修正

Agentless Management Service

- 再起動せずに、OneViewオンラインソフトウェアアップデートの問題の解決に役立つように、ソフトウェアインベントリキャッシュのアップデート時間を15秒に短縮します。
- AHSログの収集が失敗したときのリソースリークを修正しました
- cpqIdeAtaDisk MIB内のSmartアレイおよびSASコントローラーに接続されたSATAディスクの正しくないレポートを修正します。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいNICデバイスのサポートが追加されました
- 新しいSATA、SAS、NVMeドライブのサポートが追加されました
- 新しいvSphere 7.0U1デーモンインターフェイスを実装しました。これはvSphere 7.0U1以降でのみサポートされます。新しい"esxcli daemon"コマンドを使用して、AMSを制御し、AMSステータスを取得するようになりました。

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント コンポーネント for ESXi 7.0

バージョン: 3.7.0 **(推奨)**
ファイル名:fc-enablement-component_700.3.7.0.5-1_17477831.zip

拡張

VMware ESXi 7.0 U1およびESXi 7.0 U2をサポートします

HPE Insightマネジメントエージェントfor Microsoft Windows Server x64 Edition

バージョン: 11.1.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp041529.exe

前提条件

HPE Insightマネジメントエージェントでは、このコンポーネントの前にWindows x64用のSNMPサービス、HPE ProLiant iLO 3/4チャネルインターフェイス、およびマネジメントコントローラードライバーがインストールされている必要があります。

また、シングル サーバーWebベースユーザーインターフェイスのためにSystem Management Homepage(SMH)コンポーネントが必要です。

修正

- SNMPネットワークエージェントから発生する異常なWindowsシステムイベントを修正しました

HPE Insight Management WBEM Providers for Microsoft Windows Server x64 Edition

バージョン: 11.0.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045863.exe

前提条件

HPE Insight Management WBEM ProviderはHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface とManagement Controller Drivers (バージョン3.4.0.0以降) for Windows X64がこのコンポーネントに予めインストールされていることを要求します。

また、シングル サーバーWebベースユーザーインターフェイスのためにSystem Management Homepage (SMH) コンポーネント (バージョン7.2.2.9以降) が必要です。

Windows Updateを実行することによって、システム上のOSに必要なすべてのアップデートを適用します。Windows Updateが不完全な場合、HPE WBEM Providerのインストールに失敗することがあります。

修正

- サポートされていない製品に誤ってインストールできる問題を修正しました
- ブランド解除要件に準拠するようにヘルプ情報を変更しました

HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA) for Linux 64-bit

バージョン: 7.016.16.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE_Linux_64_readme.txt; MRStorageAdministrator-007.016.016.000-00.x86_64.rpm; MRStorageAdministrator-007.016.016.000-00.x86_64_part1.compsig; MRStorageAdministrator-007.016.016.000-00.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

.

前提条件

.

拡張

- Gen10+ MegaRAIDコントローラーのサポートを追加しました。

HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA) for Windows 64-bit

バージョン: 7.16.16.0 **(推奨)**
ファイル名: cp046226.exe; cp046226_part1.compsig; cp046226_part2.compsig

拡張

- Gen10+ MegaRAIDコントローラーをサポートします。

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for Linux 64-bit

バージョン: 1.25.12 **(オプション)**
ファイル名: LINUX_Readme.txt; storcli-1.25.12-1.noarch.compsig; storcli-1.25.12-1.noarch.rpm

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for Linux 64-bit

バージョン: 007.1616.0000.0000 **(オプション)**
ファイル名:storcli-007.1616.0000.0000-1.x86_64.compsig; storcli-007.1616.0000.0000-1.x86_64.rpm

拡張

- このバージョンのStorCLIは、MegaRAID® Gen10+コントローラー製品の保守、トラブルシューティング、および構成の各機能をサポートします。MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-p

---

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware

バージョン: 1.25.12 **(オプション)**
ファイル名: vmware-esx-storcli-1.25.12.vib; VMWARE_MN_NDS_Readme.txt

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware
バージョン: 007.1616.0000.0000 **(推奨)**
ファイル名: BCM-vmware-storcli64_007.1616.0000.0000-01_17650073.zip

拡張

ESXi OS 7.0 64ビットでサポート

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware
バージョン: 007.1616.0000.0000 **(推奨)**
ファイル名: storcli-esxi6.7-bundle-007.1616.0000.0000.zip

拡張

- このバージョンのStorCLIは、MegaRAID® Gen10+コントローラー製品の保守、トラブルシューティング、および構成の各機能をサポートします。MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-p

---

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware
バージョン: 1.25.16 **(推奨)**
ファイル名: storcli-esxi6.7-bundle-1.25.16.zip

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(Megacellステータス、AHS、Spade、サニタイズ & エキスパンダー)

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware
バージョン: 1.25.16 **(推奨)**
ファイル名: storcli-esxi6.5-bundle-1.25.16.zip

拡張

最初のリリース

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for Windows 64-bit
バージョン: 1.25.12.0 **(オプション)**
ファイル名: cp036918.compsig; cp036918.exe

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for Windows 64-bit
バージョン: 7.1616.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp045859.compsig; cp045859.exe

拡張

- 以下のGen10+ MegaRAIDコントローラーの保守と構成をサポートします。MR416i-a、MR416i-p、MR216i-a、MR216i-p

---

HPEオフラインバンドルfor ESXi 6.5
バージョン: 3.7.1 **(推奨)**
ファイル名: esxi6.5uX-mgmt-bundle-3.7.1.2-1.zip

修正

Agentless Management Service

- 再起動せずに、OneViewオンラインソフトウェアアップデートの問題の解決に役立つように、ソフトウェアインベントリキャッシュのアップデート時間を15秒に短縮します。
- AHSログの収集が失敗したときのリソースリークを修正しました
- cpqIdeAtaDisk MIB内のSmartアレイおよびSASコントローラーに接続されたSATAディスクの正しくないレポートを修正します。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいNICデバイスのサポートが追加されました(Gen10 AMSのみ)
- 新しいSATA、SAS、NVMeドライブのサポートが追加されました(Gen10 AMSのみ)

サポートされるデバイスおよび機能

VMware vSphereバージョンサポート:

- VMware vSphere 6.5 U2
- VMware vSphere 6.5 U3

HPEオフラインバンドルfor ESXi 6.7

バージョン: 3.7.1 **(推奨)**
ファイル名: esxi6.7uX-mgmt-bundle-3.7.1.2-1.zip

修正

Agentless Management Service

- 再起動せずに、OneViewオンラインソフトウェアアップデートの問題の解決に役立つように、ソフトウェアインベントリキャッシュのアップデート時間を15秒に短縮します。
- AHSログの収集が失敗したときのリソースリークを修正しました
- cpqIdeAtaDisk MIB内のSmartアレイおよびSASコントローラーに接続されたSATAディスクの正しくないレポートを修正します。

拡張

Agentless Management Service

- 新しいNICデバイスのサポートが追加されました(Gen10 AMSのみ)
- 新しいSATA、SAS、NVMeドライブのサポートが追加されました(Gen10 AMSのみ)

HPE Apollo、ProLiantおよびSynergy Gen9サーバーのHPE ProLiant Agentless Managementサービス

バージョン: 10.99.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp046273.exe

重要な注意!

iLOファームウェアバージョン:

- このAMSのバージョンは、iLO4ファームウェアバージョン2.76でテストされています。iLO 4ファームウェア2.76を使用中のシステムでは、AMS 10.98をインストールすることをお勧めします。

前提条件

このコンポーネントの前に*HPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface Driver for Windows X64*(バージョン3.4.0.0以降)をインストールする必要があります。

修正

- ユーザーが同時に多くのケーブルを抜いた場合、IMLでNICリンクダウンレコードが欠落していた問題を修正しました。
- Windows Hype-Vスイッチの作成時にiLO Web GUIでIPv6アドレスが欠落する問題を修正しました。
- AMSがiSCSI情報を照会しているときのクラッシュの問題を修正しました。
- IDE SATAドライブがアクセス時にビジー状態である場合の誤ったドライブステータスを修正しました。
- Windowsが障害予測ドライブを認識した場合の誤ったドライブステータスを修正しました。

拡張

- 論理ドライブトラップ5023を追加しました。
- IDE/SATAの時間間隔を120秒から60秒に変更しました。
- より多くのiLOセキュリティログをWindowsイベントシステムにリダイレクトしてください。

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 2.10.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-ams-2.10.2-876.11.rhel7.x86_64.compsig; hp-ams-2.10.2-876.11.rhel7.x86_64.rpm

前提条件

- **hp-amsは、HPE ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。**
- **hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHPE iLO 4サービスに情報を提供します。**
- **HPE iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHPE iLO 4上で構成されている必要があります。HPE iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。**
- **要件:**
  - 最低限必要なHPE iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
  - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6, Red Hat Enterprise Linux 6.0, Red Hat Enterprise Linux 7.0, Red Hat Enterprise Linux 8.0, SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4, SUSE Linux Enterprise Server 11 SP1, SUSE Linux Enterprise Server 12, SUSE Linux Enterprise Server 15

修正

以下を修正しました。

- カスタマーアドバイザリa00053824en_usに文書化されている少量のメモリリークに対処しました。
- NVMeドライブ情報がCPQSEで利用できるようになりました。

HPE ProLiant Agentless Management Service for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.10.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-ams-2.10.2-876.6.rhel8.x86_64.compsig; hp-ams-2.10.2-876.6.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

- **hp-amsは、HPE ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。**
- **hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHPE iLO 4サービスに情報を提供します。**
- **HPE iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHPE iLO 4上で構成されている必要があります。HPE iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。**
- **要件:**
  - 最低限必要なHPE iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
  - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、SuSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1

修正

以下を修正しました。

- カスタマーアドバイザリa00053824en_usに文書化されている少量のメモリリークに対処しました。
- NVMeドライブ情報がCPQSEで利用できるようになりました。

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 2.10.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-ams-2.10.2-876.6.sles12.x86_64.compsig; hp-ams-2.10.2-876.6.sles12.x86_64.rpm

前提条件

- **hp-amsは、HPE ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。**
- **hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHPE iLO 4サービスに情報を提供します。**
- **HPE iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHPE iLO 4上で構成されている必要があります。HPE iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。**
- **要件:**
  - 最低限必要なHPE iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
  - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6, Red Hat Enterprise Linux 6.0, Red Hat Enterprise Linux 7.0, Red Hat Enterprise Linux 8.0, SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4, SUSE Linux Enterprise Server 11 SP1, SUSE Linux Enterprise Server 12, SUSE Linux Enterprise Server 15

修正

以下を修正しました。

- カスタマーアドバイザリa00053824en_usに文書化されている少量のメモリリークに対処しました。
- NVMeドライブ情報がCPQSEで利用できるようになりました。

HPE ProLiant Agentless Management Service for SUSE LINUX Enterprise Server 15

バージョン: 2.10.3 **(オプション)**
ファイル名: hp-ams-2.10.3-877.3.sles15.x86_64.compsig; hp-ams-2.10.3-877.3.sles15.x86_64.rpm

前提条件

- **hp-amsは、HPE ProLiant Gen8およびGen9サーバーでサポートされています。**
- **hp-amsは、SNMPサポートを提供しているHPE iLO 4サービスに情報を提供します。**
- **HPE iLO 4上でSNMPパススルーを無効にして、SNMPがHPE iLO 4上で構成されている必要があります。HPE iLO 4は、これらの設定を変更した後にリセットする必要がある場合があります。**
- **要件:**
  - 最低限必要なHPE iLO 4ファームウェアバージョン = 1.05
  - 最低限必要なOSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 5.6、Red Hat Enterprise Linux 6.0、Red Hat Enterprise Linux 7.0、SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4、SUSE Linux Enterprise Server 11 SP1、SUSE Linux Enterprise Server 12、SUSE Linux Enterprise Server 15

修正

以下を修正しました。

- カスタマーアドバイザリa00053824en_usに文書化されている少量のメモリリークに対処しました。
- NVMeドライブ情報がCPQSEで利用できるようになりました。

HPE SMXプロバイダーコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 3.16.00 **(推奨)**
ファイル名:smxProvider_700.03.16.00__1_.12_14828939_signed_component_1567546.zip

拡張

VMware ESXi 7.0のサポート

HPE SNMPエージェントfor Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 10.9.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-snmp-agents-10.92-679.11.rhel7.x86_64.compsig; hp-snmp-agents-10.92-679.11.rhel7.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよび hp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します。

rpm –qp –-requires hp-snmp-agents-<version>.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプターがサポートされていないと表示される問題に対処しました
- データベース内の無効なutf8mb4文字を修正しました

HPE SNMPエージェントfor Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 10.9.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-snmp-agents-10.92-679.6.rhel8.x86_64.compsig; hp-snmp-agents-10.92-679.6.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよび hp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します。

rpm –qp –-requires hp-snmp-agents-<version>.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプターがサポートされていないと表示される問題に対処しました
- データベース内の無効なutf8mb4文字を修正しました

HPE SNMPエージェントfor SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 10.9.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-snmp-agents-10.92-679.5.sles12.x86_64.compsig; hp-snmp-agents-10.92-679.5.sles12.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよび hp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します。

rpm –qp –-requires hp-snmp-agents-<version>.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプターがサポートされていないと表示される問題に対処しました
- データベース内の無効なutf8mb4文字を修正しました

HPE SNMPエージェントfor SUSE LINUX Enterprise Server 15

バージョン: 10.9.3 **(オプション)**
ファイル名: hp-snmp-agents-10.93-680.4.sles15.x86_64.compsig; hp-snmp-agents-10.93-680.4.sles15.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよび hp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-snmp-agentsに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のように入力します。

rpm –qp –-requires hp-snmp-agents-<version>.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Synergy 3820C 10/20Gbコンバージドネットワークアダプターがサポートされていないと表示される問題に対処しました
- データベース内の無効なutf8mb4文字を修正しました

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 10.9.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-health-10.92-8.8.rhel7.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよび hp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

rpm –qp –requires hp-health-< version >.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Software Delivery Repository (SDR)サイトに対してクエリを実行し、障害が発生したときに、amsdがsegfaultを表示しなくなりました。
- 非セキュアなブート環境でhp-heathサービスがクラッシュしなくなります。

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティfor Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 10.9.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-health-10.92-5.5.rhel8.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよび hp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

rpm –qp –requires hp-health-< version >.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Software Delivery Repository (SDR)サイトに対してクエリを実行し、障害が発生したときに、amsdがsegfaultを表示しなくなりました。
- 非セキュアなブート環境でhp-heathサービスがクラッシュしなくなります。

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 12

バージョン: 10.9.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-health-10.92-4.4.sles12.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよび hp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

rpm –qp –requires hp-health-< version >.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Software Delivery Repository (SDR)サイトに対してクエリを実行し、障害が発生したときに、amsdがsegfaultを表示しなくなりました。
- 非セキュアなブート環境でhp-heathサービスがクラッシュしなくなります。

拡張

このリリースの機能強化は、以下のとおりです。

- SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5のサポート

HPEシステムヘルスアプリケーションおよびコマンドラインユーティリティ for SUSE LINUX Enterprise Server 15

バージョン: 10.9.2 **(オプション)**
ファイル名: hp-health-10.92-6.6.sles15.x86_64.rpm

前提条件

hp-healthおよび hp-snmp-agentsは、x86_64環境では32ビットアプリケーションとして起動します。 Linuxカーネル32ビット互換が有効にされていて(通常Linuxではデフォルト)、32ビット互換ライブラリが存在している必要があります。

hp-healthに関連するすべてのファイルの一覧を取得するには、次のようにタイプします。

rpm –qp –requires hp-health-< version >.rpm

修正

以下を修正しました。

- HPE Software Delivery Repository (SDR)サイトに対してクエリを実行し、障害が発生したときに、amsdがsegfaultを表示しなくなりました。
- 非セキュアなブート環境でhp-heathサービスがクラッシュしなくなります。

拡張

このリリースの機能強化は、以下のとおりです。

- SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2のサポート

HPE System Management Homepage for Linux(AMD64/EM64T)

バージョン: 7.6.6-2 **(推奨)**
ファイル名: hpsmh-7.6.6-2.x86_64.rpm

重要な注意!

ご使用のシステムが記載された修正に影響する場合、またはこのバージョンで提供される拡張機能を使用する場合、このバージョンにアップデートする必要があります。

SMH 7.6.0以降のバージョンはGen 8およびGen 9サーバーのみをサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。HPE SMH リリースノートを参照してください。

Linux OSのユーザー用のご注意

- パスワードファイルの編集またはその他の方法により、"hpsmh"ユーザー(インストール中に作成)にログインアクセスを提供しないでください。
- "hpsmh"グループ(インストール中に作成)にユーザーを追加しないでください。

前提条件

SMHソフトウェアをインストールする前に、RPMが必要なバージョンのLinuxライブラリの依存関係が存在するかどうかを確認します。依存関係が見つからない場合、欠落した依存関係のリストが提供されます。ユーザーはRPMをインストールする前に、すべての必要な依存関係を手動でインストールして、前提条件を満たす必要があります。

修正

- Apacheが2.4.41にアップデートされました
- 応答ヘッダーにセキュリティ修正を追加しました

HPE System Management Homepage for Windows x64

バージョン: 7.6.6.2 **(推奨)**
ファイル名: cp043048.exe

重要な注意!

ご使用のシステムが記載された修正に影響する場合、またはこのバージョンで提供される拡張機能を使用する場合、このバージョンにアップデートする必要があります。

SMH 7.6.0 &以降のバージョンはGen 8およびGen 9サーバーのみをサポートします。将来の全てのパッチリリースはSMH webページ上でのみ行われます。HPE SMH リリースノートを参照してください。

修正

- Apacheが2.4.41にアップデートされました
- 応答ヘッダーにセキュリティ修正を追加しました

HPE System Management Homepageテンプレートfor Linux

バージョン: 10.8.1 **(オプション)**
ファイル名: hp-smh-templates-10.8.1-1487.3.noarch.rpm

前提条件

すべての依存関係がインストールされていないと、**hp-smh-templates** RPMインストールが失敗します。管理者は、このコマンドを実行することにより、必要な依存関係の一覧を検証できます。yumまたはzypperにより使用されているレポジトリにこれらの依存

関係が含まれている場合は、インストールツールにより自動的に取得されます。ただし、存在しない場合は、RPMのインストールに進む前に、ユーザーが主導でインストールする必要があります。

hp-smh-templatesのすべての依存ファイルのリストを取得するには、次のように入力します。

rpm –qp –-requires hp-smh-templates-<version>.rpm

修正

Red Hat Enterprise Linux 8 Serverの初回サポートです

HPEユーティリティオフライン Bundle for ESXi 6.5

バージョン: 10.7.1 **(推奨)**
ファイル名: HPE-Utility-Component_6.5.0.10.7.1-8.zip

重要な注意!

以下のVMware vSphere 6.5用HPE VMwareユーティリティガイドを参照してください。 www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs。

修正

アップデートされたSmart Storage Administrator CLIを含みます。

HPEユーティリティオフライン Bundle for ESXi 6.7

バージョン: 10.7.1 **(推奨)**
ファイル名: HPE-Utility-Component_6.7.0.10.7.1-8.zip

重要な注意!

以下のVMware用HPE VMwareユーティリティガイドを参照してください。 www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs。

拡張

HPE SR Gen10 PlusコントローラーがサポートされているアップデートされたSmart Storage Administrator CLI(SSACLI)が含まれます。

HPEユーティリティオフライン Bundle for ESXi 7.0

バージョン: 10.7.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-Utility-Component_7.0.0.10.7.0-8_17004542.zip

重要な注意!

以下のVMware vSphere/ESX用HPE VMwareユーティリティガイドを参照してください。 www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs。

拡張

VMware ESXi 7.0 をサポートします

Integrated Smart Update Tools for VMware ESXi 6.5

バージョン: 2.8.0.0 **(推奨)**
ファイル名: sut-esxi6.5-offline-bundle-2.8.0.0-22.zip

重要な注意!

Integrated Smart Update Tools for ESXiは、iLOレポジトリ経由でファームウェアとドライバーのアップデートをサポートします

修正

今回のリリースで解決した問題については、 iSUT Release Notes を参照してください。

拡張

今回のリリースで解決した問題については、 iSUT Release Notes を参照してください。

Integrated Smart Update Tools for VMware ESXi 6.7

バージョン: 2.8.0.0 **(推奨)**
ファイル名: sut-esxi6.7-offline-bundle-2.8.0.0-18.zip

重要な注意!

Integrated Smart Update Tools for ESXiは、iLOレポジトリ経由でファームウェアとドライバーのアップデートをサポートします

修正

今回のリリースで解決した問題については、 iSUT Release Notes を参照してください。

拡張

今回のリリースで解決した問題については、 iSUT Release Notes を参照してください。

Integrated Smart Update Tools for VMware ESXi 7.0

バージョン: 700.2.8.0 **(推奨)**
ファイル名:sutComponent_700.2.8.0.20-0-signed_component-17782108.zip

重要な注意!

Integrated Smart Update Tools for ESXi 7.0は、iLOレポジトリ経由でファームウェアとドライバーのアップデートをサポートします

修正

今回のリリースで解決した問題については、 iSUT Release Notes を参照してください。

拡張

今回のリリースでの機能強化内容については、iSUT Release Notes を参照してください。

Windows用NVMe Drive Eject NMI Fix for Intel Xeon Processor Scalable Family

バージョン: 1.1.0.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp034635.compsig; cp034635.exe

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。
- HPE ProLiant XL270d Gen10およびHPE ProLiant XL420 Gen10のサポートを追加しました

Windows Server 2012 R2からServer 2019用インテルXeon v3およびXeon v4プロセッサーでのNVMeドライブイジェクトNMIの修正

バージョン: 1.0.5.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp035799.exe

拡張

Windows Server 2019のサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 5.10.44.0 **(推奨)**
ファイル名:ssacli-5.10-44.0.x86_64.compsig; ssacli-5.10-44.0.x86_64.rpm; ssacli-5.10-44.0.x86_64.txt

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

VMware 6.5用Smart Storage Administrator (SSA) CLI

バージョン: 5.10.45.0 **(推奨)**
ファイル名: MIS_bootbank_ssacli-5.10.45.0-6.5.0.4240417.oem.vib

拡張

HPE SR Gen10 Plusコントローラーのサポートの追加。

Smart Storage Administrator (SSA) CLI for VMware 6.7

バージョン: 5.10.45.0 **(推奨)**
ファイル名: MIS_bootbank_ssacli-5.10.45.0-6.7.0.7535516.oem.vib

拡張

HPE SR Gen10 Plusコントローラーのサポートの追加。

VMware 7.0用Smart Storage Administrator (SSA) CLI

バージョン: 5.10.45.0 **(推奨)**
ファイル名:ssacli-component_5.10.45.0-7.0.0_17605318.zip

拡張

HPE SR Gen10 Plusコントローラーのサポートの追加。

VMware 7.0用Smart Storage Administrator (SSA) CLI

バージョン: 5.10.45.1 **(推奨)**
ファイル名:hpessacli-component_5.10.45.1-7.0.0_17771110.zip

拡張

HPE SR Gen10 Plusコントローラーのサポートの追加。

Windows 64ビット用Smart Storage Administrator (SSA) CLI

バージョン: 5.10.44.0 **(推奨)**
ファイル名: cp041183.compsig; cp041183.exe

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) for Linux 64ビット

バージョン: 5.10.44.0 **(推奨)**
ファイル名:ssa-5.10-44.0.x86_64.compsig; ssa-5.10-44.0.x86_64.rpm; ssa-5.10-44.0.x86_64.txt

前提条件

Smart Storage Administrator for Linuxは、サーバーにSystem Management Homepageソフトウェアがインストールされている必要があります。サーバーにSystem Management Homepageソフトウェアがインストールされていない場合、Smart Storage Administrator for Linuxをインストールする前に、HPE.comからダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート: SSA (GUI) for Linuxは、 System Management Homepage を必要とせず、実行することができます。 SSA は、Linux用のローカルアプリケーションモードをサポートするようになりました。 System Management Homepageは引き続きサポートされていますが、SSA GUIの実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

ssa -local

コマンドは新しいFirefoxブラウザーウィンドウでSSAを開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、SSAは自動的に終了します。これは、ループバックインタ-フェイスだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator (SSA) for Windows 64ビット

バージョン: 5.10.44.0 **(推奨)**
ファイル名: cp041182.compsig; cp041182.exe

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (SSADU) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 5.10.44.0 **(推奨)**
ファイル名:ssaducli-5.10-44.0.x86_64.compsig; ssaducli-5.10-44.0.x86_64.rpm; ssaducli-5.10-44.0.x86_64.txt

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10+コントローラーのサポートを追加しました。

Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (SSADU) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 5.10.44.0 **(推奨)**
ファイル名: cp041184.compsig; cp041184.exe

重要な注意!

Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。 診断レポートのGUIバージョンは、Smart Storage Administrator(SSA)を使用してください。

拡張

HPE SR932i-pおよびSR416-a Gen10 Plus コントローラーのサポートを追加しました。